様式第７号

事業報告書

令和５年４月２８日

（あて先）千葉市長　様

所在地　　千葉市中央区千葉寺町１２０８番地２
指定管理者の名称　社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
代表者氏名　　会　長　　初　芝　　勤　　印

地方自治法第２４４条の２第７項及び千葉市療育センターの管理に関する基本協定書第２４条第２項の規定により、下記のとおり提出します。

記

１　施設の名称　　千葉市療育センター
２　事業報告書（令和４年度）　　別紙のとおり

（注）経費決算書（様式第８号）を添付すること。

事 業 報 告 書
(令和４年度)

千葉市療育センター

目　　次

1　管理業務の実施体制に関すること
（１）基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（２）事業名等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（３）組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（４）職務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
（５）勤務体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６
（６）会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
（７）研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
（８）安全管理（危機管理）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３６
（９）苦情解決・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
（１０）個人情報保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４０
（１１）施設の社会化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
（１２）関係機関との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６

2　管理業務の実施に関すること
（１）目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
（２）令和４年度利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５１
（３）事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
（４）健康管理（保健衛生）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８２
（５）給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
（６）保護者(家族)との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８４
（７）感染症対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８６
（８）身体拘束等の禁止及び虐待防止・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８７
（９）広報その他の使用促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８９
（１０）使用料の確実な徴収（滞納防止）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９０

3　維持管理の実施計画に関すること
（１）建築物の保守管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
（２）設備・備品の保守管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９５
（３）警備に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９７
（４）清掃に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９８
（５）植栽等の維持管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
（６）駐車場の管理に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９９
4　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること　・・・・・・・・・・・・１００
5　管理経費の縮減　　　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１１
6　自主事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１１
7　年度の総括(評価)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１２

1　管理業務の実施体制に関すること

（1）基本理念

ア　療育相談所

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

イ　すぎのこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

ウ　やまびこルーム

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供するよう努めました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して児童を支援しました。

エ　相談支援事業ぱれっと

（ア）すべてのご利用児（者）をかけがえのない存在として尊重し、ご利用児（者）にとって最善の利益を最優先するよう努めました。

（イ）ご利用児（者）の人権を擁護し、自己実現できるよう支援しました。その職務を遂行する過程で知り得たプライバシーを保護しました。

（ウ）専門的知識や技術の研鑽に常に励み、最良のサービスを提供しました。

（エ）医療、保健、教育その他児童福祉及び障害者福祉に関連する機関等と積極的に連携し、協力して障害児（者）を支援しました。

オ　いずみの家

（ア）一人ひとりの主体性を尊重し、ご利用者本位の施設運営に努めました。

（イ）社会の一員として働く喜びと働く機会を提供しました。

（ウ）地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設け、地域生活の支援を行いました。

カ　ふれあいの家

（ア）ご利用者の社会参加を推進し、生きがいを感じる活動の充実に努めました。

（イ）障害者福祉の増進を図り、ご利用者のさまざまなニーズに応えるよう努めました。

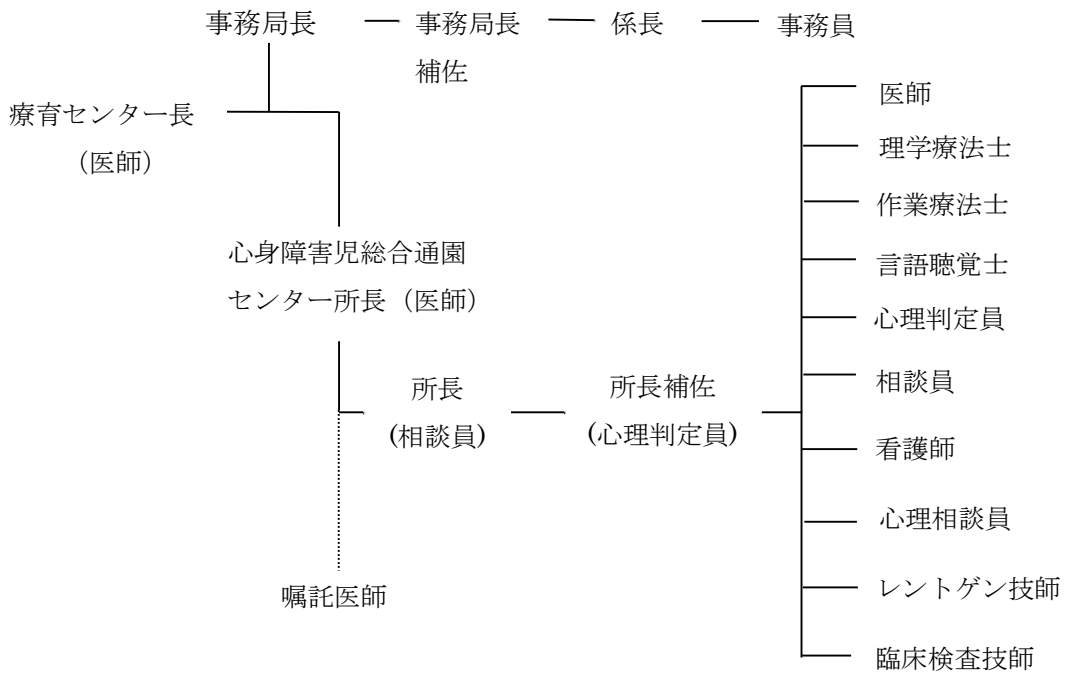
（ウ）医療・保健その他障害者福祉に関連する機関等と積極的に連携し、最良のサービスを提供しました。

（2）事業名等

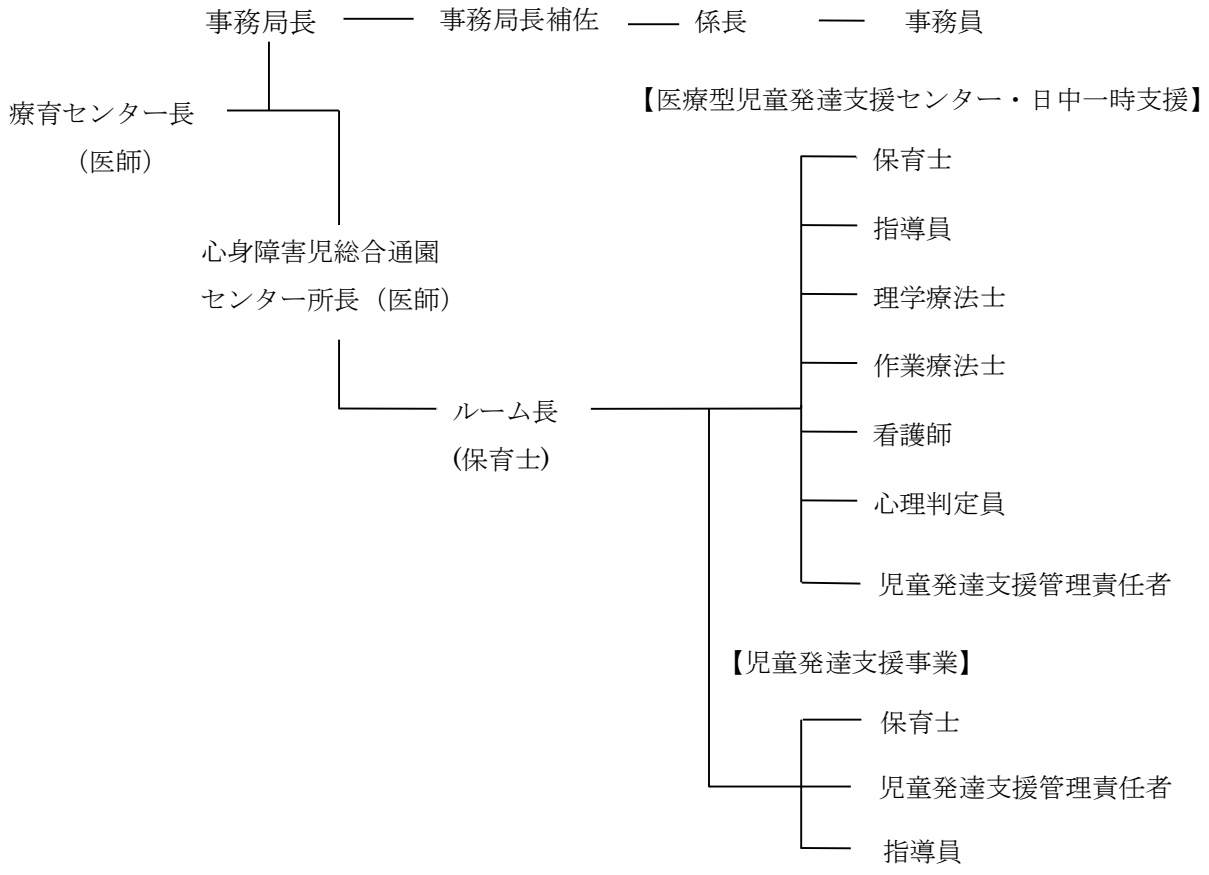
施設名	事　　業	関　係　法　令	定員
療育相談所	外来診療	医療法第7条第1項	ー
すぎのこルーム	医療型児童発達支援センター	児童福祉法第6条の2の2第3項	10人
	児童発達支援事業	児童福祉法第6条の2の2第2項	10人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第3項	1人
やまびこルーム	福祉型児童発達支援センター	児童福祉法第6条の2の2第2項	20人
相談支援事業所ぱれっと	特定相談支援事業及び障害児相談支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第16項及び児童福祉法第6条の2第6項	ー
いずみの家	就労移行支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第13項	6人
	就労継続支援B型事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第14項	34人
	日中一時支援事業	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第77条第3項	3人
ふれあいの家	身体障害者福祉センターB型事業	身体障害者福祉法第31条	ー

（3）組織図

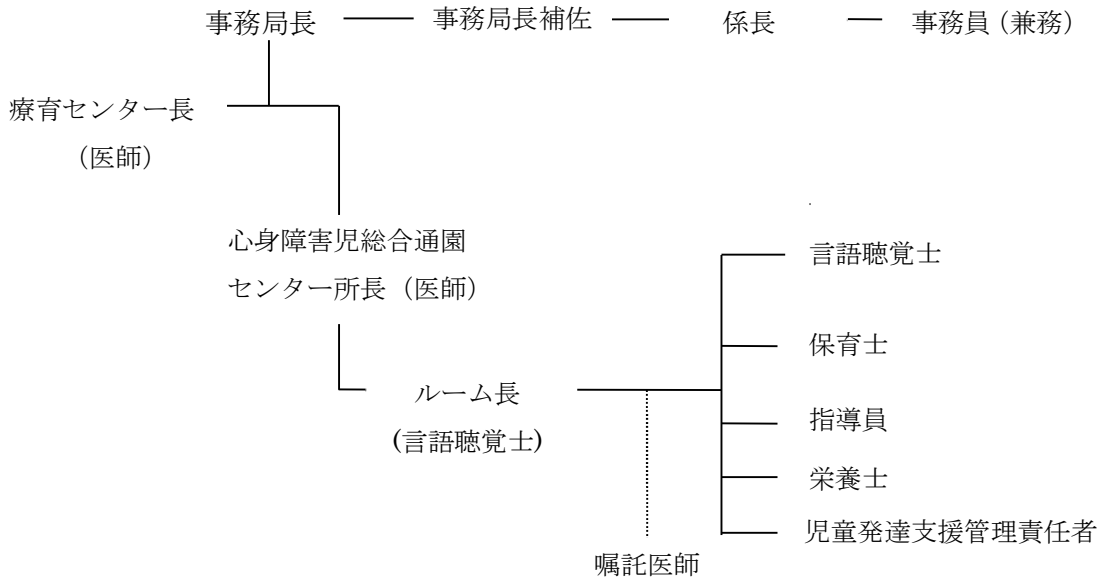
ア　療育相談所



イ　すぎのこルーム

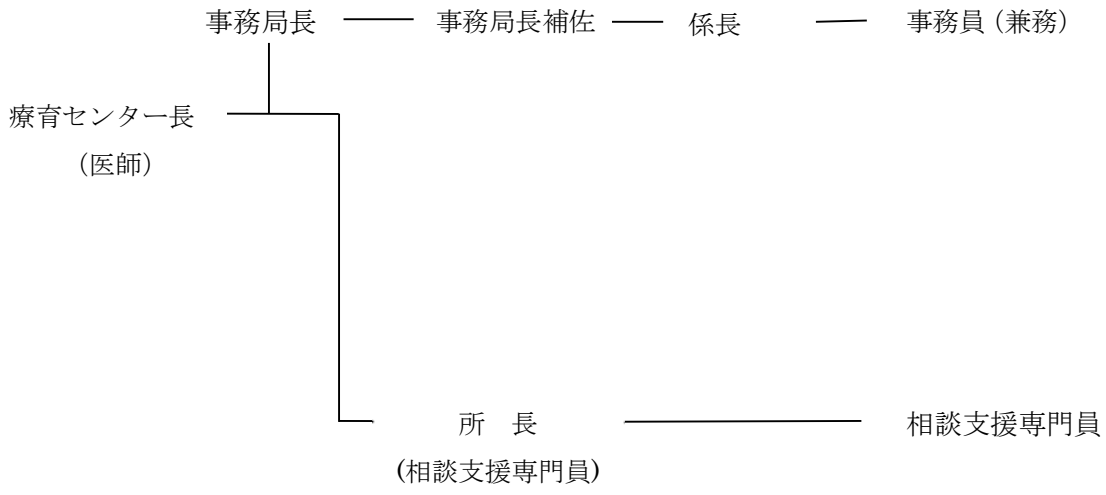


ウ　やまびこルーム

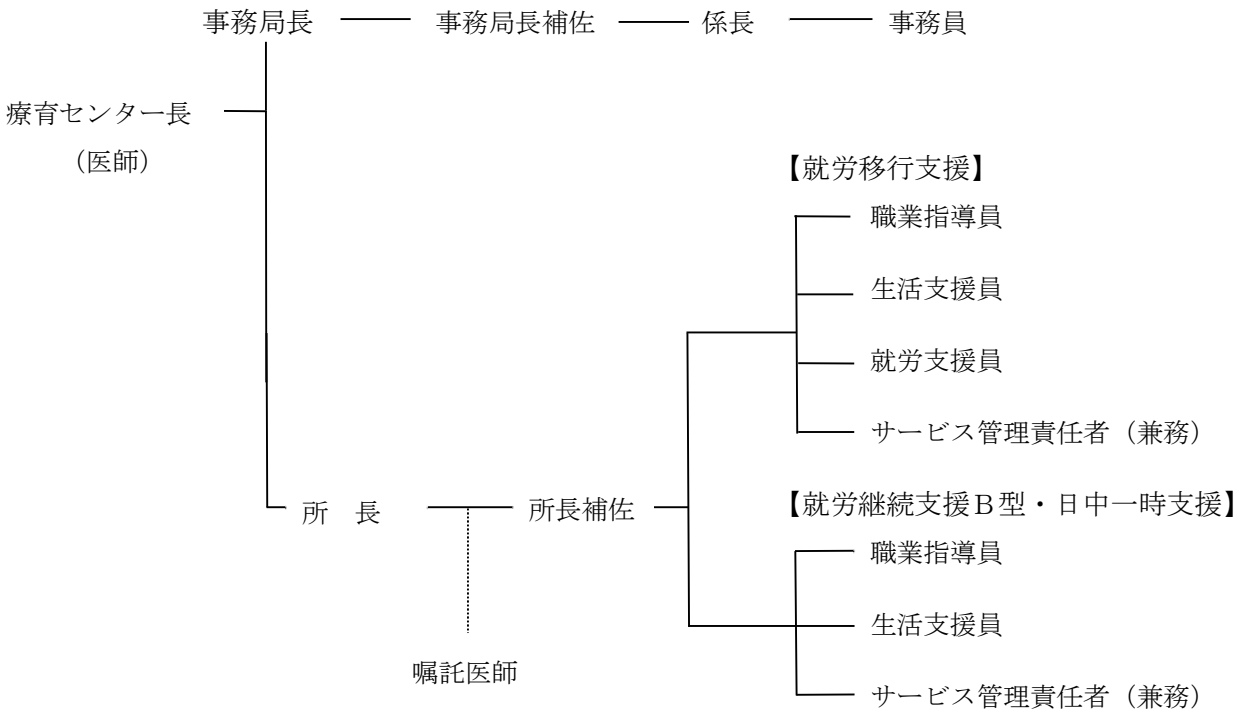


※栄養士は「すぎのこルーム」「いずみの家」の給食業務も担当します。

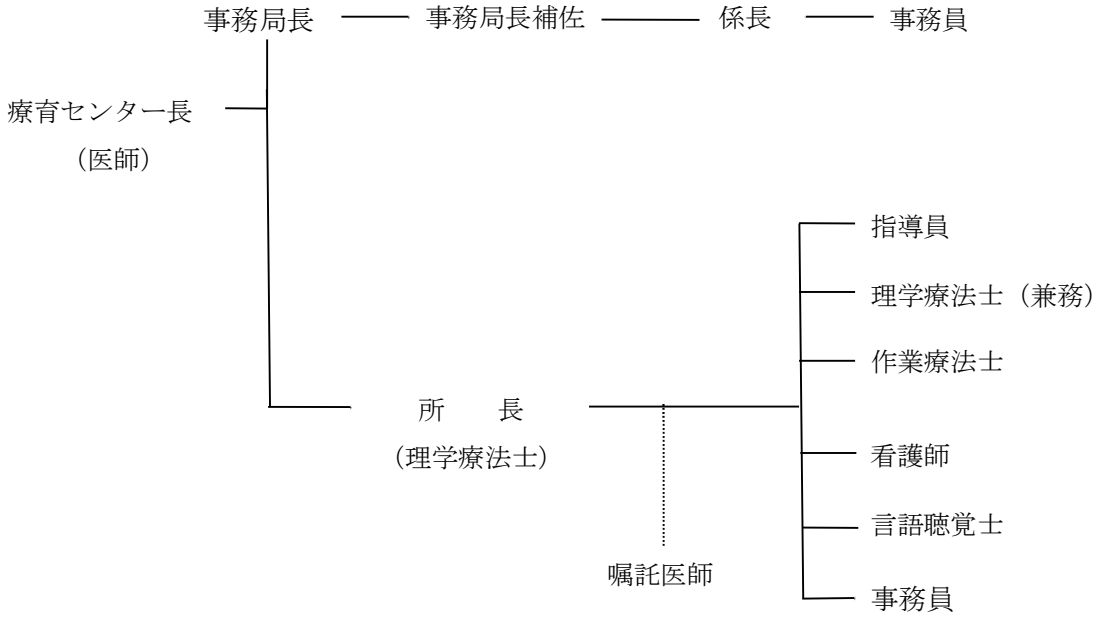
エ　相談支援事業所ぱれっと



オ　いずみの家



カ　ふれあいの家



（4）職務分掌

ア　療育相談所

職　　名	事　　務　　分　　掌
センター長	・療育センター全体の統括に関すること ・保健医療機関としての医療に関する統括管理
事務局長	・療育センター事務局の総括に関すること ・療育センターの基本的な計画に関すること ・労務、人事管理に関すること ・嘱託医師等の連絡調整に関すること ・防火管理責任者に関すること
事務局長補佐	・療育センター各施設の調整に関すること ・公印管理に関すること ・文書管理に関すること ・予算・決算のとりまとめに関すること ・消防計画の作成及び訓練の実施に関すること ・嘱託医師等の雇用に関すること ・各種職員表彰事務に関すること ・施設運営連絡会議の開催に関すること
庶務係長	・係の総括に関すること ・運営方針・事業概要のとりまとめに関すること ・指定管理関係事務に関すること ・全体予算の執行及び調整に関すること ・事務職会議の開催に関すること ・３６協定の認可申請事務に関すること ・担当施設の事務に関すること
所長 （相談員兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること
所長補佐 （心理判定員兼務）	・所長業務の補佐に関すること ・所属職員の指揮指導に関すること
小児科医師 嘱託小児科医師 嘱託小児神経科医師	・小児科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること ・児の健康に関すること ・医療記録に関すること ・医薬品の処方、管理及び医療機器、備品に関すること
嘱託耳鼻咽喉科医師	・耳鼻咽喉科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること

嘱託整形外科医師	・整形外科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
嘱託精神科医師	・精神科診療及び療育指導に関すること ・リハビリテーション診療計画書に関すること
非常勤脳波検査技師	・脳波検査に関すること
嘱託レントゲン技師	・レントゲン撮影に関すること
理学療法士	・医師の指示のもと理学療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
作業療法士	・医師の指示のもと作業療法評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
言語聴覚士	・医師の指示のもと言語・聴覚の評価及び指導に関すること ・リハビリテーション診療計画に関すること ・聴力検査機器の調整に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
心理判定員	・医師の指示のもと心理発達評価及び指導に関すること ・個別指導計画に関すること ・地域支援に関すること ・実習生指導に関すること
相談員	・電話や面接による相談の受理に関すること ・診療・検査・療育等の調整に関すること ・心理・社会的問題の相談に関すること ・福祉制度等の情報提供に関すること ・他機関との連携に関すること ・地域支援に関すること
看護師	・診療に関すること ・診療に関する文書管理 ・衛生管理に関すること ・感染症予防・管理に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・診療窓口業務及び診療報酬請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

イ　すぎのこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情に関すること ・医療型児童発達支援センター、児童発達支援事業及び日中一時支援事業の管理運営に関すること ・児童の入退所に関すること ・通所給付費、給食費、医療費会計に関すること ・児童の名簿に関すること ・統計簿、出席簿の作成及び記入に関すること ・利用契約に関すること ・諸会議に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・見学及び利用希望者への相談業務に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること
医師	・診察及び医療に関すること ・ケース会議に関すること ・健康診断に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること
保育士	・療育および生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・ボランティアの受け入れに関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること

	・苦情に関すること
指導員	・療育及び生活指導に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・療育等の記録、保存に関すること ・利用契約に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・家庭支援相談に関すること ・就学及び移行児に関すること ・日中一時支援事業に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成等に関すること ・諸会議に関すること
理学療法士	・児童の姿勢と運動を中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・実習生の受け入れに関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・児童発達支援事業に関すること
作業療法士	・児童の日常生活と遊びを中心とした個別指導に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・評価・療育目標設定・記録に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・児童の使用する日常生活用具・補装具の評価、作成、メンテナンスに関すること ・児童の家庭で使用する日常生活用具・補装具の相談及び評価、作成に関すること ・行事に関すること ・食形態・アレルギーに関すること ・実習生の受け入れに関すること

	・児童の送迎に関すること ・文書作成に関すること ・リハビリテーション計画作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
心理判定員	・児童の検査評価・指導・記録に関すること ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・個別支援計画の補助に関すること ・行事に関すること ・児童の送迎に関すること ・児童発達支援事業に関すること ・文書作成に関すること ・諸会議に関すること ・児童発達支援事業に関すること
看護師	・児童の健康管理および記録に関すること ・診察補助 ・日常生活に関する保護者支援に関すること ・保護者の保健指導に関すること ・環境・予防衛生に関すること ・食物アレルギーに関すること ・行事に関すること ・諸会議に関すること ・応急処置に関すること ・個別支援計画作成の補助に関すること ・分離時の医療的ケアに関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

ウ　やまびこルーム

職　　名	事　　務　　分　　掌
ルーム長 （言語聴覚士兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること

	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること ・見学希望及び利用希望者への相談業務に関すること ・関係文書の作成及び保存に関すること ・嘱託医師の連絡調整に関すること ・保護者支援に関すること ・親の会との連携に関すること ・児童の言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること ・児童の統計及び報告に関すること
児童発達支援管理責任者	・利用契約に関すること ・個別支援計画の作成及び説明に関すること
嘱託医師 （耳鼻咽喉科）	・医療に関すること ・診察に関すること
言語聴覚士	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・言語・聴覚の評価及び指導・記録に関すること ・保護者支援に関すること ・行事に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・在園児の保育所や幼稚園でのコミュニケーションの支援に関すること ・卒園児の支援に関すること ・設備の安全点検に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること ・苦情受付に関すること
指導員	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・保育の指導計画立案に関すること ・療育の記録に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・保護者支援に関すること ・保育・行事に関すること ・設備の安全点検に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・諸会議に関すること
保育士	・集団療育及び個別療育の指導計画立案に関すること ・保育の指導計画立案に関すること ・個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること

	・療育の記録に関すること ・保育・行事に関すること ・保護者支援に関すること ・在園児の健康管理に関すること ・設備の安全点検に関すること ・給食業務に関すること ・備品の衛生と安全管理に関すること ・通園バスに関すること ・ボランティアに関すること ・諸会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・通所給付費請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること
栄養士	・やまびこルーム、すぎのこルーム、いずみの家の給食に関すること ・献立の作成に関すること ・調理盛りつけ指導に関すること ・食品の購入検品及び食材管理に関すること ・保護者への栄養指導に関すること ・嗜好調査の実施に関すること ・アレルギー食・特別配慮食に関すること ・給食委託業者の指揮・監督に関すること ・給食会議の実施に関すること

エ　相談支援事業ぱれっと

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長 （相談支援専門員兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること ・モニタリングに関すること ・サービス担当者会議に関すること ・月次報告に関すること

相談支援専門員	・利用契約に関すること ・サービス利用計画作成に関すること ・モニタリングに関すること ・サービス担当者会議に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・相談支援給付費の請求事務に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

オ　いずみの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること ・保護者会との連携に関すること
所長補佐 （サービス管理責任者）	・就労移行及び就労継続支援Ｂ型における個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明に関すること ・利用契約に関すること
指導員 （就労支援員） （生活支援員） （職業指導員）	・就労移行支援に関する実務及び総括 ・就労に関する関係各機関との連絡調整及びジョブコーチ支援 ・生活・作業等支援に関すること ・個別支援目標の設定と個別支援計画の作成及び説明の補助に関すること ・情報提供と相談支援に関すること ・健康管理に関すること ・就労に関すること ・就労後のアフターケアに関すること ・ご家族との連絡調整に関すること ・苦情受付に関すること ・工賃支給に関すること ・ボランティアの受け入れに関すること ・他機関からの実習等受入に関すること
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・障害福祉サービス訓練等給付費の請求に関すること

	・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・施設及び備品等の維持管理に関すること

カ　ふれあいの家

職　　名	事　　務　　分　　掌
所長 （理学療法士兼務）	・業務の総括に関すること ・業務の基本的な計画に関すること ・業務に関して所属職員の指揮監督に関すること ・施設の維持管理及び営繕に関すること ・関係機関との連絡調整に関すること ・苦情処理に関すること
指導員	・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・創作活動事業に関すること ・ボランティア養成等事業に関すること ・スポーツ、レクリエーション事業に関すること ・サークル活動に関すること ・声の市政だより事業に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・苦情受付に関すること ・統計事務に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること ・施設、備品の管理に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請・貸出に関すること ・施設貸出に関すること
理学療法士	・機能訓練事業に関すること ・更生相談事業に関すること ・社会適応訓練事業に関すること ・巡回機能訓練事業に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・スポーツ、レクリエーション事業に関すること ・講習会等事業推進会議に関すること ・福祉情報の収集、提供、研究に関すること ・障害者啓発活動に関すること

看護師	・更生相談、機能訓練（巡回を含む）に関すること ・利用者の健康管理に関すること ・医療情報の収集 ・講習会等の会場設営、補助、片付け等
事務員	・予算執行及び管理に関すること ・会計及び金庫管理に関すること ・出勤簿の管理及び勤務状況報告に関すること ・旅費及び諸手当事務に関すること ・休暇処理に関すること ・施設（図書館関係、備品等含む）の利用受付に関すること ・講習会等の会場設営、補助、片付け等 ・声の市政だよりテープ整理他事務補助 ・利用統計事務に関すること ・来所者の接客 ・施設及び備品等の維持管理に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請に関すること ・福祉バス、ゆうあい号利用申請・貸出に関すること ・施設貸出に関すること ・統計事務に関すること
言語聴覚士（嘱託）	・言語訓練等に関すること
作業療法士（嘱託）	・作業療法等に関すること
医師（嘱託）	・医学的相談に関すること ・判定に関すること

（5）勤務体制

（人）

施設	職種	R4.4.1人員		R5.3.31現在		増減		備考
		常勤	非常勤 嘱託	常勤	非常勤 嘱託	常勤	非常勤 嘱託	
療育相談所	医師	1	10	1	10			センター長　常勤嘱託1
	理学療法士	1		1				
	作業療法士	2		2				
	言語聴覚士	4		4	1		1	欠員1
	心理判定員	6	1	6			△ 1	育児休業　代替1
	指導員（相談員）	4		4				所長 常勤1
	看護師	1	4	1	4			
	レントゲン技師		1		1			
	臨床検査技師		1		1			
	事務員	4	1	4	1			
すぎのこルーム	保育士	4	1	4	1			ルーム長　常勤1
	指導員	2	1	2	1			
	心理判定員			1		1		
	理学療法士	1		1				
	作業療法士	1				△ 1		欠員1
	看護師	1		1				
	事務員		1		1			
やまびこルーム	言語聴覚士	4		4	1		1	ルーム長　常勤1
	保育士	1		1	2		2	
	指導員				1		1	
	栄養士	1		1				
	医師		3		3			
	事務員		1		1			
相談支援事業所	指導員（相談支援専門員）	5		5				所長 常勤1
ぱれっと								
いずみの家	指導員（職業・生活・就労指導員）	6	2	6	7		5	所長 常勤1、欠員1
	事務員	1		1				
	医師		1		1			
ふれあいの家	指導員	3	1	3	2		1	
	理学療法士	1		1				所長 常勤1
	看護師		2		2			
	言語聴覚士		1		1			
	作業療法士		1				△ 1	
	医師		2		2			
	事務員	1	2	1	2			
計		55	37	55	46		9	

職　　種	勤　務　時　間	
事務員	A	８：３０～１７：１５
	B	９：００～１７：４５
センター長・所長・ルーム長・看護師・理学療法士・作業療法士・心理判定員・指導員（相談員・支援員・相談支援専門員）・言語聴覚士・保育士・栄養士	８：４５～１７：３０ ※いずみの家の日直当番 （８：３０～１７：１５）	

（6）会議

ア　療育相談所

（ア）職員連絡会議　（研修報告会の開催を月１回含む）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	6日	13日	20日	27日			4	所長、看護師、相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員
5月	11日	18日	25日				3	
6月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
7月	6日	13日	17日	20日	27日		5	
8月	3日	10日	17日	24日	31日		5	
9月	7日	14日	21日	28日			4	
10月	5日	12日	19日				3	
11月	2日	9日	18日	30日			4	
12月	7日	14日	21日				3	
1月	11日	18日					2	
2月	1日	8日	15日	22日			4	
3月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
計							47	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月								
4月	1日	8日	15日	22日			4	医師、所長、看護師、相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理判定員
5月	6日	13日	20日				3	
6月	3日	10日	17日	24日			4	
7月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
8月	5日	12日	19日	26日			4	
9月	2日	9日	16日	30日			4	
10月	7日	14日	21日	28日			4	
11月	4日	11日	18日	25日			4	
12月	2日	9日	16日	23日			4	
1月	4日	13日	20日	27日			4	
2月	3日	10日	17日	24日			4	
3月	3日	10日	17日	24日	31日		5	
計							49	

イ　すぎのこルーム

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	4日	11日					2	ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員
5月	2日	9日	16日	23日	26日	30日	6	
6月	6日	20日	27日				3	
7月	11日	25日					2	
8月	1日	15日	29日				3	
9月	5日	26日					2	
10月	3日	24日	31日				3	
11月	14日	21日	28日				3	
12月	5日	12日	19日				3	
1月	13日	16日	26日	30日			4	
2月	13日	20日	27日				3	
3月	6日	20日	27日				3	
計							37	

（イ）ケース会議（医療型児童発達支援センター）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
5月	11日	30日					2	ルーム長、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員
6月	1日						1	
7月	15日	21日					2	
10月	5日	24日					2	
2月	27日						1	
3月	16日	28日					2	
計							10	

（ウ）個別支援計画会議

開催回数：児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種：ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員

（エ）リハビリテーション計画会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
7月	11日	15日					2	ルーム長、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、心理判定員、保育士、指導員
10月	24日						1	
11月	11日						1	
12月	12日						1	
1月	26日						1	
3月	20日	27日					2	
計							8	

(オ)ヒヤリハット会議

開催日：毎日１５時３０分よりヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、看護師、理学療法士、作業療法士、保育士、指導員、心理判定員

（カ）給食会議（すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家）

①委託者会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	8日						1	栄養士、委託職員、すぎのこルーム担当者、やまびこルーム担当者、いずみの家担当者
5月	9日						1	
6月	8日						1	
7月	6日						1	
8月	4日						1	
9月	8日						1	
10月	6日						1	
11月	10日						1	
12月	8日						1	
1月	5日						1	
2月	9日	22日					2	
3月	9日						1	
計							13	

（キ）児童発達支援事業グループ別療育会議

開催回数：１日２回（９：３０～１０：００　１４：００～１４：３０）実施しました。

参加職種：ルーム長、保育士、指導員、心理判定員

（ク）児童発達支援事業調整会議（すぎのこルーム、療育相談所、大宮学園たけのこルーム）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
8月	26日						1	医師、園長、ルーム長、保育士、指導員、療育相談所関係職員
2月	3日						1	
計							2	

（ケ）児童発達支援事業ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月							0	医師、ルーム長、保育士、指導員、心理判定員、療育相談所関係職員
5月	6日	13日					2	
6月							0	
7月	8日						1	
8月							0	
9月	2日	9日					2	
10月	28日						1	
11月							0	
12月	2日						1	
1月	13日						1	
2月							0	
3月	3日						1	
計							9	

ウ　やまびこルーム

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	1日	4日	13日	20日	27日		5	ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士
5月	11日	18日	25日				3	
6月	1日	8日	15日	22日	29日		5	
7月	6日	13日	20日	25日	27日		5	
8月	3日	10日	17日	24日	31日		5	
9月	7日	14日	21日	28日			4	
10月	5日	12日	19日	26日			4	
11月	2日	9日	16日	30日			4	
12月	7日	14日	21日	28日			4	
1月	4日	11日	18日	25日			4	
2月	1日	3日	8日	15日	22日		5	
3月	1日	8日	9日	15日	22日	29日	6	
計							54	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月							0	ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士
5月							0	
6月	1日	29日					2	
7月	27日						1	
8月	24日						1	
9月	26日	28日	30日				3	
10月	26日						1	
11月	25日						1	
12月	21日						1	
1月	25日						1	
2月	24日						1	
3月							0	
計							12	

（ウ）個別支援計画作成会議

開催日：児童１人に対して年２回（前期・後期）実施しました。

参加職種：ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士

（エ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日１７時より、終礼時にヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士

（オ）グループ会議

開催日：各グループにつき、月１回実施しました。

参加職種：ルーム長、児童発達支援管理責任者、保育士、指導員、言語聴覚士

エ　相談支援事業所ぱれっと

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	19日						1	所長、相談支援専門員
5月	18日						1	
6月	15日						1	
7月	19日						1	
8月	18日						1	
9月	22日						1	
10月	19日						1	
11月	18日						1	
12月	15日						1	
1月	18日						1	
2月	17日						1	
3月	20日						1	
計							12	

（イ）サービス担当者会議

利用児（者）が使用する福祉サービス提供事業所の担当者と利用計画等についての連絡調整を随時行いました。

オ　いずみの家

（ア）運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	5日						1	所長、所長補佐(サービス管理責任者)、指導員
5月	10日						1	
6月	7日						1	
7月	5日						1	
8月	2日						1	
9月	6日						1	
10月	4日						1	
11月	1日						1	
12月	6日						1	
1月	10日						1	
2月	7日						1	
3月	7日						1	
計							12	

（イ）支援会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	19日						1	所長、所長補佐(サービス管理責任者)、指導員
5月	24日						1	
6月	21日						1	
7月	19日						1	
8月	16日						1	
9月	20日						1	
10月	18日						1	
11月	8日						1	
12月	13日						1	
1月	24日						1	
2月	21日						1	
3月	14日						1	
計							12	

（ウ）サービス検討会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	26日						1	所長、所長補佐(サービス管理責任者)、指導員
5月	31日						1	
6月	28日						1	
7月	26日						1	
8月	23日						1	
9月	27日						1	
10月	25日						1	
11月	22日						1	
12月	20日						1	
1月	31日						1	
2月	28日						1	
3月	22日						1	
計							12	

（エ）個別支援計画検討会議

開催日：利用者１人に対して継続Ｂ型年２回、移行年４回実施しました。

参加職種：所長、所長補佐（サービス管理責任者)、指導員

（オ）ヒヤリハット会議

開催日：毎日８時４５分より、前日のヒヤリハット事項について報告し、対応を検討しました。

参加職種：所長、所長補佐（サービス管理責任者)、指導員

カ　ふれあいの家

（ア）職員連絡会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	15日						1	所長(兼理学療法士)、指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師、事務職員
5月	18日						1	
6月	15日						1	
7月	15日						1	
8月	19日						1	
9月	16日						1	
10月	21日						1	
11月	25日						1	
12月	16日						1	
1月	20日						1	
2月	17日						1	
3月	17日						1	
計							12	

（イ）ケース会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	13日	22日					2	所長(兼理学療法士)、指導員、作業療法士、言語聴覚士、看護師
5月	6日	27日					2	
6月	3日	24日					2	
7月	8日	15日					2	
8月	5日	19日					2	
9月	2日	30日					2	
10月	7日						1	
11月	4日	18日					2	
12月	23日						1	
1月	6日	27日					2	
2月	3日	24日					2	
3月	2日	24日					2	
計							22	

（ウ）講習会等推進会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
8月	26日						1	所長、指導員、講習会関係団体
3月	17日						1	
計							2	

（エ）身体障害者福祉センター連携会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
7月	7日						1	所長(兼理学療法士)、指導員
計							1	

※リモートによる開催

（オ）リスクマネジメント会議

開催日：第３金曜午前職員会議終了後、ヒヤリハット事項について報告し、必要に応じ会議にて対応と再発防止策を検討しました。

参加職種：所長、指導員、看護師、作業療法士、言語聴覚士、事務員

キ　その他

（ア）心身障害児総合通園センター運営会議

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	21日						1	センター長、総合通園センター所長、事務局長、大宮学園長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、ひまわりルーム長、たけのこルーム長、ぱれっと所長
5月	19日						1	
6月	16日						1	
7月	14日						1	
8月	18日						1	
9月	8日						1	
10月	20日						1	
11月	17日						1	
12月	15日						1	
1月	19日						1	
2月	16日						1	
3月	16日						1	
計							12	

（イ）施設運営連絡会議（療育センター全体）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	14日						1	事務局長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、いずみの家所長、ふれあいの家所長、ぱれっと所長、発達障害者支援センター所長、事務局長補佐、センター庶務係長、大宮園長、大宮学園庶務係長
6月	9日						1	
8月	4日						1	
10月	13日						1	
12月	8日						1	
2月	9日						1	
計							6	

（ウ）衛生委員会（療育センター全体）

開催日							月実施回数	構成職員
月	日							
4月	13日						1	産業医、衛生管理者、事務局長、療育相談所長、すぎのこルーム長、やまびこルーム長、いずみの家所長、ふれあいの家所長、ぱれっと所長、発達障害者支援センター所長、庶務係長
5月	11日						1	
6月	15日						1	
7月	20日						1	
8月	24日						1	
9月	8日						1	
10月	20日						1	
11月	17日						1	
12月	15日						1	
1月	19日						1	
2月	16日						1	
3月	16日						1	
計							12	

（エ）感染症予防委員会

開催日：令和４年４月８日、令和４年９月１２日

内　容：「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する指針」の確認、新型コロナウイ

ルス感染症の集団感染の対応、食中毒注意報発令に伴う対応について検討しました。

参加職員：療育ｾﾝﾀｰ（大宮学園含む）の各施設委員及び事務局長、事務局長補佐

（オ）虐待防止委員会

開催日：令和４年６月９日

内　容：「虐待防止に関する指針」の周知徹底等及び事例報告を行いました。

参加職員：療育センター（大宮学園含む）各施設長及び事務局長、事務局長補佐、各係長

（カ）身体拘束適正化検討委員会

開催日：令和４年８月４日

内　容：「身体拘束等の適正化のための指針」の周知徹底等等を行いました。

参加職員：療育センター（大宮学園含む）各施設長及び事務局長、事務局長補佐、各係長

（キ）療育相談所見直し会議

開催日：年間を通じて療育相談所職員会議等の開催時に行いました。

内　容：従来業務の運用等の見直しを図るため、意見書発行業務の進捗状況の確認や療育相談所の待機期間の短縮とご家族の不安軽減などを目的に、随時会議を開催しました。

参加職員：療育センター長、総合通園センター所長、療育センター事務局長、療育センター事務局長補佐、療育相談所長、各療育相談所専門スタッフ

（ク）専門職会議（千葉市社会福祉協議会施設福祉部門専門職）

職種	開催日					回数
指導員	5/26	8/31	2/15			3
看護師	6/15	10/26	中止			2
栄養士	6/17	2/6				2
心理判定員	5/25	11/30	3/1			3
言語聴覚士	6/21	11/7	2/27			3
理学療法士	5/24	9/27	1/24	2/28		4
作業療法士	5/24	7/13	10/26	1/18	3/15	5
保育士	7/12	10/27	2/14			3
社会福祉士	5/26	12/13				2
計						27

（7）研修

常に新しい知識・情報を共有できるよう研修会に積極的に参加しました。

ア　療育相談所

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
令和４年度千葉県特別支援教育研究連盟　言語障害教育研究部会　全体研修会	講演会「吃音のある児童はどんな困難に直面するのか」	言語聴覚士	1人	6/8	オンライン
第2回認知行動療法入門－高機能自閉スペクトラム症者への適用－	思春期・おとなの自閉スペクトラム症－認知行動療法研修会－	心理判定員	2人	7/10	オンライン
明治安田こころの健康財団主催子ども・専門講座３	乳幼児のこころと子育て～健やかな成長・発達のために～	心理判定員	1人	7/13	オンライン
令和４年度千葉県特別支援学級・通級指導教室設置校　難聴・言語障害専門部会　千葉県特別支援教育研究連盟　言語障害教育研究部会　合同夏季研修会	講演会「児童期の早口言語症(クラタリング）の発話特徴と支援について」	言語聴覚士	1人	8/1	オンライン
第５５回日本言語障害児教育研究大会	言語発達遅滞の評価と支援、支援の実際、発達障害児の理解と支援	言語聴覚士	1人	8/10	オンライン
発達協会主催　ウェビナー研修	ワーキングメモリの働きと学習。ワーキングメモリに配慮した指導。ワーキングメモリに基づいた支援	作業療法士	1人	8/19、22・24 26・31	オンライン
発達協会主催　ウェビナー研修	心理検査を解釈するための基礎知識、子どもの見立てと予後、成長	理学療法士	1人	8/19、22・24 26・31	オンライン
第15回障害の理解と支援に関する総合研修会	WISC-Ⅳと発達性ディスレクシア。視覚障害者への支援の実際	心理判定員	1人	10/9 10/23	オンライン
日本LD学会　第31回大会	子ども達のWell-Beingを育む	心理判定員	1人	10/29～30、11/13	オンライン
J-Supe！心理職支援システム主催・これから始めるWISC-Ⅴ	WISC-Ⅴの概要講義と事例検討	心理判定員	1人	11/6	オンライン

令和４年度千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修コース２	虐待につながる身体拘束の防止	相談員	２人	11/10・22	オンライン
第６７回日本音声言語医学会総会・学術講演会	世界レベルの音声治療を	言語聴覚士	１人	11/24～25	
2022 年度 JDDnet 第 18 回年次大会	発達障害を捉え直すー発達障害と知的障害の概念整理は福祉・教育・雇用等の現場をどのように変える？ー	心理判定員	１人	12/4	オンライン
日本自閉症スペクトラム学会講座	心理学の基礎知識と自閉症スペクトラム障害。大学における支援。自閉スペクトラム症の人たちに対する医療の関わり	心理判定員	１人	12/10～11	オンライン
日本発達障害学会第５７回大会	知的障害、神経発達症についての最新の知見について講演、研究発表	心理判定員	１人	12/24～25	オンライン
こころ相談研修センター主催新版 K 式発達検査２０２０	基礎、粗点等計算方法	心理判定員	１人	1/14 28	オンライン
自閉症連続基礎講座	自閉症の人の学習スタイル。自閉症の人が好むこと自閉症の人が求める支援基礎からわかる構造化	相談員 理学療法士	４人	1/17 24・31	オンライン
日総研主催オンライン研修	感情コントロールのできない人へのトリセツ	看護師	１人	1/29	オンライン
日本自閉症スペクトラム学会講座	自閉スペクトラム症のアセスメント、診断、合理的配慮などについての講義	心理判定員	１人	1/29	オンライン
日本発達系作業療法学会第 11 回学術大会	親子のためのエビデンスに基づく作業療法の実際	作業療法士	１人	2/8	オンライン
千葉作業療法士会教育部臨床実習指導講習会委員会フォローアップ部門主催第２回フォローアップ講習会	臨床実習指導×CCS「臨床実習指導でおさえるべきポイントとは？」	作業療法士	１人	2/11	オンライン
日本版 WISC-Ⅴ知能検査の活用	WISC-Ⅴの概要、実施方法の説明	心理判定員	１人	2/12	オンライン
千葉県作業療法士会制度対策委員会主催研修	地域作業療法士が提供する社会参加支援	作業療法士	１人	3/14	オンライン

令和４年度千葉市障害者福祉サービス事業者連絡協議会主催研修会	１）行動障害への支援、２）障害者基幹相談支援センターの連携、訪問系事業所指導監査の状況・地域生活支援拠点届け出について	心理判定員	１人	3/16	オンライン
令和４年度事例検討研修セミナー（３月）	千葉県公認心理師会主催事例発表	心理判定員	１人	3/19	
【内部研修】サービス管理責任者研修	サービス管理責任者研修	相談員	１人	1/23	

イ　すぎのこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第 132 回　摂食・嚥下指導（基礎・実習）	嚥下機能とその発達	指導員	１人	5/14	オンライン
医ケアっ子の未来をつくる千葉の会	医療的ケアの基礎知識	ルーム長・　看護師	２人	5/21	オンライン
千葉大学教育学部附属特別支援学校　学校見学会	学校概要・授業参観	保育士・指導員	２人	6/21	
令和４年度　千葉市外郭団体等 AED 心肺蘇生法	普通救命講習	指導員	１人	7/13	
令和４年度　きこえとことばの基礎講座	聴覚障害について理解を深める	保育士	１人	7/29	オンライン
令和４年度　多制度・他機関協働研修会	障害制度と介護保険制度の相互理解	看護師	１人	8/9	オンライン
第 45 回　てんかん基礎講座	てんかんとはどういう病気か	看護師	１人	8/14	オンライン
2022 年度　脳性まひ児　療育関係職員対象講習会	脳性まひ児の生活支援 多職種によるチームアプローチ	看護師	１人	8/20 9/3～4 10/8	
第３回　千葉県こどものリハビリ多職種勉強会	小児リハの発展と連携に向けて　それぞれの立場で出来ること	理学療法士	１人	10/8	オンライン
第 135 回　摂食・嚥下指導（基礎・実習）	嚥下機能とその発達	保育士	１人	10/22	オンライン
医療的ケア児のための保育所等の看護師及び保育士研修会	医療的ケア児の理解	看護師	１人	10/23	オンライン
令和４年度　第１回　療育部会	情報交換会	保育士	１人	10/26	

こども支援・家族支援の実践セミナー	発達障害のある子どもを理解する（支援方法と対応の手立て）	理学療法士	1 人	10/29.30	
令和 4 年度　障害者虐待防止・権利擁護専門研修	虐待につながる身体拘束の防止	指導員	1 人	11/10・22	
令和 4 年度　ST/心理部会　オンライン研修	知的障害や発達障害がある子どもとのコミュニケーション	心理	1 人	11/15	オンライン
令和 4 年度　療育支援部会	摂食・嚥下（障害のある児への食事介助）	指導員	1 人	11/26	オンライン
令和 4 年度　第 4 回　美浜区相談支援事業所意見交換会	現状の課題点等について	ルーム長・　保育士	2 人	12/8	
千葉県通園施設連絡協議会	施設交流会（習志野市あじさい園）	保育士	1 人	12/13	
第 38 回　千葉県通園施設職員研究大会	コロナ禍と子どもの虐待	理学療法士	1 人	12/17	
令和 4 年度　千葉県てんかん支援拠点病院　研修会	てんかんについて	ルーム長	1 人	12/17	オンライン
令和 4 年度　千葉県通園施設連絡協議会　療育部会	障がい児と音楽	保育士	1 人	2/10	
発達協会　２０２３　春のセミナー	不適切な養育を受けた子への支援	指導員	1 人	2/11	
発達協会　２０２３　春のセミナー	「行動の問題」への理解と対応	保育士	1 人	2/19	
【内部研修】 障害者虐待の防止と対応の手引き	障害者虐待防止に関する指針	全職員	8 人	7/27	
【内部研修】医療的ケアの基礎知識	医療的ケアについて	全職員	8 人	7/27	
【内部研修】研修報告	摂食・嚥下指導（嚥下機能とその発達について）	全職員	8 人	7/27	
【内部研修】研修報告	きこえとことばの基礎講座	全職員	6 人	11/30	
【内部研修】研修報告	障害者虐待防止・権利擁護について	全職員	10 人	12/26	
【内部研修】研修報告	発達障害のある子どもを理解する	全職員	10 人	12/26	
【内部研修】研修報告	嚥下機能とその発達　他	全職員	10 人	12/26	

【内部研修】研修報告	「行動の問題」への理解と対応	全職員	9 人	2/27	
【内部研修】研修報告	てんかん発作について他	全職員	9 人	2/27	
【内部研修】感染症予防について	ノロウイルス感染予防について	全職員	9 人	2/27	

ウ　やまびこルーム

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
きこえとことばの基礎講座	聴覚障害教育の基本的な内容について研修し、聴覚障害に関する理解を深める	保育士	2 人	7/29	
さいたま・千葉・横浜　児童発達支援センター（難聴）連絡会	関東首都圏の 3 施設が療育について研鑽し、情報共有を行うための施設見学・情報交換会	ルーム長・保育士	2 人	9/7	
千葉県特別支援教育研究連盟言語障害教育研究部会　秋季研修会	「ことばの教室担当者に知っておいてほしいきこえにくい子の指導・支援	言語聴覚士	1 人	10/19	オンライン
通連協　第 1 回療育部会	各施設の情報交換会	保育士	1 人	10/26	
千葉県特別支援教育研究連盟聴覚障害教育研究部会　研修会	きこえにくいこどもへのことばの指導	言語聴覚士	1 人	10/27	オンライン
令和 4 年度　盲ろう教育研修会	盲ろう児の教育について理解を深め、療育の場面において適切な指導・支援ができる人材を養成	ルーム長　言語聴覚士	2 人	12/3	オンライン
第 2 回千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進連絡協議会（うさぎねっと）	聴覚障がいのある子どもたちの支援体制について	ルーム長	1 人	6/3	オンライン
難聴児の切れ目のない支援体制の構築とさらなる支援の推進に向けた全国研修会	難聴児の早期支援に携わる保健・医療・福祉教育関係者の難聴児理解等	ルーム長	1 人	12/19～1/6	オンライン
オーティコン　子どもの聴こえセミナー	難聴児にとっての補聴器の役割	ルーム長　言語聴覚士　保育士	3 人	9/28	オンライン
令和 4 年度　障害者虐待防止・権利擁護研修	職員のメンタルヘルス	児童発達支援管理責任者	1 人	11/14 12/21	オンライン

日本音声言語医学会学術講演会	世界レベルの音声治療を	言語聴覚士	1人	11/24.25	
日本聴覚医学会学術講演会	音響性聴覚障害の新たな病態像と治療戦略	言語聴覚士	1人	10/5～7	
千葉市小児科医会　子育て応援フォーラム	ことばの発達気になる時に	保育士	1人	1/28	オンライン
聴覚を活用した聴覚障がい児教育オンラインセミナー	「聴覚を活用している聴覚障害児」「子どものきこえを考える　聴覚補償と聴覚情報の活用」	ルーム長	1人	2/24	オンライン
日本コミュニケーション障害学会　講習会	学童期以降の発達性ディスレクシアの理解	言語聴覚士、	1人	2/3	オンライン
通連協　施設交流会	銚子市児童発達支援センターわかば見学と施設の取り組みの説明	保育士	1人	2/9	
聴覚障害早期教育公開研修会	聴覚障害、筑波大学附属聴覚特別支援学校の早期支援、教育活動への理解及び、関係機関との連携、保護者支援に繋げる	言語聴覚士　保育士	2人	2/17	
通連協　第２回療育部会	障がい児と音楽	保育士	1人	2/10	
ソーシャルワーク専門職に向けた発達障害研修	発達障害児・者支援における教育と福祉の連携推進について	保育士	1人	3/25	オンライン
【内部研修】 虐待防止	虐待防止と権利擁護について（伝達研修）	ルーム長・言語聴覚士、保育士、指導員	8人	2/15	
【内部研修】　難聴児療育について	聴覚障害への理解及び療育にあたっての基礎知識	ルーム長・保育士、	4人	12/13、1/24、2/21	

エ　ぱれっと

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
基幹相談支援センター合同研修	介護保険について	所長・主任指導員	3人	4/14	オンライン
基幹相談支援センター合同研修	成年後見制度について	所長・主任指導員	3人	5/12	オンライン

配偶者暴力関連ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝ	DV ｽｰﾊﾟｰﾋﾞｼﾞｮﾝについて学ぶ	所長	1 人	5/17	
ヤングケアラーを支えるために	ﾔﾝｸﾞｹｱﾗｰの実態と支援を学ぶ	所長	1 人	6/5	
基幹相談支援センター合同研修	障害年金について	所長・主任指導員	3 人	7/14	オンライン
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	強度行動障害支援について学ぶ	主任指導員	1 人	7/１4・15	
強度行動障害支援者養成研修（実践）	強度行動障害支援者養成（資格取得）	主任指導員	1 人	9/1・2	
千葉市コミュニティソｰシャルワーカー養成研修	コミュニティソーシャルワーカー養成	所長	1 人	9/8・24・25	
令和 4 年度千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修	身体拘束の防止、行動障害のある人への支援等について	主任指導員	1 人	11/10・22	オンライン
令和 4 年度千葉県障害者虐待防止・権利擁護専門研修	障害者虐待防止法の概要、職員のメンタルヘルスについて	主任指導員	1 人	11/14	オンライン
令和 4 年度千葉市手をつなぐ育成会実践発表会	実践報告（3 報告）	主任指導員	2 人	11/19	オンライン
基幹相談支援センター合同研修	地域生活支援拠点について	所長	1 人	11/25	オンライン
基幹相談支援センター合同研修	行政から見たサービス利用計画書・モニタリング報告書について	主任指導員	2 人	1/12	オンライン
基幹相談支援センター合同研修	まだ間に合う！虐待防止研修	所長	1 人	3/9	オンライン
千葉市障害福祉サービス事業者連絡協議会研修	行動障害のある方への支援	所長	1 人	3/16	オンライン
医療的ケア児等ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ養成研修	医療的ケア児等の支援について学び、コーディネーターとなる	主任指導員	2 人	3/21～24	

オ　いずみの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
AED 研修	職員の誰もが心肺停止による突然死から市民の尊い命を守ることができるようにする	指導員	3 人	7/12,13	

就業支援基礎研修	障害者の就業支援に必要な基本的知識・技術を習得する	所長補佐	1人	7/26～28	
多制度・多機関協働研修	障害制度と介護保険制度の相互理解を図る。	所長補佐	1人	8/9	オンライン
キャリアパス対応生涯研修	自らのキャリアアップの道筋を描き、求められる能力を段階的・体系的に習得することを支援する	所長補佐	1人	10/20～21	
【内部研修】作業におけるミス及び改善の考え方	取引業者との信頼関係を継続していくために必要なノウハウを学ぶ	指導員	7人	11/24～25	
優先調達セミナー	優先調達を活用した仕事の確保ができるよう支援します	指導員	1人	2/22	
【内部研修】虐待防止研修	虐待防止体制について再度確認し、チェック表にて自己評価を行う	全職員	5人	3/28	

カ　ふれあいの家

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
令和4年度千葉市外郭団体等連絡協議会主催職員研修	クレーム対応研修	指導員	1人	7/28	
千葉市育成課主催 管理監督者としてのメンタルヘルス研修	職場のメンタルヘルスについて	所長	1人	9/8	
令和4年度千葉市外郭団体等連絡協議会主催AED研修	AEDの効果的な使用について	指導員	1人	11/16	
【内部研修】 ヒヤリングループ研修	ヒヤリングループの使用方法及び貸出のついての学習	全職員	10人	4/15	
【内部研修】 ふれあいの家業務研修	窓口対応と図書の貸出方法についての確認	全職員	10人	5/27	
【内部研修】 作業療法士による研修	高齢者の「転倒」と骨折についての学習	全職員	10人	7/15	
【内部研修】 看護師による研修	担架の使用方法の習得と設置場所の確認	全職員	9人	9/2	
【内部研修】 福祉カー研修	福祉カーのリフトの取り扱い及び貸出方法についての確認	全職員	8人	10/21	

【内部研修】 身体障害者手帳研修	身体障害者手帳の等級等についての学習	全職員	10 人	11/25	

キ　センター事務局

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
課長補佐研修	チームをまとめて成果をあげるスキルを身につける	事務局長補佐	1 人	4/20･21	
安全運転管理者等法定講習	道路交通法に基づく法定講習	事務局長	1 人	4/22	
課長補佐研修	課長補佐職の役割と部下の指導育成等	事務局長補佐	1 人	5/11･18	
令和 4 年度第 1 回給食部会	各施設の状況報告と今後の課題	栄養士	1 人	6/27	
インボイス研修	インボイス制度導入への対応	事務員	3 人	7/11･29	
管理監督職のためのメンタルヘルス研修	職場のメンタルヘルスについて	事務局長補佐	2 人	9/8	
インボイス制度導入に伴う会計研修	インボイス制度について他	事務	1 人	11/8	
インボイス対応セミナー	消費税とインボイス制度	事務	1 人	11/14	
福祉スキルアップ研修会	「栄養ケア・マネジメントを最初から学ぶ」	栄養士	1 人	11/16	
福祉スキルアップ研修会	「障害福祉サービスにおける各種栄養関連加算の要件について」	栄養士	1 人	12/7	
給食研修会	SDG s とは　食の視点から取り組みを変える	栄養士	1 人	1/17	
産業ストレス学会研修	健康経営と職場のメンタルヘルス	事務員	1 人	1/16	
令和 4 年度千葉市かかりつけ医等発達障害対応力向上研修	意見書発行の意義等について	医師等	2 人	3/29	オンライン

ク　センター共通

研修名	内容	対象職種	受講人数	実施日	備考
第 125 回日本小児科学会学術集会	今日のこどもを取り巻く環境と小児科学会の役割	医師	1 人	4/15 ～ 17	
日本医史学会	近代日本の医療活動の意味	医師	1 人	5/14 ～	

				15	
日本てんかん学会学術集会	てんかん診療の夢と理想の実現に向けて	医師	1人	9/20･22	
日医認定産業医研修会	ストレスチェック集団分析の考え方と実際	医師	1人	2/3	
令和4年度千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者　更新研修	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の資格更新	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者	2人	9～ 11月	
令和 4 年度千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者　基礎研修	サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の資格取得	指導員、言語聴覚士、心理判定員	4人	10～ 2月	
令和 4 年度千葉県相談支援従事者現任研修	相談支援専門員の知識・技術の確認・(演習)	相談支援専門員	5人	11～ 2月	
千葉市社会福祉協議会 階層別研修 係長・リーダークラス職員 e-ラーニング研修	「マネジメントの基本」「ビジネス・コーチング基本コース」「個人情報保護&情報セキュリティ基本コース」「職場のメンタルヘルスケア基本コース」	各施設全職種のうち係長相当職	4人	11/1 ～ 3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別研修 管理者 e-ラーニング研修	「「マネジメントの基本」」「労務管理の基本的な考え方編」「労務管理と健康確保対応編」「労務管理と職場環境づくり」	各施設全職種のうち管理職	8人	11/1 ～ 3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 階層別研修 中堅職員 e-ラーニング研修	「チームマネジメント基本コース」「自分のためのメンタルヘルスケア基本コース」「今からはじめるキャリアベーシックコース」「未来を作るキャリアデザインコース」「問題解決の基本コース」	各施設全職種のうち中堅職員	4人	11/1 ～ 3/31	オンライン
千葉市社会福祉協議会 事業継続計画(BCP)に係る職員研修	BCP に対する理解を深め緊急時対応できる体制の構築を目的とする	各施設管理職等	19人	3/8	オンライン

（8）安全管理（危機管理）

ア　災害対策の内容

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉協議会で統一した災害対応マニュアルを整備し、災害時に備えました。

a　災害レベル別の配備計画

	配備時期の目安	配備体制
警戒配備	市内に地震、風水害等の警報が発令された場合。	施設長は情報収集に努め、職員は速やかに次の段階の体制がとれるように、緊急役割分担の再確認（夜間・休館日は自宅待機）を行って、準備を整える。
第1配備	事業実施に支障はない程度の災害が発生、またはその恐れがある場合。もしくは、市内に震度 5 強程度の地震が発生した場合。	初期対応班が必要な対応を行い、状況を施設長に報告する。施設長は必要に応じて、総務企画課および千葉市に報告する。 夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める場合は、担当職員を施設へ配備する。
第2配備	施設で災害が発生し、今後の事業実施に影響を及ぼす状況である場合。または、市内に震度 6 弱程度の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制により、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、施設長は、総務企画課および千葉市に報告する。夜間・休館日の場合は、警備委託会社からの連絡を受け、施設長が必要と認める、担当職員を施設へ配備する。
第3配備	施設で災害が発生し、事業実施が困難な状況である場合。または、市内に震度 6 強以上の地震等が発生した場合。	緊急連絡体制にのっとって、災害対応マニュアルに沿った対応を行い、初期対応が落ち着き次第、施設長は、総務企画課および千葉市に報告する。また、施設の閉鎖および近隣住民のための開放などについて、千葉市と相談し対応を図る。

b　災害を想定した消防・防災訓練の実施

消防計画に基づき、火災、地震等の災害を想定し、避難訓練を実施しました。また、療育センター全体での防災訓練（総合）を実施しました。なお、防災訓練（総合）のうち一回は、厚生労働省からの指示に基づき「水害・土砂災害の場合」を想定した訓練を実施しました。※「総合」とは通報・消火・避難等の総合防災訓練

(a)療育相談所（事務等含む）

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5 月	24 日			○	2 人	センター全体訓練参加
8 月	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
11 月	17 日			○	1 人	センター全体訓練参加

(b)すぎのこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	12 日	○	○		8 人	
5 月	24 日			○	9 人	センター全体訓練参加
5 月	26 日	○	○		16 人	
6 月	22 日	○	○		9 人	
7 月	15 日	○	○		9 人	
8 月	3 日	○	○		11 人	
8 月	26 日			○	2 人	センター全体訓練参加
9 月	28 日	○	○		13 人	
10 月	24 日	○	○		17 人	
11 月	4 日	○	○		21 人	
11 月	17 日			○	23 人	センター全体訓練参加
12 月	14 日	○	○		13 人	
1 月	27 日	○	○		25 人	
2 月	8 日	○	○		15 人	
3 月	14 日	○	○		19 人	

(c)やまびこルーム

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	28 日	○	○		7 人	
5 月	24 日			○	1 人	センター全体訓練参加
6 月	30 日	○	○		9 人	
7 月	20 日	○	○		7人	
8 月	19 日	○	○		7人	
	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
9 月	15 日	○	○		10 人	
10 月	14 日	○	○		19 人	
11 月	15 日	○	○		13 人	
	17 日			○	10 人	センター全体訓練参加
12 月	14 日	○	○		11 人	
1 月	17 日	○	○		10 人	
2 月	14 日	○	○		12 人	
3 月	17 日	○	○		8 人	

(d)相談支援事業所ぱれっと

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5 月	24 日			○	1 人	センター全体訓練参加

8 月	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
11 月	17 日			○	1 人	センター全体訓練参加

(e)いずみの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
4 月	22日	○	○		28 人	火災想定
5 月	24 日			○	29 人	センター全体訓練参加
6 月	29 日	○	○		29 人	火災想定
7 月	19 日	○	○		30 人	地震、火災想定
8 月	26 日	○	○		28 人	火災想定
9 月	14 日	○	○		29 人	地震、火災想定
10 月	6 日	○	○		29 人	火災想定
11 月	17 日			○	30 人	センター全体訓練参加
12 月	2 日	○	○		30 人	地震、火災想定
1 月	16 日	○	○		31 人	火災想定
2 月	17日	○	○		28 人	火災想定
3 月	6日	○	○		26 人	地震、火災、津波想定

(f)ふれあいの家

月	日	内容			参加者	備考
		避難	消火	総合		
5 月	24 日			○	1 人	センター全体訓練参加
8 月	26 日			○	1 人	センター全体訓練参加
9 月	2 日	○			24 人	はまのわ全体訓練参加
11 月	17 日			○	1 人	センター全体訓練参加
1月	20 日			○	36 人	はまのわ全体訓練参加

イ　事故発生時の報告体制

（ア）緊急時対応に関する基本的な考え方

千葉市社会福祉協議会で危機管理計画を策定し、これに基づく「事故対応マニュアル」を整備し事故発生時に備えました。

（イ）事故発生時の対応

事故が発生した場合は、利用者の安全確保を最優先に迅速に対応しました。また、事故後リスクマネジメント会議を開催し、事故が発生した要因を把握するとともに、事故の再発を防止するための改善策について検討しました。

（ウ）事故発生時および緊急時の連絡

災害等による被害や建物、設備についての事故はありませんでした。

ウ　その他

千葉市から「拠点的福祉避難所」の指定を受けており、災害時に備えました。

（9）苦情解決

当協議会苦情解決事業実施要綱（社会福祉法第８２条の規定に基づく）で定められている苦情受付担当者や苦情解決責任者への苦情の申し出については、療育相談所において１件ありました。また、センター事務所の窓口に常時設置されているご意見箱には意見・苦情等は寄せられておりませんでした。

苦情の内容については、次のとおりです。

①療育相談所での感染症対策について

日時：令和４年１２月７日受付

【苦情の状況】

感染症対策について徹底してもらいたいと障害福祉サービス課に苦情の連絡があった。

【対応状況】

苦情解決責任者から経緯の説明と謝罪をする共に今後の改善策として、換気や消毒を徹底することを伝え、納得して頂いた。

ア　苦情解決責任者

施設名	職名	氏名
療育相談所	所長	加瀬　幹生
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	三代川　一弘
ぱれっと	所長	古川　由布子
ふれあいの家	所長	高橋　忍

イ　苦情受付担当者

施設名	職名	氏名
療育相談所	主任相談員	早坂　俊枝
すぎのこルーム	副主任保育士	鈴木　愛
やまびこルーム	主任言語聴覚士	水戸瀬　春美
いずみの家	所長補佐	丹野　千穂
ぱれっと	主任指導員	田中　久美子
ふれあいの家	主任指導員	谷部　雄大

ウ　第三者委員

近藤みつる（民生委員・児童委員）、伊藤博子（元保育所長）、大野治充（元中学校長）

電話番号　０４３－２０９－８８１５（千葉市社会福祉協議会総務企画課）

エ　その他

施設で話し合って解決しないときは、「千葉県運営適正化委員会」に申し出ることができる体制を整えました。

所在地　千葉市中央区千葉港４番３号　電話番号　043-246-0294

（１０）個人情報保護

個人情報保護への取組

個人情報保護法や千葉市個人情報保護条例に沿って、「個人情報に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を制定しており、当協議会のホームページや各施設内で掲示するとともに、これを遵守できるように、下記のような取り組みを行いました。

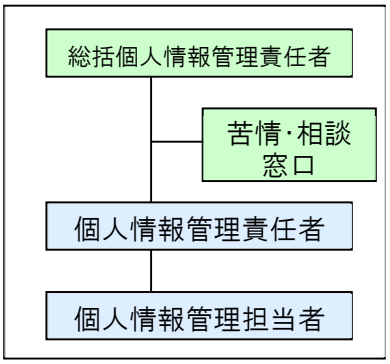
ア　個人情報に関する基本方針

①個人の人格尊重の理念の基に関係法令等を遵守し、個人情報を慎重に取り扱います。
②個人情報を適法かつ適正な方法で取得します。
③個人情報の使用目的をできる限り限定し、その使用目的の範囲でのみ個人情報を使用します。
④あらかじめ明示した範囲及び法令等の規定に基づく場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく外部に提供しません。
⑤個人情報を正確な状態に保ち、漏えい、滅失、き損などを防止するため、適切な措置を講じます。
⑥自己の個人情報について、開示・訂正・削除等の申出があった場合には速やかに対応します。
⑦個人情報の取扱いに関する苦情があったときは、適切かつ速やかに対応します。
⑧個人情報保護に関する適切な管理体制を講じるとともに、職員の意識啓発に努めます。
⑨この方針を実施するため、個人情報保護規程を職員に周知徹底し、確実に実施します。

イ　個人情報保護に関する体制の整備

個人情報の適正な管理を推進するため、当協議会に、総括個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報に関する苦情・相談窓口を設置しています。

また、各施設においても、個人情報保護を遵守し、個人情報の取り扱いに関する苦情に速やかに対応できるように、施設ごとに個人情報管理責任者を配置するとともに、個人情報の管理担当者を施設内に掲示し利用者等に明確にして対応しています。



a　個人情報管理責任者

施設名	職種	氏名
療育相談所	所長	加瀬　幹生
すぎのこルーム	ルーム長	渡辺　弘子
やまびこルーム	ルーム長	斉藤　伸子
いずみの家	所長	三代川　一弘
ぱれっと	所長	古川　由布子
ふれあいの家	所長	高橋　忍

b　個人情報管理担当者

施設名	職種	氏名
療育相談所	主任理学療法士	三井　圭子
すぎのこルーム	副主任保育士	鈴木　愛
やまびこルーム	主任言語聴覚士	水戸瀬　春美
いずみの家	所長補佐	丹野　千穂

ぱれっと	主任指導員	田中　久美子
ふれあいの家	指導員	水木　美帆

ウ　個人情報保護に関する体制の整備

①利用者の氏名や病歴、家族構成などの個人情報は、施錠できる書庫や金庫に格納し、カギの管理を徹底しています。
②利用者の個人情報を収集する際、施設使用中の不慮の事故などによる医療機関や消防署等への個人情報の開示等を想定し、「個人情報使用同意書」をご提出いただきました。
③パソコン等には、ＩＤ、パスワードを設定し、インターネットに接続するパソコンは、ファイヤーウォールの設定やウイルス対策等を講じました。
④個人情報の持出しを原則として禁止しています。やむを得ず持出しする場合は個人情報管理責任者の許可を受けることとし、持ち出す情報の内容・保護方法等の厳しいチェックを行いました。
⑤職員に対して個人情報保護に関する研修を実施するとともに、実習生を含む個人情報に触れる機会のある全スタッフに対して「個人情報に関する誓約書」の提出をしてもらいました。
⑥委託業者との契約締結に伴う契約書に「個人情報取り扱い特記事項」を記載することにより、委託業者に対しても、適正な個人情報の取扱いを徹底しました。

エ　特定個人情報への取り組み

特定個人情報を取り扱う事務の範囲やセキュリティ等、特定個人情報取扱規程に基づき適正かつ厳重に取り扱いました。

（１１）施設の社会化

ア　療育相談所

（ア）実習生の受け入れ

施設機能を生かし、後進の育成を目的として学校等の専門職学生実習を積極的に受け入れて来ましたが、令和４年度については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、実習の受け入れを中止しました。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用し、障害についての理解を深めていただけるよう、毎年、保護者支援『ヒポポの会』の開催時の児童託児を実施していましたが、令和４年度は新型コロナウイルス感染症の対応により、オンライン開催となったため、ボランティア受入がありませんでした。

ボランティア受入担当者　　主任理学療法士　三井　圭子

（ウ）保護者支援

療育相談所および児童発達支援事業を利用している保護者の方を対象に、集団選択についての情報提供を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年実施している講義形式とは異なり、ＺＯＯＭによるオンライン形式で実施しました。

実施日	内容	参加人数
令和４年 6 月 28 日	テーマ：集団選択について 千葉市の幼稚園・保育所等のについての現状 障害児の受け入れ状況や集団選択に向けてのアドバイス	10 人

	千葉市の福祉サービスに関する情報提供	

イ　すぎのこルーム

（ア）実習生の受け入れ

後進を育成するため、学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
保育実習	令和4年6月23日～7月8日	1人	城西国際大学
保育実習	令和4年8月2日～8月18日	1人	千葉大学
保育実習	令和4年8月19日～9月5日	1人	敬愛短期大学
看護学実習	令和4年9月6日	1人	東京情報大学
保育実習	令和4年9月7日～9月9日、9月20日～9月30日	1人	千葉明徳短期大学
看護学実習	令和4年9月8日	1人	東京情報大学
看護学実習	令和4年10月4日	1人	東京情報大学
看護学実習	令和4年10月6日	1人	東京情報大学
看護学実習	令和4年10月13日	1人	東京情報大学
介護等体験	令和4年11月14日～11月18日	1人	昭和学院短期大学
看護学実習	令和4年11月15日	1人	東京情報大学
介護等体験	令和4年12月5日～12月9日	1人	聖徳大学
保育実習	令和5年1月10日～1月13日、1月19日～1月21日	1人	東京家政大学

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　指導員　青木　綾奈

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園児童の兄弟・姉妹の託児）	12人
制作	0人
家族参観（7月・令和5年1月）（通園児童の兄弟姉妹の託児）	6人

※　新型コロナウイルス感染症感染予防のため運動会（通園児童の兄弟姉妹の見守り）で

のボランティア受入を休止しました。

（ウ）交流保育

高洲第３保育所との交流会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から中止しました。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

保護者の疾病その他の理由により家庭において介護を受けることが一時的に困難になった小学校３年生までの肢体不自由児をお預かり（定員１人）し、必要な支援を実施しました。

※　実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和４年度利用実績」を参照

（オ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がすぎのこルームに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
すぎのこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	30 人	70 人

ウ　やまびこルーム

（ア）実習生の受け入れ

令和４年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大及び、職員体制の問題から、保育実習、言語聴覚士実習、介護等体験の受け入れを中止しました。特別支援学校教員「2 年目研修」のみ、7 月に１人受け入れを行いました。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　保育士　松本　和歌子

内容	人数
兄弟姉妹預かり事業の託児（通園する児童の兄弟・姉妹の託児）	18 人
作業補助（製作物の作成）	0 人
秋祭り（会場準備、進行の補助等）	0 人
運動会（会場準備、競技進行の補助等）	0 人
クリスマス会（運営の補助等）	0 人
グループ活動補助	0 人
保護者勉強会（７月・11 月・2 月）（兄弟・姉妹・卒園児の託児）	0 人
卒園式（兄弟・姉妹の託児）	1 人

※　新型コロナウイルス感染症感染拡大のため全体行事を中止し、平日のグループ活動の中での行事開催としたため、行事ボランティアの受け入れはありませんでした。

（ウ）通園児兄弟・姉妹一時預かり事業

「通園児兄弟・姉妹一時預かり事業実施要領」により利用児の兄弟・姉妹等が幼稚園や学校の長期休みの時に、保護者が兄弟・姉妹等を見なければならず、園児がやまびこルー

ムに登園できない場合の対応として、兄弟・姉妹等の受入体制を整備し、園児が必要な療育を受けられるよう支援しました。

内容	実人員	延人員
やまびこルーム 通園児兄弟・姉妹一時預かり事業	7 人	18 人

エ　いずみの家

（ア）実習生の受け入れ

学校等の学生実習を積極的に受け入れました。

実習名	期間	人数	学校名
産業現場実習	令和 4 年 5 月 23 日～27 日	1 人	千葉市立養護学校
介護福祉士実習	令和 4 年 6 月 5 日～8 日	1 人	中央介護福祉専門学校
産業現場実習	令和 4 年 6 月 6 日～17 日	1 人	千葉県立千葉特別支援学校
介護福祉士実習	令和 4 年 6 月 12 日～15 日	2 人	中央介護福祉専門学校
介護福祉士実習	令和 4 年 6 月 19 日～6 月 22 日	2 人	中央介護福祉専門学校
産業現場実習	令和 4 年 6 月 27 日～7 月 1 日	1 人	千葉県立千葉特別支援学校
産業現場実習	令和 4 年 6 月 27 日～7 月 1 日	2 人	千葉市立養護学校
介護福祉士実習	令和 4 年 9 月 12 日～14 日	2 人	中央介護福祉専門学校
介護等体験実習	令和 4 年 9 月 26 日～30 日	1 人	麗澤大学
介護等体験実習	令和 4 年 9 月 26 日～30 日	1 人	聖徳大学
介護等体験実習	令和 4 年 10 月 3 日～7 日	1 人	敬愛大学
介護等体験実習	令和 4 年 10 月 3 日～7 日	1 人	法政大学
介護等体験実習	令和 4 年 10 月 11 日～21 日	1 人	敬愛大学
介護等体験実習	令和 4 年 10 月 24 日～28 日	1 人	帝京平成大学
介護等体験実習	令和 4 年 11 月 7 日～11 日	1 人	法政大学
介護等体験実習	令和 4 年 11 月 28 日～12 月 2 日	1 人	日本大学
介護等体験実習	令和 4 年 12 月 5 日～9 日	1 人	淑徳大学
介護等体験実習	令和 4 年 12 月 12 日～16 日	1 人	秀明大学
アセスメント実習	令和 5 年 1 月 25 日～27 日	2 人	千葉県立千葉特別支援学校

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受け入れ担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

また､ボランティアセンターを通じた募集や学生の受け入れなどを積極的に行いました。

ボランティア受入担当者　　指導員　中村　春香

内容	人数
第１、第２、第３作業室の作業支援	登録者 18 人　（活動延べ 139 人）

※新型コロナウイルス感染症対策として密を避けるため午前 2 人、午後 2 人の枠を設け事前予約で受け入れました。

（ウ）他施設との交流

路線バスを借り上げ、人数を分散するなど新型コロナウイルス感染対策を徹底して 2 年

ぶりにゆうあいピックに参加しました。

（エ）千葉市地域生活支援事業（日中一時支援事業）

日中、障害者を見守る方がいない場合、一時的にお預かり（定員３人）し、必要な支援を実施しました。

※　実績は「２管理業務の実施計画に関すること（２）令和４年度利用実績」を参照

（オ）土日余暇活動支援

市内在住の障害者を対象とした事業を休日に開催し、余暇活動の機会を提供しました。

事業名	日程	開催回数（回）	参加延人数（人）
①健康ウォーキング ②レクリエーション ③ビデオ鑑賞 ④レクリエーション	①令和４年11月20日（日） ②令和４年12月17日（土） ③令和５年１月14日（土） ④令和５年２月５日（日）	4	19

※令和３年度実績：事業名「散策」「スポーツ」「映画鑑賞」開催回数３回　参加延人数25人

オ　ふれあいの家

（ア）実習の受け入れ

新型コロナウイルス感染症拡大により実習の受け入れはありませんでした。

（イ）ボランティアの受け入れ

地域の方々にボランティア活動の場として活用いただくため、ボランティア受入担当者を決めて積極的に行い、障害についての理解を深めていただけるように努めました。

ボランティア受入担当者　　指導員　加藤岡　千晶

内容	人数
パソコン教室	２人（延べ19人）
卓球教室	５人（延べ65人）
点字講習会	４人（延べ34人）
陶芸教室	１人（延べ６人）
視覚障害者バス旅行	５人（延べ８人）

（ウ）小学校生徒の体験学習

千葉市立高洲第３小学校と連携し、体験学習の受け入れを行っていましたが、令和４年度は新型コロナウイルス感染症の対応のため小学校から中止依頼があり実施できませんでした。

カ　その他

（ア）見学の受け入れ

学校・関係機関等の見学を積極的に受け入れました。

見学団体名等	見学日	人数	対象施設
袖ケ浦特別支援学校	令和４年７月６日	１人	すぎのこ

袖ケ浦特別支援学校	令和４年７月７日	１人	すぎのこ
千葉市各区子育てコンシェルジュ	令和４年７月 15 日	９人	全施設
かがやきのまち長沼原	令和４年 10 月 27 日	１人	すぎのこルーム ぱれっと
大原医療保育福祉専門学校千葉校	令和４年 10 月 25 日	３人	全施設
千葉市立海浜病院地域連携室	令和５年２月９日	１人	すぎのこルーム
市原市発達支援センター	令和５年３月９日	３人	すぎのこルーム、療育相談所

（１２）関係機関との連携

ア　療育相談所

保健所・地域医療機関・教育機関・保健福祉センター・福祉機関・児童相談所等と情報交換、連携を図ることにより、地域での療育支援、見守り等が円滑に行えるよう努めました。また、施設の役割として発達障害児支援の啓発に努めました。

（ア）保健福祉センター、児童相談所

利用児に関して、共通理解や共通認識が必要な場合に連携会議等に参加しました。

（イ）幼稚園、保育所

幼稚園協会主催の事例研究会に年３回参加しました。また、保護者に同意が得られた利用者に対して、園での、利用児との具体的な関わり方法について等の情報交換を適宜実施しました。

（ウ）養護教育センター

千葉市特別支援連携協議会（年１回）、特別支援連携協議会実務担当者会議（年２回）、養護教育センター・大宮学園・療育センターの教育相談連携会議（年２回）に参加しました。

（エ）発達障害者支援センター

子育てアシストに年４回参加しました。

（オ）各機関との連絡会議

双方の施設・機関の現状報告および支援内容等を確認しました。

会議名	実施日
教育相談連携会議	令和４年５月 25 日、令和５年３月 10 日
千葉市特別支援連携協議会	令和４年５月 31 日
千葉市特別支援連携協議会実務担当者会議	令和４年９月７日、令和５年２月 14 日
子育て支援ネットワーク会議	令和４年 11 月 15 日

（カ）各担当者電話相談対応

保護者からの相談内容に合わせて、各担当者が電話にて助言、支援等の相談対応を行う他、保護者の同意のもと、対象児が通う幼稚園または保育所等の職員へ対象児の支援法や特性などの助言、情報交換を行いました。

イ　すぎのこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等

との連携を図りました。

（ア）利用児が併行通園している幼稚園、保育所

医療型児童発達支援センターでは、対象児が通う幼稚園及び保育所の職員が見学された件数は２件、情報交換等による連携を行いました。

児童発達支援事業では､対象児が通う幼稚園及び保育所の職員が見学された件数は 2 件、幼稚園や保育所に職員が訪問した件数は 12 件でした。対象児の支援方法や特性等について、情報交換を行いました。

（イ）特別支援学校等教育機関

桜が丘特別支援学校の入学式、運動会、桜翔祭等行事への参加や訪問、見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。なお、学校見学会の中止に伴い、就学担当の先生と保護者が直接電話にて相談できるよう変更しました。

（ウ）医療機関

千葉県千葉リハビリテーションセンターへ１１月に出向き、情報交換を行いました。

（エ）その他

養護教育センターとの教育相談連携会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が中止になりました。

ウ　やまびこルーム

医療機関・児童相談所・保健福祉センター・保育所・幼稚園・学校・養護教育センター等との連携を図りました。

（ア）医療機関

千葉県こども病院、小張総合病院、国際医療福祉大学成田病院等と利用児の情報共有を図るため、文書または電話にて連携を図りました。

（イ）教育機関

千葉聾学校ぱんだルーム、筑波大学附属聴覚特別支援学校けやきルームと早期支援聴覚担当者連絡会を年２回（８、２月）実施しました。ケースに関する情報交換を、文書又は電話にて行いました。

（ウ）千葉県聴覚障害教育ネットワーク推進協議会（うさぎねっと）

１０月にオンラインにて参加し、千葉県内における関係教育事務所、教育委員会、きこえの教室、特別支援学校と聴覚障害教育に関する情報交換を行いました。

（エ）全国盲ろう難聴児施設協議会

主にメールにて、全国の関係各施設と連携し、情報交換、情報提供を行いました。

（オ）横浜・さいたま・千葉児童発達支援センター（難聴児）連絡協議会

９月に横浜市総合リハビリテーションセンターにて施設見学及び情報交換を行いました。

（カ）その他

・８月に千葉県内の医療、教育、市町村の発達支援センター及び利用児の通う児童発達支援事業所、相談支援事業所を対象に公開療育を実施しました。

・必要に応じ、利用児が通う保育所・幼稚園訪問を行い、情報交換を行いました。また、就学に際しては、難聴学級の担当者に引継ぎを行いました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

医療機関･保健福祉センター･他市の障害関係課･福祉サービス事業所等との連携を図りました。

（ア）医療機関

医療機関との連携では、主にこども病院、千葉県リハビリテーションセンター、下志津病院、桜木園等と連携を図りました。

（イ）保健福祉センター

各区高齢障害支援課とは常に連絡を取り、障害福祉サービス受給者証等に関わる事務手続き等の相談を実施しました。

（ウ）福祉サービス事業所

障害福祉サービス事業所・障害児通所支援事業所とは連絡調整・情報交換を行うとともに、事業所訪問時にサービス提供時モニタリングを実施しました。

（エ）相談支援事業所

相談支援事業所との連携では、千葉市障害者基幹相談支援センター（各区）の意見交換会や研修にオンライン開催も含めて月１から２回程度参加しました。

オ　いずみの家

関係施設・関係機関との連絡調整・情報交換などの連携を図りました。

（ア）千葉県障害者就労事業振興センター

障害者福祉施設向けの作業や役務などの依頼や発注に関する情報を提供していただきました。

（イ）千葉障害者キャリアセンター（障害者就業・生活支援センター）

就労移行のご利用者と面談をして就職への助言や、障害者雇用の求人情報をしていただきました。

（ウ）千葉障害者職業センター

就労移行のご利用者について、就労先の会社からの依頼により重度知的障害者判定をしていただきました。

（エ）ハローワーク千葉

就労先、求人情報の提供や就労した方の職場定着に関する相談を受けていただきました。

（オ）特別支援学校等教育機関

進路を考える機会として依頼を受け、実習生を受け入れました。

（カ）相談支援事業所

利用における利用計画書作成やご家族状況も含めた情報提供にご協力いただきました。

（キ）就職先の関係企業

就労が定着するように就職先企業の訪問などを行いました。

（ク）施設連絡協議会

県内施設間の情報交換や会議、研修会への参加を行いました。

カ　ふれあいの家

千葉市障害者福祉センター、千葉市身体障害者福祉連合会、千葉市中途失聴難聴者協会、

市内医療機関、千葉市ボランティアセンター、Bring up ちば子ども発達センター等との連携を図りました。

（ア）関係機関

千葉市身体障害者連合会をはじめとする関係団体とは、各事業の運営協力（千葉市聴覚障害者協会、千葉市中途失聴・難聴者協会、千葉県視覚障害者福祉協会、千葉県聴覚障害者協会、声の市政だより協力会）の他、千葉市障害者作品展への出展、千葉市障害者社会参加推進協議会（２回)、講習会等事業推進会議（２回）での書面・対面による意見交換、情報共有、各事業開催の広報など連携を図りました。

千葉市障害者福祉センターとは、連携会議（1 回）にて意見交換、情報共有しました。

（イ）医療機関等

市内の医療機関、福祉施設、あんしんケアセンターと更生相談、機能訓練、社会適応訓練において連携し、各区保健センター、公民館、コミュニティーセンター、近隣商店、自治会、学校、千葉市ボランティアセンター、千葉市民活動支援センターと各事業開催の広報、ボランティア募集について連携を図りました。

（ウ）はまのわ内施設

はまのわ内施設の Bring up ちば子ども発達センター、市立稲毛高等学校附属中学校とは、日常の施設管理での連携を図りました。

2　管理業務の実施に関すること

（1）目的

ア　療育相談所

（ア）心身障害児及びその疑いのある児に対する、医学的診断及び検査を行うとともに、その障害に応じた療育訓練を行いました。

（イ）障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を行いました。

イ　すぎのこルーム

（ア）医療型児童発達支援センター

上肢、下肢、または体幹に機能障害のある就学前の幼児に対し、心身の健やかな発達と集団生活に適応できる基礎作りを目的とした療育を行いました。

（イ）児童発達支援事業

通所給付費の支給決定を受けた就学前の児童に対し、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応訓練を行いました。

ウ　やまびこルーム

通所給付費の支給決定を受けた就学前の聴覚に障害のある児童が保護者とともに通園し、専門スタッフによる聴覚・言語の指導を行い、コミュニケーション能力を育てる支援を行いました。

エ　相談支援事業所ぱれっと

障害福祉サービスや障害児通所支援支給決定の申請・変更を希望する障害者若しくは障害児の保護者に対し、サービス等利用計画もしくは障害児支援利用計画の作成や一定期間ごとのモニタリングを行うなどの支援を行いました。

オ　いずみの家

（ア）就労移行支援事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、就労を希望する６５歳未満で、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれ、通所できる知的障害のある方に、一般就労へ向けた支援を実施しました。

（イ）就労継続支援Ｂ型事業

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、６５歳未満で雇用契約を締結する通常の事業所に雇用されることが困難な通所できる知的障害のある方に就労継続の支援を実施しました。

カ　ふれあいの家

身体障害者の各種相談・福祉教室・機能訓練等、社会との交流の促進及びスポーツ、レクリエーションのための機会や施設を提供し、障害者の福祉の増進を図り、多様な障害者ニーズに応えました。

（2）令和４年度利用実績

ア　療育相談所

月別利用状況

（人）

月別	開所日数（日）	相談状況						
		新規相談	来所相談	受理面接	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
令和4年4月	20	116	0	44	125	48	0	333
5月	19	77	0	53	173	70	0	373
6月	22	116	0	51	231	48	0	446
7月	20	77	3	30	231	52	4	397
8月	22	66	6	47	215	85	2	421
9月	20	67	3	33	118	106	6	333
10月	20	55	5	45	191	72	4	372
11月	20	93	4	51	194	67	2	411
12月	20	105	0	58	217	91	0	471
令和5年1月	19	62	0	49	191	60	1	363
2月	19	78	0	51	200	77	4	410
3月	22	93	0	42	234	57	2	428
計	243	1,005	21	554	2,320	833	25	4,758
月平均	20.3	83.8	1.8	46.2	193.3	69.4	2.1	396.5
前年度実績	242	1,008	—	625	1,890	1,328	4	4,855
前年度月平均	20.2	84.0	—	52.1	157.5	110.7	0.3	404.6

（人）

月　別	診療状況　（　）は新規									
	小児科		整形外科		精神神経科		耳鼻咽喉科		計	
令和4年4月	346	(40)	4	(1)	16	(6)	24	(8)	390	(55)
5月	401	(45)	2	(0)	15	(3)	20	(9)	438	(57)
6月	402	(42)	7	(1)	22	(8)	37	(14)	468	(65)
7月	356	(27)	5	(1)	13	(3)	20	(1)	394	(32)
8月	445	(41)	7	(0)	26	(9)	24	(5)	502	(55)
9月	386	(31)	5	(0)	18	(5)	27	(7)	436	(43)
10月	392	(43)	3	(1)	27	(5)	26	(8)	448	(57)
11月	413	(49)	3	(0)	27	(5)	35	(9)	478	(63)
12月	384	(59)	5	(2)	24	(5)	32	(9)	445	(75)
令和5年1月	369	(48)	1	(0)	26	(8)	27	(9)	423	(65)
2月	366	(48)	4	(0)	29	(13)	30	(9)	429	(70)
3月	429	(40)	5	(0)	26	(7)	30	(10)	490	(57)
計	4,689	(513)	51	(6)	269	(77)	332	(98)	5,341	(694)
月平均	390.8	(43)	4.3	(1)	22.4	(6)	27.7	(8)	445.1	(58)
前年度実績	5,529	(567)	67	(10)	228	(74)	378	(97)	6,202	(748)
前年度月平均	460.8	(47.3)	5.6	(0.8)	19	(6.2)	31.5	(8.1)	516.8	(62.3)

（人）

月　別	訓練・評価					検査				
	理学療法	作業療法	聴能・言語	心理	計	X線	脳波	一般	意見書	計
令和4年4月	11	12	71	63	157	0	0	40	0	40
5月	19	14	76	89	198	0	0	9	0	9
6月	25	19	73	107	224	0	0	101	0	101
7月	16	9	54	86	165	0	0	2	0	2
8月	17	17	72	117	223	0	0	0	4	4
9月	16	16	63	103	198	0	0	45	4	49
10月	19	18	60	96	193	0	0	16	3	19
11月	22	19	66	103	210	6	0	9	1	16
12月	25	18	66	87	196	0	0	0	2	2
令和5年1月	17	22	58	100	197	1	0	159	0	160
2月	13	23	60	93	189	3	0	1	0	4
3月	17	34	61	90	202	0	0	0	1	1
計	217	221	780	1,134	2,352	10	0	382	15	407
月平均	18.1	18.4	65.0	94.5	196.0	0.8	0.0	31.8	1.3	33.9
前年度実績	307	450	1,221	1,098	3,076	16	0	457	—	473
前年度月平均	25.6	37.5	101.8	91.5	256.3	1.3	0.0	38.1	—	39.4

年間	再相談	他機関連携・調整	他機関への訪問	計
理学療法	3	0	0	3
作業療法	0	0	0	0
聴能・言語	4	26	0	30
心理	23	22	2	47
計	30	48	2	80
月平均	2.5	4.0	0.2	6.7
前年度実績	55	85	2	142
前年度月平均	4.6	7.1	0.2	11.8

新規患者主訴別状況

区分	人数（人）
運動発達の遅れ	41
言葉の遅れ	274
発音不明瞭	96
吃音	19
聞こえの問題	6
対人関係の問題	47
情緒行動の問題	114
集団行動の問題	173
発達障害疑い	2
他機関のすすめ	4
その他	61
計	837

※重複あり

新規患者年齢別利用状況

年齢	人数（人）
0 歳	4
1 歳	17
2 歳	124
3 歳	150
4 歳	129
5 歳	104
6 歳	26
7 歳	0
8 歳	0
9 歳	0
10 歳	0
11 歳	0
12 歳	0
13歳～	0
計	554

※前年度人数　625人

イ　すぎのこルーム（医療型児童発達支援センター・児童発達支援事業）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	医療型児童発達支援センター 定員10人		児童発達支援事業 定員10人		日中一時支援事業 定員1人	
		実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）	実人員（人）	延べ人員（人）
令和4年4月	20	16	50	46	99	0	0
5月	19	15	57	48	120	0	0
6月	22	16	78	54	150	0	0
7月	20	19	79	51	132	1	1
8月	22	18	77	51	112	1	1
9月	20	20	80	46	97	0	0
10月	20	24	141	55	117	0	0
11月	20	23	121	57	127	0	0
12月	20	24	107	59	138	1	1
令和5年1月	19	26	146	53	110	0	0
2月	19	24	130	58	143	0	0
3月	22	25	165	58	121	0	0
計	243	—	1,231	—	1,466	—	3
月平均	—	20.8	102.6	53.0	122.2	0.3	0.3
前年度実績	242	—	734	—	1,920	—	7
前年度月平均	—	14.3	61.2	73.7	160.0	0.6	0.6

※9月医療型児童発達支援センターは、新型コロナウィルス感染症集団感染により休園措置を行ったため、開所日数は17日となります。

ウ　やまびこルーム（福祉型児童発達支援センター）

月別利用状況

月別	開所日数（日）	福祉型児童発達支援センター 定員20人	
		実人員（人）	延べ人員（人）
令和4年4月	20	53	115
5月	19	57	135
6月	22	57	168
7月	21	55	118
8月	22	52	118
9月	20	52	117
10月	20	55	183
11月	20	57	147
12月	20	46	119
令和5年1月	19	55	131
2月	20	54	151
3月	22	57	135
計	245	—	1,637
月平均	—	54.2	136.4
前年度実績	242	—	2,454
前年度月平均	—	68.1	204.5

エ　相談支援事業所ぱれっと

月別契約者数

月別	開館日数	新規契約者数			契約解除者数			契約者数		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和4年4月	20	4	0	4	2	1	3	618	107	725
5月	19	1	0	1	3	1	4	616	106	722
6月	22	2	0	2	9	0	9	609	106	715
7月	20	1	0	1	6	0	6	604	106	710
8月	22	2	0	2	3	0	3	603	106	709
9月	20	0	0	0	3	0	3	600	106	706
10月	20	0	0	0	1	1	2	596	108	704
11月	20	2	0	2	5	2	7	593	106	699
12月	20	2	0	2	6	0	6	589	106	695
令和5年1月	19	5	0	5	4	1	5	590	105	695
2月	19	3	0	3	8	1	9	585	104	689
3月	22	0	0	0	12	1	13	573	103	676
計	243	22	0	22	62	8	70	－	－	－
月平均	－	1.8	0.0	1.8	5.2	0.7	5.9	－	－	－
前年度実績	242	50	0	50	51	2	53	－	－	－
前年度月平均	－	4.2	0	4.2	4.3	0.2	4.5	－	－	－

月別利用状況

月別	開館日数	新規相談			計画書(案)作成			計画書作成		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和4年4月	20	4	0	4	36	5	41	75	11	86
5月	19	1	0	1	31	3	34	53	9	62
6月	22	2	0	2	42	4	46	31	5	36
7月	20	1	0	1	60	7	67	35	2	37
8月	22	2	0	2	56	6	62	39	9	48
9月	20	0	0	0	41	4	45	56	8	64
10月	20	0	0	0	49	6	55	31	10	41
11月	20	2	0	2	51	4	55	53	6	59
12月	20	2	0	2	49	5	54	48	3	51
令和5年1月	19	5	0	5	51	6	57	58	5	63
2月	19	3	0	3	44	6	50	53	3	56
3月	22	0	0	0	76	14	90	66	7	73
計	243	22	0	22	586	70	656	598	78	676
月平均	－	1.8	0.0	1.8	48.8	5.8	54.6	49.8	6.5	56.3
前年度実績	242	50	0	50	620	98	718	701	120	821
前年度月平均	－	4.2	0.0	4.2	51.7	8.2	59.9	58.4	10.0	68.4

月別	開館日数	モニタリング報告書作成			サービス提供時モニタリング			合計		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和4年4月	20	25	16	41	12	1	13	152	33	185
5月	19	56	23	79	16	0	16	157	35	192
6月	22	34	15	49	7	0	7	116	24	140
7月	20	41	7	48	4	0	4	141	16	157
8月	22	43	14	57	9	0	9	149	29	178
9月	20	47	9	56	10	0	10	154	21	175
10月	20	47	27	74	10	0	10	137	43	180
11月	20	53	10	63	16	0	16	175	20	195
12月	20	55	5	60	21	0	21	175	13	188
令和5年1月	19	41	6	47	13	0	13	168	17	185
2月	19	42	3	45	27	3	30	169	15	184
3月	22	53	9	62	14	1	15	209	31	240
計	243	537	144	681	159	5	164	1,902	297	2,199
月平均	―	44.8	12.0	56.8	13.3	0.4	13.7	158.5	24.8	183.3
前年度実績	242	587	129	716	150	12	162	2,108	359	2,467
前年度月平均	―	48.9	10.8	59.7	12.5	1	13.5	175.7	29.9	205.6

月別職員動向

月別	開館日数	利用者／家族,関係機関等との相談及び調整等電話			関係機関等訪問		
		障害児相談	計画相談	計	障害児相談	計画相談	計
令和4年4月	20	753	48	801	147	16	163
5月	19	752	48	800	203	22	225
6月	22	621	39	660	172	19	191
7月	20	531	34	565	189	21	210
8月	22	635	40	675	95	10	105
9月	20	630	40	670	131	14	145
10月	20	757	48	805	165	18	183
11月	20	743	47	790	193	21	214
12月	20	761	49	810	165	18	183
令和5年1月	19	752	48	800	165	18	183
2月	19	766	49	815	111	12	123
3月	22	772	86	858	113	12	125
計	243	8,473	576	9,049	1,849	201	2,050
月平均	―	706	48.0	754	154.1	16.8	170.9
前年度実績	242	7,953	878	8,831	1,739	191	1,930
前年度月平均	―	662.8	73.2	736	144.9	15.9	160.8

オ　いずみの家（就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）

月別利用状況

月別	開所日数	就労移行支援 定員6人		就労継続支援B型 定員34人		日中一時支援事業 定員3人	
	（日）	実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）	実人数（人）	延人数（人）
令和4年4月	20	1	20	31	539	0	0
5月	19	1	18	31	517	2	38
6月	22	2	34	30	593	6	29
7月	20	1	12	29	529	3	3
8月	22	1	13	28	537	1	4
9月	20	0	0	29	523	0	0
10月	20	1	20	29	535	0	0
11月	20	1	20	29	522	1	7
12月	20	1	18	29	505	1	5
令和5年1月	19	2	36	29	495	2	6
2月	19	3	47	28	474	0	0
3月	22	2	38	28	551	1	11
計	243	—	276	—	6,320	—	103
月平均	—	1.3	23.0	29.2	526.7	1.4	8.6
前年度実績	242	—	666	—	6,297	—	143
前年度月平均	—	2.9	55.5	30.9	524.8	2.3	11.9

カ　ふれあいの家

月別利用状況

月別	開所日数	生活・訓練・健康相談（人）	機能回復訓練（人）	巡回訓練		福祉バス			福祉カー	
				日数（日）	人数（人）	日数（日）	団体数（団体）	人数（人）	日数（日）	人数（人）
令和4年4月	25	126	33	0	0	0	0	0	3	16
5月	23	100	35	0	0	9	9	122	1	7
6月	26	88	37	0	0	8	8	117	12	56
7月	26	90	36	0	0	6	5	82	6	26
8月	25	93	28	0	0	1	1	15	6	30
9月	24	92	33	0	0	6	6	141	11	34
10月	25	102	36	0	0	14	13	304	5	24
11月	24	97	38	0	0	16	15	329	9	47
12月	24	79	36	0	0	2	2	32	3	12
令和5年1月	23	79	37	0	0	4	4	95	5	23
2月	22	89	34	0	0	3	3	66	4	16
3月	26	133	38	0	0	12	12	230	10	31
計	293	1,168	421	0	0	81	78	1,533	75	322
月平均	—	97.3	35.1	0.0	0.0	6.8	6.5	127.8	6.3	26.8
前年度実績	293	1,184	297	7	7	60	58	801	34	137
前年度月平均	—	98.7	24.8	0.6	0.6	5.0	4.8	66.8	2.8	11.4

月別	ヒアリングループ		声の市政だより		体育室		その他の施設利用	
	団体数（団体）	日数（日）	日数（日）	部数（部）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）
令和4年4月	0	0	1	72	33	585	159	980
5月	1	5	1	72	30	422	160	1,029
6月	1	6	1	72	32	478	171	1,126
7月	2	8	1	72	36	501	144	997
8月	1	3	1	73	37	488	107	621
9月	0	0	1	72	34	503	142	989
10月	1	2	1	71	38	725	147	1,114
11月	1	1	1	71	37	723	149	1,048
12月	0	0	1	73	33	618	124	922
令和5年1月	1	2	1	72	34	466	114	806
2月	1	3	1	72	33	487	158	1,141
3月	2	4	1	71	31	553	146	997
計	11	34	12	863	408	6,549	1,721	11,770
月平均	0.9	2.8	1.0	71.9	34.0	545.8	143.4	980.8
前年度実績	7	36	17	1,243	366	5,113	1,644	9,970
前年度月平均	0.6	3.0	1.4	103.6	30.5	426.1	137.0	830.8

（ア）創作的活動事業

事業名	期間	予定回数→開催回数(回)	参加延人数（人）
書道教室	4～3月	18	168
パソコン教室	4～3月	18	276
アートDEふれあい教室	4～3月	18	151
組紐教室	4～3月	18	134
絵手紙教室	4～3月	10	120
陶芸教室	5～3月	10	129
音楽療法教室	4～3月	10	108
写真撮影会	5月、10月※[1]	0	0
写真講評会	5月、10月※[1]	0	0
染め物教室(短期)	6、8、11月	3	22
藍染教室(短期)	12月	1	11
パステルアート(OT短期)	6月	1	9
計	—	107	1,128
前年度実績	—	105	1,504

※感染拡大防止対策による部屋の人数制限を考慮した定員にて実施
※5月・10月の写真撮影会・写真講評会は天候不良のため中止

事業名	期間	開催回数（回）	出品作品数（点）
千葉市障害者作品展	10月6～12日	1	58
ふれあいの家作品展	2月1～18日	1	105
計	—	2	163
前年度実績	—	2	208

（イ）社会適応訓練

事業名	期間	開催回数(回)	参加延人数(人)
聞こえにくくなった方の勉強会	5～7月	10	66
視覚障害者バス旅行	5、10月	2	16
肢体・内部・聴覚障害者バス旅行代替え	7、11月	2	16
介護予防勉強会	6、7月	2	11
介護技術勉強会	9、11月	2	11
計	―	18	120
前年度実績	―	18	259

（ウ）ボランティア養成事業

事業名	期間	予定回数→開催回数(回)	参加延人数(人)
要約筆記講習会	5～7月	10	79
音訳講習会	9～12月	10	168
初級手話講習会	9～11月	24	680
中級手話講習会	12～3月	24	669
手話講習会応用編	3月	6	130
点字講習会	1～3月	10	91
計	―	84	1,817
前年度実績	―	84	2,065

（エ）スポーツ・レクリエーション事業

事業名	期間	開催回数(日)	参加延人数(人)
卓球教室	4～3月	18	384
ボッチャ教室　※	5～3月	10	184
サウンドテーブルテニス教室　※	4～2月	10	88
ふれあいレク教室　※	4～3月	18	328
ビームライフル教室(短期)	6月～8月	6	45
ヨガ教室(短期)	10、11月	3	16
心も体もリフレッシュしよう(OT短期)	4、7月	4	20
地域交流会（ボッチャ）	8月	1	20
ふれあいフェスティバル	2月	1	140
計	―	71	1,225
前年度実績	―	67	1,376

※感染拡大防止対策による部屋の人数制限を考慮した定員にて実施

月別施設利用人数集計

月別	相談・訓練事業利用人数		施設貸出利用人数		主催事業参加人数		計	
	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）	団体数（団体）	人数（人）
令和4年4月	－	159	192	1,581	－	171	192	1,911
5月	－	135	200	1,580	－	278	200	1,993
6月	－	125	212	1,777	－	326	212	2,228
7月	－	126	187	1,606	－	258	187	1,990
8月	－	121	146	1,154	－	47	146	1,322
9月	－	125	182	1,667	－	468	182	2,260
10月	－	138	199	2,167	－	497	199	2,802
11月	－	135	202	2,147	－	467	202	2,749
12月	－	115	159	1,584	－	419	159	2,118
令和5年1月	－	116	153	1,390	－	407	153	1,913
2月	－	123	195	1,710	－	573	195	2,406
3月	－	171	191	1,811	－	379	191	2,361
計	－	1,589	2,218	20,174	－	4,290	2,218	26,053
月平均	－	132.4	184.8	1,681.2	－	357.5	184.8	2,171.1
前年度実績	－	1,488	2,075	16,021	－	5,204	2,075	22,713
前年度月平均	－	124.0	172.9	1,335.1	－	433.7	172.9	1,892.8

※令和４年度は感染症拡大防止対策のため、カラオケ活動による施設貸出は中止

※　相談・訓練事業利用人数＝月別利用状況のうち、「生活・訓練・健康相談」、「機能回復訓練」及び「巡回訓練」の人数計

施設貸出利用人数　＝団体数

月別利用状況のうち、「福祉バス」、「ヒアリングループ」、「体育室」及び「その他の施設利用」の団体数

＝人数

月別利用状況のうち、「福祉バス」、「福祉カー」、「体育室」及び「その他の施設利用」の人数計

主催事業参加人数　＝「創作的活動事業」、「社会適応訓練事業」、「ボランティア養成事業」及び「スポーツ・レクリエーション事業」の人数計

（3）事業内容

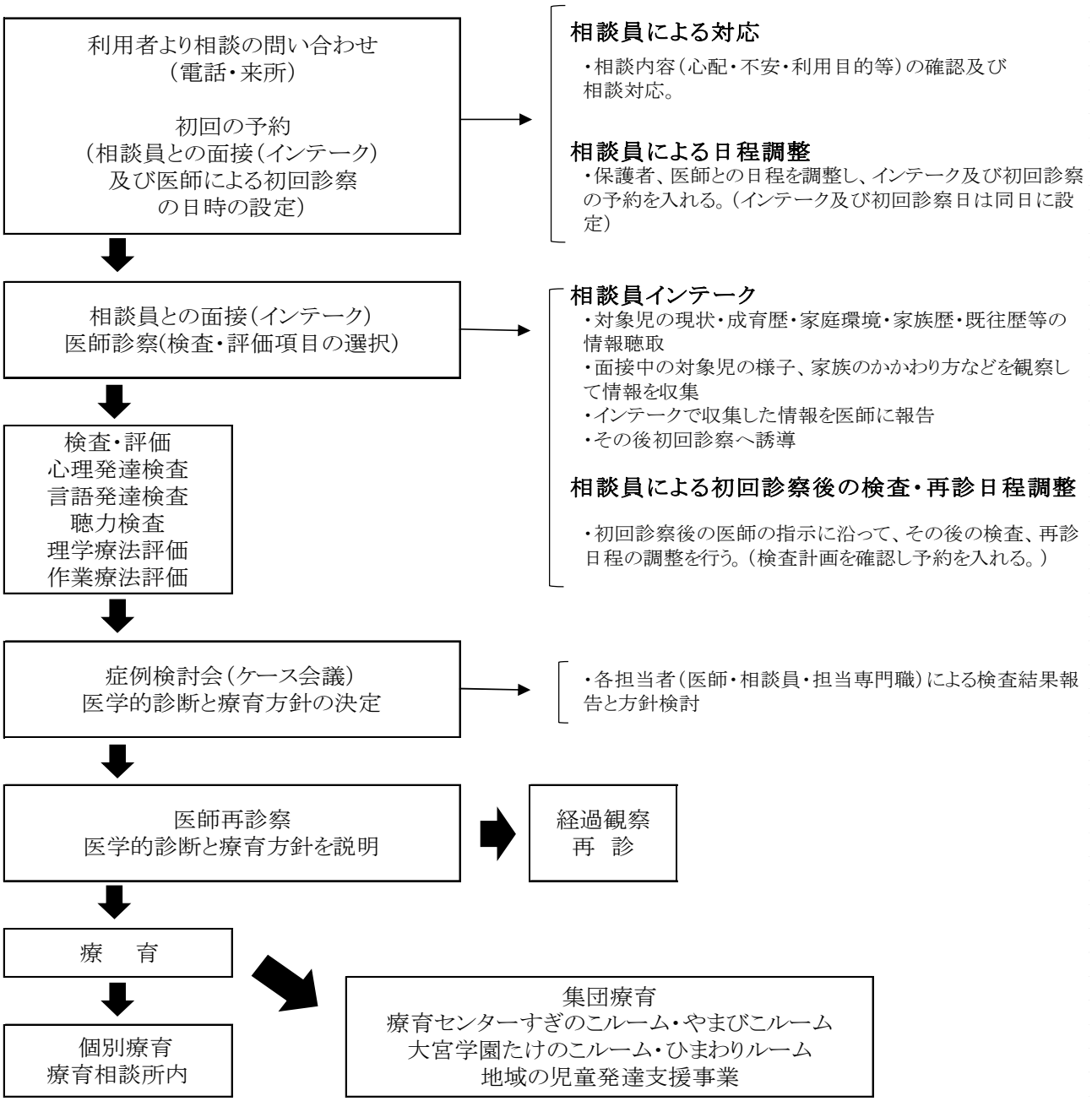
ア　療育相談所

心身障害児に対し、相談・検査・評価・医学的診断・指導を行う外来診療機能と障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を行いました。

（ア）外来診療

対象児	対象児は、0歳から１８歳未満までの、心身の発達に心配や障害がある児童です。
利用料	健康保険法に基づく保険医療機関として認可されており、保険診療の自己負担額を徴収します。診療・訓練をともなわない相談は無料です。

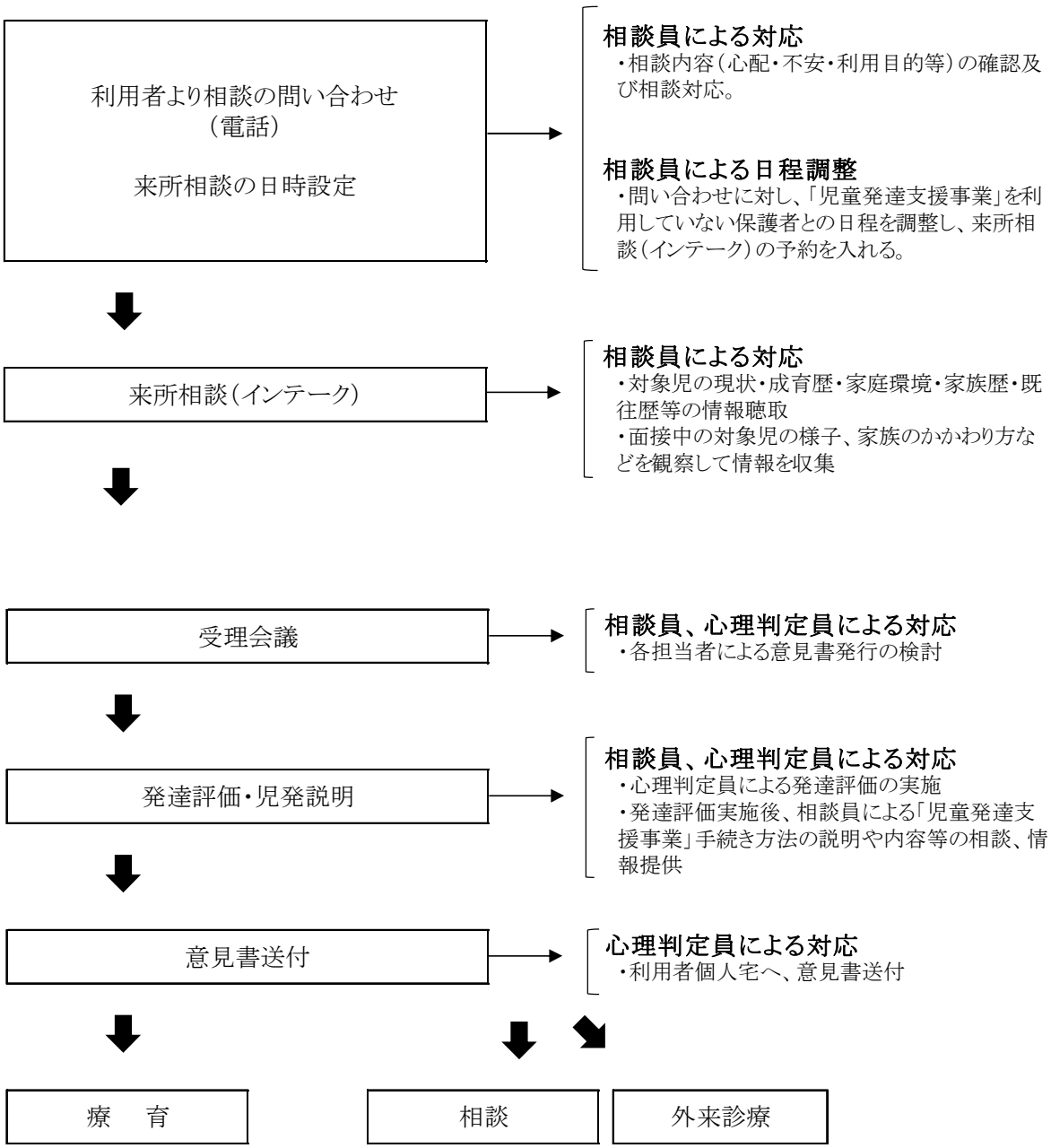
【外来診療利用の流れ】



（イ）意見書発行

対象児	対象児は、0歳から6歳までの、心身の発達に心配がある未就学前の児童です。
利用料	意見書発行にかかわる心理発達評価及び相談は無料です。

【意見書発行利用の流れ】



（ウ）相談

電話や面接により、児童や家族が抱える問題について相談に応じ、適切な支援に繋げました。必要に応じて、福祉制度や社会資源についての情報提供を行いました。関係機関と連携し適切な支援が受けられるようにしました。

（エ）診療科

小児科・小児神経科	ことばや運動の発達に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行いました。
整形外科	骨格・関節・筋肉・神経など運動器系統に心配や問題のある児童の診察を行い、医学診断や補装具等の相談・処方を行いました。
耳鼻咽喉科	聞こえや発音について心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断や補聴器等の相談・処方を行いました。
精神科	発達の遅れや行動面に心配や問題のある児童の診察を行い、医学的診断を行いました。

（オ）診察予定表

	午前		午後	
	診療科・医師名		診療科・医師名	
月	小児科	杉田　克生 木下　裕実	小児科	木下　裕実 遠藤　真美子
火	小児科 （小児神経科）	杉田　克生 久保　美保	小児科	杉田　克生 杉田　記代子（第 1,3） 髙橋　明子（第 1,3,5）
水	小児科 耳鼻咽喉科	木下　裕実 吉井　祥子（第 1,3,5） 嶋田　耿子（第 2,3,4）	小児科 児童精神科 整形外科	木下　裕実 齋藤　千尋（第 2,4） 林　瑤子 村田　淳（第 1,3）
木	小児科	杉田　克生 久保　美保	小児科 耳鼻咽喉科	杉田　克生 小松　健祐（第 2,4）
金	小児科	木下　裕実 杉田　記代子（第 1,3）	小児科	木下　裕実

（カ）検査／評価

医師の指示のもと検査／評価を行いました。

理学療法	運動発達の遅れや身体を動かすことに心配や問題のある児童に対し臨床観察評価：姿勢（臥位・座位・立位など）・移動手段（ずり這い・四つ這い・歩行など）毎に姿勢・運動の状態を評価しました。
作業療法	運動発達、精神発達の遅れや日常動作に心配や不安のある児童に対し、運動機能・感覚統合機能・認識機能・社会機能・摂食機能等の評価を行いました。
言語療法	言語発達の遅れ、発音の問題、聞こえの問題、吃音などの言語の障害やコミュニケーション関係に問題を持つ児童に対し、対象児の状態や年齢を考慮し、言語発達遅滞検査・言語能力・会話・コミュニケーション能力・構音・吃音・聴力検査等を行いました。
心理判定	発達に何らかの心配や問題のある児童に対し、対象児の年齢、状態に応じ

	た発達検査・知能検査・行動観察等を行いました。

（キ）療育

医師の診断に基づき療育が必要と判断した場合は、保護者の理解のもと適切な療育支援を行います。対象児の障害及び程度を考慮しながら対象児に適した療育方法を検討し、個別指導療育もしくは児童発達支援事業に繋げました。

個別療育	医師の診断、各専門職の評価の中で個別の療育が必要と判断された児童に対し、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理判定員による、必要に応じた専門職の個別指導を行いました。 対象児個々の目標を設定し、指導内容・指導回数等を検討しながらリハビリテーション実施計画（個別支援計画）を立案し、保護者の了承のもと計画に沿って個別指導を実施しました。支援計画については対象児童の発達や成長に応じて、定期的に見直しを行いました。

（ク）千葉市の乳幼児健診への協力

乳幼児精密健康診査指定機関として精密健康診査を行いました。

三歳児耳鼻科二次健診派遣：千葉市健康支援課保健衛生事業に言語聴覚士を派遣し、検査を行いました。

実施日	派遣先
千葉市障害者相談センター	5月19日・7月7日・9月15日・1月13日 3月9日　計5回

（ケ）職員の派遣

研修主催および内容	派遣日	派遣講師職員	参加者人数
千葉市幼稚園協会　事例研究会 「特別支援教育事例研究会」	6月15日 10月19日 1月18日	療育相談所長 （講師）	市内幼稚園教諭 毎回40人参加

イ　すぎのこルーム

【医療型児童発達支援センター】

（ア）療育

a　目　標

・様々な遊びを経験する中で、自発性を育てるよう支援しました。
・人や物への関わりを広げ、自己表現力を育てるよう支援しました。
・生活リズムを整え、基本的な生活習慣を身につけるよう支援しました。
・保護者が主体性をもって子育てに取り組めるように育児支援を行いました。
・利用児が健康に生活していくための基礎作りを、保護者と共に行いました。
・個別支援計画･リハビリテーション計画に基づき、個々の発達に応じた個別指導を行いました。

b　個別支援計画

利用児の課題と保護者の意向を把握し、個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明し同意を得たうえで作成しました。

c　療育内容

保育	①生活リズムの調整、基本的な生活習慣（食事、排泄、衣服の着脱など）の援助や利用児が持っている力を発揮できるように取り組みました。 ②家庭以外の生活の場として集団生活に向けての基礎作りを行いました。 ③様々な遊びを経験し、意欲や自発性、積極性等を育てるよう支援しました。 ④保護者と共に通園することにより、対人関係の基となる親子関係を育み、様々な発達段階にある児童に応じた療育を行いました。	
保育形態	グループ保育	保育士、指導員が担当し、グループ保育を行いました。
	分離保育	母親以外の人とも過ごせるようになること等を目的として、年齢に応じた回数で分 離保育を行いました。
	遊び別グループ保育	利用児の目的に応じたグループ編成を行い、２週に１回実施しました。
	個別保育	集団での療育を基本とした上で、より個々に合わせた支援を行いました。

d　医師による診察及びリハビリテーション計画説明、発達評価・個別指導

医師による診察、相談を行い、診察後、医師の指示により各専門職員よる評価を行いリハビリテーション計画に基づき個別指導を行いました。

理学療法	・姿勢や運動面のよりよい発達を促すための援助及び保護者支援を行いました。 ・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応じました。
作業療法	・日常生活に密着した遊び、生活動作等についての援助及び保護者支援を行いました。 ・発達に合った日常生活用具の調整、補装具、車椅子作成および相談に応じました。 ・利用児の状態に応じた食形態の指導、相談を行いました。
心理判定	・発達検査での行動観察を通して利用児の発達段階や発達課題を把握し、保護者支援を行いました。

（イ）日課表

時　間	内	容
10:00	登園　朝の集まり　生活指導	個別指導 診察
10:20	保育	
11:20	給食準備 給食指導	
11:40	帰りの集まり	
12:50	生活指導 保育	個別指導

13:00		診察
13:20	生活指導	
14:00 14:30	帰りの集まり　　降園	

（ウ）各種行事

季節に応じた行事やレクリエーション等を実施いたしました。また、利用児の保護者等に対しては個別支援の他に勉強会や交流の場を設けて支援を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
新年度オリエンテーション	令和4年4月21日	「運営方針」に基づいて、当年度の療育体制について保護者に説明。	6人
園外療育（千葉市動物公園）	令和4年5月20日	園児の生活経験を広げ、保護者が園児を連れて外出するきっかけとなるよう親子で楽しむ。	10人
就学指導（学校見学）	新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止		
保護者勉強会	令和4年6月23日	特別支援学校ＯＢ体験談（桜が丘特別支援学校）	5人
保護者勉強会	令和4年6月30日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導	2人
家族参観	令和4年7月2日	園児の療育を家族に見てもらい、子供とルームへの理解を深め、他の家族との交流の場とした。	31人
運動会	令和4年10月15日	場所：３階体育室 生活経験の拡大、集団行動経験、家族交流等。	52人
保護者勉強会	令和４年10月27日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導	11人
保育所交流	新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止		
芋掘り遠足	令和4年11月7日	通常の療育ではできない芋掘りを体験することにより、園児の生活経験を広げた。 於：農政センター	24人
保護者勉強会	令和4年12月1日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導	7人
音楽療法	令和4年12月2日	音楽のもつリラックス効果などを利用して、より豊かな生活を送ることが出来るようにアプローチした。	16人

クリスマス会	令和 4 年 12 月 16 日	親子ゲームや職員の出し物、サンタクロースとの交流を通して季節の行事としてクリスマスを楽しんだ。	22 人
家族参観日	令和5年1月21日	日々の療育を積み重ねてきた園児の成長をひとつの劇を通して発表する場を設けた。	49 人
芸術鑑賞会	新型コロナウィルス感染症拡大防止のため中止		
音楽療法	令和5年2月10日	音楽のもつリラックス効果などを利用して、より豊かな生活を送ることが出来るようにアプローチした。	16 人
保護者勉強会	令和5年2月16日	千葉県歯科医師会訪問摂食嚥下指導	7 人
卒園式	令和5年3月24日	令和 4 年度卒園式	27 人
お別れ会	令和5年3月31日	親子ゲームや職員の出し物等を行うことで卒園児と在園児が共に楽しめる機会とした。	20 人

【児童発達支援事業】

（ア）療　育

a　プレ集団グループ（３グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にまだ所属していない児童を対象に、親子遊びを中心にして経験を広げ、生活習慣を身につけるための援助や指導を個々の発達状況に配慮して行いました。

日　課　表

プレ集団グループ	時　間	内　　容
第１グループ 月・水・木曜日	１０：００ １０：２０ １１：４０ １２：１５ １２：３０	身支度　自由遊び　保護者との話し 体操、親子遊び 集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給 設定保育 給食 歯磨き　　身支度 おかえり
第２グループ 金曜日	１０：００ １０：２０ １１：３０ １２：００	身支度　自由遊び　保護者との話し 体操、親子遊び 集まり(呼名･ペープサート等)、トイレ・水分補給 設定保育 おやつ　身支度 おかえり

b　集団参加児グループ　（７グループ）

幼稚園や保育所など一定の集団にすでに所属している児童やまだ集団に所属していない児童（火曜日の午前のみ）を対象に、小集団での経験を積み重ねることで所属集団への適応を目指すと共に、必要に応じて所属集団との連携を図りました。 なお、年長児グループにおいては保護者への就学支援を行いました。

日　課　表

集団参加児グループ	時　間	内　　容
第１グループ 火曜日	１０：００ １０：２０ １１：４０ １２：１５ １２：３０	身支度　自由遊び　保護者との話し リズム体操 集まり(呼名･ペープサート等) トイレ・水分補給 設定保育 給食 歯磨き　身支度 おかえり
第２グループ 火・水・木・金曜日及び月曜日の隔週	１４：３０ １４：５０ １６：３０	身支度　自由遊び　保護者との話し リズム体操 集まり(呼名･ペープサート等) トイレ・水分補給 設定保育 身支度 おかえり

c　発達障害児グループ　（３グループ）

知能の発達はノーマル域にある発達障害児を対象に、小集団での活動を通して、社会的コミュニケーション能力を身につけ所属集団への適応を促す支援を行い、また、必要に応じて所属集団との連携を図りました。なお、年長児グループにおいては保護者へ就学支援を行いました。

日　課　表

発達障害児グループ	時　間	内　　容
火、金曜日の隔週	１５：００ １５：２０ １６：１５ １６：３０	身支度　　自由遊び 集まり(呼名･ペープサート、活動の説明等) 設定保育 紙芝居　　シール貼り　身支度 おかえり

ウ　やまびこルーム

【福祉型児童発達支援センター】

（ア）療　育

a　個別支援計画の作成

児童の課題と保護者の意向を反映し、年 2 回個別支援計画を作成しました。この個別支援計画は、保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。

b　療育内容

個々の利用児の身体及び精神発達、聴覚・言語発達に応じて療育を行いました。また、保護者に対して、助言及び情報交換等を実施しました。

聴覚・言語及びコミュニケーションの指導	集団指導と個別指導を有機的に関連させながら、療育プログラムを実施しました。個別療育では、定期的に聴力検査を実施し、適宜、補聴器の調整と装用指導を行いました。また、個々の児童の発達状況に合わせた遊びや体験活動、課題学習等を通して、ことばや聴く力、人と関わる力を保護者とともに取り組みました。
集団生活の適応支援	集団療育では、児童同士の関わりのなかで、社会性やコミュニケーションの力を身につけられるよう取り組みました。
聴覚面の健康管理	耳鼻科医による定期的な診察と言語聴覚士による聴力検査を行い、聴覚面の健康管理に努めました。
家庭での実践	個別支援計画に基づいて保護者支援を行い、家庭で実践できるよう支援しました。

c　療育形態

区　分	対　象　児		形　態	
親子通園	聴覚障害児	0 歳児	集団療育　（午前親子療育）	個別療育
		1 歳児	集団療育（午前親子療育）	個別療育
		2 歳児	集団療育（午前親子療育）	個別療育
		3～5 歳児	集団療育 14：30～15：30　親子療育 15：30～16：00　分離保育 保護者支援	個別療育

d　集団療育

様々な活動を通してコミュニケーション関係、及び言語や聴く力を育てる指導を行いました。また保護者に対しては、年齢に応じた親子のコミュニケーションの持ち方、育児及び聴覚障害の認識、受容などについて話し合い、助言しました。

集団療育の日課表

年齢	時　間	主な活動	指　導　内　容
0・1 歳児	10：30	登園 親子活動	朝の集まり：おはようの歌、お名前呼び 体操・遊戯 紙遊び、パラバルーン、ボール遊び、楽器遊び、散歩など

			手遊び歌、ふれあい遊び
	11：20	保護者支援	難聴について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。
	12：00	降園	
２歳児	10:30	登園	朝の集まり：おはようの歌、お名前呼び
		親子活動	体操・遊戯、 歌、手遊び、ごっこ遊び、劇遊び、製作活動、楽器遊び、散歩など
	11：30	保護者支援	難聴や言葉の発達について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。
	12：00	降園	
３ ～ ５歳児	14：30	登園	集まり
		親子活動	あいさつ、名前呼び、カレンダーワーク、補聴器の点検、絵日記 体験活動、ごっこ遊び、劇遊び、伝承遊び、歌、制作活動、ルールのある遊びなど
	15：30	分離保育	児童同士の関わりを大切に、自由遊び、制作、ごっこ遊びなどを行う。
		保護者支援	難聴や言葉の発達について理解を深め、お子さんと適切に関われるよう、説明や話し合いを行う。 幼稚園等集団の様子を話し合い、助言をする。
	16:00	降園	

ｅ　個別療育

個々の児童の年齢、聴力レベル、発達に合わせて、言語・コミュニケーション指導、及び聴力検査、補聴器の調整と装用指導を行いました。保護者に対しては、家庭療育や育児、遊び、障害の認識などについて話し合い助言しました。

ｆ　オンラインによる個別療育

新型コロナウイルス感染症感染拡大の中、来所を控える利用者に対して、オンラインによる個別指導（通常と同じ１時間）を実施しました。

（イ）保護者支援

コミュニケーションは、日常生活の中で育まれます。保護者が子どもとの関わり方を理解し、日常生活の中で子どもの気持ちに共感しながら、豊かなコミュニケーションができるよう支援しました。年長児の保護者に対しては、就学に向けた情報提供を行い、適宜相談、助言をしました。また、講師を招いての保護者勉強会（オンライン）や補聴器、人工内耳の勉強会、卒園児保護者のお話しを聞く会などを実施しました。

保護者支援	開催日	内容	参加者数
補聴器勉強会	令和４年６月 10 日 ６月 28 日 ７月 21 日	補聴器会社担当者を招き、補聴器やデジタル補聴援助システムについての説明を聞いた。	延べ 保護者 14 人

保護者勉強会 オンライン	令和 4 年 7 月 2 日	「今までを振り返って、難聴児の療育を考える」をテーマに、ご本人も難聴者である東京大学先端科学技術研究センター職員　志磨村早紀氏の講演会を行った。	在園児 保護者 23 人 卒園児 保護者 10 人
人工内耳装用児保護者向け勉強会及び懇談会 対面・オンライン	令和 4 年 6 月 15 日 6 月 24 日	人工内耳メーカー担当者による人工内耳の説明および、保護者同士の情報交換を行った。	延べ 保護者 13 人 うちオンライン参加 1 人
卒園児保護者のお話会	令和 4 年 10 月 5 日 10 月 21 日 11 月 22 日 11 月 25 日	3 歳以上児の保護者を対象に、居住地別に就学をテーマに卒園児保護者の話を聞いた。	延べ 保護者 32 人 うちオンライン参加 2 人
保護者勉強会	令和 5 年 2 月 17 日	年中、年長児の保護者を対象に千葉市立院内小学校難聴学級の担当教諭を招き、難聴学級の説明を聞いた。	保護者 10 人

（ウ）卒園後支援

やまびこルーム卒園後、就学する児童については、切れ目のない支援が受けられるよう就学先や難聴学級と連携をとり、引継を行いました。また、卒園児交流会などで、保護者支援や在園児との交流の機会を作りました。

卒園後支援	開催日	内容	参加者数
ちゅーりっぷグループ	令和 4 年 8 月 31 日	肢体不自由の重複障害を持つ在園児と卒園児の交流を図り、保護者同士の情報交換を行う。	園児 2 人 卒園児 1 人 保護者 3 人
卒園児交流会	令和 5 年 2 月 26 日	卒後支援の一環として、普段交流のない卒園児・在園児（年中、年長児）親子の交流や情報交換の場とする。今年度は、フルートとピアノの演奏とレクリエーションを行った。（外部講師）	在園児 8 人 卒園児 10 人 保護者 18 人

（エ）地域支援

やまびこルームに在籍する児童が居住する市町村の発達支援センターや児童発達支援事業所、相談支援事業所を対象とした公開療育を行い、やまびこルームの療育を知ってもらうとともに、児童の発達支援のための連携を呼びかけました。また、在園児が併行通園している幼稚園、保育園、児童発達支援事業所等と訪問、電話、オンライン等で連携を行いました。

地域支援	開催日	内容	参加数
公開療育 オンライン	令和 4 年 8 月 30 日	やまびこルーム在園児が通院する主な耳鼻科の医療機関、県内聾学校、利用児の	22 施設 29 人

		居住する地域の発達支援センター、在園児に関連する相談支援事業所等に、やまびこルームの療育について説明し、地域連携の強化を図った。	
関係機関との連携	令和4年4月～令和5年3月	併行通園している幼稚園、保育園、児童発達支援事業所、市町村の発達支援センター、病院などへ訪問、電話、オンライン等で連携をはかった。（卒園児支援も含む）	延べ　104件

（オ）行事

新型コロナウイルス感染症のために中止していた全体行事でしたが、規制緩和を受け、秋祭りを午前・午後の２部制にして体育館で実施しました。運動会、クリスマス会など季節に応じた活動は数日に分けて、人数制限を設定して実施しました。昨年度に続き、異年齢交流グループも実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
異年齢交流グループ活動	令和4年4月～ 5年4月 （11回実施）	異年齢のお子さん同士、保護者同士の交流のため、通常とは違う小グループを編成し、活動を行う。	延べ 園児　55人 保護者　55人
秋祭り	令和4年10月23日	場所：３階体育館 午前・午後の2部制で、模擬店などでコーナー遊びをしながら、秋祭りの経験をする。	園児　27人 保護者27人
クリスマス会	令和4年12月16日 12月20日 12月26日	場所：2階やまびこルーム指導室 クリスマスの雰囲気の中で、制作やライト遊び､身振りのある歌や楽器を楽しむ。	延べ 園児　20人 保護者　20人
手話で遊ぼう	令和5年1月24日 2月21日	手話の講師を招き、前半は保護者への手話講習会、後半は親子で手話を使った歌などを楽しみ､手話に触れる経験をする。	延べ 園児　10人 保護者　10人
令和 4 年度卒園式	令和5年3月28日	午前は個別指導利用児、午後はグループ指導参加児を対象とし、2 部制で実施した。	園児　10人 保護者　13人

エ　相談支援事業ぱれっと

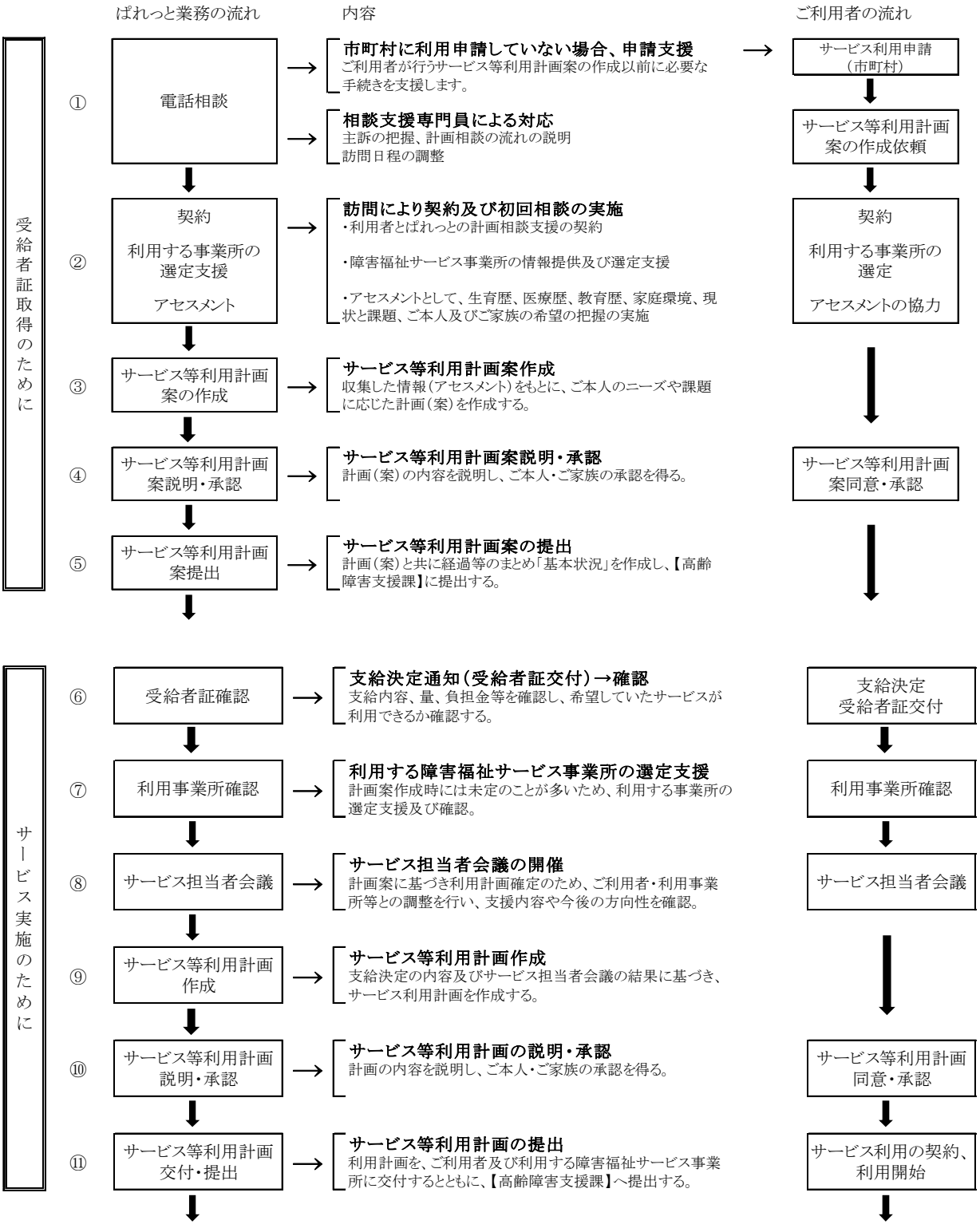
（ア）対象者

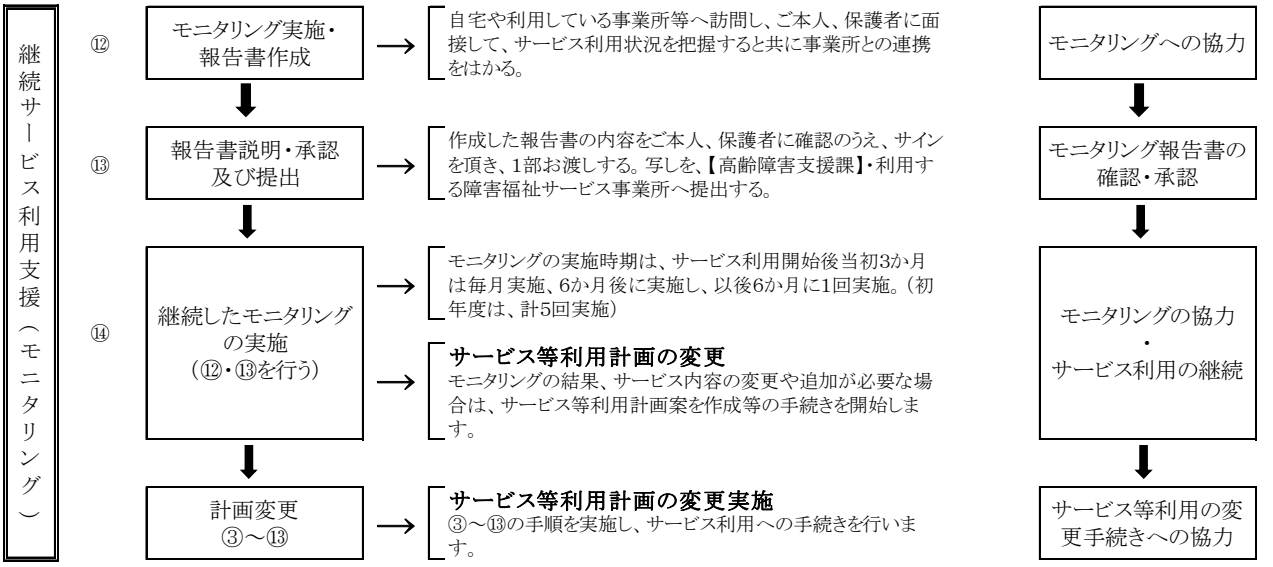
受給者証の更新児（者）を中心に可能な限り新規の計画作成及びモニタリングを行いました。

（イ）利用料

無料

（ウ）利用の流れ


ぱれっと業務の流れ
内容
ご利用者の流れ
受給者証取得のために
①
電話相談
市町村に利用申請していない場合、申請支援
ご利用者が行うサービス等利用計画案の作成以前に必要な手続きを支援します。
サービス利用申請（市町村）
相談支援専門員による対応
主訴の把握、計画相談の流れの説明
訪問日程の調整
サービス等利用計画案の作成依頼
②
契約
利用する事業所の選定支援
アセスメント
訪問により契約及び初回相談の実施
・利用者とぱれっとの計画相談支援の契約
・障害福祉サービス事業所の情報提供及び選定支援
・アセスメントとして、生育歴、医療歴、教育歴、家庭環境、現状と課題、ご本人及びご家族の希望の把握の実施
契約
利用する事業所の選定
アセスメントの協力
③
サービス等利用計画案の作成
サービス等利用計画案作成
収集した情報（アセスメント）をもとに、ご本人のニーズや課題に応じた計画（案）を作成する。
④
サービス等利用計画案説明・承認
サービス等利用計画案説明・承認
計画（案）の内容を説明し、ご本人・ご家族の承認を得る。
サービス等利用計画案同意・承認
⑤
サービス等利用計画案提出
サービス等利用計画案の提出
計画（案）と共に経過等のまとめ「基本状況」を作成し、【高齢障害支援課】に提出する。
サービス実施のために
⑥
受給者証確認
支給決定通知（受給者証交付）→確認
支給内容、量、負担金等を確認し、希望していたサービスが利用できるか確認する。
支給決定
受給者証交付
⑦
利用事業所確認
利用する障害福祉サービス事業所の選定支援
計画案作成時には未定のことが多いため、利用する事業所の選定支援及び確認。
利用事業所確認
⑧
サービス担当者会議
サービス担当者会議の開催
計画案に基づき利用計画確定のため、ご利用者・利用事業所等との調整を行い、支援内容や今後の方向性を確認。
サービス担当者会議
⑨
サービス等利用計画作成
サービス等利用計画作成
支給決定の内容及びサービス担当者会議の結果に基づき、サービス利用計画を作成する。
⑩
サービス等利用計画説明・承認
サービス等利用計画の説明・承認
計画の内容を説明し、ご本人・ご家族の承認を得る。
サービス等利用計画同意・承認
⑪
サービス等利用計画交付・提出
サービス等利用計画の提出
利用計画を、ご利用者及び利用する障害福祉サービス事業所に交付するとともに、【高齢障害支援課】へ提出する。
サービス利用の契約、利用開始



a　受給者証取得のために

利用契約	計画の作成やその後のモニタリングをするための契約を締結しました。
アセスメント	ご本人の様子や日常生活の状況、利用者及び保護者の意向等を確認しました。
計画案作成	面談を通じて「サービス等利用計画案」「障害児支援利用計画案」を利用者及び保護者の同意のもと作成しました。

b　サービス実施のために

サービス利用調整・計画作成	支給決定を踏まえ、サービス担当者会議の開催等により、計画案の内容を事業所の担当者に説明すると共に専門的な意見を求めました。また、計画作成は利用者及び保護者の同意のもと作成しました。

c　継続サービス利用支援（モニタリング）

モニタリング	作成した計画の実施状況について定期的(受給者証に記載されている期間ごと）に把握（モニタリング）しました。また、モニタリングの結果、必要に応じて計画の変更を行いました。
サービス提供時モニタリング	その他に適時、自宅や事業所でのサービス提供時にモニタリングを実施しました。

d　その他

ご利用者・ご家族からの相談への対応や事業所との連絡を随時行いました。

オ　いずみの家

【就労移行支援】

（ア）個別支援計画

a　個別支援計画作成

就労移行の個別支援計画作成に関する考え方	個別支援計画は、施設を利用する上での基本計画であるため、利用者のニーズや要望を十分に把握し、利用者や保護者に説明して同意を得たうえで作成しました。

	就労移行支援においては、利用者の適性や長所を知ることと、評価をフィードバックすることを重視して個別支援計画を作成し、就労支援のみならず、生活全体の支援を行いました。 また、計画内容は３ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。
作成体制と支援の流れ	個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労移行支援プログラム）は次項のとおりで、基本的に２年以内での就労を目指しました。

b　支援プログラム

＜支援プログラムのポイント＞

・基礎体力、理解力、作業能力等の向上 ・持続力、集中力等の労働習慣と意欲の向上 ・職場における協調性の向上 ・職場規律・社会規律の遵守 ・職場への定着力の向上

<table>
<tr><th>期間</th><th colspan="2">支援ステップ
（就労移行支援プログラム）</th><th colspan="2">個別支援計画の
作成・反映の流れ</th><th>支援者</th></tr>
<tr><td>利用
開始前</td><td colspan="2">・面談・アセスメント（初期評価）</td><td colspan="2"></td><td>サービス
管理責任者</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">・課題抽出</td><td colspan="2"></td><td>生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">・就労移行個別支援計画作成</td><td colspan="2">⇔</td><td>サービス
管理責任者</td></tr>
<tr><td>0～6
ヶ月</td><td rowspan="4">対人力
生活力
向上
プログラム</td><td>・労働スキル向上
プログラム</td><td>⇔</td><td rowspan="4">個別支援計画

（適宜見直し）</td><td rowspan="3">就労支援員
生活支援員
職業指導員</td></tr>
<tr><td>7～9
ヶ月</td><td>・求職活動スキル向上
プログラム</td><td>⇔</td></tr>
<tr><td>10～12
ヶ月</td><td>・現場実習
プログラム</td><td>⇔</td></tr>
<tr><td>13～
18ヶ月</td><td>・求職活動</td><td>⇔</td><td>就労支援員
等</td></tr>
<tr><td>19～
24ヶ月</td><td colspan="2">・就職
・職場定着プログラム</td><td>⇔</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>24ヶ月</td><td colspan="2">・地域生活移行プログラム</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
</table>

c　工賃

就労支援プログラムは基本的に工賃支給対象ではありません。

また、企業等外部での実習の場合は交通費等もご利用者の負担となりますが、施設内でのプログラムで生産活動に従事した場合には、就労継続支援の「工賃支給要綱」に準

じて支払いました。

（イ）就労支援

a　就労準備支援

就労するための基礎知識及びマナー等の習得に向けた支援を行いました。

・履歴書の作成及び模擬面接を行いました。 ・ビジネスマナー（電話のかけ方や身だしなみ等）の習得に努めました。

b　実習

体験を目的とした実習	実習を通して、職場や職場環境等への理解を深め、将来の進路を決める際に役立つよう支援しました。
就労に向けた実習	実習を通して、利用者・ご家族ともに企業で働くことの理解を深め、採用後安心して働けるよう支援しました。
実習先	企業での実習を行うことにより実際の作業経験等をとおして支援しました。

c　求職活動

求職活動を様々な方法で行うと共に、就労意欲を高める環境作りに努めました。

・ハローワーク・障害者職業センター・キャリアセンターとの連携を図りました。 ・新規の職場開拓、合同面接会への参加を行いました。 ・多岐にわたる求人情報の収集に努めました。

d　就労移行後の継続的な支援

就労後、6 か月間は定期的に就労先の企業へ訪問し、職場の定着を支援しました。また、6 か月以降については就労定着支援事業所または障害者就業・生活支援センター等の関係機関への引継ぎ及び連携を図り切れ目のない支援を行いました。

・就労した利用者との職場定着情報交換会を年１回実施していましたが、新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止しました。 ・就労先訪問による企業支援を行いました。 ・障害者職業センターと連携したジョブコーチによる支援を行いました。 ・本人・家族からの相談に応じました。

（ウ）生活支援

a　日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上を支援しました。

清掃	毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。
日直当番	当番制により昼食準備や後片付けを行いました。
地域清掃他	近隣の歩道の清掃など地域貢献に積極的に努めました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者同士で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

（エ）年間行事予定

基本的には就労継続事業と同じです。

（オ）日課表

時　間	項　　目	備　　考
	登　　所	更衣・作業準備・身だしなみチェック
９：００	朝　　礼	
	就労演習	就労支援プログラム
１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	
	休　　憩	
１３：００	就労演習	就労支援プログラム
		休憩（15 分）
１５：４５	終　　礼	
	清　　掃	更衣
	降　　所	

（カ）就労移行

a　生活習慣及び労働習慣の確立のための支援の実施

生活基盤を確立するために家事手伝いや金銭管理等の支援プログラムを実施する一方で、基本的労働習慣（１日を通しての立ち仕事を行う体力や集中力、時間管理等）やビジネスマナー（挨拶・返事・報告等）を身につけるため就労継続支援Ｂ型事業と連携し、包括的な支援を実施しました。

b　見学・実習・就労

労働に対する自発性、持続性を養うため、ハローワークや障害者職業センター等と連携して求職活動を行い、必要に応じ一般企業での実習を行い就労へとつなげていきました。

職場見学・体験

職場見学・体験先	見学・体験日	人数
トッパン・フォームズ・オペレーション㈱　心和寮	令和 4 年 4 月 22 日	1 人
バイセルリンク㈱	令和 4 年 8 月 9 日	1 人
日産千葉農園	令和 4 年 11 月 18 日	1 人
㈱サンデリカ	令和 4 年 12 月 1 日	1 人
和陽園（特養）	令和 4 年 12 月 28 日	1 人

職場実習

職場実習先	実習期間	人数
トッパン・フォームズ・オペレーション㈱心和寮	令和 4 年 5 月 23 日～6 月 2 日（9 日間）	1 人
㈱バイセルリンク	令和 4 年 10 月 17 日～28 日（10 日間）	1 人
日産千葉農園	令和 4 年 11 月 28 日～30 日（3 日間）	1 人

和陽園（特養）	令和５年２月 20 日～3 月 3 日（9 日間）	１人

就労実績

性別	年齢	就職日	就職先事業所名（業務内容）	令和５年３月 31 日現在の状況
男性	30 歳	令和４年４月１日	舞浜コーポレーション㈱（オフィスデータサービス）	就労継続中
女性	20 歳	令和４年７月１日	トッパン・フォームズ・オペレーション㈱心和寮(清掃スタッフ)	就労継続中
男性	20 歳	令和５年３月１日	日産千葉農園(ハウス内野菜栽培)	就労継続中
女性	19 歳	令和５年４月１日（採用予定）	和陽園特養（リネン交換・洗濯）	令和 5 年 3 月雇用契約

※　令和３年度就労実績　２人

【就労継続支援Ｂ型】

（ア）個別支援計画

a　個別支援計画作成

就労継続支援Ｂ型の計画作成に関する考え方	個別支援計画は、利用者の希望を把握し、働く環境や生活のあり方についてご家族も交えて検討し作成しました。 なお、就労継続支援として支援している方でも、一般就労の意欲のある方へは、就労移行につながるよう支援しました。また、計画内容は６ヶ月ごとに適宜見直すことで、利用者の希望が実現できる支援を行いました。
作成体制と支援の流れ	個別支援計画を作成するにあたっての、支援ステップ（就労継続支援プログラム）は下表「支援プログラム」のとおりです。

b　支援プログラム

期間 １年間	支援ステップ （就労継続支援プログラム）	個別支援計画の 作成・反映の流れ	支援者
利用 開始前	・面談・アセスメント（初期評価）		サービス 管理責任者
	・課題抽出	⇔	生活支援員 職業指導員
	・就労継続個別支援計画作成	⇔	サービス 管理責任者
0～ 6 ヶ月	・面談（計画の説明と合意形成）	⇔ 個別支援計画（適時見直し）	サービス 管理責任者
	・モニタリング	⇔	全職員
	・評価	←	全職員

7～ 12ヶ月	・課題抽出	→	生活支援員 職業指導員
	・就労継続支援計画改訂	⇔ 個別支援計画	サービス 管理責任者
	・面談（計画の説明と合意形成）	⇔ （適時見直し）	サービス 管理責任者
	・モニタリング	⇔	全職員
	・評価		全職員

（イ）生産活動及び工賃

・作業に集中できる環境を作り、ひとりひとりが「自分の仕事」として責任を持って取り組めるよう支援しました。
・自主製品の販路拡大や共同受注作業の開拓等により工賃向上に努めました。
・作業によって得られた収入は必要経費を除いて全て工賃として支給しました。

（ウ）受注生産活動

・ギフト用箱作り・タオル箱詰め（㈱スダトモ他）
・手提げ袋・レントゲン袋等制作（㈱明巧他）
・保冷材箱詰め・値札付け（アイスジャパン他）
・ハンガー組立等（㈱グローベル）

（エ）自主生産活動

・ビニール袋製造・販売
・プリント製品の製造・販売

（オ）委託業務活動

・観賞用メダカ飼育
・教材資料仕分け配布

（カ）生活支援

a　日常生活習慣の向上

施設内での様々な活動経験の積み重ねにより、利用者のできることを増やし、日常生活力の向上に努めました。

清掃	毎日の施設内清掃や、ゴミ捨て等を行いました。また、施設内外の環境整備も併せて行いました。
日直当番	当番制により昼食準備や後片付けを行いました。

b　社会生活習慣の向上

コミュニケーション力や基本的なマナー知識の習得を支援しました。

c　自律的な関係支援

施設内の活動を利用者で話し合い、お互いの考えを伝える自治活動などの機会を設けました。

d　将来を見据えた支援

生活習慣病の予防と健康管理を行っていくと共に加齢による機能低下がみられた方には個別的なプログラムを実施します。また家庭を離れ地域で生活できるようグループホーム等の福祉サービスを紹介し、安心、継続して働けるよう支援していきます。

（キ）行事・レクリエーション

a　全体活動

利用者の希望をふまえた内容により全体での活動支援を行いました。

社会研修	社会のルール、マナーなどの見識を広げる目的で実施しました。
一泊旅行	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。

b　小グループ活動

利用者個々の参加希望によりグループでの活動支援を行いました。

余暇活動	スポーツ・娯楽等グループ活動
所外活動	自主的な行動を促し、社会性を養うよう所外での活動を支援しました。

（ク）行事

行事名	開催日	内容	参加者数
社会研修･第1班	令和4年6月23日	行先：国立歴史民俗博物館	14人
社会研修･第2班	令和4年6月30日	行先：国立歴史民俗博物館	13人
社会研修･第3班	令和4年7月1日	行先：国立歴史民俗博物館	14人
所外活動･第1班	令和4年10月28日	行先：鴨川シーワールド	18人
所外活動･第2班	令和4年11月4日	行先：鴨川シーワールド	21人
新年会 お楽しみ外食	令和5年1月20日	行先：いなげの浜 イオンモール幕張新都心	41人

（ケ）活動日課表

時　間	項　　目	備　　考
	登　　所	更衣・作業準備
９：００	朝　　礼	
	作　　業	
１１：３０	運　　動	体操・ウォーキング
１２：００	昼　　食	
	休　　憩	
１３：００	作　　業	
		休憩（15分）
１６：００	終　　礼	
	清　　掃	更衣
	降　　所	

【工賃向上】※就労移行支援、就労継続支援B型共通

（ア）受注作業

a　従来の取引先企業との実績による受注量のアップに加え、新しい取引先の開拓及び利

用者の技術の向上により、工賃向上を目指しました。

b　迅速で正確かつ丁寧な製品づくりに努めたことにより、企業との信頼関係が構築でき、また、ご利用者と目標をかかげ効率的な取組みをして安定的な受注を目指しました。

（イ）自主生産作業

ポリ袋の生産・販売に加え、ポロシャツ、タオル等に刺繍やプリントを施した二次加工品といった製品により販路を広げ、工賃向上を目指しました。

（ウ）委託業務作業

年間を通した花見川終末処理場メダカ飼育作業や教材資料の仕分け、配布業務を受託し、受注作業に依存しない取り組みを行いました。

（エ）令和４年度平均工賃

	就労継続支援Ｂ型事業	就労移行支援事業
年間工賃支払額	8,380,169 円	338,018 円
年間利用実人数	350 人	16 人
平均工賃額	23,943 円／月	21,126 円／月
参考）令和 3 年度平均工賃額	23,050 円／月	25,202 円／月

令和４年度の売上額は、令和３年度の２，０３７万円より１６５万円減の 1,８７２万円でした。売上額が減少したため工賃等の支払合計額（収益額）は９４３万円から８７２万円と減少しましたが、就労継続支援において平均工賃額は微増となりました。

カ　ふれあいの家

（ア）更生相談事業

身体障害者の更生に必要な福祉、医療、生活等、各種の相談及び身体障害者手帳の取得のための判定を受付けました。

（イ）機能訓練事業

身体に障害のある方が日常生活の自立・地域社会への参加を拡げられるように、身体機能の維持・改善、日常生活動作や環境などの見直しを目的に理学療法・作業療法・言語訓練による「施設内訓練」と、通所困難な方を対象とした「巡回訪問（在宅巡回機能回復訓練)」を行いました。

下記により必要に応じ医学的相談も行いました。

（診察日）・神経内科…第１、３水曜日(午前)

・耳鼻咽喉科…第 2 水曜日(午後)

（ウ）社会適応訓練事業

社会参加への意欲を喚起し、社会適応能力の増進を図りました。

事業名	開催日等
聞こえにくくなった方の勉強会	令和 4 年 5 月～7 月　毎週火曜日
視覚障害者バス旅行	令和 4 年　5 月 20 日　東京都葛西臨海水族園 令和 4 年 10 月 21 日　道の駅　やちよ
肢体不自由者・内部・聴覚障害者バス旅行	令和 4 年　6 月 3 日　東京都葛西臨海水族園 令和 4 年 11 月 18 日　八天堂　きさらづ

介護予防勉強会	令和 4 年 6 月 17 日・7 月 1 日
介護技術勉強会	令和 4 年 9 月 16 日・9 月 30 日・11 月 4 日・11 月 11 日

（エ）創作的活動事業

身体障害者の余暇活動の充実と社会参加及び文化・教養の向上、並びにリハビリテーションの一環として各種文化系教室を開催しました。

（オ）スポーツ・レクリエーション事業

事業名	内容
各種スポーツ系教室	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の少ない身体障害者に対し、個々の障害に応じた種目を用意し、体力の増強やリハビリテーション、豊かな生活や仲間作り等を目的として各種スポーツ系教室を開催しました。
ふれあいフェスティバル	令和 5 年 2 月 19 日　参加者 140 人 新型コロナウイルス感染症の対応により、予約定員制にて開催しました。ふれあいの家の利用者の方だけでなく市民の方も参加し、7 活動とクイズラリーを実施しました。

（カ）ボランティア養成事業

障害者福祉やその取り巻く環境及び障害者に対する基本的な知識と正しい理解を深めるとともに、手話、点字等の技術習得を目的とした講習会を開催しました。

（キ）施設貸出、その他の事業

事業名	内容
部屋の貸出	障害者及びボランティア等に対するサークル活動等の会場提供をしました。また、施設利用に関しての利用者との意見交換会を開催しました。
たいよう号 ゆうあい号の貸出	社会参加の促進等を図るため福祉バス「たいよう号」の運行と福祉カー「ゆうあい号」の貸出を行いました。
声の市政だよりの発送	視覚障害者に対する情報提供事業として「声の市政だより」の発送事業を行いました。
書籍の貸出	障害関係図書（点字図書）をはじめ、小説、児童向け絵本等の貸出を行いました。
ヒアリングループの貸出	障害者の社会活動への参加を促進するため、携帯用ヒアリングループの貸出を行いました。

（ク）行事

行事名	開催日	内容	参加者数
ふれあいの家作品展	令和 5 年 2 月 1～17 日	ふれあいの家を利用している身体障害者及び障害者サークル会員の作品を展示し交流を図る。	105 人

（4）健康管理（保健衛生）

ア　健康管理

（ア）すぎのこルーム

【医療型児童発達支援センター】

利用児の障害や健康状態を把握し、体力増進および健康管理に努めました。

項目	内容	実施日
定期健康診断	尿検査	令和4年5月 令和4年11月
	内科健診	令和4年6月 令和4年12月
口腔衛生指導・歯科検診	ビーバー号（巡回歯科診療車）を活用し、口腔検診による疾病の早期発見・早期治療と、保護者へのブラッシング指導や健康教育を行いました。	令和4年 6月2日
個々の健康管理	利用児の登園時及び療育中の健康状態の把握に努めました。	毎日
身体測定	体重測定	月1回
	身長測定	月1回
	頭囲・腹囲測定など	適宜
保健だよりの発行	月1回発行する保健だよりにより、保健行事・感染症予防対策・健康管理情報の提供を行いました。	毎月
病気・けがの対応	感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。	適宜
保育の環境管理	各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。	適宜

【児童発達支援事業】

項目	内容	実施日
保育の環境管理	各部屋の温度・湿度・換気・採光などに配慮し、園庭や砂場、プールの水質などの安全管理に努めました。また、健康管理に必要な情報等の提供を随時行いました。	適宜
病気・けがの対応	感染症発生時や体調不良への対応、応急処置等を実施しました。	適宜

（イ）やまびこルーム

項目	内容	実施日
定期健康診断	耳鼻科健診	月3回実施
	内科健診	令和4年7月 令和5年2月

	尿検査	令和４年６月 令和５年１月

（ウ）いずみの家

項目	内容	実施日
定期健康診断	尿便（保菌・潜血）検査	令和４年６月 令和５年１月
	内科健診	令和４年７月 令和５年２月
	血液検査	令和５年１月
	レントゲン撮影	令和５年１月

イ　衛生管理

（ア）給食

すぎのこルーム、やまびこルーム、いずみの家では、利用者に給食を提供しており、食材の保管・調理、調理器具、厨房内環境等について「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い管理しました。また、飲料水については、年１回水道法に定める簡易専用水道検査を実施しました。

（イ）施設内環境

a　各部屋の温度・湿度・喚起・採光などに十分配慮しました。また、園庭や砂場、プール療育時の水質・安全管理及び事故防止に努めました。

b　施設内の整理・整頓・清潔・清掃など環境を整備し、利用者に快適な環境での療育を提供するとともに、転倒等の事故防止につなげました。

c　施設内の害虫等防除を年２回（分館は特定建築物の基準に基づき年６回）実施しました。また、使用殺虫剤名等の調査を実施し千葉市に報告しました。

施設	内容	実施日	実施事業者
療育センター本館	貯水槽清掃・水質検査	令和４年 10 月 22 日	パナソニック産機システム㈱
	簡易専用水道検査	令和４年５月２日	（一財）千葉県薬剤師会検査センター
	ネズミ・衛生害虫等防除業務	令和４年６月４日 令和４年 10 月８日	協和ビル管理㈱
療育センター分館	貯水槽清掃・水質検査	令和４年６月６日	協和ビル管理㈱
	簡易専用水道検査 飲料水水質検査	令和４年 12 月 19 日	協和ビル管理㈱
	ネズミ・衛生害虫等防除業務	令和４年４月 18 日 令和４年６月 20 日 令和４年８月 15 日 令和４年 10 月 17 日 令和４年 12 月 19 日 令和５年２月 20 日	協和ビル管理㈱

（5）給食

ア　すぎのこルーム・やまびこルーム

（ア）給食について

食生活を通して心身の健康を図ると共に、日々の食事に充実感を味わえるような食事管理を行いました。

・利用児の必要栄養量を満たしました。
・行事や季節感を楽しめるように旬の食材を積極的に取り入れる工夫をしました。
・料理の組み合わせ（和・洋・中）のバランスを考え提供しました。
・不足しがちな栄養素（カルシウム・鉄分・食物繊維）をできるだけ多く摂取できるように献立作成を行いました。

（イ）食形態について

利用児の摂食状態に合わせた食形態を提供しました。

（ウ）食物アレルギー対応について

食物アレルギーのある児童に対し、「給食アレルギー対応食マニュアル」に従い、アレルギー対応の給食を提供していますが、令和 4 年度は対象となる利用児はおりませんでした。

イ　いずみの家

利用者の希望に合わせ、昼食を各自でご用意いただくか、給食の提供を行うか、あるいは仕出し弁当の取り次ぎを行う体制を整えました。

（ア）給食の提供

希望者に給食の提供を行いました。

栄養管理面だけでなく嗜好調査を定期的に実施し、利用者にあった献立を工夫するとともに、リクエスト等も取り入れました。なお、アレルギー食対応の利用者はおりませんでした。

（イ）仕出し弁当の取次ぎ

仕出し弁当の取次ぎ体制は常に整えておりましたが、実際の利用はありませんでした。

（6）保護者（家族）との連携

ア　すぎのこルーム

保護者が障害を持つ我が子を理解し、よりよい子育てができるよう支援するとともに個別相談にも、随時対応し支援しました。

（ア）医療型児童発達支援センター

個別面談	・個別支援計画書に基づき保護者の意見を汲み取りながら面接を行いました。 ・個別目標を基に利用児の療育、育児についてルームと家庭との相互理解を深めました。
家庭訪問	病気、入院等の理由で長期欠席が続いた場合などに家庭訪問を実施することにしています。
保護者勉強会	職員による勉強会などを行い、必要な情報や知識を提供しました。
行事	家族参観、運動会、季節の行事に家族で参加して頂き、児童への理解

	を深める機会を作りました。
おたよりの発行	月１回ルームより行事予定等のお知らせをしました。
進路についての支援	・4・5 歳児の保護者に対し、特別支援学校の見学会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。 ・卒園した保護者を招き、学校での体験談や様子を聞く機会を設けました。 ・保育所・幼稚園などに移行を希望の保護者に対し、相談・面談を行いました。 ・就学にあたっては、地区の特別支援学校と連携を図りました。 ・その他、随時個別の相談に応じました。
保護者への情報提供	・年度当初に運営方針に基づき施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。 ・福祉に関する様々な情報を、随時お知らせしました。

（イ）児童発達支援事業

個別支援計画	児童の課題と保護者の意向を把握し、児童の個別支援計画を前期・後期に分けて作成しました。また、個別支援計画を保護者に説明し、同意を得て実施しました。
相談や情報提供	・保護者のニードを把握した上で随時相談に応じました。 ・就園、就学に向けての情報提供および福祉制度等の相談に応じました。 ・他の福祉施設などの機関誌、広報誌の案内等を紹介しました。

イ　やまびこルーム

早期発見された聴覚障害児を持つ保護者に対して、適切な養育が出来るよう支援に努めました。保護者が我が子の障害及び現状を理解し、よりよい子育てができるように全職員が保護者からの相談に随時応じました。

個別面談	年２回、個別支援計画書に基づき保護者の意見を聞きながら面接を行いました。個別に立てた目標をもとに利用児の療育、育児についてルームと家庭との相互理解を深めました。
保護者勉強会・保護者お話会	難聴児を育てた保護者や卒園生の体験談および外部講師による講演会などをオンライン併用で行い、必要な情報や知識を提供しました。
行事	・運動会、クリスマス会等の季節の行事は、グループ単位で行い、利用児１人に対し保護者１人のみの参加としました。 ・異年齢のお子さん同士、保護者同士の交流を目的に異年齢交流グループ活動を行いました。 ・全体行事として秋祭り、在園児と卒園児の交流を目的とした卒園生交流会を実施しました。
進路相談	・保育所・幼稚園及び他の教育機関の選択について相談に応じました。 ・保護者に対し、就学についての情報提供、支援を行いました。 ・就学にあたっては、地域の教育委員会及び教育機関と連携を図りました。

保護者への情報提供	・年度当初の運営方針に基づき、施設の基本方針について説明を行い、共通理解を図りました。 ・月１回「やまびこだより」を発行し、行事予定や療育に関連する情報を紹介するコーナーを設けるなどして、やまびこルームの指導内容についてお知らせいたしました。 ・児童福祉法及び関係省令について随時お知らせしました。 ・福祉サービスの情報提供をお知らせしました。 ・他の福祉施設などの機関誌、広報誌の案内等を閲覧して紹介しました。
やまびこルーム難聴児を持つ親の会との連携	クリスマス会、秋祭り等の行事協力を依頼し協力を得ました。

ウ　いずみの家

・新型コロナウイルス感染予防のため新年度保護者説明会は書面による報告としました。
・個別支援計画に基づき、就労移行で年４回、就労継続で年２回の機会を捉え、利用者及び保護者との面談による情報交換を図りました。
・連絡帳によりご家族との連携を図りました。
・主な行事予定や施設の動向、連絡事項等をご家族にお知らせするため、「いずみだより」を毎月１回発行しました。

（7）感染症対策

ア　感染症の予防対策

（ア）療育センターを利用している児童等は、感染症に対する抵抗力の弱い方が少なくないため、心身障害児総合通園センター内施設では、「健康管理の方針」を定め利用者に配布し、感染症の予防や対応について周知をいたしました。

（イ）感染症予防及び感染症発生時には、「感染症・食中毒の予防及びまん延防止に関する指針」に従い対応しました。

（ウ）療育センター内に消毒液や手洗い石けんを設置するとともに、利用者及び職員に手洗い・うがいを徹底しました。また感染症流行時にはマスクを着用しました。

（エ）職員は、インフルエンザワクチンを接種し、インフルエンザ予防と利用者への感染防止に努めました。また、Ｂ型肝炎予防として抗体検査を行い抗原・抗体が陰性であった職員には、ワクチン接種を行いました。

内容	実施月	実施業者
B 型肝炎ワクチン接種	令和 4 年 5 月～	ちば県民保健予防財団
インフルエンザ予防接種	令和 4 年 11 月	療育センター

イ　新型コロナウイルス感染症の対応

（ア）対応の経過

令和４年度も国内での感染拡大を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の対応について、

職員の検温等の健康チェックやその記録、ご利用者や同伴されるご家族の体温及び健康チェックを実施し、施設内に立ち入る際の手指消毒やマスクの着用など対策の徹底を図りました。療育センター感染症予防委員会も開催し、各施設の対応状況を共有し、施設の現状に即した事業継続を前提とした取り組みを行いました。

（イ）対応の基本的な考え方

安全に事業を実施するため、次の考え方を共有して対応してきました。

・療育センターの業務の目的を達成するため、事業を継続できる方策を第一に考えました。
・事業の継続を前提条件として、新型コロナウイルス感染症の感染者を出さないことや拡大させないことが重要となり、感染リスクを最小限にしながら事業を実施しました。
・事業継続と感染リスク対策の両方の実現のためには、状況の変化により実施する内容を取捨選択する場面が出てくることがあり得ますが、これらの基本的な考え方を踏まえて業務に取り組みました。

（ウ）今後の課題

新型コロナウイルス感染症は令和５年５月に第５類感染症に移行となりますが、今後も同様の感染症が発生する可能性があります。今回の感染症の経験を踏まえ、感染状況や政府の対策によって、当センターが迅速かつ柔軟に対応できるよう、業務継続計画（ＢＣＰ）を令和５年度に策定する予定です。

ウ　感染症発生時の対応

（ア）感染症に感染した者（利用者・職員）は、施設内の立ち入りを禁止し、自宅療養をお願いしました。

（イ）感染症に感染した者が出た場合には、速やかに施設長に報告し、施設長から利用者や保護者への情報提供を行いました。

（ウ）新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した際には、感染が拡大しないよう感染者の状況を確認すると共に、障害福祉サービス課及び保健所等に連絡を行いました。感染した職員は７日間の自宅待機とし、体調が回復してから職場復帰するよう対応しました。

令和４年９月、すぎのこルームで職員５人、利用児４人、保護者３人が新型コロナウイルス感染症に感染する事例が発生し、障害福祉サービス課と協議し、やむを得ず３日間の休園措置を行いました。この他には集団感染の事例はありませんでした。

（８）身体拘束等の禁止及び虐待防止

千葉市療育センター全体で「虐待防止に関する指針」及び「身体拘束等の適正化のための指針」を定め、センター全体で障害児（者）の虐待防止や養護者に対する支援に取り組むとともに、下記のとおり実施しました。

ア　身体の拘束の禁止

千葉市療育センターでは、児童福祉法及び障害者虐待防止法に定めのある「身体拘束等の禁止」に当該利用児（者）又は他の利用児（者）の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用児（者）の行動を制限する行為（身体拘束）の禁

止を実施しました。

（ア）身体的拘束を取らずに支援できるよう事前準備（ケース会議等）を以下のように具体的に実施しています。

・緊急な身体拘束の可能性のある利用児（者）をひとつのグループに集まらないよう配慮し、グループ編成を行いました。
・利用児（者）の身体拘束の可能性のある利用児（者）には１対１の職員配置を実施するなど、身体拘束を行わず支援できるような取り組みを行いました。
・突発的な行動があった場合でも行動を制限せず支援が出来るよう各部屋の安全性確保（棚の固定・突起部分の削除・柱等への保護材の設置等）の取り組みを行っています。

（イ）やむを得ず身体拘束を行う場合は、切迫性、非代替性、一時性のある事例のみに制限します。利用児（者）本人または、他の利用児（者）の生命、又は身体が危険にさらされる可能性があり、緊急やむを得ない状況で身体拘束を行った場合、「身体拘束等の適正化のための指針」に基づき対応します。

なお、令和４年度は身体拘束を行っていません。

（ウ）職員に対し、身体拘束について研修や勉強会を実施し理解を深めるとともに、意識・関心を深めました。

イ　虐待防止

虐待防止に関する取り組みは、障害児（者）の人権の尊重や権利擁護の具現化につながることのみならず、利用者及び保護者に安心と安全を提供するサービスの質の向上という観点からも意義のある実践と考えています。千葉市療育センターでは、以下の基本的な考え方で「虐待等の防止」の取り組みにあたりました。

（ア）家庭での虐待の早期発見等

・虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、虐待に関する内部研修を実施するなど虐待の早期発見が出来るよう取り組みました。
・虐待の予兆や発生に対する気づきを高めるため、日々のサービス提供（健康チェック時等）において「身体的虐待」・「心理的虐待」等に対し着眼点を定め把握に努めました。
・職員が支援中に虐待の事実を発見した場合、千葉市及び関係各機関に報告するなどの必要な措置を講ずるよう取り組みました。

（イ）施設内での虐待防止対策（具体的な実施内容）

・利用児（者）の人格を尊重し威圧的な態度・命令口調等にならないよう、行動規範を定め、職員へ周知徹底しました。
・過度な支援内容にならないよう、本人または保護者の理解を得て支援計画を実施しました。
・職員に対し虐待防止に関する研修や学習を実施しました。
・職員の虐待防止に関する意識・関心を高めるための掲示物等を掲出しました。
・施設が閉鎖的にならないよう、職員以外の外部のボランティアや実習生を積極的に受け入れました。
・苦情相談窓口を設置し、利用者等に分かりやすく案内をしました。

（9）広報その他の使用促進

ア　ホームページによる情報提供

ホームページに、事業内容、利用方法、交通アクセス等を詳しく掲載しました。また、療育センター各施設での活動の様子や療育（訓練）等の特色、行事参加の募集、ボランティアの募集などを紹介し、地域社会への情報発信を行いました。

イ　広報誌の発行

各施設とも定期的に「施設の広報誌」を発行し、季節の行事やボランティアの活動状況の報告及び募集、職員の紹介、法改正等の情報提供、福祉相談の利用促進等を行いました。また、「給食だより」を発行し、栄養に関する知識の普及と献立の工夫等を紹介しました。

ウ　関係機関への働きかけ

医療・教育・福祉機関等へパンフレットの設置を依頼するなど広く地域への情報提供をしました。

（１０）使用料の確実な徴収（滞納防止）

ア　医療費

医療費については、通常の病院同様診察、訓練終了後窓口について現金で支払いをしていただきました。また、徴収した現金は安全確実な方法で保管の上、翌日千葉市へ納付しました。

イ　施設利用料等

利用料については毎月１０日までに利用者に請求書を送付し、月末までに現金もしくは口座引落にて徴収しました。また徴収結果を「請求額内訳書」にて千葉市に報告し、１ヶ月分まとめて千葉市に納付しました。

施設名　　千葉市療育センター　療育相談所

ｻｰﾋﾞｽ種別　　診療

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	使用料	手数料	計	使用料	手数料	計
４月	106,370	29,700	136,070	106,370	29,700	136,070
５月	109,430	29,700	139,130	109,430	29,700	139,130
６月	134,110	34,100	168,210	134,110	34,100	168,210
７月	108,280	28,600	136,880	108,280	28,600	136,880
８月	142,760	61,600	204,360	142,760	61,600	204,360
９月	118,300	36,300	154,600	118,300	36,300	154,600
１０月	131,290	31,900	163,190	131,290	31,900	163,190
１１月	134,740	29,700	164,440	134,740	29,700	164,440
１２月	116,550	15,400	131,950	116,550	15,400	131,950
１月	116,180	15,400	131,580	116,180	15,400	131,580
２月	124,010	9,900	133,910	124,010	9,900	133,910
３月	139,030	37,400	176,430	139,030	37,400	176,430
計	1,481,050	359,700	1,840,750	1,481,050	359,700	1,840,750

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　医療型児童発達支援センター

	請求額内訳（指定管理受託者）				徴収額内訳（指定管理受託者）			
	利用料	医療費	給食費	計	利用料	医療費	給食費	計
４月	17,668	600	4,520	22,788	17,668	600	4,520	22,788
５月	22,860	3,020	4,800	30,680	22,860	3,020	4,800	30,680
６月	21,466	6,000	7,210	34,676	21,466	6,000	7,210	34,676
７月	17,666	2,830	8,930	29,426	17,666	2,830	8,930	29,426
８月	27,595	2,700	9,100	39,395	27,595	2,700	9,100	39,395
９月	27,607	1,520	10,910	40,037	27,607	1,520	10,910	40,037
１０月	39,453	4,220	17,250	60,923	39,453	4,220	17,250	60,923
１１月	35,069	3,780	17,850	56,699	35,069	3,780	17,850	56,699
１２月	35,144	3,900	21,160	60,204	35,144	3,900	21,160	60,204
１月	42,892	6,160	19,260	68,312	42,892	6,160	19,260	68,312
２月	43,292	4,800	24,140	72,232	43,292	4,800	24,140	72,232
３月	49,120	8,030	31,520	88,670	49,120	8,030	31,520	88,670
計	379,832	47,560	176,650	604,042	379,832	47,560	176,650	604,042

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　児童発達支援事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	3,525	13,440	16,965	3,525	13,440	16,965
５月	3,543	16,640	20,183	3,543	16,640	20,183
６月	9,762	17,920	27,682	9,762	17,920	27,682
７月	8,824	14,400	23,224	8,824	14,400	23,224
８月	8,401	15,680	24,081	8,401	15,680	24,081
９月	11,058	13,120	24,178	11,058	13,120	24,178
１０月	10,166	14,400	24,566	10,166	14,400	24,566
１１月	15,125	16,640	31,765	15,125	16,640	31,765
１２月	10,297	16,640	26,937	10,297	16,640	26,937
１月	12,861	15,680	28,541	12,861	15,680	28,541
２月	18,974	19,200	38,174	18,974	19,200	38,174
３月	16,419	16,640	33,059	16,419	16,640	33,059
計	128,955	190,400	319,355	128,955	190,400	319,355

施設名　　千葉市療育センター　すぎのこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	0	0	0	0	0
５月	0	0	0	0	0	0
６月	0	0	0	0	0	0
７月	0	70	70	0	70	70
８月	0	70	70	0	70	70
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	0	0	0	0	0	0
１１月	0	0	0	0	0	0
１２月	0	0	0	0	0	0
１月	0	70	70	0	70	70
２月	0	0	0	0	0	0
３月	0	0	0	0	0	0
計	0	210	210	0	210	210

施設名　　千葉市療育センター　やまびこルーム

ｻｰﾋﾞｽ種別　　福祉型児童発達支援センター

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	39,808	0	39,808	39,808	0	39,808
５月	46,604	0	46,604	46,604	0	46,604
６月	35,549	0	35,549	35,549	0	35,549
７月	29,744	0	29,744	29,744	0	29,744
８月	26,247	0	26,247	26,247	0	26,247
９月	25,144	0	25,144	25,144	0	25,144
１０月	30,846	0	30,846	30,846	0	30,846
１１月	31,529	0	31,529	31,529	0	31,529
１２月	30,955	0	30,955	30,955	0	30,955
１月	30,432	0	30,432	30,432	0	30,432
２月	32,571	0	32,571	32,571	0	32,571
３月	31,790	0	31,790	31,790	0	31,790
計	391,219	0	391,219	391,219	0	391,219

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労移行支援事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	4,600	4,600	0	4,600	4,600
５月	0	4,140	4,140	0	4,140	4,140
６月	0	7,820	7,820	0	7,820	7,820
７月	0	3,680	3,680	0	3,680	3,680
８月	0	3,220	3,220	0	3,220	3,220
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	0	2,300	2,300	0	2,300	2,300
１１月	0	3,910	3,910	0	3,910	3,910
１２月	0	4,600	4,600	0	4,600	4,600
１月	0	7,820	7,820	0	7,820	7,820
２月	0	9,430	9,430	0	9,430	9,430
３月	0	8,510	8,510	0	8,510	8,510
計	0	60,030	60,030	0	60,030	60,030

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　就労継続支援Ｂ型事業

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	117,760	117,760	0	117,760	117,760
５月	0	112,010	112,010	0	112,010	112,010
６月	0	127,420	127,420	0	127,420	127,420
７月	0	113,620	113,620	0	113,620	113,620
８月	0	117,760	117,760	0	117,760	117,760
９月	0	116,150	116,150	0	116,150	116,150
１０月	0	114,080	114,080	0	114,080	114,080
１１月	0	112,240	112,240	0	112,240	112,240
１２月	0	115,230	115,230	0	115,230	115,230
１月	0	104,420	104,420	0	104,420	104,420
２月	0	106,030	106,030	0	106,030	106,030
３月	0	123,280	123,280	0	123,280	123,280
計	0	1,380,000	1,380,000	0	1,380,000	1,380,000

施設名　　千葉市療育センター　いずみの家
ｻｰﾋﾞｽ種別　　日中一時支援事業（日中預かり型）

	請求額内訳（指定管理受託者）			徴収額内訳（指定管理受託者）		
	利用料	給食費	計	利用料	給食費	計
４月	0	0	0	0	0	0
５月	0	3,220	3,220	0	3,220	3,220
６月	8,610	7,360	15,970	8,610	7,360	15,970
７月	1,230	690	1,920	1,230	690	1,920
８月	0	1,150	1,150	0	1,150	1,150
９月	0	0	0	0	0	0
１０月	0	0	0	0	0	0
１１月	0	1,610	1,610	0	1,610	1,610
１２月	0	1,150	1,150	0	1,150	1,150
１月	0	2,610	2,610	0	2,610	2,610
２月	0	0	0	0	0	0
３月	0	2,760	2,760	0	2,760	2,760
計	9,840	20,550	30,390	9,840	20,550	30,390

3　維持管理の実施に関すること

（1）建築物の保守管理

ア　基本的な考え方

建物の維持管理について、施設建物の機能を最大限発揮し、利用者が安心かつ快適に支援を受けられるよう点検・保守・修繕を実施し記録しました。

イ　点検・保守

（ア）屋根・外壁・外構・玄関・廊下・階段・居室・事務室・和室・便所・洗面所については「市有建築物維持管理マニュアル」のチェックポイントに従い定期的にチェックしました。

ウ　修繕

長期にわたって良好な状態が継続できるよう、修繕（改修）を行いました。修繕の実施に当たっては可能な限り利用者に影響の少ない時間帯、方法等を考慮し実施しました。

修繕箇所	修繕内容	実施日	実施事業者
カルテ庫	デジタルドアロック設置修繕	4月2日	(有)エルテック
静養室	ドアシリンダー分解修繕	4月5日	(有)エルテック
療育相談所・ぱれっと	LAN・電話配線更新工事	4月16日	㈱大崎コンピューターエンジニアリング
ふれあいの家　更衣室1・2	床の張替修繕	5月30日	㈱トヨクラメント
2階階段部感知器	煙感知器交換修繕	9月15日	㈱関東消防機材
玄関前タイル修繕	老朽化タイルのモルタル補修	11月3日	(有)エルテック
いずみの家女子トイレ	蛍光灯修繕	12月2日	新生ビルテクノ㈱
はまのわ1・2F窓	排煙窓3か所修繕	12月12日	㈱関東消防機材
厨房排水管	厨房排水老朽破損補修	12月3日	(有)エルテック
1F廊下照明	蛍光灯安定器交換	1月20日	パルックス㈱

（2）設備・備品の保守管理に関すること

ア　設備管理の基本的な考え方

設備機器の性能及び機能を最大限発揮し、良好な状態が長期に渡り維持できるよう、法令等を遵守し保守管理を実施しました。

（ア）設備の管理方法

専門的技術等を必要とすることから、下記の要件に基づき適切な業務委託により管理を行いました。

責任者	設備管理業務における必要な資格を有し、実務実績のある責任者を配置しました。
監視方法	法令に基づき設備管理計画を作成し、設備が適正に管理され稼動してるか記録を作成しました。
点検方法	日常点検巡視業務計画書を作成し、点検を実施しました。

（イ）点検設備名と点検状況

点検・保守項目	実施日	結果	実施事業者
冷却塔、空調点検	4 月 11 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベーター点検	4 月 18 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
簡易専用水道検査	5 月 2 日	適	千葉県薬剤師会検査センター
冷温水機、空調機関係定期点検	5 月 21 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
自家用電気工作物点検	5 月 18 日	適	(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守	5 月 6 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
エレベーター点検	5 月 16 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
エレベーター点検	6 月 15 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
電話交換機点検（分館）	6 月 24 日	適	宮川電気通信工業㈱
ばい煙測定	7 月 1 日	適	中外テクノス㈱
エレベーター点検	7 月 12 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
電話交換機保守点検	7 月 14 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
自家用電気工作物点検	7 月 14 日	適	(一財)関東電気保安協会
空調点検	8 月 1 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベーター点検	8 月 1 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
消防ホース点検	8 月 24 日	適	㈱関東消防機材
防災設備年次点検	8 月 27 日	適	㈱関東消防機材・(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守	9 月 7 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
自家用電気工作物点検	9 月 15 日	適	(一財)関東電気保安協会
自動ドア点検	9 月 28 日	適	ナブコシステム(株)
エレベーター点検	9 月 28 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
受水槽・貯湯槽清掃点検	10 月 22 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
エレベーター点検	10 月 31 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
ガス設備定期点検	11 月 11 日	適	㈱東京ガス
冷温水機保守点検	11 月 15 日	適	パナソニック産機システムズ(株)
自家用電気工作物点検	11 月 16 日	適	(一財)関東電気保安協会
電話交換機保守	11 月 17 日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
エレベーター点検	11 月 21 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
エレベーター点検	12 月 20 日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
ばい煙測定	1 月 16 日	適	中外テクノス㈱

電話交換機保守点検	1月18日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
エレベーター点検	1月18日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
ガスヒーポン保守点検	1月19日	適	東京ガス㈱
機械警備機器点検	1月21日	適	協和警備保障㈱
自家用電気工作物点検	1月21日	適	(一財)関東電気保安協会
特定建築物定期点検	1月21日	適	㈱建物診断ｾﾝﾀｰ
特定建築物定期点検(はまのわ)	1月27日	適	㈱建物診断ｾﾝﾀｰ
自動ドア保守点検	1月31日	適	ナブコシステム㈱
冷温水機保守点検	2月13日	適	パナソニック産機システムズ(株)
消防設備保守点検	2月18日	適	㈱関東消防機材
電話交換機保守	2月24日	適	宮川電気通信工業㈱
エレベーター点検	2月27日	適	三菱電機ビルソリューションズ㈱
電話交換機保守	3月14日	適	㈱大崎コンピュータエンヂニアリング
自家用電気工作物保安管理	3月23日	適	(一財)関東電気保安協会

イ　備品の管理

備品の不調・不具合の早期発見に努め、破損・劣化や故障があった場合は使用に支障を来さぬよう、迅速に対応を図りました。

（ア）備品の管理方法

a　当協議会経理規程に基づき、千葉市の貸与備品と他の備品を品名で分類した備品台帳を作成し、品名・メーカー・金額・購入年月日・耐用年数・配置場所等を明記し、当該備品にシールを貼付し管理しました。

b　長期の有効使用に資するため破損・消耗の度合いを定期的に確認し、必要な場合は迅速に修理しました。また、備品を廃棄する場合は、関係法令、当協議会の経理細則に基づき処理しました。

（イ）備品の効率的な活用について

当協議会の施設間で貸出可能な備品の共有化を図ることで購入コストを削減し、効率的な運用を図りました。

（3）警備に関すること

ア　基本的な考え方

施設の秩序維持、盗難・破壊等の犯罪の防止、火災などの災害の防止及び財産の保全を目的とし、利用者に安心・安全な施設環境を提供するため、施設職員が不在の際は業務委託による機械警備を基本とし、アラーム等により異常を感知した場合は委託業者による巡回警備を実施しました。

イ　警備業務の内容

（ア）機械警備の時間帯

職員が退所後から翌日出所までの時間帯および施設が完全休館となる年末年始（１２月２９日～１月３日）及び国民の祝日に関する法律に規定する休日

はまのわについては、ふれあいの家及びBringupちば発達センターの利用時間に応じてエリアごと又は全館の機械警備を実施しました。

（イ）異常時の対応

異常通報があった場合、委託業者は速やかに施設に急行し現状確認と初期対応を行うと共に、施設の緊急連絡網により施設長へ報告し指示を受け、状況に応じて警察・消防への通報を行う体制としました。

委託名	委託業者
機械警備業務	協和警備保障㈱

ウ　施設の対応

施設職員が勤務中においては日常の定期巡回を実施し、施設の安全維持及び犯罪・災害等の防止に努め、利用者に快適かつ安定したサービスを提供しました。具体的な施策としては以下のとおりです。

（ア）施設内部、敷地内周辺に不審物や廃棄物等が放置されていないかを巡回確認しました。

（イ）各部屋の設備・備品等を目視や音で点検し、安全と性能維持を確認しました。

（ウ）閉館時は各トイレをはじめとして各部屋の点検及び施錠等の確認をしました。

（エ）施設周辺において不審なこと（不審者の目撃等）が無かったか等の状況収集と確認に努めました。

（4）清掃に関すること

ア　基本的な考え方

利用者に良質な施設環境を提供するにあたり、常に清潔で快適な状態で過ごせるような環境を維持するため、業務委託による日常・定期清掃を基本とし、「管理運営の基準」に基づいた業務実施計画を作成し、労働安全衛生規則等を遵守して清潔かつ衛生的な環境維持に努めました。

イ　内容と方法

（ア）日常清掃

日常清掃の範囲は駐車場を含む敷地内全域とし、随時作業を行うものとします。各部屋等の日常的に使用される部屋の床清掃（掃き・水拭き）は全開館日実施しました。

（イ）定期・特別清掃

本館

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ・Ｐタイル部分）	12 回	フィルター清掃（114 台）	2 回
カーペット・ジュータン清掃	2 回	吹き出し口清掃（114 台）	1 回
ガラス清掃	3 回	アネモ清掃（22 基）	1 回
ガラスサッシ清掃	1 回	体育館フィルター（1 台）	1 回
厨房消毒	2 回	側溝桝清掃	3 回
害虫駆除作業	2 回	溜桝清掃	2 回
グリストラップ清掃	2 回	厨房ｽﾃﾝﾚｽﾌｰﾄﾞ	2 回

分館（はまのわ）

内　　容	年回数	内　　容	年回数
床面清掃（塩ビ部分）	12 回	換気扇等フィルター清掃	2 回
カーペット・ジュータン清掃	2 回	空調フィルター清掃	2 回
ガラス清掃	3 回	害虫駆除作業	2 回
ガラスサッシ清掃	1 回	グリストラップ清掃	2 回

ウ　清掃状況の確認方法

（ア）準備：業務実施計画書に基づき作業箇所を確認しました。

（イ）終了：履行結果について、作業従事者より作業報告書の提出を受けました。

（ウ）確認：履行状況を確認し、不備があれば再履行を依頼しました。

（5）植栽等の維持管理に関すること

ア　基本的な考え方

「管理運営の基準」に従い、植栽を適切に保護、育成、処理し良好な自然環境の維持等に努めました。

イ　内容と方法

（ア）樹木消毒

薬剤投与を年２回実施し、害虫駆除に努めました。

委託名	委託業者
樹木消毒業務委託	㈲プロスパー

（イ）樹木剪定

歩道沿いの樹木や近隣に面している樹木について、美観上もしくは歩行者等に迷惑が掛かる場合については、職員もしくは委託業者による剪定作業を実施するため、定期に確認をいたしました。

（ウ）雑草除去

園庭、築山周辺の雑草及び芝については、機械を用いて定期的に除去し、機械が使用できない場所や簡単な雑草除去については、日常清掃時に随時実施しました。

（6）駐車場の管理に関すること

ア　基本的な考え方

利用者及び地域住民の安全を確保し、近隣及び療育センター駐車場の不法駐車を防止するなど「管理運営の基準」に従い駐車場の管理をしました。

イ　内容と方法

（ア）通園バスの運行をしていない時間帯においては、運転員が誘導を行い、駐車スペースの確保及び事故防止に努めました。

（イ）健常者には、自家用車での来所をご遠慮していただくようお願いし、車椅子利用者等障害をお持ちの方を優先しました。

（ウ）駐車スペースに限りがあるため、第２駐車場の管理を含め必要な場合は、使用施設、氏名、車種、ナンバーを確認するなど必要な措置を講じました。

（エ）はまのわの駐車場については、Bringup ちば発達センターとの共用であることから連絡・連携をとりながら適切な利用が出来るよう管理を行いました。また、身障者用の駐車スペースに他施設の利用者を含めて健常者の駐車がないように案内し、身障者の方の利用に不便がないよう努めました。

（オ）館内掲示板を使用し、駐車場の使用案内や注意事項を喚起しました。

4　利用者アンケート調査の実施方法等に関すること

利用者のご意見、ご要望等を把握し、業務に反映させるため、施設ごとに以下のアンケート調査を実施しました。

また、アンケート調査を集計し、分析や考察をした上でアンケート実施の翌々月までに千葉市へ報告するとともに、館内掲示やお便りにより利用者・保護者等に報告いたしました。

（1）療育相談所

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
6月	令和4年度ヒポポの会「集団選択について」	10	10

ア　令和4年度ヒポポの会「集団選択について」実施後アンケート※ZOOMで実施

実施日　　令和4年　6月28日（火）　　１０：００～１２：００
参加者　　9組　10名の保護者
アンケート配布数：　10　　回収数：　10　　回収率：100%

アンケート結果

1　お話会の内容について

よく理解できた	理解できた	普通	少し理解できなかった	理解できなかった
2人	7人	1人	0人	0人
20%	70%	10%	0%	0%

2　集団選択を考える上で

とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	やや参考にならなかった	参考にならなかった
0人	9人	0人	1人	0人
0%	90%	0%	10%	0%

3　講演時間について

長すぎる	少し長い	適当	少し短い	短い
0人	3人	7人	0人	0人
0%	30%	70%	0%	0%

4　ＺＯＯＭでの開催について

良かった	やや良かった	普通	あまり良くなかった	良くなかった
7人	1人	2人	0人	0人
70%	10%	20%	0%	0%

5　ご意見

⑴講演会の内容について

・ひまわりルームの事などもお話しいただければ良かったです。
・個人的には具体的な幼稚園の名前などお聞きできるのかなと思っていたのですが、自分で調べてみて探すのが大事とのことだったので、見学の予約を始めました。
・資料を読むだけでも理解できたのでは…

・先生方のお話はわかりやすく、親の立場になって考えて下さっていることが、伝わって嬉しかったです。

(2)講演会は集団選択を考える上で

・しっかり見学することの大切さ、子ども自身が楽しく通える場所を選ぶ必要があることが良く分かりました。

(3)講演時間について

・子どもを見ながらだったため、長く感じた。

(4)ＺＯＯＭでの開催について

・とてもありがたかったです。

・オンライン開催なのに人数が少なすぎませんか。

(5)今後取り上げて欲しい内容などがあればご記入ください

・発達障害というものがどういうものか詳しくわかる内容をやって欲しいと思います。

・もう少し「障がいがある子ども」という点に焦点をおいてほしかった。幼稚園でも保育園でも障がいのある子を受け入れているところが多々あるというのであれば、そこではどのような生活をしているのか、どのようなことを心がけ、注意しているのかなど、もっと具体的な話をしていただくことができれば、より有益なものになるのでは　と強く感じた。

・ひまわりルームについても少し聞きたかった。

・家庭での子供の接し方や良い言葉かけ等教えて頂ける様な内容。

６　まとめ

アンケート結果について、内容は「よく理解できた」と「理解できた」で 90%。集団選択を考える上で「とても参考になった」「参考になった」で 90%。公演時間については「適当」が 70%と概ね好評であったが、「少し長い」も 30%となり、次年度に向けて検討したい。ＺＯＯＭでの開催は「良かった」「やや良かった」で 80%となり、概ね好評であったと考えられる。

集団説明会なので、どこまでの内容を盛り込むかは今後の課題として、ご意見を受け止めたい。また、アンケートに関しては、オンラインの方式を導入できるかを含め次年度は検討していきたい。

（２）すぎのこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
８月	令和４年度前期 保護者等からの事業所評価（医療型児童発達支援センター）	23	21
８月	令和４年度前期 保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）	23	21
８月	令和４年度前期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業）	48	48
８月	令和４年度前期 保護者アンケート（児童発達支援事業）	48	48
８月	令和４年度前期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業・発達）	6	6
８月	令和４年度前期 保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）	6	6
２月	令和４年度後期 保護者等からの事業所評価（医療型児童発達支援センター）	27	26
２月	令和４年度後期 保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）	27	26
２月	令和４年度後期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業）	51	47
２月	令和４年度後期 保護者アンケート（児童発達支援事業）	51	47
２月	令和４年度後期 保護者等からの事業所評価（児童発達支援事業・発達）	6	6
２月	令和４年度後期 保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）	6	6

イ　前期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和４年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和４年9月

事業所名：医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　23人　回収数　21人　回収率　91%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	17	4	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	16	3	1	1	0	0	90%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	15	6	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	17	3	1	0	0	0	95%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	12	8	0	0	0	1	100%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※３の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※４、「家族支援」※５、「地域支援」※６で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	11	6	1	1	0	2	89%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	11	8	1	0	0	1	95%		

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	13	6	1	0	0	1	95%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか（新型コロナウイルス感染症予防のため辞し出来ていません）	4	1	4	0	1	9	50%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	15	5	1	0	0	0	95%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	14	6	0	0	0	1	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お子さんの支援や関わり方、勉強会等）が行われていますか	11	8	0	0	0	2	100%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	13	5	0	2	0	1	90%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	10	6	0	2	0	3	89%		
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	10	6	2	1	0	2	84%		

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら ともいえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	13	4	2	0	0	2	89%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や社会資源等を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	11	7	0	2	0	1	90%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや活動・行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	14	6	1	0	0	0	95%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	13	8	0	0	0	0	100%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	10	10	0	0	0	1	100%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	13	7	0	0	0	1	100%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	11	5	1	0	1	3	89%	・まだとても緊張していますが、楽しんでいると思います。 ・まだ慣れていないようです。保育所と生活リズムが異なるので慣れるまで時間がかかるかもしれません。	
	23	事業所の支援に満足していますか	15	4	1	1	0	0	90%		

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和4年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和4年9月

事業所名：　医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和4年　8月　8日	提出期限	令和4年　9月　16日		
保護者等数（児童数）	23人	回収数	21人	回収率	91%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
14人	6人	1人	0人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
15人	6人	0人	0人	0人	0人	0人	100%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
11人	5人	1人	0人	0人	2人	2人	94%

3．〈3・4・5歳児の保護者様にお聞きします〉 分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	1人	0人	0人	0人	3人	15人	100%

4.個別保育の内容はお子さんに合っていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
3人	5人	3人	0人	0人	5人	5人	73%

5.個別支援計画は、保護者様の意向を取り入れて作成されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	8人	1人	1人	0人	3人	0人	89%

6．個別指導（PT・OT)はリハビリテーション計画に基づいて行われ、お子さんの状態が十分説明されていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	8人	1人	1人	0人	3人	0人	89%

7．<参加された方にお聞きします> 夏季に行ったプール遊びはご満足いただけました

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	0人	1人	0人	0人	2人	14人	80%

《行事》

1．5月20日（金）の園外療育はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
6人	0人	0人	0人	0人	2人	13人	100%

2．<参加された方にお聞きします> 6月2日（木）ビーバー号歯科検診は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	0人	0人	1人	0人	2人	11人	88%

3．<参加された方にお聞きします> 6月23日（木）保護者勉強会（桜が丘OBお話会）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
3人	1人	0人	0人	0人	2人	15人	100%

4．<参加された方にお聞きします> 6月30日（木）歯科医師会による摂食指導は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	0人	0人	0人	0人	2人	17人	100%

5．<参加された方にお聞きします> 7月2日（土）家族参観は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	0人	0人	0人	0人	1人	13人	100%

《その他》

1．給食の内容は、ご満足いただけていますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
10人	0人	0人	0人	0人	1人	10人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	なし

《療育に関するご意見》

1	（3・4・5歳児分離保育について） まだ利用したことがない。
2	（遊び別保育について） まだあまり機会がない。
3	（個別保育について） まだ行っていない。
4	（個別保育について） まだやったことがありません。

《個別指導に関するご意見》

1	OTの頻度をもう少し増やして頂きたいとは思います…。
2	OTの先生が不在なので何とも言えません。PTはようやく先生が来てくれて安心しました。

《行事に関するご意見》

1	（5月20日園外療育について） 動物園、とても楽しかったです！お昼を早めに食べるスケジュールにしていただいたので午後ゆっくりできて良かったと思います。
2	（6月2日ビーバー号歯科検診について） むし歯もなく、フッ素も塗っていただけたので、千葉リハの歯医者の予約を延期できて助かりました。歯ぶらしのやり方も教えていただけて良かったです。
3	（6月23日保護者勉強会について） 実際の学校での具体的な様子が聞けて参考になりました。 学校に通うイメージがわきました。 デイー覧表もいただけて助かりました。

《給食に関するご意見》

1	味が薄いと聞いていたのと、いつもと違うことに敏感なので食べてくれるか心配でしたが、たくさん食べてくれて安心しました。おいしかったんだと思います。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	給食がボリューミーで栄養ありそうなので、これからも楽しみです。 活動内容も満足です。
2	通い始めたばかりですが、毎回　本人はとても楽しそうに参加していて　とても嬉しいです。たくさんの刺激を受けて感情表現が少しずつ豊かになってきたことを感じます。
3	いつも楽しく登園させてもらっています。 個別に関しては、近日　参加できそうなので楽しみにしています。 親同士の交流や先生達とのお話もできて素敵な場所です。ありがとうございます！！
4	いつも楽しく通わせて頂いています。子供と過ごす貴重な時間にもなっており、ありがたいです。
5	先生方みなさん　本当に優しくて、明るくて、楽しくて、すごくステキな場所で参加させて頂けてありがたいです。これからもどうぞ宜しくおねがいします。

6	言語の訓練をしたいです。6歳になって　話をしない。
7	毎日の活動内容について、家庭や保育園ではできないようなダイナミックで工夫をこらした内容になっているので親子で楽しんでいます。子どもにとっても貴重な経験になっています。 PTについて、子どもの興味・関心をひくように工夫していただきました。そのおかげで、楽しくリハビリの時間を過ごし、できなかったことができるようにもなりました。 子どももすぎのこルームが大好きで、家でも「先生どこ？」と探しています。
8	すぎのこルームに着いた瞬間、娘が笑顔になるので、娘自身がすごく楽しみにしている様子です。 以前は母子分離の時間がもっと沢山あれば良いのに…と思うことがありましたが、今は週に一度でも、私自身が娘の様子をしっかり見ることができる貴重な時間になっています。また、困ったことがあれば、すぎのこルームに行けば相談できる安心感もあります！母子分離の時間は年少さん以下のお母さんにとって、もう少しあったほうが良いかな？とは思うので、今後小さい子も分離時間があると、お母さん達は助かるのでは？と思います。
9	先生方には子供の特性や好みなど理解してもらえているので、親子で安心して楽しく通えています。いつもありがとうございます。
10	いつも丁寧に、親身に接して下さり、大変感謝しています。衛生面等、とても清潔にされていて利用しやすいです。
11	参観日はきょうだいをボランティアの方が見てくださったので助かりました。上の子も「私もすぎのこに通いたい！」という程楽しかったようです。
12	事業所としてもとても通いやすい所だと思います。先生方も皆優しく、必要な設備もそろっていてすごく整った環境であると思います。 ただ、気持ちとしては通いやすい雰囲気の場所ではありますが、実際は制限が多く、こちらの条件が合わないと通えない場所でもあると思いました。 保護者が常に付き添うことや、兄妹児禁止や、併用している園の状況だったり、行けるのに行けないのは残念だったなと思います。 併用している園は夏休みで全く行っていないのにコロナの感染者が出てるとすぎのこには行けないのはなぜなんだろうと思いました。物理的には接触することないのに…。 兄妹児が一緒に行けないのも感染症のことだったり、他の子の療育への集中を邪魔したり、その他理由があってダメなのかもしれませんが、リハだったりの個別で受けるようなのは一緒に参加してもいいのでは？と思います。 こちらとしてもリハビリは生涯必要となるもので欠かすことなく受けていきたいし、兄妹児の為にも自分の障害ある兄妹児の世界に触れるいい機会だと思います。 月に1～2回片道1時間かけて千葉リハに行っていますが、同じような内容がこちらの千葉市療育センターでも設備や専門の先生がいるということで受けれるのでは？と思います。0～5才までみんな足踏みそろえて活動するだけでなく、機能的な訓練が必要な子、望む子にはもう少し積極的な介入をしていただけるとうれしいと思います。

《各ご意見に対する保護者等への回答》

＜療育に関する保護者等への回答＞

1・2・3・4	・ご都合の良い時に、ぜひご参加ください。 「3～5歳児分離保育」は対象のお子さんに、「個別保育」については全てのお子さまにお知らせを配布しております。内容につきましてはお知らせをご確認ください。ご不明な点につきましては、職員までお声をかけてください。

＜個別指導に関する保護者等への回答＞

1・2	・大変ご迷惑をお掛けしまして申し訳ありません。 現在、他施設（療育相談所）より作業療法士の派遣を受けておりますが、派遣日数が限られているため、なかなかご希望に添えない状況となっております。ご不安なことなどがありましたら、作業療法士以外の職員もできる限り伺わせていただきますので、お声をかけてください。

＜その他に関する保護者等への回答＞

6	・すぎのこルームには言語聴覚士が配属されておりませんので、お子さんに応じた個別指導を行うことができません。お子さんが参加されている普段の療育の中で、コミュニケーションを楽しむことに重点を置きながら、他者とやりとりする経験を積み重ねていきたいと思います。
8	・未満児（3歳以下）は親子関係を築く時期となりますので、親子の関わりを大切にしていただきたいと思っております。親子の関わりを職員がサポートすることで、親と子どものお互いが理解していける大切な時間になるよう支援してまいります。
12	・新型コロナウイルス感染症の対応につきましては、感染拡大している社会状況であったため、すぎのこルームとしても感染を防ぐために厳しく制限を設けておりました。現在、感染状況も変化してきたため、すぎのこルームの制限も「濃厚接触者でなければ登園可能」としております。すぎのこルームに通われているお子さんやご家族を感染症から守るための対応でした。どうぞ、ご理解いただければと思います。 ご兄弟への対応についてですが、個別指導のみの参加であればご兄弟の同席は可能です。説明が不足しており、申し訳ありませんでした。 また、個別指導での内容を普段の療育活動の中に取り入れることも可能です。例えば、立位台や歩行器なども使用することができますので、ご要望がありましたら職員までご相談ください。

ウ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和４年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年9月

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数(児童数)　48人　回収数　48人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら ともいえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	36	12	0	0	0	0	100%	・少人数なので、とても余裕があると思う。 ・広くてのびのび良いと感じてます。 ・広く、安全である。	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	32	15	1	0	0	0	98%	・素晴らしい。大満足。 ・適切だと思いますが、もっとたくさんの先生が居てくれると喜ぶと思います（先生に会いたがっているので）。	・ご意見、ありがとうございます。幼稚園などの集団生活の練習も兼ねて、お子さんの人数に合わせて職員の人数も調整しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	29	18	0	0	0	1	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	32	16	0	0	0	0	100%	・広々としていて良い。 ・いつも過ごしやすいです。 ・絵で案内するものが多く、本人に伝わりやすい。	
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	33	15	0	0	0	0	100%	・とっても沿った内容になっている。 ・目標と計画についてはわかりやすく適切と思っていますが、作成された時には出来ていたのに急に出来なくなった（やらなくなったこと）こともあり、心配なこともあります。 ・相談した事、心配な事がしっかり計画書に取り込まれてます。	・気になることやご心配なことがある時は、その都度職員にお声掛けください。

適切な支援の提供	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	28	17	1	0	0	2	98%		
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	27	20	1	0	0	0	98%	・できることが増えてきていると思う。 ・手つなぎ等、プログラムに入っており、出来るようになってきた。	
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	18	26	2	0	0	2	96%	・ローテーションで飽きがこないと思う。 ・毎回たくさんやることがあって楽しそうです。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	18	9	7	1	0	12	77%	・2学期明けから行う。不安が少なくなり、安心。 ・わかりませんが、特に必要はないと思っています。 ・他利用者さんが使っているのを見て、これから利用してみたいと思った。	
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	34	13	0	0	0	1	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	33	15	0	0	0	0	100%	・とても分かりやすい。	
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お子さんの支援や関わり方、お話会等）が行われていますか	26	20	2	0	0	0	96%	・相談した際、適切なアドバイスをしてくれる。	
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	24	23	1	0	0	0	98%	・ちょっとした変化にも気づいてくれる。 ・いつでも相談出来、とても助かっている。	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	24	23	0	0	0	1	100%		
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	10	17	11	2	1	7	66%	・たまに、保護者同士の交流ができると良いなと思う。 ・お互いに当たり障りのない話はできていますが、その程度です。ですが、支援をしてもらう必要はないと思っています。 ・一度、ことばの勉強会に参加しましたが、今後もあれば参加したい。	・保護者様同士の交流は、自由遊びの時間などをお使いいただければと思います。また、今後必要な方には新たに交流できる場など、検討していきます。 ・今年度は、言語聴覚士による保護者勉強会は、今のところは開催する予定はありませんが、次回に向けて検討していきたいと思います。
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	26	20	1	0	0	1	98%	・以前、これから大分先の就学について相談した時に、とても親身に話を聞いてくれて、アドバイスをくれた。とても参考になった。	
保護者への説明等	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や、社会資源等を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	23	19	2	0	0	4	95%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	15	20	6	1	0	6	83%	・通所後間もないので、まだ分かりません。 ・コロナについて連絡（メール）あり、しっかり発信されている。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	29	16	0	0	0	3	100%		

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	15	20	4	1	0	8	88%	・（発生を想定した訓練が実施されている）これは知りませんでした。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	11	12	10	2	2	11	62%	・通所間もないので、まだ分かりません。 ・災害発生時の避難が心配。	・すぎのこルームの医療型は月１回、療育センター全体の避難訓練は年３回、児童発達支援事業は年長グループが避難訓練を実施しています。各グループ実施できるように、検討していきます。
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	27	18	1	1	0	1	96%	・嫌がらずに楽しく通えている。 ・すぎのこに行くよ！とリュックを背負って早くから準備し、楽しみにしています。 ・日によって違うので、気分などがあるようです。	
	23	事業所の支援に満足していますか	27	21	0	0	0	0	100%	・一人で悶々とすることが少ないのでありがたい。心強い。 ・親子で通えるので相談したり、他の親子さんと交流も出来るのでありがたいです。 ・いろいろご指導いただけてありがたいです。	

令和4年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和4年9月

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和4年　8月　8日	提出期限	令和4年　9月　16日		
保護者等数（児童数）	48人	回収数	48人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
29人	0人	3人	9人	7人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり、課題遊びなど）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
28人	16人	2人	0人	0人	2人		96%

2．〈B、C、Eグループを利用されている方に伺います〉給食の内容はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	9人	2人	0人	0人	3人	29人	88%

3．〈年長（5歳児）の方に伺います〉分離の保護者支援（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	5人	3人	0人	0人	0人	36人	75%

4．〈3～5歳児の参加された方に伺います〉7月15日（金）：保護者勉強会（支援学級について）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	3人	1人	1人	0人	2人	36人	80%

5．〈年長（5歳児）の参加された方に伺います〉7月1日（金）：保護者勉強会（支援学校について）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
6人	2人	0人	0人	0人	1人	39人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	駐車スペースが少なくて狭いので、枠外に駐車できると良い。
2	最寄駅からの送迎バスがあると助かります。

《療育に関するご意見》

1	〈療育プログラムについて〉 少しずつ、レベルアップした内容や経験させられると良い。
2	〈療育プログラムについて〉 聞こえづらさがあるので、曲のある体操やお集まりの歌が適切なのかなんとも言えませんが、本人は手の動きなどで楽しんでいます。
3	〈療育プログラムについて〉 体操はあまりしたがりません。みんなと一緒に体操ができると嬉しいです。
4	〈就学についての情報提供について〉 参加できなかったのが、個別で情報をくださってたので、情報のもれはないと思っている。
5	〈勉強会（支援学級）について〉 今後の参考になり、励みになった。
6	〈勉強会（支援学級）について〉 参加していません。
7	〈勉強会（支援学級）について〉 参加していない。
8	〈勉強会（支援学校）について〉 支援学校について知る機会がほとんどなかったので、とても良い機会で勉強になった。先輩ママの話が聞ける機会があればまた参加したいです。

《給食に関するご意見》

1	お肉は固いと食べきれない事もあるが、その他はもう少し固めにしても良いと思います（ペースト状よりも固形が好ましいです）。
2	毎回、完食。楽しみにしている。
3	細かく切られているので見た目は何なのかわかりにくいと感じます。以前より食べやすいと思います。実際に、前より口にしてみるようになったと思います。 家で給食サイズにカットしたものを出すと食べない。何か分かるものしか食べないし、カットすると食べない。
4	おかずがペースト状のものが多いので、大人と同じような見た目だと食べるかもしれません。 ごはんをもう少し固い方がいいです。
5	見て食べる、食べないの判断をしている様で、今のところ食べられていません。ごはんは普通の固さ、魚やお肉もそのものの形が分かれば。食べられるかもしれません。味付けは良いと思います。
6	もう少しその子に合った形で提供してもらえたり、指導があると嬉しいです。魚などもそのままの形の方が見た目的にも美味しそう。
7	おかずの形はわかりやすいそのままが良いです。ごはんのやわらかさもちょうどいい。
8	やわらかいので良くたべていると思います。

9	結構やわらかめなので、もう少しカタチを残していただけるとうれしいです（ごはんも）。 果物があるとうれしいです。
10	食べることが好きな子なので、配慮されている形態だとあまり進んで食べてくれません…。配慮が必要なことも分かりますが、週1回の１食だとあまり意味がないのかなと思います。
11	ご飯がやわらかく、食べない時がある。
12	野菜を食べるようになった！ からあげとかハンバーグ？とか肉のメインの時の見た目がイマイチかと…。
13	やわらかさ、見た目もちょうどよく食べやすいと思う。
14	お肉などやわらかい方が食べやすいので良かったです。

《その他に関するご意見》

保護者等からのご意見・ご要望

1	人数に希望はありませんが、娘の様子を見ていると、より多くのお友達・先生と接したいような気がします。なので、来てみて人数が少ないとちょっと残念…なので人数が増えるといいなと思います。
2	毎回、活動内容がちがっていて楽しんでます。 先生方の対応が良くて、勉強させていただいてます。
3	体を動かすことが好きなので、もう少し動かすプログラムがあると嬉しいです。
4	気になることがあるとすぐに対応して下さり、心強いです。 場所見知り、人見知りが少しあったのも少しずつ改善されて、自分から声をかける姿も見られ、日々成長を感じます。 ありがとうございます。
5	幼稚園の悩みなども相談しやすく、アドバイスもして頂けるので、とても心強く助かっています。 〇〇（子どもの名前）も、身支度や挨拶など出来なかったことが出来るようになってきました。 これからも出来ることを少しずつ増やしていけたらと思います。宜しくお願い致します。
6	とても良くしてもらっています。 家ではできないようなことをしてもらえてありがたいです。（夏祭り、大きな絵の絵の具とか）
7	いつも、きめ細やかな対応をありがとうございます。
8	保護者勉強会（7/1）に参加し、色々な話を聞く事が出来て、今後の就学の時などに参考になる話も聞けて、とても為になりました。この様な勉強会があると、今後にも役立ち、とても良いと思いました。ありがとうございました。
9	本人、とても楽しみにしており、また一緒に通うことが出来、とても勉強になっています。
10	いつも相談にのっていただいて心強いです。ありがとうございます。
11	いつもありがとうございます。 色々季節にあわせた内容を取り入れて頂いて子供にも勉強になっていると思います。 私自身もわからない事を教えて頂けたり助かっています。今後も宜しくお願いいたします。
12	支援級、支援学校だけでなく、すぎのこ卒で普通級に通われている保護者さんの話を聞いてみたい。
13	先生方の関わり方が参考になります。 子供が安心できるようになり、情緒が安定したと感じます。

14	個別にアドバイスや情報をくださるので、とても助かっています。いつもありがとうございます。
15	今年の勉強会は参加できなかったので、来年も勉強会を開催していただければと思います。
16	先生方が子どもをよく見て下さり、声を掛けてくれているのですごく安心できます。保護者にも同じように声を掛けて下さり、お話をしてくれるのでとても信頼しています。
17	毎回楽しく通わせて頂いています。親身になって細やかに相談し乗って下さり、役立つアドバイスを頂けるので親にとってはもありがたい場で感謝しています。

《各ご意見に対する保護者等への回答》

＜通園方法に関する保護者等への回答＞

1	駐車スペースが少なく、ご不便をおかけしております。すぎのこルームだけではなく、他施設をご利用の方も駐車しますので、枠内での駐車のご協力をお願い致します。また、第二駐車場もご利用ください。
2	児童発達支援事業の契約上、現状で送迎サービスを行うことは難しい状況となっております。 ご了承下さい。

＜療育に関する保護者等への回答＞

1	今後もそれぞれのグループに合わせて、プログラム内容を検討し、お子さんの成長を促すことができるように提示していきたいと思います。
2	簡単な身ぶり、ジェスチャーを混じえながら、楽しさを伝えられるように工夫していきたいと思います。

＜給食に関する保護者等への回答＞

1.3.4.5.6.7,9,10.11.12	ご意見頂きまして、ありがとうございます。今年度、児童発達支援事業の給食に関しては『幼児普通食』とさせて頂き、幼稚園や保育所などの大きい集団でお子さんそれぞれが自分で食べることができるように、また、一口量や噛むことを意識しながら練習を積み重ねられるように、普通食より少しやわらかめの形態を安心して食べられるように提供させて頂いております。その為、ご家庭で食べている食事と少し異なる部分があるかと思いますが、ご了承ください。尚、頂いたご意見の中で、見た目については何の食材かわかるように調理方法や盛り付け等、工夫して参ります。また、やわらかさについては、現状よりも歯ごたえを出せるように検討していきます。何かありましたら、遠慮なく職員までお声がけ下さい。

＜その他に関する保護者等への回答＞

3	楽しみながら、体を動かせるプログラム内容を検討し、今後も取り入れていきたいと思います。
12 15	すぎのこルーム卒園児の保護者の方をお招きして勉強会を行ったのは、今回が初めての試みでした。ご参加いただいた保護者の方からのご意見をふまえて、今後も検討していきます。

エ　前期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和４年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和４年9月

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　6人　回収数　6人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	2	4	0	0	0	0	100%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	2	3	1	0	0	0	83%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	2	4	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	2	4	0	0	0	0	100%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	1	4	1	0	0	0	83%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※３の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※４、「家族支援」※５、「地域支援」※６で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	1	3	1	0	0	1	80%		

適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	1	5	0	0	0	0	100%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	3	3	0	0	0	0	100%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	1	3	1	0	0	0	80%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担（利用料）等について丁寧な説明がなされていますか	2	4	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	2	3	1	0	0	0	83%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	1	2	2	0	0	1	60%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	2	3	0	0	0	1	100%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	1	2	2	0	1	0	50%		
保護者への説明等	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	1	0	3	0	1	1	20%		
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	1	2	2	0	0	0	60%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や、社会資源を含めた情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	0	2	2	0	0	1	50%		

保護者への説明等	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	1	3	1	0	0	1	80%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	2	3	1	0	0	0	83%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	0	4	1	0	0	1	80%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	0	2	3	0	1	0	33%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	2	3	1	0	0	0	83%		
	23	事業所の支援に満足していますか	1	4	0	0	0	1	100%		

令和4年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（前期）　集計結果（掲出）

掲出：令和4年9月

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和4年　8月　8日	提出期限	令和4年　9月　16日		
保護者等数（児童数）	6人	回収数	6人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
5人		0人	1人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラムの自由遊び（運動や机上活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	4人	0人	0人	0人	1人		100%

2．療育活動のお集まり（SST等）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	4人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

3．療育プログラムのメイン活動は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	4人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

4.＜年長（5歳児）の方に伺います＞勉強会（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
0人	1人	1人	0人	0人	0人	4人	50%

《通園方法に関するご意見》

1	なし

《療育に関するご意見》

1	〈勉強会（就学についての情報提供等）〉 ・該当しない

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	家や幼稚園だけでは経験できないことをしていただいて親子共に楽しく通わせていただいています。 子供の特性を理解し対応していただいている事に安心感があります。 あと半年の短い期間ではありますが、宜しくお願いいたします。
2	いつもお話を聞いて頂きありがとうございます。 色々な事をやってもらうので子供も楽しみにしています。 気持ちを大事にして下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。

《各ご意見に対する保護者等への回答》
《療育・その他に関する保護者等への回答》

	・ご意見、ありがとうございました。

オ　後期保護者アンケート（医療型児童発達支援センター）

令和4年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年３月13日

事業所名：医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　27人　回収数　26人　回収率　96%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	18	8	0	0	0	0	100%	・人数多い日も、１人ひとり自由に出来るようにしてくれてあると思う。	
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	12	10	3	0	0	1	88%	・OT/摂食の先生が１年間不在でした。療育・PTは満足しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※１になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	17	8	1	0	0	0	96%	・子どもにはおもちゃもとれていい。入口の検温、アルコール消毒の時、荷物と子どもを抱っこしている為、大変。自動だといいなぁと時々思う。	・ご不便をおかけしており、申し訳ありません。今後の感染対策につきましては、千葉市と検討して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	17	9	0	0	0	0	100%	・コロナが流行してから先生達がおもちゃまで消毒して下さり、安心してすごすことが出来ました。お忙しい中、本当にありがとうございました。 ・感染対策もしてくれていると思う。	
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※２が作成されていますか	17	7	0	1	0	1	96%		

適切な支援の提供	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	12	9	2	0	0	3	91%	・療育センターでの支援内容は満足しております。 ただ、この質問が※３～※６と、※印が多く、何を聞かれているのか質問の意図がよく分かりません。	・※３～※６の支援内容については、Ⅰの事業所評価表とⅡの事業所アンケートの間に説明書きが記載されておりますので、ご確認をお願いいたします。ご不明な点がございましたらお気軽に職員までお声がけ下さい。
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	14	5	4	1	0	2	79%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	14	10	0	0	0	1	100%	・色んなのできている。PMのもAMにやってて参加できていい。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がありますか	5	0	4	1	1	7	45%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	15	9	1	0	0	0	96%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	17	6	2	0	0	1	92%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（保護者勉強会等）が行われていますか	14	5	2	1	1	3	83%	・勉強会などのイベントの紹介もしてくれていると思う。	
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	15	6	3	2	0	0	81%	・出来てきたことを、よくみてくれていると思う。 ・ふだんの様子など、今よりもより具体的に伝えていこうと思います。	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	11	9	2	3	1	0	77%		
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	9	11	0	3	1	2	83%		
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	11	9	1	2	0	3	87%	・すぐ動いてくださったり、他の先生方と連携してくださっていると思う。	
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	10	8	5	0	0	2	78%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	16	8	0	1	0	1	96%	・そういえば、アンケートの結果の発信を見たことがありません。どこかにあるのでしょうか？ ・イベントや感染状況の連絡はちゃんとしてもらって、わかりやすいと思う。	・保護者アンケート結果が出ましたら、朝の会でルーム内に掲示していることをお伝えしていますが、今後は掲示場所について検討していきます。尚、アンケート結果につきましては、ホームページにも掲示しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	15	8	1	1	0	1	92%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	16	7	1	1	0	0	92%	・避難訓練が多くて、ちゃんとやっている感じがわかっていい。	

非常時等の対応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	17	8	1	0	0	0	96%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	13	7	2	1	0	1	87%	・よく集中してたり、先生達の声もなれておちついてきたと思う。 ・週1回でも、ニコニコしてうれしそうにしているので、日にちをあけないようになるべく多く通所したいと思っています。 ・行くまでは"いきたくなーい！"だけど、行くと楽しい！！	
	23	事業所の支援に満足していますか	15	7	0	0	2	0	92%	・家ではやれないことも出来て良かった。 ・分離だったら…。せめて、給食の提供があったら…。	・給食については園児のみの提供とさせていただいております。保護者の方の昼食として、仕出し弁当を注文することは可能です。希望される方は職員までご相談下さい。

令和4年度　すぎのこルーム
医療型児童発達支援センターアンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和5年3月13日

事業所名：　医療型児童発達支援センター
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和5年1月20日	提出期限	令和5年2月17日		
保護者等数（児童数）	27人	回収数	26人	回収率	96%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、主たるものに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
16人	6人	1人	0人	1人	0人	

《療育関係》
1．療育内容は、お子さんが楽しめるように工夫されていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
14人	8人	2人	0人	0人	0人	2人	92%

2．遊び別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	11人	2人	0人	0人	2人	3人	90%

3．〈3・4・5歳児の保護者様にお聞きします〉 分離保育では、お子さんを安心して預けられていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
4人	1人	1人	0人	0人	1人	19人	83%

4.個別保育の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
6人	2人	1人	0人	0人	3人	14人	89%

5.個別支援計画は、保護者様の意向を取り入れて作成されていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
17人	4人	1人	0人	0人	2人	2人	95%

6．個別指導（PT・OT)はリハビリテーション計画に基づいて行われ、お子さんの状態が十分説明されていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
17人	4人	1人	0人	0人	2人	2人	95%

《行事》

1．10月15日（土）の運動会はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
11人	3人	1人	0人	0人	0人	11人	93%

2．10月27日（木）、12月1日（木）保護者勉強会（摂食嚥下について）は、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	4人	0人	1人	0人	1人	18人	86%

3、11月7日（月）芋ほり遠足は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
9人	2人	0人	0人	0人	0人	15人	100%

4．12月2日（金）音楽療法は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	3人	1人	0人	0人	0人	17人	89%

5．12月16日（金）クリスマス会は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	3人	0人	0人	0人	0人	15人	100%

6．1月21日（土）家族参観（劇発表）は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
8人	3人	0人	0人	0人	0人	15人	100%

《その他》

1．給食の内容は、ご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
12人	2人	2人	0人	0人	0人	10人	88%

《通園方法に関するご意見》

1	なし

《療育に関するご意見》

1	OTが年に1回しかない。
2	（療育内容について） 発達レベルにあわせて工夫してくれていると思う。
3	（療育内容について） 先生が親身につきそって下さり、とても感謝しています。
4	（療育内容について） 活動内容は親も楽しめる内容！！楽しいです。
5	（遊び別保育について） 参加回数は少ないですが、その度にあわせて遊べていると思う。
6	（遊び別保育について） ここ1年、遊び別保育の回に登園していないので…。
7	（遊び別保育について） まだ未参加です。
8	（分離保育について） 先生方も慣れていないからだと思うのですが、”大丈夫かな？”という不安そうな時があり、預ける側としてはそこが不安です。もっと”大丈夫だよ”という感じで送り出して欲しい。お迎えに行くと楽しそうに過ごしたんだなと我が子を見ると分かるので、その時、やっとホッとする。毎日、文句なしの活動内容で、こどもたちにも慕われていると思うので、自信を持って預かって欲しい。
9	（個別保育について） 利用しませんでした。
10	（個別指導について） OTの先生が不在だったので何とも言えませんが、PTは満足しています。リハビリ以外の時間も身体のことを見てくださり、ありがとうございました。

《行事に関するご意見》

1	（運動会について） 本人が楽しんで参加できる方法を先生達が沢山考えてくださり、とても嬉しかったです。
2	（保護者勉強会について） 未参加。
3	（芋ほり遠足について） 朝早くからレジャーシートを用意してくださったりしていたので、お昼が雨になってしまい、残念でしたが、その中で楽しく過ごせるように配慮して下さり、ありがとうございました。砂だらけの芋ほり遠足、大変でしたが、それも良い思い出です。
4	（音楽療法について） 楽しかった。
5	（音楽療法について） 本人もとても喜んでいたので、また参加したいです。

6	（クリスマス会について） 先生達の演奏、すてきでした！お時間のない中、練習して下さったと思うと泣けてきます。ありがとうございます。 今年のサンタさん、子供向けで、とても良かったです！！
7	（クリスマス会について） 未参加。
8	（家族参観（劇発表）について） 家族含めての参観は初めてでしたが、本当に自分の子だけでなく、他のお子様の頑張りに感動しました。最後にこのような会に参加できて良かったです。開催して下さり、ありがとうございました！
9	（家族参観（劇発表）について） 子どものレベル別に考えられててよかったです。
10	（家族参観（劇発表）について） 役変更に合わせて衣装もたくさん準備してくださり、大変ありがたいです。

《事業所に関するご意見》

1	OTの先生を配置して頂けると、もっと良いと思います。

《給食に関するご意見》

1	いつもどうやって作ったのかお聞きすると、とても手が込んでいて驚かされました。たまに娘の分を食べさせていただきましたが、美味しかったです。娘も給食、大好きでした！本当にありがとうございました。
2	OTを取っていない為、給食の形態に変化がない。
3	栄養満点のメニューで安心して食べさせることが出来ています。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	作業療法士さんは、いつ頃から来ますか。
2	優しく、明るい先生達ばかりで、安心して楽しく通うことが出来ています。 これからも宜しくお願いします。
3	眠っている時間が多く、通園していても参加できない遊びが多いですが、お子さんの声や雰囲気が好きなので、楽しく参加できていると思います。光に弱いため外遊びができない、座れないため同様に出来ないことは多い等、今は制限がありますが、大きくゆれるなど好きなこともプログラムに組み込まれているときがありますので、そういったときに参加しています。今後、食事の提供、リハビリが始まると、より意義があると活動ができるように感じています。先生や看護師さんも皆さん明るく優しく、お気遣い頂いています。
4	毎月の出席予定やバス乗車の有無、検温や体調チェックなどがネット（スマホ）で完結できたら便利です…。
5	いつも大変お世話になっています。親子一緒に楽しませてもらっています。ありがとうございます。
6	いつも親子で楽しめる内容をありがとうございます。日々成長が感じられます。

7	クリスマス等において配られたプレゼントはとても嬉しかったのですが、準備してくださった保護者の方の準備等の負担が少し気になりました。プレゼントが無くても十分に楽しめる素敵な会でした。 また、”母の会”について、入所時、特に説明いただいていなかったので、会費等について突然お話があった際に、「そんな会があるのか」と少し驚いてしまいました。保護者同士のつながりはとても大切なものかと思いますが、働いているお母さんも増えているので、会の活動やあり方は考え直してより良いものにしていくのも良いかもしれません。（話し合い等すでにしていただいているのでしたら申し訳ありません） 会費を払いたくない、会を抜けたいという意味ではないので念の為…。 日々のお遊びの内容やイベントは、子どもたちが楽しく一生懸命に参加していて、先生方の工夫がさすがだと思います。いつもありがとうございます。
8	先日、先生にもお伝えさせていただきましたが、母子分離について年齢と日数を緩和していただけるとお母さん達の負担が減ると思います。お母さん達の体調に異変がおきている話も聞きます。近年、児童デイサービスが沢山できていて、分離でお子様を預けようと思えば預けることができるのかもしれませんが、ここに来ているお母さんがすぎのこルームに母子帯同で来ているのは「すぎのこルームが自分の子供にとって一番良い環境なのを知っているから」です。他の児童デイにお子様を預けるのはハードルが高いとの事でお母さんが頑張りすぎてしまっているように感じました。また、母親の体調不良、妊娠などで、すぎのこルームに来れず、子供が療育を受けられないのも問題かなと思います。「自分のせいで子供が療育を受けることが出来ない」このことが余計に母親を追い詰めてしまっていると感じます。私も自分の体調不良で来れない月があり、そんな日は娘に申し訳なくて苦しい思いをしました。幼稚園に入るくらいの歳になれば初めから一日分離で良いと思います。他県の病院に行くので、色々な情報を聞いてきましたが、市の施設でもそういった所はあります。「すぎのこルームがもっと母子分離できるようになれば、おかあさん、きょうだいじの子も、体力、精神的に楽になるかと思います。どうかご検討していただければ幸いです。これからもすぎのこルームが母親の心の支えになっていくことを願っています。私自身は楽しく通わせていただき、すぎのこルームに行く前日から毎回楽しみにしていました。もちろん娘も一緒に楽しみにしていました。本当に沢山の事を教えていただき、感謝しています。ありがとうございました。
9	摂食について ・食形態を野菜・肉・魚・果物など分けて、食べれるものは形態を上げて出してほしいです。 ・以前の先生の時の摂食指導の時に毎回伝えていましたが、改善されませんでした。 ・娘の場合は野菜（煮物）等やわらかいものであれば、きざみ食で食べられるのですが、肉など硬い物はムース状でないと食べることが出来ません。この理由で食形態を長年上げてもらえませんでした。 ・すぎのこでは練習食は出せないと以前の先生に言われ続けていました。 自宅で練習して下さいとの事でしたが、自宅でなんてとても練習する時間はありません。さらに言えば、肉以外はきざみ食で食べられるので、私がすぎのこで出してほしいと求めているものは娘にとって練習食でもありません。 ・肉以外食べられると言っているのは私だけではなく、千葉リハの摂食の先生、デイサービスの先生も同意見です。 ・もし、給食がおかずによって形態を変えられたら、すぎのこでゆっくりと本人に合った食形態で食べる練習が出来たと思います。もっと口の動きが発達したと思います。何年も勿体無い事をしてしまった。もっと強く意見を言えば良かったと後悔しています。どうか、今後改善していただけますと幸いです。よろしくお願い致します。
10	園内でコロナが発生した際、変更する点や改めることを利用者に周知してほしかった。なしくずしのまま再開してしまったことで、利用者の中には不信感を抱いてしまう人もいた。
11	いつもありがとうございます。
12	いつも子供のことを考えて下さり、またよく理解していただいて接してもらえるので、安心して通うことができています。

13	ほぼぶっつけ本番だったにもかかわらず、1/21の劇発表に参加させていただき、ありがとうございました。本人もとても楽しめたようです。先生のみなさんの工夫のおかげで、親も楽しめました。ありがとうございます。 また、写真もネットから注文できるようになり、7月の参観日の写真を購入できて嬉しかったです。 しばらく主人も出動できるイベント中心に出席になるかと思いますが、よろしくお願い致します。
14	いつもサポートして下さり、大変感謝しています。来年度もよろしくお願い致します。
15	親子通園を単独で通えるようにして欲しい。 年中から月の通園日数に応じて分離の日がありますが、健常の子どもたちと同じように分離で通えるようになったら…それが(障害児童にも)当たり前になれば…と思います。 他県では、障害を持った子でも親と離れて1日を過ごせる施設はあります。準備がととのっていないだけで出来ない…ということはないと思います。 障害をもつ子の親にも時間は大切だと思います。仕事の時間、一人で過ごす時間、人と会って話す時間…あげればキリがありません。子どもにとっても、幼児期に親と離れて過ごすということは成長過程において大事なことだと思います。なぜ、親の都合で幼児が幼稚園などに通っていないと分かると、家庭を調べて幼児教育の重要さを語るのに、障害をもつ幼児が常に親と過ごしていても、それが当たり前になってしまうのか理解に苦しみます。我が子の時代に…とは言いませんが、障害をもっていても健常者と変わらない日常を送られる日が来ることを願います！！どんな子にも明るい将来を！ 色々、書かせていただきましたが、すぎのこの先生方は本当に明るくて元気で、いつも楽しい時間をありがとうございます。
16	お世話になっております。 毎回新しいアイディアの楽しいクラスで、〇〇だけでなく、母親の私も楽しみに参加させて頂いています。 本人はまだまだ緊張で家での態度とだいぶ違いますが、これからもっと明るく歌や踊るのが大好きな本当の姿が見せられるようになるといいです。 どうぞ宜しくお願いします。

＜療育に関する保護者等への回答＞

1	今年度は、OT(作業療法士)が不在となりご不便をおかけしまして、申し訳ありませんでした。
8	ご不安な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。安心して預けていただけるように今後も努めて参ります。

＜事業所に関する保護者等への回答＞

1	今年度は、OT(作業療法士)が不在となりご不便をおかけしまして、申し訳ありませんでした。

＜給食に関する保護者等への回答＞

2	今年度は、OT(作業療法士)が不在となり他施設から月2回の派遣のかたちとなりました。給食でもご不便をおかけしまして、申し訳ありませんでした。

＜その他に関する保護者等への回答＞

1	今年度は、作業療法士が不在となりご不便をおかけしまして、申し訳ありませんでした。
4	ご不便をおかけしております。ネットワークでの出席予定などについて、管理システム体制が整備されておりませんので、ご了承ください。また、検温や体調チェックにつきましては、実際にお会いして取り交わしができればと存じます。

7	「母の会」は、すぎのこルーム保護者による自主的な活動となります。契約時にはお伝えできておらず、申し訳ありません。今後、新規契約された方については「母の会」についてもお知らせさせていただくようにいたします。「母の会」につきましては、今回いただいたご意見を母の会の役員の方にお知らせし、保護者のみなさまで母の会のあり方や活動などについて検討していただければと思います。
8.15	貴重なご意見をありがとうございます。親子通園の療育施設として、保護者の方にも、療育に参加して頂き、お子さんの成長に向けて、ご家庭と療育施設の共通理解を図りながら、共に手を携えて、進んでいけたらと思います。昨年度から、分離保育の対象年齢を3歳児以上と広げ、分離保育の機会を増やしております。今後も療育の質を落とさず、保護者の方が安心してご利用いただける環境となるよう努めてまいります。
9	深いお気持ちを教えていただき、ありがとうございます。また、このようなお気持ちにさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。今後は、職員間で情報共有をより密に行い、より良い食事内容となるように連携を取っていけるように努めて参ります。
10	ご不安な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。変更した点や改めた点につきましては、今後メールやお手紙などでお知らせをするように努めます。

カ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業）

令和4年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和５年3月13日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数(児童数)　51人　回収数　47人　回収率　92%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	36	9	1	0	1	0	96%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	33	12	1	0	1	0	96%	・たくさん見ていただけて、ありがたいです。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	30	15	1	0	1	0	96%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	30	12	4	0	1	0	89%	・床の凹みが走っている時に少し気になります。 ・じゅうたんが少し不安。 ・空調があつかったり冷えたり。	・床のへこみやじゅうたんにつきましては、修繕工事を行っています。不安な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。 ・空調ですが、館内すべての空調となり調節することができず、申し訳ありません。 ON/OFFや強弱の調整はできますので、何かありましたらお知らせください。
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	31	15	0	0	1	0	98%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	25	19	1	0	1	1	96%		

適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	24	20	2	0	1	0	94%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	19	22	4	0	1	1	89%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	15	10	8	1	3	9	68%	・まだ利用していませんが、時期が来て利用できればと思います。	
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	28	17	0	1	0	1	98%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	30	16	0	0	1	0	98%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	23	22	1	0	1	0	96%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	21	25	0	0	1	0	98%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	24	20	2	0	1	0	94%	・悩みや困り事を積極的に相談したいと思った。	
	15	保護者同士の連携が支援されていますか	12	14	12	4	0	5	62%	・子供の様子をみることや付きっきりになると、他の保護者とゆっくり話す時間がないときが多いです。 ・自由遊びの時に、色々とお話したいと思う。	・保護者同士でお話をする時間がなかなか設定できず、申し訳ありません。今後検討していきます。
保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	24	21	0	0	1	1	98%	・どの先生とお話しても子供の様子を情報共有がなされていて、スムーズに話すことができます。	
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	17	25	2	0	1	2	93%		

保護者への説明等	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケートの結果等が発信されていると思いますか	18	23	3	0	1	2	91%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	27	17	1	0	1	1	96%	・一斉メールで他の人のメールアドレスが見えてしまっている（R5.1.12と16に送られてきたメール）。	・不快な思いをさせてしまい、申し訳ありませんでした。今後このようなことがないよう、気を付けていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	14	22	4	2	1	4	84%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	9	15	9	1	2	11	67%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	27	14	3	0	1	2	91%	・毎回通所を楽しみにしています！よろしくお願いします！ ・嫌がることなく、とても楽しみにしている。 ・次はいつ行くのかと聞くようになってきました。	
	23	事業所の支援に満足していますか	28	17	0	0	1	1	98%	・年長まで、ずっと続けていきたい。	

令和4年度　すぎのこルーム

児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和5年3月13日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和5年　1月　20日	提出期限	令和5年　2月　17日		
保護者等数（児童数）	51人	回収数	47人	回収率	92.16%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
28人	0人	5人	9人	4人	0人	1人

《療育関係》
1．療育プログラム（体操、親子遊び、集まり）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
21人	21人	2人	0人	1人	1人	1人	93%

2．療育プログラム（メイン活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
20人	23人	1人	0人	1人	1人	1人	96%

3．〈Bグループを利用されている方に伺います〉 歯科医師による摂食のお話会は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
2人	2人	0人	1人	0人	2人	40人	80%

4．〈年長（5歳児）の方に伺います〉分離の保護者支援（就学についての情報提供等）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
5人	5人	1人	0人	0人	2人	34人	91%

5．〈全グループの中で参加された方に伺います〉 イベント（お祭り、クリスマス会）は楽しめましたか。

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
22人	11人	0人	0人	1人	0人	13人	97%

6．〈B、C、Eグループを利用されている方に伺います〉給食の内容はご満足いただけましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
7人	10人	2人	1人	1人	0人	26人	81%

《通園方法に関するご意見》

1	なし

《療育に関するご意見》

1	（イベントに）参加できなかったので、次回参加できればと思います。
2	メインの集団の都合でクリスマス会に参加できずとても残念でした。イベントは少し早めに日にちを教えてもらえると助かります。
3	クリスマス会のサプライズは、私にとってもワクワクでした。
4	工作などが、とても手が込んでいて、楽しめている。
5	家でも思い出してやっています。
6	通常学級の場合の体験談をききたかった。

《給食に関するご意見》

1	毎回、とっても美味しくて、完食している。苦手な物も食べられるようになった。
2	普段たくさんあげすぎだと痛感しました。
3	ごはんがもうちょっと固いとうれしいです。

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	いつも子どもを見守り、適切に関わりをもってくださり、とても助かっています。 今後もよろしくお願いします。
2	いつも楽しく安全に通所できています。 これからも続けていければいいなと思います。
3	子どもの小さな変化や成長に先生方がめざとく気付いて下さり、アドバイスを頂けたり喜んだりして下さり、いつもありがたく感じています。安心して通える事業所を見つけられて感謝です。
4	療育のこと、右も左もわからず、ご指導いただきありがとうございます。今後とも変わらずよろしくお願いします！
5	楽しく通所できています。丁寧に対応して下さり、相談事もしやすいです。兄弟の話も聞いていただき、それも含めた上で娘（通所している子）との接し方をアドバイスしていただいてすごくありがたかったです。 前ページにも意見しましたが、イベントに参加できず残念だったので、いつ何のイベントがあるか、少し早めにお知らせをもらえるとメインの集団の調整がしやすいと思っています。
6	今後も積み重ねを続けて、1つ1つ課題を増やしていきたいと思っています。
7	友人からも、通いだして変わったと言われました。自分自身も子供の成長を実感しております。
8	季節感のあるいろいろなイベントを通して、子どもが学ぶことも多く楽しんでいます。普段の取組みも支援計画に沿っており、助かっていますし、毎回子どもも楽しみにしています。ろう下や教室の飾りもいつも季節を大事にしていて、ほっこりします。
9	身支度やあいさつなど出来る事が増えました。今は思い通りにならない時など、怒った時に気持ちを言葉に 出来ず、先に手が出てしまうことがあるのでそこを直していきたいと思っています。

10	色々なプログラムがあり、楽しみに通所しています。
11	いつも楽しく通っています。
12	子どもと丁寧に関わって下さり感謝しています。 子ども同士のあそぶ姿も見られて、成長を感じています。
13	いつもありがとうございます。 今後とも、サポートお願い致します。
14	いつも話を聞いてくれて、ありがたく思っています。
15	長い期間お世話になり本当にありがとうございました。親子共、色々な経験をさせて頂け本当に感謝しています。たくさんの成長を感じられ、すぎのこに通えてとてもうれしく思っています。たくさんの思い出ができました！本当に本当にありがとうございました。
16	先生方の声がけで息子も通所を楽しみにするようになりました。活動内容は満足です。
17	女の子が多かったので本人も過ごしやすかったようです。
18	いつもありがとうございます。少しずつ成長する様子が見られてうれしいです。本人も出来る事が増え、楽しく通えるようになりました。あと少しですが、よろしくお願い致します。

＜療育に関するご意見の回答＞

2	イベントの時は、予定を組み次第、早めにお伝えします。楽しみにしていただいていたのに、欠席となってしまい、申し訳ありませんでした。
6	今年度は支援学級と支援学校に通っている卒園児の保護者の方にお願いをしました。今後、検討していきます。

＜給食に関する保護者等への回答＞

3	「幼児普通食」として、すぎのこルームで提供する給食は、現在提供しているやわらかさのものとなります。 ご了承ください。

＜その他に関する保護者等への回答＞

5	イベントの時は、予定を組み次第、早めにお伝えしていきます。日程を調整していただき、是非参加してもらえればと思います。よろしくお願いします。

キ　後期保護者アンケート（児童発達支援事業・発達）

令和4年度

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年３月13日

事業所名：児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

保護者等数（児童数）　6人　回収数　6人　回収率　100%

区分	番号	チェック項目	とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	2	3	1	0	0	0	83%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	2	3	0	1	0	0	83%		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	1	5	0	0	0	0	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	2	3	1	0	0	0	83%		
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	1	4	1	0	0	0	83%		
	6	個別支援計画には、児童発達支援ガイドライン※3の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」※4、「家族支援」※5、「地域支援」※6で示す支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	1	4	0	0	0	1	100%		

適切な支援の提供	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	1	4	1	0	0	0	83%		
	8	活動プログラム※7が固定化しないよう工夫されていますか	2	3	1	0	0	0	83%		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者様のご希望があれば連携を図っていますか	1	3	1	0	0	1	80%		
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	2	4	0	0	0	0	100%		
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	1	5	0	0	0	0	100%		
	12	保護者等に対して家族支援プログラム（お話会や保護者勉強会等）が行われていますか	1	2	1	2	0	0	50%		
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	2	3	0	0	0	1	100%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	2	2	0	1	1	0	67%		

保護者への説明等	15	保護者様同士の連携は支援されていますか	0	2	2	1	1	0	33%		
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	2	3	1	0	0	0	83%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	1	3	1	0	0	1	80%		
	18	お子さんや保護者等に必要なお知らせや行事予定、連絡体制（メールシステム）等の情報や保護者アンケート結果等は発信されていると思いますか	1	4	0	0	1	0	83%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	2	4	0	0	0	0	100%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	0	3	1	0	1	1	60%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	0	2	1	0	1	2	50%		
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	2	2	2	0	0	0	67%		
	23	事業所の支援に満足していますか	3	2	0	0	0	1	100%		

令和4年度　すぎのこルーム
児童発達支援事業アンケート（後期）　集計結果（掲出）

掲出：令和5年3月13日

事業所名：　児童発達支援事業
千葉市療育センター　すぎのこルーム

配布日	令和5年　1月　20日	提出期限	令和5年　2月　17日		
保護者等数（児童数）	6人	回収数	6人	回収率	100%

《通園方法》
お子さんの施設への交通手段について、当てはまるもの全てに〇をして下さい

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない	該当しない
5人		0人	1人	0人	0人	

《療育関係》
1．療育プログラムの自由遊び（運動や机上活動）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	3人	1人	0人	0人	1人		80%

2．療育活動のお集まり（SST等）は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	4人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

3．療育活動のメイン活動は、お子さんにとって適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思うの全体（わからないを除く）に対する割合
1人	4人	0人	0人	0人	1人	0人	100%

《通園方法に関するご意見》

1	無し

《療育に関するご意見》

1	無し

《その他に関するご意見》
保護者等からのご意見・ご要望

1	いつも色々と考えて下さり、本当にありがとうございます。すぎのこルームに来るのが、楽しみな子どもを見ているとうれしく思います。不安な事などの話を聞いて下さり感謝しています。

※１　「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※２　「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※３　「児童発達支援ガイドライン」は、児童発達支援を利用するお子さん本人やその家族に対して質の高い児童発達支援を提供するため、児童発達支援センター及び児童発達支援事業所における児童発達支援の内容や運営及びこれに関連する事項を定めるものです。

※４　「発達支援（本人支援）」は、児童発達支援を利用するお子さんが、家庭や地域社会での生活に活かされるために行われるものであり、保育所等に引き継がれていくものです。

「発達支援（移行支援）」は、児童発達支援を利用するお子さんの発達の状況や家族の意向をアセスメントし、地域において保育・教育等を受けられるように保育所等への支援を行う「後方支援」の役割が求められています。

※５　「家族支援」は、児童発達支援を利用するお子さんを育てる家族に対して、障害の特性に配慮し、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に、丁寧な「家族支援」を行うことです。

※６　「地域支援」は、児童発達支援を利用するお子さんの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するため、保育所等の子育て支援機関等の関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図ることを目的としているものです。

※７　「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

（2）やまびこルーム

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
8 月	令和 4 年度前期　保護者等からの事業所評価	56	45
8 月	令和 4 年度前期　やまびこルームアンケート	56	45
2 月	令和 4 年度後期　保護者等からの事業所評価	59	34
2 月	令和 4 年度後期　やまびこルームアンケート	59	34

令和４年度　やまびこルーム　前期アンケート

令和4年度　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和4年10月　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）56　回収数 45　回収率 80%

Ⅰ．事業所評価表

		チェック項目	とても そう 思う	そう 思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	16	27	0	1	0	1	98%	・グループのとき、机を出す際、毎回、その場でどういう配置にして何台必要か考えてるからもう少し事前シミュレーションした方がスムーズに行くと思う。毎回、机が足りない、これでいいかな？とやりとりがあるなー、と感じる。 ・グループ活動において、一部屋の児童の数に対する活動スペースは確保されている。だがグループ活動が月に一度しかない現状に不満があるため、仮にもうひとつ活動ができる広い部屋とグループ担当の職員さんが確保できれば、活動日数を増やせるのではないかと考えてしまいます。	・ご意見ありがとうございます。事前の打合せは実施しておりますが、職員間の情報伝達や連携がうまく取れていないことがありました。この点を改善し、スムーズなグループ運営を心掛けてまいります。 ・グループ療育に十分な部屋や職員の確保については、療育センタ-全体の運営に関することになります。引き続き、療育センター事務局と協議を行っていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	8	23	5	6	2	1	70%	・STさん不足により十分な療育を得られていないため、職員を増やす必要性を感じる。 ・通所者数と比較してSTの人数が少ないため、増員すべき ・先生によって知識に偏りがある。 ・人工内耳について知見の深い職員がいるとありがたい ・職員の方がもう少し多いと良いと思います。 ・専門性は適切だと思いますが、職員の配置数が1-2と同じ理由で不足していると感じます。増員により、グループ活動がせめて月2回になればと願っております。	・保護者様のご要望に合わせた十分な療育が提供できず、大変申し訳ありません。STの増員を含め、職員配置については、社会福祉協議会本部へも要望を出しております。 ・ご指摘のあった職員間の知識の偏りや人工内耳についての知識の不足については、施設全体として、スキルアップに取り組んでまいります。

環境・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	18	20	4	1	0	2	88%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	15	27	2	0	0	1	95%	・清掃は行き届いているが全体的に設備が古く、気持ちよく過ごせる環境ではない。 感染症対策のため、トイレ以外にも子供や保護者が気軽に手洗いをできる設備が必要だと思います。	ご意見ありがとうございます。センター建物の老朽化のため、ご迷惑をおかけしております。療育センター全体の問題として、検討してまいります。
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	17	25	3	0	0	0	93%	・今年はとても寄り添った取り組みをされていて例年より引き付けられるものがあって勉強になる	ご意見ありがとうございます。今後とも、ニーズや課題にあった個別支援計画作成に努めて参ります。
	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	16	23	4	1	0	1	89%	・具体的なゴールがまだ見えてきていません。	保護者様に具体的に、わかりやすくお伝えできるよう努めていきます。
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	14	26	2	1	0	2	93%	・練習を兼ねて、定期的な聴力検査をお願いしたのに、なかなかしてくれない。	保護者様のニーズが反映された個別支援計画の作成と支援の実施に努めます。
	8	活動プログラム※３が固定化しないよう工夫されていますか	13	26	4	0	0	2	91%	・大体は目的をもった訓練内容になっているが、行事や季節感をもう少し取り入れてほしい。	ご意見ありがとうございます。行事や季節に関連した内容も取り入れていきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	16	14	4	3	0	8	81%	・コロナの影響で企画しずらい状況だと思いますが、本来であれば、もう少し交流の場があればと思います。 ・当面は難しいと思いますが、コロナが収束したあかつきには連携の機会を設けていただければと思います。	ご意見ありがとうございます。コロナ禍において、交流や連携が厳しい状況でありますが、可能な限り、実施していきたいと思います。

保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	21	21	2	1	0	0	93%	・具体的に理解されている先生が少ないような気がします。	ご意見ありがとうございます。職員間の情報共有に努めてまいります。
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	21	20	2	2	0	0	91%		
	12	保護者等に対して家族支援※4（勉強会や話し合いなど）が行われていますか	12	27	3	3	0	0	87%	・職員と保護者が気軽に相談できる環境をつくってほしい。 ・月に１回、1組の親御さんにインタビューなどして日常どのように過ごしてるか知りたいな～と想う(書面にしたりzoomなどで、意見交換など)	ご意見ありがとうございます。時間の制約があり、指導時間内に十分に相談ができないこともあるかと思います。電話、メール、zoom等でもご相談に対応するようにいたします。ご要望がありましたら、お声がけ下さい。 ・ご意見ありがとうございます。検討してまいります。
	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	13	26	3	3	0	0	87%	・入所時には現在できることなどを聞かれたが、その後はほとんど発達などについて問われることはなく、こちらからもなんとなく話しづらい。子供の成長は早いので適度に確認が必要だと思うし、それに合わせた課題を明確に記してほしい。	ご意見ありがとうございます。保護者様と十分話し合いができるよう、時間、方法等を検討いたします。
	14	定期的に、保護者等に対して面談※5や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	14	24	2	4	1	0	84%	・ゆっくり相談や質問ができる環境づくりをお願いします。	ご意見ありがとうございます。保護者様と十分話し合いができるよう、時間、方法等を検討いたします。
	15	親の会の活動の支援や、人工内耳勉強会や補聴器勉強会における保護者懇談、グループ活動の後半に行われる保護者懇談等により保護者同士の連携が支援されていますか	9	22	7	4	2	1	70%		

保護者への説明等	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	14	24	1	3	1	2	88%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	14	23	5	3	0	0	82%	・個々の指導員さんはとても親切ですし、不満があるわけではありませんが、個別指導の時間そのものが短くなったので、その中で十分なコミュニケーションまでとるのは体制的に難しいと思う。	ご意見ありがとうございます。保護者様と十分話し合いができるよう、時間、方法等を検討いたします。
	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	16	22	5	2	0	0	84%	・個別支援の予定が月により変動があり、何週目かの見通しを立てにくい。年間てスケジュールが決まっていると良い。 ・今年度、前期においては半年分の活動予定を早めにご連絡いただきましたが、後期についても早めにご連絡をいただきたい。	ご意見ありがとうございます。今年度後期については、10月に半期分の予定をお示しいたしました。必要なお知らせは、なるべく早く発信ができるよう努めてまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	14	24	2	1	0	4	93%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	13	24	5	0	0	3	88%	・訓練実施については知りませんでした。	毎月の避難訓練予定については、廊下に掲示しておりますので、ご確認下さい。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	8	22	7	2	0	6	77%	・訓練について何も聞いていない。 子供たちも参加できると良い。	毎月の避難訓練予定については、廊下に掲示しておりますので、ご確認下さい。１年間を通して、それぞれの曜日で実施できるよう計画を立てております。

満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	22	15	3	0	1	4	90%	・おもちゃで遊ぶことは楽しみにしているが、手や道具を使っての工作や、頭や体を使う遊びを取り入れてもらえるともっと楽しくなりそうです。 ・グループ活動が月に１回は寂しい。1度休むと翌月になってその翌月も都合がつかないとさらに間があいてしまう。予備会を設けて欲しい。	ご意見ありがとうございます。検討していきます。 ・グループ活動については、たくさんのご意見をいただいております。検討を行っていきます。
	23	事業所の支援に満足していますか	14	22	5	3	1	0	80%	・十分な療育が得られていないにも関わらず改善策を講じていない。 ゴールも不明瞭で不安しかないが、相談しづらい雰囲気である。 ・進級するたびに曜日が変わるので兄弟児の習い事や預かり先など、予定が立てにくいです。 ・とても、楽しみに通っている。 ・内容は良いので、今後可能な範囲で回数が増えてほしいです ・療育の回数を増やして欲しいです。 ・娘を尊重し、根気よく対応していただいていて嬉しいです。娘の自信に繋がっていると感じます。ありがとうございます。 ・こういったアンケートでも、メールでのやりとりができるようになり助かります。	ご意見ありがとうございます。保護者様に、不安な思いをさせてしまっており、申し訳ございません。 職員配置や環境面については、引き続き、療育センター事務局、社会福祉協議会本部と協議を重ねてまいります。 また、職員の資質の向上には、施設として取り組んで参ります。保護者様と十分なコミュニケーションが取れるように時間、方法なども工夫して参りたいと思います。 ・療育日程等の保護者様への連絡は、なるべく早く行うようにしていきます。

※１「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机の配置やイラストや写真を用いるなど、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※２「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、支援目標や支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、前期と後期の初めにご説明の上、同意書にサインをいただいています。

※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4 「家族支援」とは、保護者がお子さんと関わりながら聴覚障害の特性を理解し、遊びや関わり方等を学ぶことにより、お子さんの成長を促すことを目標としています。

※５ 「面談」とは、個別支援計画に記載された支援内容についての説明や、個別指導の中での保護者との情報交換、希望者へのルーム長による面談等を含みます。

令和４年度　やまびこルームアンケート（前期）　集計結果

掲出：令和4年10月

事業所名：福祉型児童発達支援センター
千葉市療育センター　やまびこルーム

配布日　令和4年8月15日　提出期限　令和4年9月16日

保護者等数（児童数）	56人	回収数	45人	回収率	80.0%

《通園方法》

お子さんの施設への交通手段について、当てはまるものをチェックしてください。
（複数回答可）

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない
27人	21人	2人	3人	3人	0人

《療育関係》

1. 個別指導の内容はお子さんに合っていますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
17人	22人	3人	0人	1人	2人	91%

2. グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちらとも	あまりそう	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思
8人	17人	2人	1人	0人	2人	15人	89%

3．聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
18人	19人	3人	2人	1人	2人	86%

4．耳鼻科診察は聴覚管理（中耳炎の予防など）に役立っていると思いますか

とても そう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
7人	15人	3人	0人	1人	8人	11人	85%

5. 外部講師による人工内耳勉強会（6月15日、24日実施）、補聴器勉強会（6月10日、28日、7月21日実施）は参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
9人	10人	1人	0人	0人	2人	23人	95%

6.【保護者勉強会（7月3日実施・「これまでを振り返って、難聴児の支援を考える」）について】
聴覚障害の理解や聴覚活用を考えるうえで、参考になりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
12人	9人	1人	1人	0人	1人	21人	91%

7. 通園バスについて、運転や添乗は適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
15人	7人	0人	0人	1人	1人	21人	96%

≪自由記述欄へのご意見≫

個別指導

1	個別担当の先生が新学期になり、慣れた頃に子供の通う園や施設と連絡をとってすぐ様子を見に来てくださいました。やまびこ以外での様子を見て頂くことができてよかったです。ありがとうございました。
2	成長に合わせた遊びを心がけていると思います。今後は成長を促す遊びも取り入れてほしい。
3	子供の興味に合わせた内容を提示して頂き感謝しております。
4	聴力検査の日を別に設けるか、聴力検査日、という日を設けて自由に申し込みできる日があるといいな一、と思う。個別の時間だけだと聴力検査でほぼ終わって悲しい。
5	左耳の補聴器を外してしまうため、聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だとはいえない。

グループ指導

6	グループ活動が本格的に始まるのを楽しみにしています。
7	療育内容には満足しておりますので、今後グループ活動の回数が増えることを切に願っております。
8	グループ療育の回数が少ない。月1しかないのだからお誕生会など受身の活動ではなく話し合いだったり発表だったり意見を交換しあうような時間を多めに設けてほしい
9	グループの日14時30分は早いな～。15時からが良い。
10	グループ活動の中では、できれば難聴児だからこそ、こういう活動の中で取り入れている点等があれば、教えていただきたい。集団活動という意味では幼稚園や保育園でも学んでいる部分もあると思うため、やまびこだからこその点を教えていただきたい
11	語彙が増えて来てるので、課題や資料が多い方が良い。

耳鼻科診察

12	せめて耳垢くらいは取ってほしいです。
13	もっと耳鼻科外来の頻度をあげてほしい

勉強会

14	イヤモールドアダプタの角度調整のコツを教えていただけたのがありがたかったです。
15	保護者のフリートーク時間がもう少しほしかった。

通園バス

16	通園バス非常に助かります。
17	最近バスが来るのが遅いです。

その他のご意見

18	終業式などグループや全体で集まれる機会を作ってほしい。 他の子や上級生の発達状況を確認することによって、目標やゴールが明確になると思いますし、他の保護者が行っている声掛けや行動など参考にできることもありそうなので。
19	いつも子供が楽しみにしています。個別もグループももう少し頻度が多ければいいなと思います。
20	保護者会はなくなったのでしょうか？
21	個別、グループ共にもう少し頻度を増やしてほしいです。
22	姉弟がいる場合の対応を長期休み以外も対応してほしいです。 先生方の人数の関係もあるのかもしれないのですが指導日数が少ない為体調不良も重なりなかなか行けないのが残念です。

≪保護者の皆様への回答≫

4	低年齢の場合、聴力検査に時間がかかりますが、検査に慣れるに伴い、検査も上手に早く終わるようになってきます。聴力検査に慣れていくことも指導の一部とご理解いただければと思います。
5	お子様が補聴器を外してしまうことで、保護者様に不安な思いをさせてしまい、申し訳ございません。聴力検査、および日常生活の中での聞こえの様子などをもとに、引き続き、補聴器調整を行っていきます。
7・8・9・19・21	個別指導、グループ活動の回数については、職員配置、勤務体制、環境面などを踏まえて、検討してまいります。
8・10・11	グループ活動の内容、保護者支援の内容や取り組みについて、ご意見を踏まえて、検討してまいります。
12	耳鼻科診察で、気になることがあれば、事前に医師に伝えておくことができますので、お声がけください。
13	現在、毎月3回、耳鼻科診察日を設けております。グループや個別指導のない日でも、診察を受けることはできますので、お声がけください。
15	ご意見ありがとうございます。保護者様同士の情報交換の時間も取れるよう、会の運営・進行に配慮してまいります。
17	通園バスの到着時間が遅れ、ご利用者様にご迷惑をおかけしたことが複数回ございました。大変申し訳ございません。適切な通園バスの運行を心がけて参ります。
18	コロナ禍のため、行事等は人数を制限して行って参りました。世間一般の動向を見つつ、全体行事の実施の有無や実施方法について、検討してまいります。
20	コロナ禍で、ルーム全体での活動が困難になってしまったため、現在休会となっております。
22	コロナ禍のため、グループ指導、個別指導において、同室で参加できる保護者様の人数を制限して行って参りました。世間一般の動向を見つつ、人数については検討してまいります。ご兄弟については、個別指導の場合は、別途ご相談ください。グループ指導においては、ファミリーサポートの利用などをご検討ください。

令和４年度　やまびこルーム　後期アンケート

令和4年度　保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年3月13日　　事業所名：千葉市療育センター　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

保護者等数（児童数）59　回収数 34　回収率 57.6%

Ⅰ．事業所評価表

		チェック項目	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていますか	12	19	1	2	0	0	91%		
	2	職員の配置数や専門性は適切だと思いますか	6	15	7	3	2	1	64%	・職員が増えてどの先生がどんな資格をお持ちで何を専門としているのかわからなく、質問して返ってこないとあぁ、そうか、となるときがある。 ・利用者に対して職員数が少なすぎるように思います。 ・配置数は良いが、専門性は疑問が残る。 ・２人のSTがついての個別は、人員の無駄だと思います。受け入れもままならい現状に対してやっていることが矛盾しています。 ・人工内耳に詳しいSTさんがいてくれるとありがたい。また、職員の配置の関係で指導の回数が増えない状況にあるとしたら職員を増やしていただきたい。 ・需要に対して言語聴覚士の人数が不足しているように思える	・言語聴覚士の増員要求は引き続き行っています。 ・ご指摘のあった人工内耳のことも含め、言語聴覚士の研修体制を今後より強化し、職員の育成を充実してまいります。
環境・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※1になっていますか。また、事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がなされていますか	13	15	3	1	1	1	85%	カレンダーはネットで無料ダウンロード可能なものもあるので、平仮名の子供用を使用してもらえると助かります。掲示位置も子供の目線にして下さい。	・ご意見ありがとうございます。 ・掲示については、安全性等を考慮して、手の届かない位置を選択した場面もありました。今後、検討させていただきます。

環境・体制整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていますか	10	21	1	2	0	0	91%	・本の貸し出しエリアは倉庫チックにもなっているので触らないでね、や赤の養生テープなど貼って線引きをして頂けると本だけ触っていい、てわかるのかな、と思ったりする。 ・先生方の工夫で環境はととのえられていても、どうにもならない施設の老朽化は感じます。	ご意見ありがとうございます。本の貸し出しエリアについては、早急に対策を講じます。
適切な支援の提供	5	お子さんと保護者等のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画※2が作成されていますか	14	13	4	2	0	1	82%	・本人の成長が遅いのは理解できるのだが、自己主張も強くなってきている変化も捉えてほしいと感じた。 ・印鑑やめて下さい。2020年11月より9割以上の行政手続きにおける原則押印廃止が決定ています。時代錯誤です。 ・ニーズに対して、できないことへの説明が足りないように思える	・今後はお子さんの状態と保護者様のニーズに対して十分な説明を行い、共有した上で療育を行っていきます。 ・印鑑の取り扱いに関しましては、千葉市に確認いたします。
	6	個別支援計画には、お子さんの支援に必要な内容が具体的に記載されていますか	15	11	6	1	0	1	79%	・1ヶ月に1回の個別であるため、変化に気づきにくい部分はあるかもしれないので、どちらともいえない。 ・子供が興味がある遊びをしてくださるのはありがたいのですが、新たな子供の遊びや興味を発展させくれる遊びを提供してほしいし、教えてほしいです。	ご意見ありがとうございました。ご意見を踏まえて、今後の療育に取り組んで参ります。
	7	個別支援計画に沿った支援が行われていますか	12	14	5	2	1	0	76%	・支援計画に沿った内容ではあるが、回数が足りないように感じています。 ・本人の微細な変化を捉えてほしい。 ・支援計画に対し、そもそも個別の日数が足りていないので意味を感じない。隔週でできる内容ではないと思います。	療育頻度につきましては、施設状況、職員体制等から、現状のような結果となっております。ご家庭での取り組みや、他児発の併用等についても、保護者様とご相談しながら療育を進めてまいります。
	8	活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されていますか	11	19	2	1	1	0	88%	・固定化されていると思う。就学に向けて、コミュニケーションの図り方など、良い方法が見出して頂けるとありがたい。	ケース会議を通じて、職員間でお子さんの状態を共有し、より良い療育を模索していきます。

適切な支援の提供	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会は設けていませんが、保護者のご希望があれば連携を図っていますか	8	15	4	2	1	4	77%	・子どもが成長するにあたって親が調べてもがくことが多くまだまだ未知なことが多い。 ・すぐに園に連絡してくれて情報共有できたので助かりました。 ・やまびこの利用者の多くは平行通園なので必要性は感じません。それよりもまずは以前のようにグループを毎週できるように整えて下さい。 ・難聴児との関わりがない園は殆どだと思うので、定期的に園とはやり取りをして難聴児に対してかかかわり方を意識してほしい。それをしないと1つのクラス20人以上で日々目まぐるしく活動している子供を相手にしていると絶対に聴者と同じ扱いになるからです。 ・園への訪問をもう少しこまめに行ってくれるとありがたいです。	ご意見を踏まえまして、関係機関との連携を密にとるようにいたします。
保護者への説明等	10	支援の内容、利用者負担(利用料)等について丁寧な説明がなされていますか	11	20	2	1	0	0	91%	・進級や更新の際になにか質問ありますか？や困っていることありますか？と先生から聞かれると聞きやすいな、と感じる時がある。	保護者様が質問をしやすい雰囲気作りを心がけます。
	11	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされましたか	12	19	2	1	0	0	91%	・おもちゃへの興味を引き出すのは、わかるが、何を目的として、療育をしているのかがわかりづらい。	ご意見ありがとうございました。療育のねらい、目的を保護者様と共有します。
	12	保護者等に対して家族支援※4（勉強会や話し合いなど）が行われていますか	9	21	3	1	0	0	88%	・年齢ごとにわかれていたりするので次年度こういうことがあるんだな、と把握しておきたいし、なくなっても以前はあったんだな、て認識になるので該当しなくても活動内容はお知らせして欲しい ・なかなか参加できないし、録画したDVDを借りるのも忘れてしまうので、やまびこルーム限定公開でYouTube等で勉強会の様子を載せてくれるといつでも見れて良いなと思います。 ・重複障害児と親に対する支援は少なく感じます。他県でのアプローチ方法なども情報収集しても良いのでは？と思います。 ・父親が必ず参加してほしい会があれば嬉しいです。母親と父親の理解の差が大きく感じるからです。	ご意見ありがとうございました。ご意見を踏まえて、幅広く情報を収集し療育に活かしていきます。勉強会などの録画配信は継続して実施します。普段療育に参加していない保護者様向けの療育参観等の企画は今後検討してまいります。

保護者への説明等	13	日頃からお子さんの状況を保護者等と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか	11	18	5	0	0	0	85%		
	14	定期的に、保護者等に対して面談※5や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか	10	18	3	2	1	0	82	・月1回のみの個別訓練なので、仕方ないと思いますが、自己主張が強い為、関わりが難しくなっています。どうしたら良いのか、わからず困る事が多いです。	保護者様との面談の時間を十分に設け、どうしたらいいか一緒に考えていきます。
	15	異年齢交流グループや、通常のグループ活動の後半に行われる保護者懇談等により保護者同士の連携が支援されていますか	6	16	3	2	4	3	71%	・グループ活動が月に一度になってしまったため、保護者同士でお話する回数も時間も少なくなり、あまり連携できているとは感じられない。 ・重複障害児が少なく、且つ、スケジュールに追われているため、集まる事ができないので、仕方のない部分もある。 ・保護者交流の時間が少ないので、配布物の内容を読むだけの時間は無駄だと思います。	ご意見ありがとうございました。来年度の3・4・5歳児グループでは、母子分離の時間を長くし、保護者様同士の交流の時間を十分にとれるような体制を検討しています。
	16	お子さんや保護者等からの相談やご意見について、対応の体制を整備するとともに、お子さんや保護者等に周知・説明し、相談や意見等があった際に迅速かつ適切に対応されていると思いますか	9	19	4	0	1	1	85%		
	17	お子さんや保護者等との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	11	18	3	0	2	0	85%	・重度であるため、支援者も難しい事は理解できる。経験だけでなく、他県の情報など収集してほしい。違う方法でコミュニケーションを試みている県もある。九州大学など。	ご意見ありがとうございます。ご意見を踏まえて今後の療育に取り組んでまいります。
	18	保護者等に必要なお知らせや行事予定、アンケートの結果等が発信されていると思いますか	10	22	2	0	0	0	94%	・手書きではなく、メールでのアンケートの回答などはとても助かります。 ・申込期日がある時は、メール本文にも期日を明記いただけているので、見落としが減りました。	

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか	11	19	2	0	0	2	94%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者等に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されているのをご存知ですか	9	16	4	0	0	5	86%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	6	17	3	2	0	6	82%	・参加したことがないので分かりません	
満足度	22	お子さんは通所を楽しみにしていますか	19	7	2	2	1	3	84%	・飽きやすく、注意が悪いため、集中が難しい。あまり1つの事を長くやる必要はないのではないか？と思っている。 ・頻度が少なすぎて馴染めていない。 ・親子共々通所がとても楽しみです。	お子さんの状態に合わせて、お子さんが楽しめる活動を提供できるよう努めます。
	23	事業所の支援に満足していますか	10	16	5	2	1	0	76%	・人工内耳のマッピングができる先生を配置していただけたらと思います。 ・内容や先生方のご指導・ご対応には感謝しかありませんが、グループも個別も回数が少なくなっているのは残念です。 ・グループ、個別共に頻度が少なく療育施設としての役割を果たせていない。やまびこ都合での改悪が続き、利用者は不満が大きい。 ・もう少し頻度、時間が増えると嬉しいです。	療育頻度につきましては、施設状況、職員体制等から、現状のような結果となっております。今後も、職員体制の改善に向けて千葉市に要望を出していきます。

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机の配置やイラストや写真を用いるなど、お子さん本人にわかりやすくすることです。

※2 「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々のお子さんについて、支援目標や支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、前期と後期の初めにご説明の上、同意書にサインをいただいています。

※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4 「家族支援」とは、保護者がお子さんと関わりながら聴覚障害の特性を理解し、遊びや関わり方等を学ぶことにより、お子さんの成長を促すことを目標としています。

※5 「面談」とは、個別支援計画に記載された支援内容についての説明や、個別指導の中での保護者との情報交換、希望者へのルーム長による面談等を含みます。

令和４年度　やまびこルームアンケート（後期）　集計結果

掲出：令和5年3月13日

事業所名：福祉型児童発達支援センター
千葉市療育センター　やまびこルーム

配布日　令和5年2月8日　提出期限　令和5年2月24日

保護者等数（児童数）	59人	回収数	34人	回収率	57.6%

《通園方法》

お子さんの施設への交通手段について、当てはまるものをチェックしてください。
（複数回答可）

自家用車	通園バス	徒歩	自転車	その他	わからない
24人	15人	3人	0人	4人	0人

《療育関係》

1. 個別指導の内容はお子さんに合っていますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない）に対する割合
12人	14人	5人	1人	1人	1人	79%

2. グループ指導の内容はお子さんに適切だと思いますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
7人	10人	1人	1人	1人	1人	13人	85%

3. 聴力検査・補聴器調整はお子さんに適切だと思いますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからないを除く）に対する割合
12人	16人	3人	1人	0人	2人	88%

4. 耳鼻科診察は聴覚管理（中耳炎の予防など）に役立っていると思いますか

とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
7人	9人	2人	1人	1人	3人	11人	80%

≪行事・勉強会≫

5.【 秋祭り（10月23日実施）について】お子さんは楽しめましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
12人	7人	0人	0人	0人	1人	14人	100%

6.【クリスマス会（12月16日・12月20日・12月26日実施）について】お子さんは楽しめましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
7人	8人	0人	1人	1人	1人	16人	88%

7.【手話で遊ぼう会（1月24日・2月21日・12月26日実施）について】親子で手話に親しむ機会となりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
2人	5人	0人	0人	0人	3人	24人	100%

8.【親子で遊ぼう会（エアートランポリン/10月25日実施・お正月製作/12月27～28日実施）について】
異年齢のお子さんや保護者の方との交流の機会となりましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
2人	5人	1人	0人	1人	2人	23人	78%

9.【卒園児保護者お話会（松戸市・船橋市・千葉市・千葉聾学校/10月21日・11月21日・11月28日実施）について】就学先を考えるにあたり、役に立ちましたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
7人	3人	0人	0人	0人	1人	23人	100%

≪その他≫

10. 個別指導の振替や追加1回分のお申込みについて、Googleフォームを使用した予約システムを導入しましたが、適切だと思いますか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
3人	12人	4人	1人	3人	0人	11人	65%

11. 通園バスについて、運転や添乗は適切でしたか

とても そう思う	そう思う	どちら とも いえない	あまり そう 思わない	そう 思わない	わから ない	該当しない	「とてもそう思う」と「そう思う」の全体（わからない・該当しないを除く）に対する割合
9人	8人	0人	0人	0人	0人	17人	100%

≪自由記述欄へのご意見≫

通園方法

1	・駐車場が足りないと思う。停めてから敷地外に出ていった人を見たことがありますが、近所の人に無断駐車されていませんか？
2	・難聴児は第2駐車場を利用と言われていますが、聴覚障害2級と3級の人は千葉市より「障害者等用駐車区画利用証」の認可を受けています。市の制度に乗っ取って、利用証を所持している難聴児は第1駐車場の利用を認めて下さい。
3	・通園バスありがたいです。

個別指導

4	・プログラムの固定化が強い。
5	・毎回時間が足りないと感じます。幼児の個別の時間をもう少し増やしていただきたい。

グループ指導

6	・園とどう違うのか、園を休んで参加するまでの内容か時々不安に感じることがあります。
7	・兄弟含む体調不要や園の行事の都合で、月1で指定された日時に通うのは困難です。よって、適切な指導を受ける機会が無い状態です。
8	・頻度が多くないので、もう少し頻度が多いとありがたいです。

聴力検査・補聴器調整

9	・反応が明確ではないが、補聴器を嫌うので、効果があるのかわからない。
10	・人工内耳のマッピングに詳しい人の意見が欲しい。

耳鼻科診察

11	・診てもらうだけで耳垢を取るなど何も処置してくれないのなら、定期的にこども病院に通院しているので、必要ないと思いました。
12	・耳鼻科がある曜日が限られているため受診出来ないです。

秋祭り

13	・典型的な屋台（わたあめ・お面・金魚すくいなど）を見せてあげたいのですが、コロナ禍で地元のお祭りがなくなり実現できずにいます。来年もコロナが続く場合は、秋祭りの場で疑似体験できたらいいなと思いました。

クリスマス会

14	・先生たちの方が盛り上がっていて早口になっていた。こどもたちの盛り上がりは光の部屋とサンタのプレゼントくらいの印象。
15	・申し込みを忘れてしまった。可能であれば大きなイベント系は不参加の人にリマインドお願いしたいです。

手話で遊ぼう会

16	・手話会は頻繁にやってほしいです。
17	・講師と通訳の方を見ながら一緒に手を動かしているうちにどんどん面白くなってきて、とても楽しい時間を過ごせました。お子さんの年齢にもよると思いますが、子どもが手話に触れる時間がもう少し多くても（合計30分くらい？）よかったかなと思いました。
18	・親子分離されると思わなかった。

親子で遊ぼう会

19	・未就学児の兄弟の預かり制度をどうにかして下さい。参加できません。
20	・人数オーバーで参加できなくて残念でした。

卒園児保護者お話会

21	・パパも聞きたい人が多い内容だと思うので、ズームなとで土日開催などでもいいと思う。

予約システム

22	・わかりづらい
23	・締切が早くてまだ2ヶ月先の予定が見えない時もあります。締切すぎると振替に対応してもらえなかったのに、ルーム側の都合でキャンセルになった時も振替できず、残念な気持ちになりました。
24	・希望を出したからと言って、その希望日にならないのが残念です。全曜日で選べる訳ではないんだなと思いました。先すぎ(2ヶ月前位)の振替なのでもお少し直近になったら変更できると有り難いです。
25	・個別の回数が少ないので、体調不良等での急な欠席でもできるだけ振替してほしい。
26	・追加1回分のお申込みが煩雑で分かりにくかった

その他のご意見

27	・職員が増えすぎて名前を忘れたり顔が認識してなかったりする。以前見たく職員一覧の写真と名前を掲示して頂けないのでしょうか。先生たちの個人情報保護ならば、グループの活動の時だけでも先生の名札カード、貼って欲しい。子どももイマイチ覚えていない。マスクや透明マスク、マウスガード等、スタイルが変わると子どもも戸惑う。 主の先生はよりもっとゆっくり話して欲しい。 ルーム長の声が1番聞きやすく子どもも耳を傾けている。
28	・先生や他の保護者の方達と　お話出来る時間がもう少しあれば　尚良いと思います。
29	・グループ活動の際、時間通りに始まらないのが気になる。少なくない額の助成金が出ているのだから、非常時でもない場合、遅れた人に合わせる事なく時間通りに始めて欲しい。
30	・子供はやまびこに行くことを毎回とても楽しみにしています。ありがとうございます。来年度の予定をもう少し早く出してくれると助かります。
31	・グループ活動における市の人数制限は撤廃されています。2グループ制をやめ、月2のグループ活動を行なって下さい。またST2人により個別の対応をやめて下さい。人員が足りないと嘆くばかりで、そこからの改善策や対応について何も話がありません。やまびこ都合のしわ寄せばかりが利用者にきている状態です。難聴児の療育は、脳の可塑性の観点からも未就学の間が一番重要だと考えています。今のやまびこにはその重要性を理解している人がいないように感じます。不満しかありません。
32	・個別指導が少ないので体調不良でのお休みを振り替えで出来たら有り難いです。
33	・個別指導の回数を週2回程度まで増やせるような体制作りをしてほしい

≪保護者の皆様への回答≫

1～3	療育センターのご利用者様には、車イスをご利用されている方も多数いらっしゃいます。敷地内駐車場は、その方たちの利用を優先しております。15時以降で第1駐車場が空いていれば、停めていただいて結構です。
4・5	ご意見を踏まえて、今後の療育に取り組んで参ります。指導時間については、準備、片付け、消毒・換気の時間を加味したうえで、1日4枠の指導枠を組むため、現状のようになっております。ご理解いただきますようお願い申し上げます。
6	指導のねらいや内容について、ご利用者様にご理解いただけるような説明を心掛けてまいります。
7	3・4・5歳児のグループ指導は、月1回の日程で組んでおります。今後はより参加しやすいように、設定を複数日にすることを検討中です。
8	療育頻度につきましては、施設状況、職員体制等から、現状のような結果となっております。
9・10	補聴器調整等につきましては、今後も関係医療機関とよく連携をとるようにいたします。人工内耳マッピングにつきましては、医療機関にて実施していただいております。実施機関と情報交換を行ってまいります。
11・12	中耳炎罹患の確認等、定期的な聴覚管理を目的として耳鼻科診察を設けております。
13	ご意見ありがとうございました。 秋祭りについては、来年度も企画できるよう検討してまいります。
14・15	ご意見ありがとうございました。行事については、利用者様が楽しんで参加できる内容を検討していきます。
16～18	ご意見ありがとうございました。 ご意見を踏まえて、やり方、内容などを検討し、来年度も手話への取り組みを継続していきます。
19・20	未就園児の預児については、千葉市のファミリーサポートサービスの利用等もご検討いただければと思います。ご相談下さい。

21	ご意見ありがとうございました。保護者の皆様が参加しやすいよう、検討してまいります。
22～26	ご意見ありがとうございました。予約システムに関しましては、今後も改良を図って参ります。指導日の変更、振替の対応につきましては、ご利用者様の不利益にならないよう、検討を行っております。
27	ご意見ありがとうございました。来年度、新しい職員体制になりましたら、職員室入口に職員の名前と写真を掲示いたします。マスクにつきましては、現在、職員は原則不織布のマスクを着用し、必要性に応じて、口が見えるマスクを着用しております。職員一同、利用者様に伝わりやすい話し方を心がけてまいります。
28	グループ活動や行事の際、保護者の方同士の交流の時間を十分にとれるように、検討してまいります。職員にお話がある場合は、どうぞお気軽にお声かけください。メール・電話でも結構です。
29	ご意見ありがとうございました。ご利用者の皆様が気持ちよくグループ活動に参加できるよう、取り組んでまいります。ご利用者様におかれましても、時間通りのご来所にご協力いただけますと幸いです。
30	ご意見ありがとうございました。来年度の予定につきましては、療育センターの人事異動が発表になってから、確定いたします。毎年、ご利用者様にはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。
31	コロナにおける人数制限は撤廃されております。千葉市要配慮保育実施要綱に基づき、「施設等は、要配慮保育を実施するにあたり、保育士の配置について、要配慮保育決定児童の3歳未満児3人につき1人、要配慮保育決定児童の3歳以上児3人につき1人を配置するものとする。」と規定されております。聴覚障害では、2級・3級・4級が要配慮保育決定児童となっております。やまびこルームでは、千葉市要配慮保育実施要綱に基づいて人数制限を設けております。 STを含め、現在、研修体制を充実し、職員育成を図っております。今年度後期に向けて、随時、指導枠を増やしていくべく取り組んでおります。やまびこルームとして、現状の施設状況、職員体制の中でできうる療育には取り組んでおりますので、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。
32	指導日の振替につきましては、ご利用者様の不利益とならないよう、検討を行っております
33	療育頻度につきましては、お子様の状態や他施設の利用状況を考慮し、必要性に応じて決定しております。

（３）いずみの家

実施月	アンケート内容		配布数	回収数
３月	ご利用者ニーズ調査（就労移行支援・就労継続Ｂ型支援）		31	31
３月	満足度アンケート （就労移行支援事業・就労継続支援Ｂ型事業）	（ご利用者）	31	31
		（ご家族）	31	29
		（ボランティア）	2	2

※ボランティアに関して新型コロナウィルス感染症拡大による受け入れ停止のため配布、回収なし

令和４年度いずみの家　ご利用者ニーズ調査　結果

対象者　就労移行支援事業ご利用者　男性：2名 女性：1名 計：3名
就労継続支援B型事業ご利用者 男性：14名 女性：14名 計：28名　合計：31名
（第1作業室：9名　第2作業室：9名　第3作業室：10名）

1.いずみの家の事業利用について

①いずみの家では、どの事業を利用していますか？

就労移行支援　3	就労継続Ｂ型　21	わからない　7

②A．現在、どの作業室に所属していますか？

第1作業室　8	第2作業室　8	第3作業室　12

②Ｂ．現在の作業室の所属年数は何年目ですか？

1年目～5年目　7	6年目～10年目　6	11年目～　15

③来年度、いずみの家を利用したいと思いますか？

利用したい　26（84%）	利用したくない　3（10%）	わからない　2（6%）

④来年度利用したい事業はどれですか？

就労移行支援　6	就労継続Ｂ型　20	わからない　3

⑤作業配置や内容について（自由記述）　※就労継続Ｂ型限定

・第１作業室希望（３）　・箱折　・線付けなら第１作業室でもいい
・第２作業室希望(３)　・剥がし、貼り、保冷材の仕事を今後やりたい
・フルーツキャップの作業が好き、防災セットは嫌い　・神社袋　・好きな作業は第１作業室
・ハンガーをやりたい（３）　・第２作業室の紙作業　・第２作業室のテープ貼り
・第３作業室希望（８）・ウレタン貼り、ウレタン掛け、サイズチップ付け
・第１作業室でタオルの箱入れをやりたい

⑥就職の希望や就労の取り組みについて（自由記述）　※就労移行支援限定

・求人票を見ながら自分に合った仕事を探していきたい。・就職できてよかった。 ・自分に出来るような仕事が、山ほどあるような会社があれば行きたい。

1.いずみの家の事業利用について　考察
・８割の方が③「来年度もいずみの家を利用したい」との回答でした。「利用したくない」「分からない」の回答は就職が決定しており次年度の利用がない２名が含まれています。⑤「作業配置や内容」の記述にもあるように、これまで、長く行ってきた作業以外にも新しく請け負った作業に対して積極的に取り組む姿勢が聞かれました。また、繋忙期に他科の作業の手伝いに入ることで仕事の幅と作業の興味を拡げる結果となり、現状の作業だけでなく他科作業も経験したいという回答に結びついたと考えられます。⑥就職の希望や取り組みに関しては、ご本人の希望を確認していきます。

２．就労（働くこと）について

①平日の日中は、働きたいですか？

働きたい　28（90%）	働きたくない　2（6%）	わからない　1（3%）

②A．どこで働きたいですか　※働きたいと回答した方限定

いずみの家　22（79%）	いずみの家以外の施設 2（7%）	一般企業　4（14%）

②B．何をして過ごしたいですか（自由記述）　※働きたくないと回答した方限定

ウレタン貼り

②C．心当たりはありますか　※いずみの家以外の施設と回答した方限定

心当たりがある　1	心当たりはない　0

②D．どのくらいの年数で移籍したいですか　※いずみの家以外の施設と回答した方限定

1年以内　1	未定　0	2年以内・3年以内　0

②E．どのくらいの年数で就職したいですか　※一般企業と回答した方限定

1年以内　3	未定　0	2年以内・3年以内　0

２．就労（働くこと）について　考察
９割以上の方が「働きたい」と回答しており、いずみの家での就労期間が長いことに繋がっていると推測されます。また、「一般企業で働きたい」と答えた方が４名で内、２名は一般企業へ３月、４月で就職しています。いずみの家以外で働きたい利用者様からは具体的な希望施設も聞かれました。

3. ご自身の個別支援計画書について

①ご自身の現在の個別支援計画の課題を覚えていますか?

覚えている　11（35%）	忘れてしまった　11（35%）	わからない　9（29%）

②個別支援計画書についての、意見や要望（自由記述）

・定年まで働きたい ・個人でもハンガーをやりたい

3. ご自身の個別支援計画書について　考察
ご自身の個別支援計画を「覚えている」の割合は昨年度とほぼ横ばいとなっています。支援の基本となる計画のニーズや課題については、ご利用者ご自身が意識して取り組まなければ達成することが難しくなります。ご利用者へ短い期間での再度の確認とご利用者が理解しやすい内容・文言での作成に努めていきます。

4．生活の場について

①現在、誰と一緒に暮らしていますか？（該当するもの全て選択）

父　20	母　25	兄姉　9	弟妹　5
祖父　0	祖母　1	その他　2	独居　2

②これから先5年の間、誰と一緒に暮らしたいですか？　（該当するもの全て選択）

父　15	母　20	兄姉　7	弟妹　4
祖父　0	祖母　1	その他　5	独居　3

③今後、もし父母が亡くなった場合、どこに住みたいですか？

兄弟・親戚 6（14%）	入所施設 3（11%）	GH　15（54%）	一人暮らし 4（21%）

④将来に向けて、入所施設やGHの体験をしてみたいと思いますか？

体験をしてみたい　13（52%）	体験はしたくない　10（22%）	体験したことがある 6（26%）

⑤生活の場について、不安なことがあったら教えてください。（自由記述）

・たまには実家に帰りたい　月１回 ・グループホームで生活力をつけて将来、独り暮らしをしたい

４．生活の場について　考察

「④将来に向けて、入所施設やGHの体験をしてみたいと思いますか？」という問いに対して半数以上の方が「体験をしてみたい」と答えており、体験に対し前向きな意識を持っていることとが推測されます。また、実際に体験した方や利用を始めた利用者の方もおり、今後も増えていくことが予想されます。「③もし父母が亡くなった場合、どこに住みたいですか」に対してはGHが５割以上を占めました。GHへの興味の高さが伺えます。ご自身の将来（未来）に関する質問のため、なかなかイメージが湧きにくいですが、いずれ訪れる場面ですので、この設問はしっかりと考えてほしいことも日頃から伝えていきます。

５．いずみの家の生活について

①役割当番について

やりたい　25（70%）	やりたくない　1（10%）	わからない　5（20%）

②希望する役割について（自由記述）

給食当番 6	更衣室清掃 2	地域清掃 4	班長　4
食堂清掃 6	麦茶　2	洗濯当番 3	冷蔵庫　1
休憩時間変更 1	カレンダー 2	お茶出し 0	食洗器清掃 0
ラジカセ 4	布巾消毒 1	頼まれたらやる　0	

③利用者活動（自治会役員兼旅行委員）について

やりたい　10（40%）	やりたくない　13（27%）	わからない　8(33%)

④希望する活動や役割について（自由記述）

副会長　2	会計　2	書記　0	会長　1
・会長をやりたい　・副会長ならやりたい（２）　・会計をやってみたい（２）　・旅行委員			

⑤いずみの家の設備・環境について、ご意見はありますか？

ある　4（7%）	ない　22（69%）	わからない　5（24%）

⑥直して欲しいところや希望について（自由記述）

・女子トイレを広くしてほしい　・更衣室が冬寒いので空調を何とかして欲しい
・便器の数をもう１つ増やしてほしい（２）
・パウダールームを作ってほしい　・温水便座を増やしてほしい

5．いずみの家の生活について　考察
役割当番を「やりたい」と回答された方が70%おり、ご利用者にとっていずみの家は「職場」になるので、「出来る事は自分たちで」という意識の高さが役割当番の意欲に繋がっています。一方、自治会については年々、希望する人が減っています。今一度、「主体的で自分たちの意見を具現化できる活動」になることを目指していきたいと思います。女子トイレについては、スペースが限られているために拡張する戸数を増やすことは難しいですが、もう１か所の温水便座の導入は検討しています。

6. 行事について

①一番楽しかった行事を教えてください。

社会研修（歴史民俗博物館等）　9（30%）	所外活動（鴨川シーワールド）　13（43%）	お楽しみ外出（イオン幕張新都心）　8（27%）
新年度体制説明会　0（0%）	健康診断　0（0%）	

②行事の内容や回数について教えてください（自由記述）

・マザー牧場	・三保の松原に行きたい
・成田ゆめ牧場	・外出行事の回数を増やしてほしい
・一泊旅行（２）	・余暇活動（映画）の回数を増やしてほしいい

6. 行事について　考察
コロナの感染拡大防止のために、一泊旅行はコロナの対応が始まってから中止が続いています。 しかし、今年度は、ゆうあいピックや外出行事も再開が出来ました。次年度は、基本的な感染防止を視野に入れながら行事内容を検討していきます。安全、安心を前提として皆さんに喜んでいただける行事を提供していきたいと考えています。

7．楽しいと思うこと・辛いと思うことについて（自由記述）　※いずみの家以外可

（楽しいこと）

・作業（２）　・ひよこの組み立て　・みんなで出かけること（３）　・箱組み立て　・放送

・大笑いすること　・ジャニーズのライブに行く　・千葉みなとクラブ　・高校時代の友人と会う

・余暇活動（２）　・母と出かけること　・工賃がもらえる（２）

・漫画の「猫とごめん」を見ること　・いずみの家でゲームすること

（辛いこと）

・自分が騒ぐこと

・昼食が美味しかった？としつこく聞く人がいる

・更衣室で休んでいるときに騒ぐ人がいて体力の回復が出来ないときがあった

8．悩み事・困っていることについて（自由記述）　※いずみの家以外可

（悩み事）
・これからどうなるのか悩んでしまう。この先大地獄の展開になるのではないかと思ってしまうことが悩み。
・両親が高齢で心配　・就職先の通勤ルートで遅延が発生するのが心配
・独り暮らしをしたいが、お金の管理と家事ができるか心配
（困っていること）
・他の利用者の女子に、早退する理由を聞かれること。言い返したいが相手が可哀想で言えない
・仕事は毎日行くが、ちょっと気分が重くて、ちょっと疲れていても仕事にはいかなきゃならないんだということが困っている。
・他の利用者さんの声が後ろから響いて集中できない

9．ご利用者同士の相性について

①好きな（相性の良い）ご利用者はいますか

いる　14（45%）	いない　13（42%）	わからない　4（13%）

②嫌いな（相性の悪い）ご利用者はいますか

いる　11（35%）	いない　19（61%）	わからない　1（3%）

7．楽しいと思うこと・辛いと思うこと　8．悩み事・困っていること　9．ご利用者同士の相性　考察

7. 楽しいと思うこと
いずみの家に関する内容が多い事はご利用者皆様の生活にいずみが深く関わっているという証であり、今後もこのような内容が多くなるよう、調査の内容を活かしていきたいと思います。
7. 辛いと思うこと　8. 悩み事・困っていること
「就職」や「独り暮らし」の心配事や不安も聞かれました。不安に思うことに耳を傾け、事前に対策を行うことで不安や心配事を軽減できればと思います。また、ご利用者の希望が実現できるよう支援していきたいと思います。また、「お父さん・お母さんが高齢で心配」との回答は、今後いずみの家のご利用者の多くが直面する問題かと思われます。設問４－③④にもつながってくるかと思いますので、日頃から将来について話していきたいと思います。
9. ご利用者同士の相性
日中、多くの時間を過ごしている場ですので、人間関係の好き嫌いがあるのは当然と思います。大きなトラブルに発展しないよう、またイジメや悩み過ぎていずみに来られなくなることがないように日頃からの対話を重ね、信頼関係を築いて対応していきます。なお、調査では作業室編成の参考にするため、ご利用者の名前もお聞きしていますが、結果では割愛しています。

10. 来年度の余暇活動について（複数回答）

スポーツ　11	映画　15	調理　18
工作　0	その他　1	内容：

余暇活動の内容や意見について（自由記述）

・今のままでよい（2）　・回数を増やしてほしい　・カラオケを再開して欲しい
・木工がやりたい

10. 来年度の余暇活動について　考察

前年度よりも回数を増やして、全18回の余暇活動を開催することが出来、活動中も感染対策にご協力いただき感染拡大もありませんでした。次年度の余暇活動の内容については、皆様に楽しい時間の提供とストレス解消につながる内容となるように検討を重ねて行きます。

令和4年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ご利用者

1. 職員の対応について

①言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	16	12	3	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.3%	

②皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	19	8	4	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			87.1%	

③明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	19	9	2	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.3%	

1. 職員の対応について　のご意見
・いずみでトレーニングして努力して、就職すること。
・とても親切丁寧に説明して頂き、サポートして頂いています（移）。

1. 職員の対応について　のご意見への回答
・個々の目標に対し、よりきめ細やかな支援を心掛けることで、その目標を達成できるようにこれからも支援を行っていきます。

2. 個別支援計画およびモニタリングについて

1. 皆さんの意見や希望が入っていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	9	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.5%	

2. 職員からわかりやすい説明がありましたか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	18	10	1	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

3. 計画通りの支援を受けていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	7	3	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.0%	

2. 個別支援計画およびモニタリングについて　のご意見 ・第三者の視点で助言頂き、とても安心していられます（移）。
2. 個別支援計画およびモニタリングについて　のご意見への回答 ・的確で効果的な助言や支援が出来るようにこれからも努めていきます。

3. 活動内容について（就労継続B型のみ）

①作業内容はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	20	6	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.9%	

②活動時間（9:00～16:00）はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
継続支援B型利用者	16	7	4	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			82.1%	

③工賃額はちょうどよいですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	17	9	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.9%	

3. 活動内容ついて　のご意見 ・わかりやすい仕事をして良かったです。
3. 活動内容について　のご意見への回答 ・作業手順や方法など、これからもわかりやすい説明を心掛けていきます。

4. 活動内容について（就労移行のみ）

①就労移行の活動（履歴書作成、ビジネスマナー等）はどうですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	3	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②作業室での作業従事はどうですか？

就労移行利用者	2	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③求人の紹介は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	3	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

④活動時間（9:00～16:00）はどうですか？

就労移行利用者	3	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

4. 活動内容ついて　のご意見 ・色々な作業が経験出来て、とても楽しく日々を送っています。
4. 活動内容について　のご意見への回答 ・就労移行のトレーニング内容については、その方に合った課題を克服できる内容を提供出来るように努めていきます。

5. その他について

①余暇活動（スポーツ・映画鑑賞・工作・調理）に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	24	5	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.5%	

②いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	7	2	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.3%	

③実習生の受け入れに満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	7	2	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.3%	

④ボランティアの受け入れについて満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	7	3	1	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			87.1%	

⑤美味しい給食の提供がありますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	22	5	2	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

5. その他ついて　のご意見 ・昔、給食メニューのアンケートをしたので、またやってほしい。 ・給食がすごく美味しくて素晴らしいです。あなた方じゃ私のもう一つのお母さんです。 ・給食をとても気に入っています。
5. その他について　のご意見への回答 ・給食のご意見については、栄養士と共有を図り、これからも皆様に喜んでいただけるメニューを提供出来るようにしていきます。

6. 行事等について

1. ゆうあいピック（陸上、フライングディスク）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	19	4	4	1	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			82.1%	

2. 社会研修（歴史民俗博物館、成田さくらの山、おそば屋）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	4	3	2	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			83.3%	

3. 所外活動（鴨川シーワールド）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	6	2	0	2
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

4. 新年お楽しみ外出（イオン幕張新都心）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	21	7	1	1	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.3%	

5. 健康診断（前期、後期）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	23	7	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.8%	

6. 行事等ついて　のご意見 ・散歩したい。 ・みんなで出かけるのが一番楽しみです。 ・（1月から入ったので）イオン幕張しか行っていませんが、楽しかったです。
6. 行事等について　のご意見への回答 ・コロナウイルスが流行る前のに地上に戻りつつありますので、日々の作業の励みになるような行事を実施していきたいと思います。

7. 総合評価（いずみの家全体について）

いずみの家で楽しく（心地よく）過ごせていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
利用者	20	8	3	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			90.3%	

8. いずみの家についてのご意見やご要望 ・休むところ増やしてほしい。 ・年内に就職を決めたいので、仕事探しのサポートをお願いいたします（移）。
8. いずみの家についてのご意見やご要望　への回答 ・休む場所については場所の問題もありますが、本や雑誌など娯楽性の高いものの提供を検討していきます。 ・個々の目標にあった支援をこれからも心掛けていきます。

令和4年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ご家族

1. 職員について

①職員は十分な知識・専門性を持って支援をしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	11	16	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

②言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	14	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

③皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	15	13	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

④明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	13	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

⑤職員は安全で丁寧な支援をしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	14	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

⑥電話や連絡帳の対応は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	17	12	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

⑦. 個人情報は適切に取り扱っていますか？（家族のみの設問）

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	16	11	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

1. 職員について　のご意見 ・職員の異動が多い。(3) ・今年度当初は退職される方もいたので職員の人数が少なくなって心配しました。 ・誠実に対応して頂いている。 ・親切に対応してもらっている。 ・人手不足や経験不足を感じることあり。
1. 職員について　のご意見への回答 ・職員の異動に関しては毎年、アンケートでもご意見を頂いており、ご心配をおかけして申し訳なく思います。人（職員）や環境の変化に敏感な方も多くおり、皆さんに安全安心な生活を過ごして頂くためにも、異動については最小限で済むように法人へ働きかけていきます。 ・異動や退職により人数不足や経験不足の思いを抱かせてしまっている点についても、大変申し訳なく思います。職員配置を適切にするように法人へ伝えると共に、職員間の情報や知識の共有、研修の参加等により不足部分を補えるように心掛けていきます。

2. 個別支援計画およびモニタリングについて

1. 皆さんの意見や希望が入っていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	15	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②職員からわかりやすい説明がありましたか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	14	14	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

③計画通りの支援を受けていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	13	14	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

2. 個別支援計画およびモニタリングについて　のご意見 ・特になし

3. 環境について

①いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	14	12	2	0	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.9%	

②掲示物は見やすく適切な内容ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	10	14	2	0	3
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.3%	

③地震や火事等の防災対策が十分になされていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	わからない（無回答）
家族	9	14	2	0	4
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			92.0%	

3. 環境について　のご意見 ・いずみの家に行く機会が減り、環境のことがわからなくなってきている。
3. 環境について　のご意見への回答 ・コロナ禍により、普段のいずみの家の様子を直接見ていただく機会がここ数年、減っていました。制限が緩和されたことで、面談やボランティア等で直に見ていただく機会を増やしていきたいと思います。

4. 活動内容について

①作業の種類や内容に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	10	17	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

②いずみの家の開所時間は適切ですか（9時～16時）？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	12	17	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③工賃額は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	4	13	9	2	1
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			60.7%	

④実習生やボランティアの受け入れ状況に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	9	16	4	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			86.2%	

⑤給食の提供に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	17	10	2	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			93.1%	

⑥行事や健康診断の実施に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	15	13	1	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			96.6%	

4. 活動内容について　のご意見
・運動不足気味なので、身体を動かす活動があるとよい。
・工賃の決定方法については説明されているので納得している。
・給食の献立はよく考えられているが、量が少ないのではと感じる。
・検便の提出日を月曜日にお願いいたします。
・活動は気分転換になっている。
・利用者の皆さんは本当によくやっていて感心しています。普通のパートさんが作るものと変わらずきれいに作っているので、工賃については残念だなと感じます。

4. 活動内容について　のご意見への回答
・工賃については全国の平均を上回っているものの、通常の収入と比べるとまだまだ低いのが現状です。様々な会社と関係をつないでいくことで、効率や単価の高い仕事の獲得を目指し、少しでも多くお支払い出来るように努めていきます。
・給食に対するご意見についてはカロリーの面もありますが、見た目も含め栄養士と連携をはかっていきます。
・検便についてのご意見については昨年度より実施しております。

5. 総合評価（いずみの家全体について）

いずみの家の利用について満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
家族	15	14	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

6. いずみの家についてのご意見やご要望 ・コロナ対策に続き、手洗いやうがいを注意して続けてほしい。 ・いずみの家に納得して通っているので、これからもよろしくお願いします。 ・気長に付き合ってくれて、感謝しています。 ・変化が苦手なので、安定した状態で生活出来ている。 ・コロナ対策の登降所の時間が変更になり、混乱するのではないか心配。 ・（緊急時の）LINEの開通はとても良かった。 ・コロナ対策は細やかにしてくれて、感謝しています。 ・この一年で社会性や生活面で一段と成長したように感じます。 ・コロナによる活動制限が緩和され、イキイキと笑顔で過ごすようになり、日頃の支援に感謝しています。 ・いずみの家が大好きで喜んで通うことが出来ています。 ・コロナ対策が緩和されたとはいえ、なかなか以前のような状況になったわけではないので、注意は続けていきたい。 ・今年度は一泊旅行も復活するのかと思いつつ、心配な面もあるのでその時の様子で決めていってもらいたい。 ・信頼できる職員の方々の対応で毎日安心して送り出せています。今後も利用者の楽しみな行事がたくさんあるいずみの家であってほしいと希望しています。 ・本人が毎日出かけるのが楽しいと思っているので、居心地の良い環境を作って頂いているのだと思います。 ・コロナによってボランティアをする機会が少なくなってしまいましたが、繁忙期に声をかけてほしいと出かけやすいです。 ・慣れてきたところで担当の職員の方が毎年変わります。出来る範囲で同じ職員の方で続けてほしいです。
6. いずみの家についてのご意見やご要望　への回答 ・コロナ対策が緩和され、日常に戻りつつある中で、ご利用者の皆さんが安全安心に過ごしてもらうために、感染リスクが高いと思われる部分は対応を継続してまいります。 ・緊急時の伝達方法については長年ご意見を頂戴しており、今年度からLINEでの運用を開始しました。幸い、緊急時の連絡を必要とする場面はありませんでしたが、災害等はいつどのような形で起きるか予測が出来ませんので、上手に活用できる方法をこれからも検討していきます。 ・日々の生活においてご利用者の皆様が毎日楽しく通えるように、職員は日頃から研鑽を積み、ご家族ご利用者から信頼して頂ける施設作りに努めていきます。また、繁忙期にはボランティアをお願いし、助けていただくと共にいずみの家の雰囲気を直接感じて頂き、ご利用者が頑張っている姿を見ていただきたいと思います。

令和4年度 いずみの家満足度アンケート集計結果 詳細
ボランティア

1. 職員の対応について

①言葉遣いや身なりはきちんとしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	2	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②皆さんの話を受け止め、誠実に対応していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③明るく楽しい雰囲気づくりをしていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	2	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

1. 職員について のご意見 ・皆さん和やか、明るい、親切です。
1. 職員について のご意見への回答 ・作業ボランティアと限られた内容ではありますが、ボランティアの方々に支えられていますので、これからも親切な対応を心掛けていきます。

2. 活動内容について

①ボランティアの受け入れ対応に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	2	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

②作業（ボランティア）の内容に満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	2	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

③活動時間（9:00～16:00）は適切ですか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

④いずみの家はきれいに掃除・整頓されていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

⑤利用者・職員・他ボランティアとの関わりに満足していますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	2	0	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

2．活動内容について　のご意見 ・とても親切、丁寧な対応で感謝しています。
2．活動内容について　のご意見への回答 ・ご利用者と接する機会は限られていますが、頂いたご意見を継続していけるように努めていきます。

3．総合評価（いずみの家全体について

いずみの家で楽しく（心地よく）過ごせていますか？

	とても良い	良い	どちらとも言えない	悪い	無回答
ボランティア	1	1	0	0	0
	「とても良い」と「良い」の全体（無回答を除く）の割合			100.0%	

4．いずみの家についてのご意見やご要望 ・長く活動を続けていこうと思うほど、良い環境です。
4．いずみの家についてのご意見やご要望　への回答 ・新型コロナウイルスの影響によりボランティア参加をしてくださる方が減ってしまいましたが、その中でも継続的に参加して頂き、誠に感謝いたします。ボランティアの方々が長く活動していただけるよう、これからも職員・ご利用者が協力し、明るい環境を作り上げてまいります。

（4）ふれあいの家

実施月	アンケート内容	配布数	回収数
11～12月	利用者満足度アンケート	431	389
4～3月	創作的活動、ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ事業(ボッチャ・卓球・STT・ふれあいレク・書道・音楽療法・組紐・パソコン・絵手紙・陶芸・アートDEふれあい、染物、藍染、ビームライフル、ヨガ OT短期、ST短期)	185	169
7～11月	社会適応訓練事業(聞こえにくく、介護予防、介護技術)	24	24
7～3月	ボランティア養成講座	177	137
7月	ボランティア養成講座　要約筆記講習会	5	5
11月	ボランティア養成講座　手話講習会(初級)木曜日	25	18
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(初級)土曜日	27	19
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(中級)木曜日	28	24
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(中級)土曜日	28	20
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(応用)木曜日	23	23
12月	ボランティア養成講座　手話講習会(応用)土曜日	23	12
12月	ボランティア養成講座　音訳講習会	12	10
3月	ボランティア養成講座　点字講習会	6	6
8月	地域交流会(ボッチャ)	18	17
2月	ふれあいフェスティバル	64	64
2月	ふれあい作品展	179	179

上記のようにふれあいの家アンケートについては福祉講座や社会適応訓練事業等の複数の事業について実施しており、結果については下記のとおりアンケートの考察を中心に報告します。

ア　創作的活動、ｽﾎﾟｰﾂﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ事業

【音楽療法】

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、昨年度から歌唱は行わず実施しています。内容は音楽を聴き、内面へアプローチをして、気持ちや身体の変化を感じる”受動的音楽療法”を中心に行いました。

アンケートでは、多くの方に開催曜日、時間について「現在の開催が良い」と回答をいただきました。また、講師の対応について回答者全員より「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。

【陶芸】

昨年度は 13：30 からの開催でしたが、今年度は 10：00 からの開講になりました。アンケート結果では、開始時刻について 6 割以上の方から「10：00」と回答いただきました。来年度も今年度同様に 10：00 から開始になります。プログラムについて全員から「とても満足・だいたい満足」と回答いただき、内容についても全員から「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。

次年度も皆様に楽しんでいただけるように教室運営に努めてまいります。

【絵手紙】

感染対策をしながら、満員での開講となりました。内容・プログラムでは、全員より「とても満

足・だいたい満足」と回答いただけました。障害者作品展にも教室で作成した作品を出品し、作品展の様子を動画で撮り受講者に上映しました。受講生からも好評をいただいています。講師の対応についてついても全員より「とても満足・だいたい満足」とご回答いただいています。今後も受講される皆様が楽しんで頂けるように講師と協力し、実施してまいります。

【パソコン】

今年度は開催曜日を水曜日に変更しましが、満員で開講する事が出来ました。内容・プログラムや講師の対応については、全員から「とても満足・だいたい満足」と回答をいただきました。内容の難易度については、半数の方が、「どちらでもない」と回答していただきました。また、「簡単」が 30%、「少し難しい」が 10%でした。半数の方には適した難易度だったようです。講師の対応についても全員から「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。会場については、「とても満足・だいたい満足」が 90%でした。開講時は感染対策で 1 人 1 台の机で行っていただいていましたが、途中から緩和され 1 台 2 人になる机もありました。また、障害状況に合わせて席の配置もしたことで、満足していただけたと考えます。

【書道】

新規・リピーター双方からお申し込みがあり、定員充足率 100%でした。昨年度同様、道具は自身のものを持ってきてもらい、引き続き感染対策にも努めました。内容・プログラム、講師の対応等についても全員から「とても満足・だいたい満足」とご好評をいただいています。障害者作品展、ふれあい作品展にも作品を出品していただいています。参加されている方は学ぶこと以外にも、仲間作りも目的としているようです。引き続き、より良い教室運営に努めてまいります。

【組紐】

定員 12 人のところ、10 人の方からお申し込みがあり開講しました。受講者には新規の方、リピーターの双方が居ます。講師の対応については、全員から「とても満足・だいたい満足」とご回答いただきました。また、開催時間は多くの方から現在の 2 時間で良いと回答をいただき、開始時間も 10 時と意見がありました。開催曜日については、半分の方が平日という意見もあったので、今後講師と意見交換をしていきたいと思います。

【アートＤＥふれあい】

多くのリピーターの方からお申し込みがありました。講師の対応について、毎回違う講師でしたが、講師の対応について「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。また、開催曜日、開始時間は現状で良いと回答されています。皆様に楽しんで頂けるように講師に意見を伝えながら教室運営に努めてまいります。

【ふれあいレク】

今年度は初回からグループ分けせず全員参加で実施しました。また、風船バレーをした後は消毒をする等し、感染対策をしました。途中講師が替わりましたが、講師の対応について、内容・プログラムについて共に多くの方から「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。次年度から講師が代わりますが、意見交換しつつ、皆様に楽しんで頂けるような教室運営に努めてまいります。

【卓球】

新規・リピーターからお申し込みをいただき、定員満員で開催しました。開催曜日、開催時間では多く方から好評いただきました。開始時間については、様々な声をいただきましたので、講師と相談し、今後の教室運営に反映していきたいと思います。内容・プログラムについては、92%の方に「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。「開始時間を徹底してほしい」というご意見もいただきましたので、しっかり準備し、開催に努めてまいります。講師の対応については、多く方に「とても満足・だいたい満足」と回答いただきましたが、「手本を見せてから指導してほしい」という意見もあったので、講師と情報共有をしっかりしていきます。

【ボッチャ】

新規・リピーターの方からお申し込みがあり、定員満員で開講できました。内容・「プログラムについて、講師の対応については多くの方に「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。

「楽しくやらせてもらっている。良かった。」という意見もいただけています。毎年人気の教室ではありますが、リピーターの方にも引き続き楽しんで頂けるように講師と意見交換しながらより良い教室運営に努めてまいります。

【サウンドテーブルテニス（ＳＴＴ)】

受講者皆様から内容・プログラムについて、講師の対応について「とても満足・だいたい満足」と回答いただきました。開催時間に関しては、60%の方から「短すぎる」とご意見をいただきました。「もっと長時間、行いたい。」「最後に大会を行いたい。」とご意見をいただいていますので、講師と意見交換しながら教室運営に努めてまいります。

【染め物】

6 月 29 日の教室は、布マスクをリメイクしたガーゼハンカチを、三浦大根(紅くるり)の染色液で染め、染物体験として実施しました。講師の考案により、どなたでも出来るようにと、実施方法を工夫してくださったこともあり、内容、対応共に好評価をいただきました。利用者様からも、直接「楽しかった」とお声もいただきました。開催時間の長さについて、今回の予定では 2 時間のプログラムのところ、実質は 1 時間半で終了し、アンケートでは全員が 2 時間と答えていたため、時間的には少し物足りない部分もあったように考察します。染物の短期教室は、今年度中にあと 2 回の実施を計画しておりますので、今回の反省を活かし、次に繋げていきたいと思います。

8 月 31 日の教室は、布マスクを職員がコースターに仕立て上げ、そのコースターをマーブリング(マーブル模様に彩る)するという内容で実施致しました。実施内容自体は、2 色の染色液を水に浮かばせ、マーブル模様になった瞬間に布をつけて、マーブル模様を布に写すというものなので、5 分程で完成する創作でしたが、一人ずつ作品を作成し、出来上がった作品を全員で鑑賞しながら進行していくという形を講師がとったことで、充実した時間になった様子が伺えました。また、アンケート結果の「内容の難しさ」という項目で、3 人の方が「少し難しい」と答えておりますが、作成工程自体の難しさではなく、マーブリング模様は、染色液を水に浮かせて作り出す模様なので、常に模様が動いており、模様を布に写す過程で、自分が思っていた通りの模様を写すことが出来ず「少し難しい」と感じたのではないかと考察します。染物短期教室は、次回が今年度最終回となる為、皆様に楽しんで頂けるよう、講師と共により良い内容を考えていきたいと思います。

11 月 30 日の教室は、布マスクを職員が巾着袋に加工して、ラベルシールで作った型を貼り付け、上からマーブリングの染料のついたスポンジと綿棒で叩いて染める、といった内容で行いました。

参加人数と製作時間の関係で、巾着袋は一人二つ染めることになりました。

内容の難易度について、滲まないように染料の量を加減するのが難しく「自分の思った通りに出来なかった」という声がありました。一方で、スポンジの扱い方に慣れた人は比較的早く完成させていて、個人の慣れ方で内容の難しさの差が出ていました。

マスクの在庫もまだあるため、練習用の布として用意してもよかったと考察します開催時間については、参加者全員に「よい」と意見を頂きました。

内容・プログラムについても概ね好評を得られたのは、白紙のラベルシールを配布して、参加者の好きな形の型紙シールを作成して頂いたことで、普通とは違う染め方を試みながら、参加者各々が自由にアイデアを膨らませられたことが要因だったと感じました。反省点としては、開催時間は十分だったものの、白紙のラベルシール等の準備を急遽行ったため、準備が行き届いていない問題が目立った印象でした。型紙シールの元になる台紙の用意が少なくスムーズに行き渡らなかった、自由に染めるには色の種類が少なかったなどの問題がありました。実施内容の難易度と自由度などの調整すべき部分を講師の方とも事前に相談、検討する必要があったと感じました。

今年度は短期教室として、皆様が楽しめるような様々な形の染め物を開催しましたが、新しい試みだったため、講師の方との打ち合わせ、準備不足があったと感じました。今後はスムーズな運営ができるように　事前の立案、情報共有をしっかりできるようにしながら、新しい活動の教室が増えるように考えていきたいと思います。

【藍染】

以前､藍染教室を行った際に大変好評で｢もう一度藍染を行いたい｣と多くのお声を頂いたので、今回藍染短期教室を開催しました。

「とても満足」の回答を 75%の方に頂きました。また、ご意見として「次回もやりたい」という意見がありました。

藍染教室は職員が講師となり開催する事の出来る事業なので、今後も藍染短期教室の開催を検討していきたいと考えます。

【ビームライフル】

ビームライフル短期教室は、利用者からの「やりたい」というお声から、計画、実施に至りました。募集の段階から多数の申し込みがあり、参加者は抽選となりました。今回は全 3 回コースで実施し、1・2 回目はライフルに慣れることを目的とし、標的を定め、撃つ練習をしました。3 回目では記録をとり、短期教室の最後には、講師から個々に記録証明書を授与され、参加者も達成感を感じていた様子が伺え、充実した短期教室だったと思います。アンケート結果の「内容の難しさ」という項目に、過半数の方が「少し難しい」「難しい」と答えておりますが、ビームライフルは、スコープを覗く、ライフルを構える等、障害状況によっては、難しい競技となっておりますので、難しいと感じた方が多かったのではないかと考察します。今回のアンケート結果を活かし、更に充実した短期教室となるよう、努めていきたいと思います。

【ヨガ】

「ヨガを行いたい」と多くの声をいただき、4 年ぶりの開催となりました。内容・プログラムについては、「とても満足」が 40%「だいたい満足」が 40%でした。今回、始めて依頼する講師でしたが、参加された方から「また開催して欲しい」と意見をいただきましたので、今後もヨガ教室を開催していきたいと思います。

【パステルアート（ＯＴ）】

6 月 10 日に、作業療法士による短期講座「パステルアート体験教室」を実施いたしました。

パステルアートの楽しさが感じられる講座になればとの思いで企画いたしました。型紙作りは、指先に充分な力が必要となり、カッターナイフを使っての細かい作業となるため、参加者の安全性を考え、当日は制作は行わず、事前に 8 種類を準備しておきました。型紙作りの方法は、講座内で書面にて、参加者にお伝えしました。

また、パステルを削る作業も同様の理由により、カッターナイフは使わずに、粉ふるいの網目部分で削る方法で行いました。進捗状況が参加者により異なるため、休憩時間は設けずに、各々で適宜取って頂く形としました。

想定した時間より早く作品が仕上がったので、鑑賞会を行うことにしました。色々な作品を観ることができ、好評のようでした。

経験者の方が、早々に 2 作品を仕上げて手持無沙汰の時間ができてしまったことが反省点ではありますが、アンケート結果より概ねご満足頂けたのではないかと考えています。

【心も体もリフレッシュしよう（ＯＴ）】

・4 月 15 日と 4 月 22 日に令和 4 年度最初のＯＴ短期講座を行いました。

活動内容としては、「椅子に座っての体操」「脳トレーニング」「レクリエーション」の３つを行いました。

参加人数ですが、定員の半分にとどまりました。これは、お申込期間が、年度をまたぐ形となったため、周知が充分に行えなかったのではないか、と考えております。 7 月にも同内容の講座を開催する予定ですが、今回の反省をふまえ、なるべく多くの方に周知できるよう募集方法を工夫していきたいと思います。

内容については、概ね満足して頂けたものと考えております。参加人数が少なかったため、盛り上がるレクリエーションを提供できるか不安がありましたが、「コロナ禍でのストレスを発散できた、楽しかった」とのお声を頂きました。

次回開催は 7 月となる為、感染予防対策に加え、熱中症対策も考慮し、マスク着用で運動しても安全で、ご満足いただける活動を実施できたらと考えています。

・7 月 8 日、7 月 15 日にＯＴ短期講座を行いました。

6 月下旬から天候不順が続き、体が暑さに慣れていないと考え、7 月 8 日は運動系は「棒体操」のみを行いました。初めて運動系以外のレクリエーションを実施しましたが「楽しかった」とのお声を頂きました。7 月 15 日のレクリエーションでは風船や輪投げ用の輪を用いた活動を行いましたが、こちらもお褒めのお言葉を頂きました。

参加者の方が安全に且つ楽しく参加出来るよう、内容を充実させていきたいと考えています。

【おしゃべりサロン（ST）】

ＳＴ短期講座、初めての講座として失語症のある人が安心しておしゃべり出来る場として『おしゃべりサロン』を開催しました。

今回は水曜日の 10 時半～11 時半に行いました。募集人数は当事者 4 人、家族 4 人でしたが、参加者は当事者 3 人、家族 2 人でした。初めての『おしゃべりサロン』開催のため、全員が楽しんで参加出来る自己紹介や言葉を使うゲームを行いました。アンケートの内容は、「簡単だった」という回答が全員でした。重度の方も「○」「×」で答えられるようにしたり、絵カードに文字（漢字、仮名文字）を入れて理解しやすい工夫をしました。全員が安心して話しが出来、プログラムに参加出来たと思います。一方軽度の方には、物足りない所もあったと思うので、来年度は軽度の方が少し考える内容もプログラムに入れても良いと考えます。開始時間は全員「10 時～」と回答しているので適当であったと思います。開催時間は「1 時間」が 2 人、「2 時間」が 1 人の回答でしたが、今回は１つ１つの内容が短くなってしまったので、来年は 1 時間半から 2 時間にしてゆっくりおしゃべり出来るプログラムを行っても良いと思いました。また、家族同士で話す時間も設けたので失語症を持つ家族同士が知り合えるきっかけになったと思います。来年度も失語症を持った方、家族が情報交換したり、くつろげる会にしていきたいと思います。

ＳＴ短期講座、おしゃべりサロンの金曜コースを 11 月 25 日、12 月 23 日の 13：30～14：30 に開催予定でしたが、12 月 23 日は 4 人中 3 人が、体調不良や予定が合わず参加出来なくなり、急遽延期して 1 月 27 日に行いました。1 月 27 日に開催した際にも 1 人は入院により 3 人の参加でした。今後は、寒い時期は体調を崩しやすいので開催時期を避けた方が良いと思われました。内容は前回と同様の内容でしたが、今回は参加者の失語症の程度が軽度～重度と障害の幅がありましたので、軽度の方には、絵カードを見て書き取りの課題を増やしたり、重度の方には「○」「×」で答える質問を増やしたり、ジェスチャーを使ったりとプログラムに参加しやすい様に工夫をしました。更に季節や年齢、趣味に合わせて歌あての曲を選んで行ったので興味を持って頂けました。アンケート結果でも 2／3 が「とても満足」という回答でした。開催時間は参加者全員が「2 時間」と回答していました。今回は、1 時間で開催したため、１つ１つのプログラムを急いで実施したので、来年度は、2 時間にしてゆっくりとおしゃべり出来るプログラムにしても良いと思いました。また、今回も家族同士で自由に話す時間を設け「少しの時間本人と同じ障害をお持ちの奥様と話が出来、共感出来て良かった」とコメントして頂けたので、来年度も失語症を持った方や家族が情報交換したり、くつろげる会にしていきたいと思います。

イ　社会適応訓練事業

【聞こえにくくなった方の勉強会】

今年度も感染防止対策に努めながらの開催となりました。

受講生の人数は昨年に比べ、6 人と少ない人数ではありましたが、出席率もよく、「参加して良かった」の回答が 75％と高評価をいただきました。

参加動機として、聞こえづらくなり不安を抱えている方の参加が多かったです。

来年度の勉強会の運営方法は千葉市中途失聴難聴者協会への委託から、ふれあいの家で講師を選定し実施する運営方法となるため、講師の選定やプログラム内容の検討が課題となります。聞こえづらくなり、日常生活に不安を抱えている方はたくさんいると思うので、そのような方達にとって必要な情報を提供し、少しでも有意義となる勉強会を今後も企画・運営していきます。

【介護予防勉強会①】

介護予防勉強会①は、介護予防の知識を知り、実際に行える運動・体操などを体験する目的で開催しました。今回は初級編として、イスに座ったままで行える運動・体操を行いました。

日程では「平日がよい」2 人、「土曜日がよい」2 人、開始時間は「10 時」2 人、「13 時半」2 人と意見が割れる結果となりました。日程・開始時間の希望は参加される方のライフスタイルに影響されることもあり、多くの方が参加できるように同一内容のものを日程等の異なる複数回行うことも検討してもよいと感じました。

内容・プログラムでは参加者全員が「とても満足」、「だいたい満足」と回答し、提供した内容に満足してもらえたと思います。しかし、難しさでは 2 人が「少し難しい」と回答しており、ご意見の中でも「少し疲れた」という声が上がりました。今後は参加された方がよりわかりやすいような内容・表現ができるように努めていきたいと思います。

この 2、3 年はコロナ禍もあり、参加人数が少ないことが課題となっています。また、ご意見でも「多くの方が参加するようＰＲ」と意見をもらいました。今後はより多くの方に参加してもらえるように広報にも力をいれていきたいと考えています。

【介護予防勉強会②】

介護予防勉強会②を上級編として開催しました。上級編は、介護予防の知識を知り、実際に行える運動・体操などを体験する目的と初級編にプラスして自分の身体と重さを感じる実技を加えて行いました。

開始時間は介護予防勉強会①と同様「10 時」3 人、「13 時」1 人、「13 時半」2 人と意見が割れる結果となりました。多くの方が希望する時間帯で参加できるように同一内容のものを異なる開催時間で複数回行うことを検討してもよいと感じました。

内容・プログラム、講師の対応、会場の３項目は回答者全員が「満足」と回答しており、また、ご意見・ご感想でも前向きな意見をもらい、開催自体は概ねよかったと評価されたと思われます。内容の難しさでは「簡単」、「少し難しい」と意見が分かれる結果となりました。介護予防勉強会は募集対象が幅広いため、参加される方の日頃の活動量に差があるため、難しさの感じ方に差が出たのではないかと思われます。

今後は介護予防勉強会②も参加者が増えるように広報に力を入れていき、また、より多くの方に日常に役立つ情報を発信していけるように内容を充実していきたいと思います。

【介護技術勉強会①】

介護技術勉強会①は、姿勢変換や歩行の介助の仕方や介助する上での注意する点などについて講義を中心に実施しました。

日程や開催時間については、回答内容がおおむね今回の開催内容と合っており、参加した方には利用しやすい勉強会であったと思われます。内容・プログラムについては、「とても満足、だいたい満足」の回答が 83%(5/6 人）と高評価でした。

しかし、内容の難しさの項目では回答にばらつきがあり、また、今後行って欲しい企画に介護技術体験の意見が出ており、これは今回コロナ禍により近距離での接触を避けるために、介助の仕方についての講義がスライド資料と講師によるデモのみで実施したため、説明した内容をその場で実際に体験することができなかったことが要因として考えられます。

今後は参加した方がより満足できるように、知識を座学で学ぶだけでなく、感染対策を図りながら

体験できる実技を取り入れて開催できるように努めていきたいと思います。

【介護技術勉強会②】

介護技術勉強会②は、福祉用具についての情報提供と車イス体験として実施しました。
日程については「土曜や日曜開催がよい」と回答があり、仕事をしている方には平日開催の参加は難しいことが考えられるため、より多くの方に参加してもらうためにも土日開催を検討してもよいと感じました。

内容・プログラムについては、「とても満足」、「だいたい満足」合わせて 100%と高評価となりました。今回は情報提供などの話だけでなく、車イスに乗る経験と介助する経験の両方を行い、実際に福祉用具(車イス)を使用する体験ができたことが高評価につながったと考えられます。

今後も引き続き参加する方が満足できるような内容の充実を図るとともに、より多様な方に参加してもらえるような日程や企画を検討していきたいと思います。

ウ　ボランティア養成事業

【要約筆記講習会】

今年度も新型コロナウイルス感染防止に努めながらの開催となり、6 人の方にご参加いただきました。参加者 6 人のうち、4 人は手話講習会の受講生でもあり、聴覚に障害をもつ方へのボランティア意識も高く、とても熱心に受講してくださった印象でした。また、講習会に参加して「とてもよかった」の声も多くいただくことができました。受講生の今後の取り組みとしては、既に要約筆記養成講座に申し込まれた方や、「要約筆記サークルヨーヨー」への入会を検討している方もいて、この講習会だけで終わらずに次のステップへ繋がっているようです。

当講習会は、中途失聴難聴者協会へ委託を行い開催してきましたが、来年度からは要約筆記サークルヨーヨーと協力しての開催となります。情報保障を必要としている聴覚障害者はたくさんいると思うので、要約筆記というものを多くの方に知ってもらい、ボランティアを目指す方への第一歩の入口となるよう今後も企画・運営していきます。

【初級　手話講習会（木曜日）】

今年度は受講生の定員を各コース 30 人に増やしての開催でしたが、昨年に引き続き、体温、体調チェックをはじめ、フェイスシートとマウスシールドの着用をお願いする等して感染防止対策をとっての開催となり多くの皆様にご協力をいただきました。

木曜コースでは 89%の出席率と参加して「とても良かった」と高評価をいただきました。

講習会に対しての希望として、「再講習や春・秋と講習会のコースを増やしてほしい」との声がありました。

ふれあいの家では 1 年を通して初級、中級、応用と開催をしており、その先は養成講座へ進んでいただきたい事や、翌年に再受講していただく事も可能なので、1 度の受講で終わらずに手話を続けていただけるよう、千葉市聴覚障害者協会と協力しながら運営をしていきたいと考えます。

【初級　手話講習会（土曜日）】

今年度は受講生の定員を各コース 30 人に増やしての開催でしたが、昨年に引き続き、体温、体調チェックをはじめ、フェイスシートとマウスシールドの着用をお願いする等して感染防止対策をとっ

ての開催となり多くの皆様にご協力をいただきました。

土曜コースでは87%の出席率と参加して「とても良かった」と高評価をいただきました。

講習会を受けて感じたこととして、「手話がすぐにできなくても口話などでろう者に伝える事が出来る事を学んだ」とあり、手話以外の表現でろう者と通じる事が出来る事を受講生が学ぶ良い機会になったと考えます。

講習会への希望としては、「テキストの内容を詳しくしてほしい」との声が複数あったので、千葉市聴覚障害者協会と相談しながらテキストの内容を決めていきたいと考えています。

【中級　手話講習会（木曜日）】

今年度の手話講習会中級も、初級同様に体温、体調チェックをはじめ、フェイスシールドとマウスシールドの着用をお願いして感染防止対策をとっての開催となりました。

中級参加者は、手話講習会初級の受講者と中級から参加の方がいましたが、休憩中に参加者同士で手話の練習を行うなどして参加者同士手話のレベルを高めあいながら、また仲を深めながら手話を学んでいるようでした。

講習会に対しての意見として、初級でも意見がありましたが、「前に出ての発表が苦手」とありました。見て学ぶだけではなく、受講生の前で学んだ手話を披露することも手話を学ぶ上で大切な事だと思うので、受講生に理解して前向きに取り組んでいただけるよう、千葉市聴覚障害者協会と協力しながら運営していきたいと考えます。

【中級　手話講習会（土曜日）】

今年度の手話講習会中級も、初級同様に体温、体調チェックをはじめ、フェイスシールドとマウスシールドの着用をお願いして感染防止対策をとっての開催となりました。

中級参加者は、手話講習会初級の受講者と中級から参加の方がいましたが、休憩中に参加者同士で手話の練習を行うなどして参加者同士手話のレベルを高めあいながら、また仲を深めながら手話を学んでいるようでした。

講習会に対しての希望として、中級が終了後も手話を続けていくために「再受講を希望する」声が複数ありました。初参加者優先にはなりますが、ふれあいの家の講習会は再受講が可能な為、周知をしていきたいと思います。また、手話を続けていくために、手話サークルへの入会やサークルを立ち上げてふれあいの家でサークル活動をしていくなどの案内も合わせて行いたいと思います。

【応用　手話講習会（木曜日）】

今年度の応用手話講習会も、ふれあいの家の中級を学んだ方に参加していただきました。

応用は3回コースで、平均出席率は97%でした。参加された方皆さん、熱意をもって楽しみながら受講されている印象でした。

応用コースでは、健聴講師の通訳をあえて少なくして受講生が自ら読み込む力をつけるようにしたため、内容が「難しかった」の声もありましたが、サークルへの入会や養成講座に申し込まれた方もいたので、ボランティア啓発に繋げる事ができたのではと思います。

講習会への希望として回数を増やして欲しいとありましたので、千葉市聴覚障害者協会と相談しながら開催していきたいと思います。

【応用　手話講習会（土曜日）】

今年度の応用　手話講習会も、ふれあいの家の中級を学んだ方に参加していただきました。

応用は 3 回コースで、平均出席率は 84%でした。参加された方皆さん、熱意をもって楽しみながら受講されている印象でした。

応用コースでは、健聴講師の通訳をあえて少なくして受講生が自ら読み込む力をつけるようにしたため、内容が「難しかった」の声もありましたが、養成講座への検討をしている方もいるようでした。

講習会を受けて感じたこととして、「スピードが速い」と回答をいただいたので、来年度の応用の内容については今後も千葉市聴覚障害者協会と協力しながら決めていきたいと思います。

【音訳講習会】

今年度は 12 人の方に受講していただき、そのうち 8 人の方が声の「市政だより協力会」に入会されました。

92%の出席率と、半数以上の方から参加して良かったとの高評価をいただきました。講習会への希望として、「講習会の回数が短い」との声がありました。ふれあいの家の音訳講習会は、「声の市政だより協力会」で活動していただくための入口となっているので、ふれあいの家の音訳講習会のあり方を受講生に説明していきたいと考えます。

声の市政だよりは、視覚に障害を持つ方にとって、とても必要となる情報源なので、「声の市政だより協力会」に一人でも多くの方が参加して活動できるよう、「声の市政だより協力会」と協力しながら講習会を運営していきたいと考えます。

【点字講習会】

今年度は 6 人の方に受講していただき、平均出席率は 97%と高く、全ての回に出席した方は 4 人いました。

参加していただいた方全員から参加して「とても良かった」「良かった」と回答いただきました。難易度については「だいたいわかった」3 人、「かなり難しかった」3 人と半分ずつでした。参加していただいた方より、「講師の進め方も良かったし、分かりやすかった」「読み書きが反対になる、分かち書き、表現のルール等、とても難しいと思った。」といった声をいただきました。

視覚障害者総合支援センターちばや千葉視覚障害者協会と協力しながら講習会を運営しましたが今後も皆様に有意義な講習会を受講していただけるように努めてまいります。

エ　ふれあいフェスティバル、ふれあい作品展

第13回　ふれあいフェスティバルアンケート

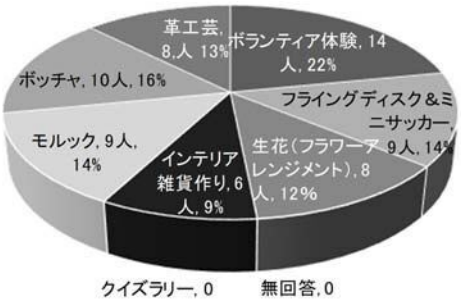
日時：令和5年2月19日（日）　場所：千葉市療育センター分館　はまのわ

アンケート回答のべ人数　64人

集計結果

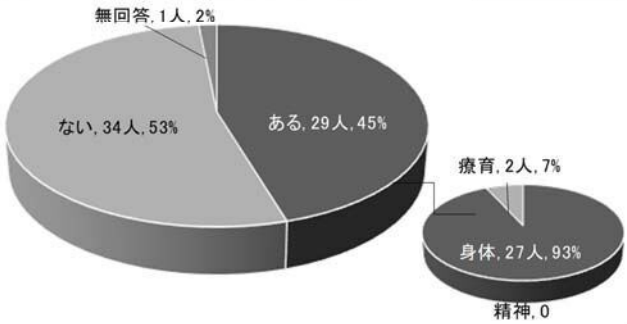
1．ご参加いただいたブース

複数回答あり



2．障害者手帳はお持ちですか

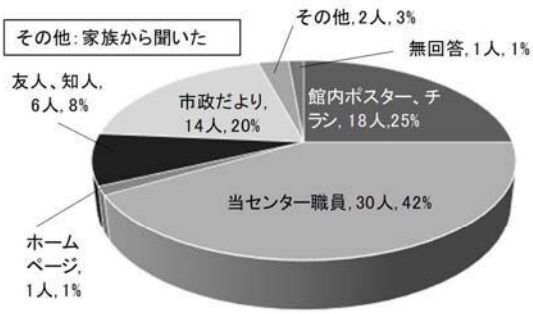
複数回答あり



3．今回の催しを何で知りましたか

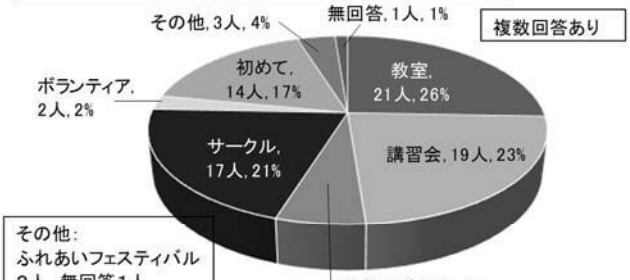
複数回答あり

その他：家族から聞いた



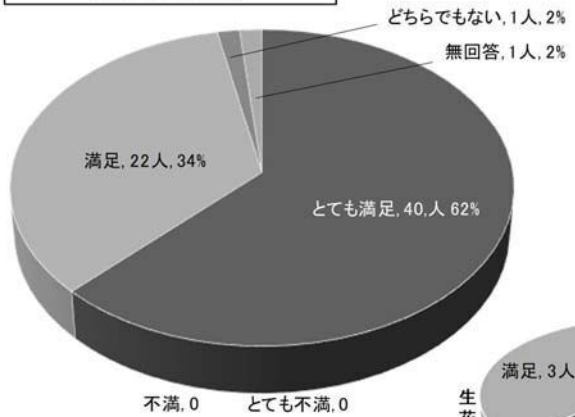
4．当施設をどのように利用されていますか

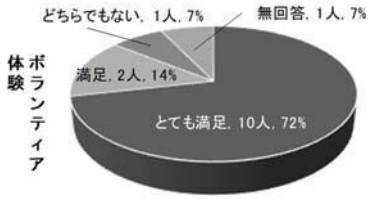
複数回答あり

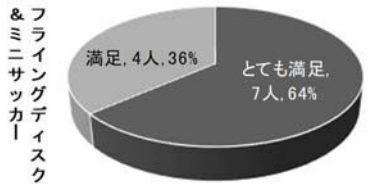


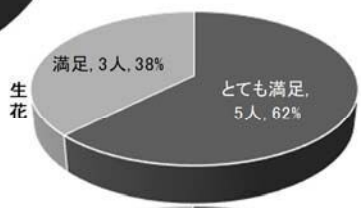
その他：
ふれあいフェスティバル
2人、無回答1人

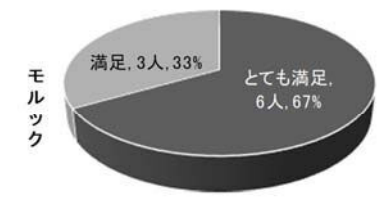
5．本日参加したブースの内容はいかがでしたか

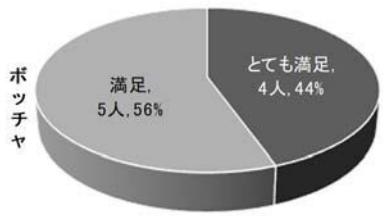


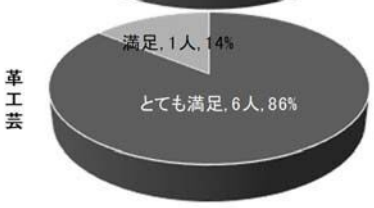


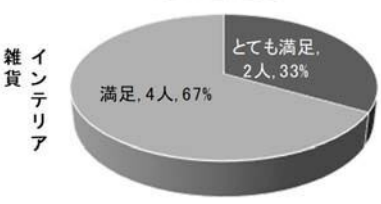


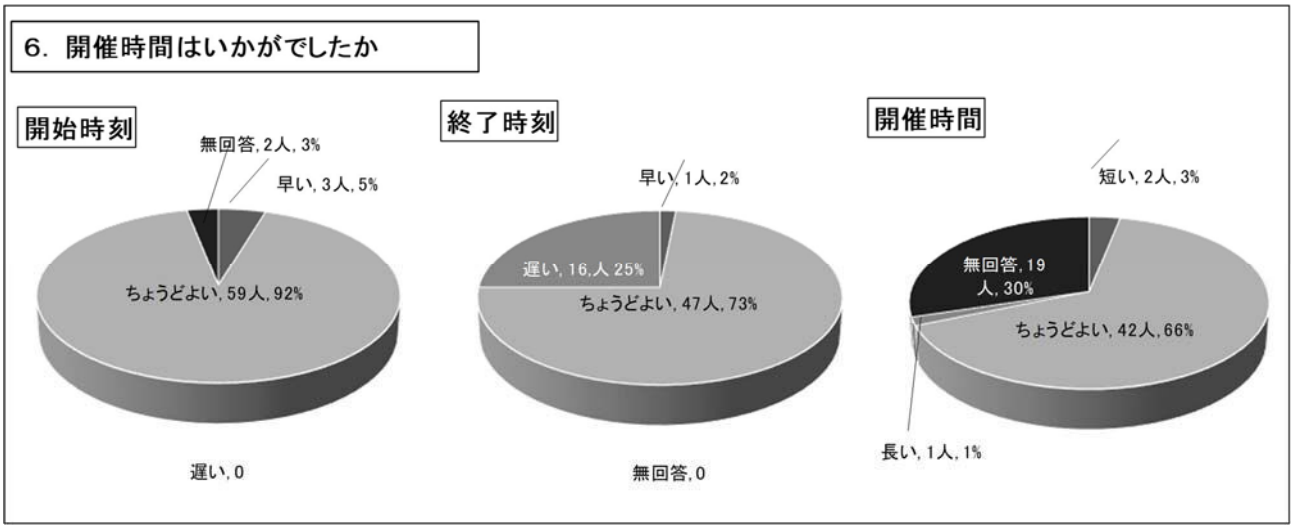












参加したブースのご意見・ご感想	同様の意見
☆ボランティア体験	
・勉強になった。良い体験だった。	3
・知らない世界を知る事が出来、良かった。（内、点字　1人）	2
・分かりやすい説明で、とても良かった。	
・存在すら知らないボランティアだった。 丁寧に教えて頂きながら体験出来て満足。（音訳・要約筆記）	
・初めて経験する内容もあった。 知らなかった事も多く、とても刺激になった。	
・4つのボランティア体験を楽しく学ぶ事が出来た。 貰った資料を家でじっくり読みたい。 出来れば講習も参加したい。	
・どれも初めての体験で楽しかった。 ありがとう。	
☆フライングディスク＆ミニサッカー	
・ミニサッカーはボールがなかなか重くて転がらない。	
・フライングディスクは投げるのが難しかった。 ミニサッカーはとても楽しかった。	
・フライングディスクは投げる事に慣れてくると楽しく出来た。 ミニサッカーはチームの力が合わさって 勝つ事が出来、嬉しかった。	
・思いがけない交流で楽しかった。	
・大変楽しく参加出来た。ありがとう。	
・チームワークが良く、面白かった。	
・子供と参加出来た。とても白熱して楽しませてもらった。	
・もう少し研究したい。	
・色々なタイプの方が参加されて、すごく楽しく、良かった。	

☆生花（フラワーアレンジメント）	
・楽しかった。満足感大。	2
・先生、助手の方、職員に助けられ、初めてのフラワーアレンジメントが完成した。ありがとう。	
・分かりやすく丁寧な説明で初めてでも美しく作る事が出来た。	
・難しかったけれど楽しかった。同じ材料でも皆、違う（個性的）と思った。	
・初めての体験、とても豊かな気持ちになった。ありがとう。	
☆インテリア雑貨作り	
・大変楽しかった。	2
・とても可愛いインテリアが作れて嬉しかった。良い作品が出来て嬉しかった。	2
・センスが難しかったが出来上がったら世界にひとつしかないので楽しかった。ありがとう。	
・細かいパーツを手作りされて良く教えてくれた。	
☆モルック	
・楽しかった。	6
・全く未知のモルックだったが実際に経験してみたら、こんなに楽しいゲームはない！チームワーク・脳トレに最高。	
・思っていたより奥深くて難しかったが、楽しかった。貴重な経験をありがとう。	
☆ボッチャ	
・とっても楽しかった。またやりたい。	3
・ありがとう。	
☆革工芸	
・分かりやすく説明で、周りに目を配ってもらいスムーズに作成する事が出来た。	
・元々何かを作ったりする事が好きなので今回参加出来て良かった。作り方が簡単で、とても満足出来、良いものを作るこ事が出来、楽しかった！	
・皆さんと和気あいあいと出来た皆さんと指導して下さった講師の方にお礼申し上げる。	
・難しかったが木槌で叩くところが楽しめた。	
・難しかったが完成した時の喜びが大きかった。	
・楽しかった。	
・使用する道具の名前を知る事が出来た。上手く作る事が出来たので、とても楽しかった！	
・講師の方々が優しく丁寧に教えて下さり、楽しかった。	

ふれあいフェスティバルのご意見・ご感想	同様の意見
・また参加したい。	15
・楽しかった。	4
・今後も続けて欲しい。	4
・ありがとう。	4
・再度来る事が出来て良かった。今回もすごく楽しくてまた機会があれば参加したい。	
・多種メニューの考案に感謝。	
・様々な種類のブースがあり魅力的だった。楽しく参加出来た。	
・色々なブースがあり、どれもとても楽しそうだった。楽しく参加した。また機会があれば参加したい。	
・色々と工夫を凝らした催し物が多く、楽しい時間を過ごす事が出来た。	
・ありがとう。また次の企画を楽しみにしている。	
・もっと長い時間、体験したかった。	
・初めての体験、とても豊かな気持ちになった。	
・良い経験が出来て、楽しかった。	
・1位の賞品があまりにも違い過ぎる。	

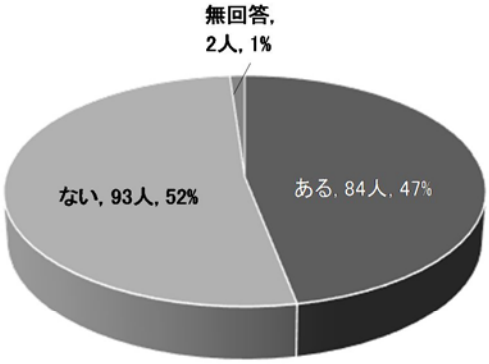
令和4年度　ふれあい作品展アンケート

日時：令和5年2月1日（水）～2月18日（土）　場所：千葉市療育センター分館　はまのわ

アンケート回答人数　　179人

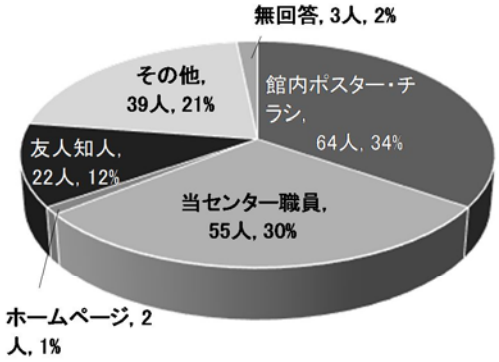
集計結果

1. 障害者手帳はお持ちですか



2. 今回の催しを何で知りましたか

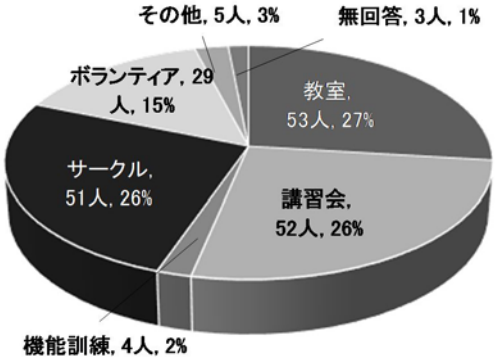
（複数回答あり）



その他：来館して21人、市政だより8人、サークルで3人、家族2人、無回答2人、講座内1人、同行で1人、教室内1人

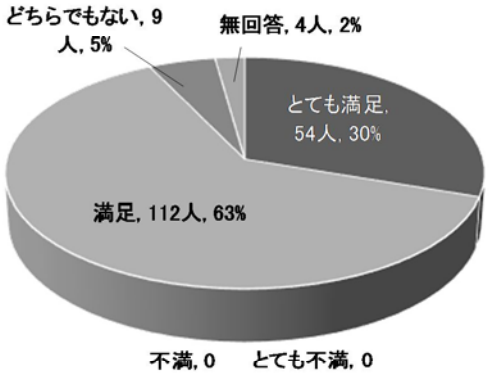
3. 当施設をどのように利用されていますか

（複数回答あり）

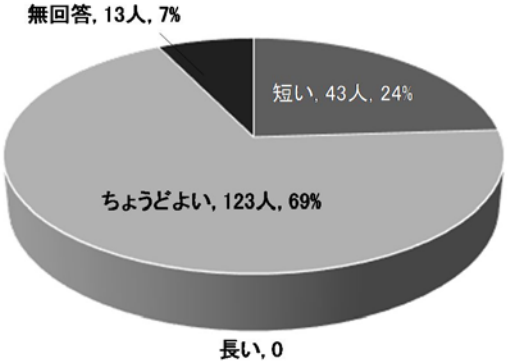


その他：要約筆記者1人、付き添い1人、未記入3人

4. 作品の内容はいかがですか



5. 開催期間の長さはいかがですか



ご意見・ご感想	同様の意見
・素晴らしい。感動した。	21
・楽しく拝見した。努力して作成されていて感動。これからも続けて欲しい。	5
・皆様、素晴らしい努力をされている様子が分かった。ありがとう。	4
・作品を買えるといい。	4
・展示が見やすかった。照明等、素敵な演出が良いと思った。ひとつひとつが丁寧に展示してあり、職員に感謝。	3
・素晴らしい作品が多かった。訪れた時に見る事が出来、楽しい気持ちになった。	3
・どの作品も心がこもっていて温かくなった。和む。	3
・職員の案内がなければ作品展があることに気付かなかった。展示が色々なところに分散しているので分かりにくかった。	2
・皆さん、障害があると感じさせない作品で健常と区別することはないのかなと思わせてくれる。	
・どの作品も障害のある方々が作られたものとは思えない出来栄え。あれだけの作品を作れるまでには、大変な時間と労力が必要だったのだろうと想像する。楽しみを持ちながら生活をしていくことは人生にも日々の中にも潤いを与える事にもなると思うので、これからも是非続けて欲しい。	
・とても素敵な作品ばかりで楽しく拝見した。講習会受講中だったので知らせてもらい良かった。	
・かわいい作品、時間をかけて作ったのだと思われる作品ばかりだった。心温まるものを 飾って下さり、ありがとう。	
・皆さん上手に制作されていて熱心にされていた事が伝わった。とても温かい気持ちになった。	
・材料も手順も同じなのにもかかわらず人それぞれ作品の表現が違い、持っている芸術性が出ていると感じた。作風が温かい印象を受けた。	
・どの作品も上手に出来ていた。飾り方も綺麗。	
・一生懸命のお姿が想像出来る。展示方法も考えてくれてありがとう。感動。	
・日頃の努力の成果が出ていて良かったと思う。来場者が少なそうでちょっぴり寂しい。	
・それぞれ障害を持った方々の作品は努力の証。障害を乗り越えた立派な作品で素晴らしい。	
・障害を持っていてもそれぞれ素晴らしい作品で驚いた。	
・とても器用で素晴らしかった。障害の内容が書いてなかったら分からないくらい良かった。	
・味がある。素敵。	
・とても素敵な作品を見て楽しんだ。来年はもっと頑張って作品を出そうと思う。	
・皆さん、とても上手。見ていて楽しい。	
・書道の作品をじっくり拝見した。文字と印のバランス等、自分の作品発表を控えているので参考になった。絵手紙も良かった。	
・色々な作品があり、とても楽しく拝見した。書道は私も習っており、参考になった。組紐も良かった。全体的に和やかで癒された。	

・美しい作品に感心。	
・元気を貰えた。	
・作品があると華やかで気分が上がる。	
・素敵な作品が多い。編み物等は作り方があると嬉しい。	
・素晴らしい作品をありがとう。毎年楽しみに見せて頂いている。	
・私には作れないものばかり。「へぇー」「わー」と感動した。	
・とても良い作品が出来て嬉しく思う。ありがとう。	
・とても素晴らしい。参加出来る教室があったら是非参加したいと思う。	
・素晴らしい作品ばかりで私も何かやってみたいと思った。	
・感性のきらめきのようなものが見えて楽しかった。	
・色々な教室やサークルがあり、楽しそう。どの作品も素晴らしい出来栄えで驚いた。	
・どのような工程で作品がつくられ、どの位の時間を費やしているのか。皆さんの 集中力、根気強さに感銘を受けた。 一年に二回位展示されると良い。	
・機会があったらまた拝見したい。	
・とても見応えがあった。	
・どの作品も素晴らしく丁寧に制作されており、どれも関心を持った。	
・編み物はすごいと思う。見えなくてもこのような作品が作れることをもっとたくさんの 人に知ってもらいたいと思った。	
・視覚障害の方の編み物、組紐等の手芸作品の丁寧な出来栄えに感動。 押し花アートはファンタジックで素敵。絵手紙のカレンダーは季節の訪れを楽しんで いらっしゃるのを感じた。私もチャレンジしてみたい。	
・視覚の方の編み物はどうやって作ったのか不思議。今度お会いしたら聞いてみたい。	
・ネックウォーマーが温かそうで素敵。	
・ネッグウォーマーとロングカーディガンが素敵で感動した。	
・絵手紙のカレンダーが良い。	
・絵手紙が葉書、半紙に大きく描かれて素晴らしい。	
・絵手紙教室の作品がたくさんだった。	
・陶芸が素敵。障害者手帳がないと参加出来ないので残念。	
・編み物等とてもきれいに出来ていて驚いた。水仙の絵手紙が素敵だった。こんな風に 描けたらさぞ、楽しいだろうなと思った。	
・パソコンが美術にも使えると思った。	
・いつ来訪しても職員の丁寧な説明に、指導に感謝している。 館内もとても綺麗で 行き届いている。	
・見やすく展示されていて、とても良かった。	
・職員に感謝。裏打ちはにじんでしまって残念。難しい。	
・来場者が少なそうで、ちょっぴり寂しい。	

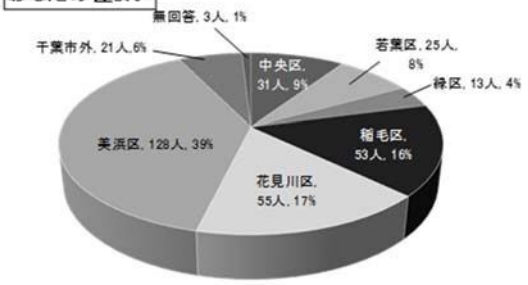
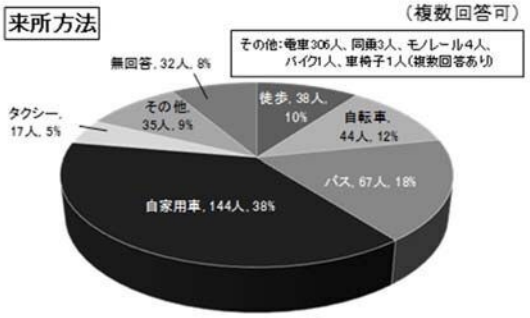
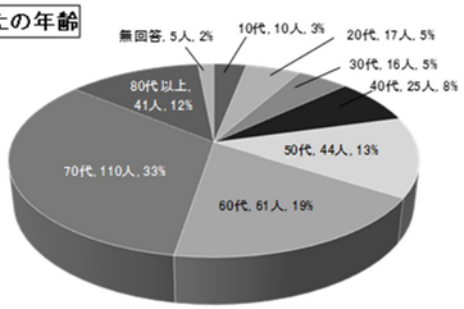
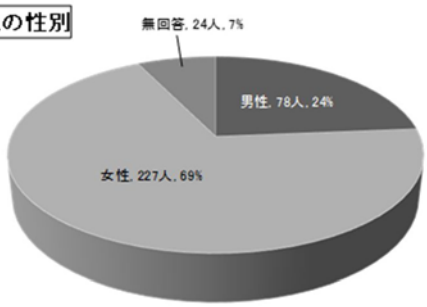
・作品がケースの中で、触れないので鑑賞しにくい。	
・各団体の活動内容の紹介があるといいと思った。	
・皆さん上手に作られていて、ここだけでなく色々な場所に展示されていたらいいのに と思った。	
・形や色使い等とても感性豊かな作品が多く、商品化やもっとたくさんの人に見てもらう 機会があれば良いと思う。	

オ　利用者満足度アンケート

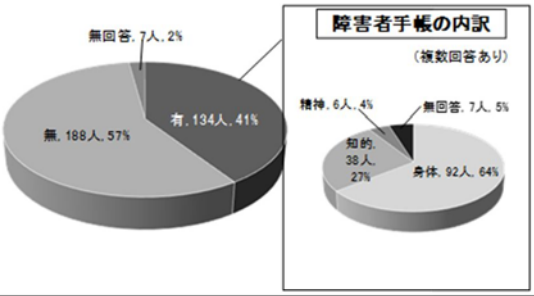
令和4年度　ふれあいの家利用者満足度アンケート集計結果報告

1．目　　的　：　当施設の利用状況及びニーズの把握をする事により、
　　施設サービスの向上を目指すため。
2．実施期間　：　令和4年11月25日（金）～12月25日（日）
3．対　　象　：　当施設の全利用者（家族・ボランティアを含む）

配布枚数　:431 件
回答件数　:389 件　（回答率 :90.2％）

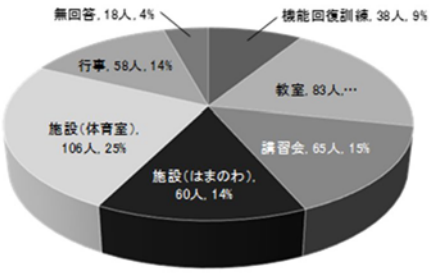
集計結果	考　　察
あなたの住まい  	「住所」構成は、各区前年度とほぼ変動ありません。近隣地域の利用を活性化するとともに、多くの広報媒体を活用し、他区からの利用者増加にも努めます。
来所方法 （複数回答可） その他：電車306人、同乗3人、モノレール4人、バイク1人、車椅子1人（複数回答あり）  	前年度と比べ、割合はほぼ変わりありません。ボランティア活動で当施設をご利用いただいている方には、通常は公共交通機関での来所をお願いしていますが、今年度も感染防止の為に駐車場の使用を可としたことで自家用車での来所が一番多くなっていると考えます。
あなたの年齢  	60歳以上の利用者が全体の66%で前年の55%から11%増加しました。 また、20代、30代の若い世代の利用は昨年に比べて増加しました。 例年、若年層の獲得が課題となっていますが、引き続き、若年層にもご利用いただける施設をめざしていきます。
あなたの性別  	昨年に比べ男性は10%減少し、女性は11%増加しました。 例年、当施設は女性に多くご利用いただいております。

あなたは障害者手帳を持っていますか



手帳なしの数が16%増加しました。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策の緩和でボランティア養成講座の定員を昨年に比べ増やした為、多くの手帳を持っていない方にもご利用いただきました。また、近隣の方を交えた交流会を実施した事も、手帳なしの割合が増えた要因だと考えます。
障害のある方の社会参加、生きがいづくりを支援すると同時に、ボランティア養成や活動拠点、近隣住民との交流など、地域資源として活用されるよう努めます。

ご利用いただいている事業は何ですか (複数回答可)

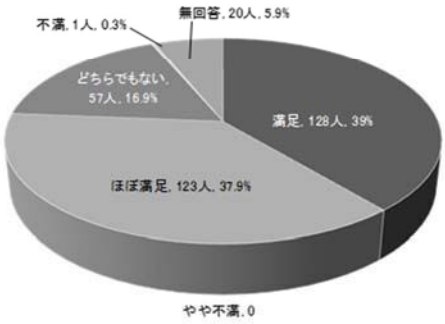


それぞれの割合は前年度とほぼ同じです。
主催事業(機能回復訓練、教室、講習会、行事)が57%、貸出など施設利用が39%となっております。

◆ご利用になってみての満足度◆

1. 館内掲示・広報紙等により情報が適切に行き届いている

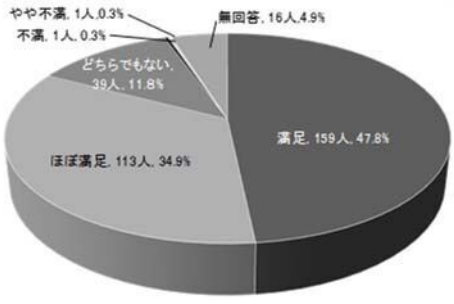
＜療育センター、はまのわ共通＞



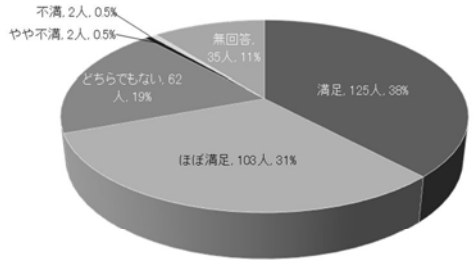
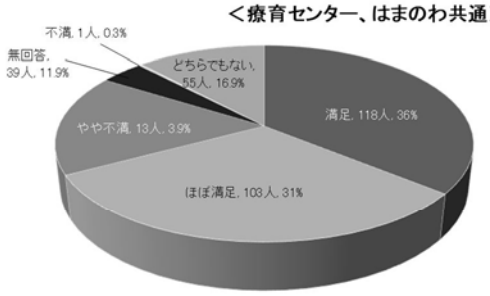
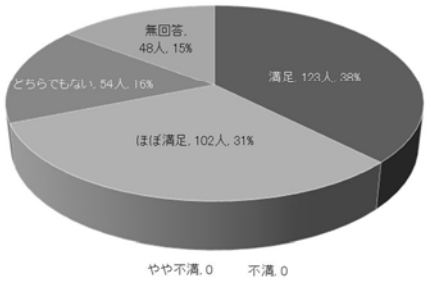
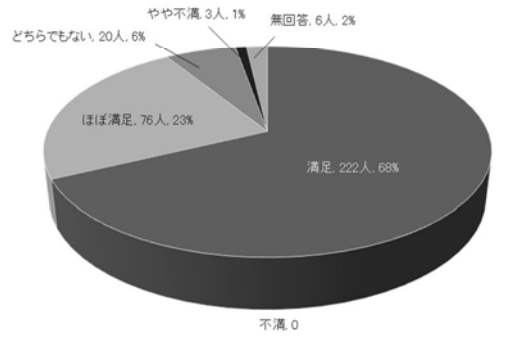
「満足」「ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ同じです。
新型コロナウイルスが流行して3年目になりますが、感染症防止対策の案内など、当施設をご利用頂く方全員に郵送対応しました。事業案内、利用案内を適切な方法(掲示、ホームページ、新聞広告)適切な場所(地域、コミュニティーセンター、学校など)適切な時期に継続して引き続き多くの方に周知にできるよう広報活動に努めます。

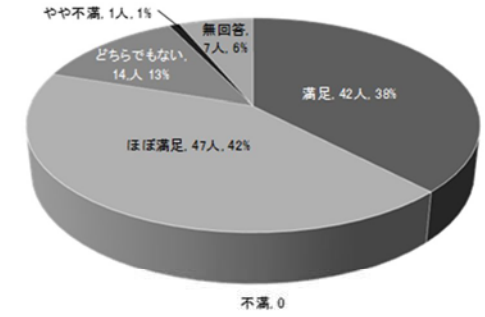
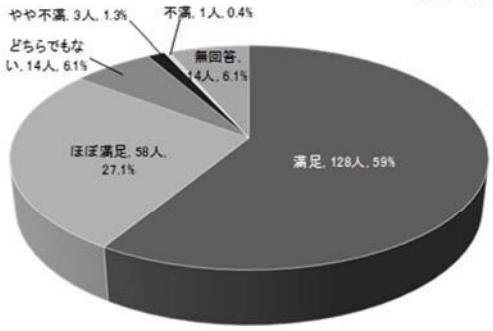
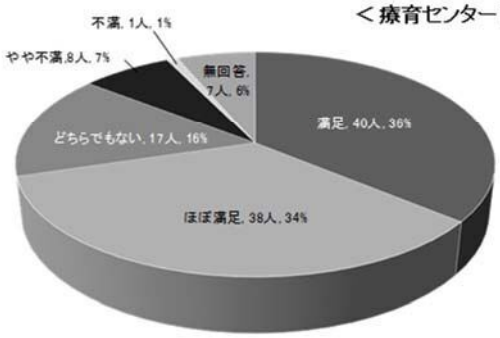
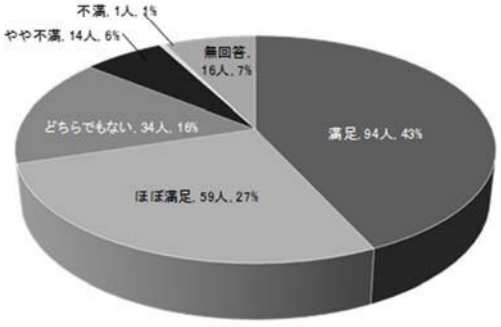
2. 都合のよい時間に利用できている

＜療育センター、はまのわ共通＞

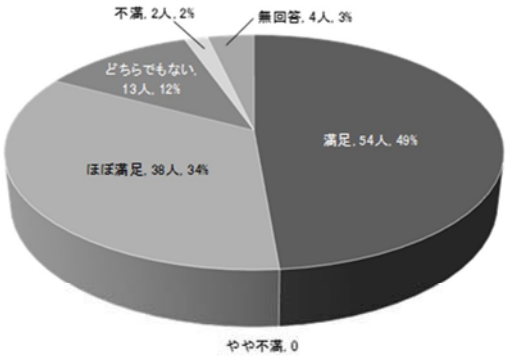


「満足」、「ほぼ満足」の割合が81%で前年度と同じでした。
主催事業は、利用者の体調、特性に応じた利用時間の設定と、曜日に偏りのないよう考慮し、貸出は公平性を維持しつつ、利用者の要望に応じて対応します。

3. 利用にあたっての手続きが簡単である ＜療育センター、はまのわ共通＞  	「満足・ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ変わりありませんが、満足の割合は2%増加しました。
4. 利用したいと思う事業（教室・行事など）が行われている ＜療育センター、はまのわ共通＞  	「満足・ほぼ満足」の割合は67%で前年度とほぼ同じです。 事業ごとにアンケートを実施しているので、記載されている内容を反映しながら、スポーツ・創作活動などの教室やボランティア活動の継続・発展を支援する講座など魅力的な事業を開催し、より満足度が上がるよう努めます。
5. 利用している事業（訓練・教室など）により成果を得ている ＜療育センター、はまのわ共通＞  	「満足・ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ同じです。 継続して利用いただいている訓練・教室利用者に対しても、より成果を感じて頂けるような内容を考えて実施していきます。
6. 職員の印象がよい ＜療育センター、はまのわ共通＞  	「満足・ほぼ満足」の割合は91%で前年度より2%増加しました。 満足の割合が増えるように日々窓口対応や相談対応、ご意見に真摯に向き合い満足度100%を目指します。

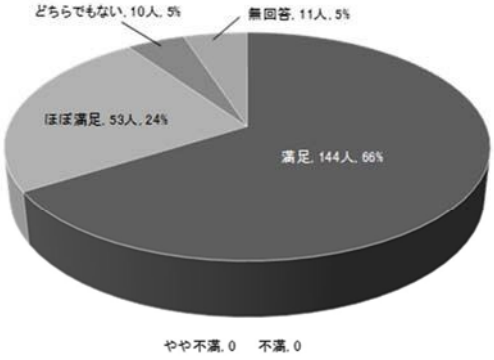
7．設備や備品が充実している　＜療育センター＞  	体育館では80%の方から「満足・ほぼ満足」の回答をいただきました。引き続き、対応していきます。
＜はまのわ＞  	はまのわでは85%の方から「満足・ほぼ満足」の回答をいただきました。引き続き、対応してきます。
8．公共交通機関や車での来館が便利である　＜療育センター＞  	体育館では「満足・ほぼ満足」の割合は前年度とほぼ同じでした。 交通の便や駐車場の利用については今後もご理解いただけるように丁寧に説明していきます。
＜はまのわ＞  	はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合は70%で去年より12%増加しました。 徒歩、公共交通機関の利用者にとっては駅からの遠さなどに不便を感じる方もいらっしゃると思いますが、今後もご理解いただけるよう丁寧に説明をしていきます。

9．安全管理が行き届いている　＜療育センター＞



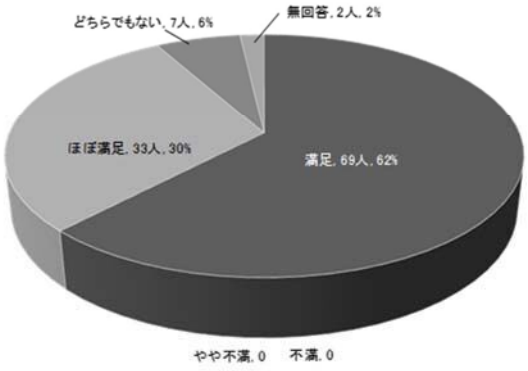
体育館では「満足」の割合が前年度より7%減少しました。
療育センターでの防災訓練は必ず参加するなど、皆様に信頼していただけるよう、引き続き防災・防犯管理体制に努めます。

＜はまのわ＞



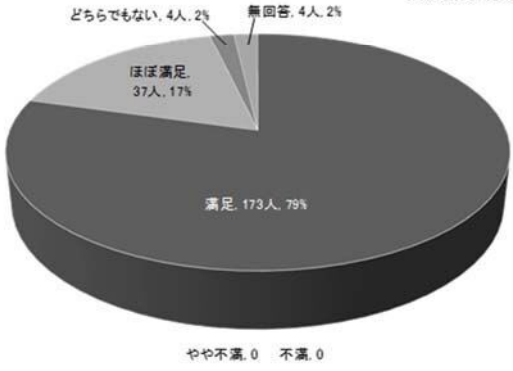
はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合は90%で前年度より7%増加しました。
館内には複数個所見える位置にヘルメットを設置しており、年2回の防災訓練の様子もふれあい通信に掲載をしている事から、安心して当施設をご利用頂いているかと思います。
引き続き、防災・防犯管理体制に努めます。

10．清掃が行き届いている　＜療育センター＞

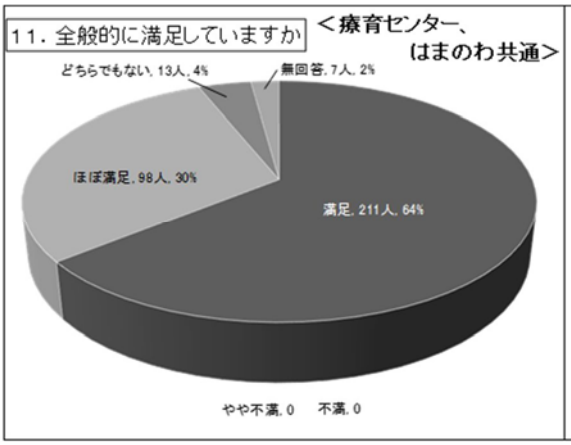


療育センターでは「満足・ほぼ満足」の割合は前年度より1%減少しました。
日々、清掃員が徹底して清掃を実施していますが引き続き、皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めてまいります。

＜はまのわ＞



はまのわでは「満足・ほぼ満足」の割合は96%で昨年より2%増加し、非常に高い評価をいただきました。
日々、清掃員が徹底して清掃を実施していますが引き続き、皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めてまいります。



「満足・ほぼ満足」の割合は94％で去年より5
7％増加しました。今年度は部屋の収容人数の制限の撤廃を行うことで講習会の定員を増やしました。また、短期教室（染め物、藍染、ビームライフル、ヨガ）についても昨年度よりも多くの開催に努めました。
今年度も皆様には感染防止対策にご協力頂くなどしてご迷惑をおかけする事もあったかと思いますが、今後も最善を尽くし、皆様に満足して頂けるような施設づくりを職員一同目指していきます。

満足またはやや満足（5～4点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
・いつも施設内が綺麗で気持ちいい。掃除が行き届いている。（体育室含む）	36
・感染対策がしっかりしている。	6
・トイレが綺麗。	5
・設備が充実していて利用しやすい。（体育室含む）	5
・部屋が広くて良い。（体育室含む）	4
・使いやすい。	3
・便利で行きやすい。	3
・館内が明るく、入館しやすい。	2
・冷暖房完備がありがたい。	2
・以前から使い慣れており、細かなところ（トイレ等）、障害者に優しいと思う。	
・安全対策がしっかりしている。	
・衛生管理が徹底されている。	
・手洗い場にペーパーが置いてある事が助かっている。	
・駐車場を使える事がありがたい。	
〈施設についていの意見〉 ⇒皆様に当施設を気持ちよく、安全にご利用いただけるよう、引き続き綺麗で明るい施設づくりを目指していきます。	

事業についての意見	同様の意見
・前もって準備をしっかりしてくれて作業がとてもやりやすかった。	
・色々なイベントが行われているので障害のある子どもを持つ親としてありがたい。	
・講座が充実している。	
・楽しく参加している。	
・とても気持ち良く勉強（講習会）が出来る。近くに教室がないのでとてもありがたい。	
・講師が分かりやすく指導してくれる。	
・確実に成果を感じている。	
・充実した内容で親切な指導をしてもらい、来館するのが楽しみ。	
〈事業についての意見〉 ⇒今後も皆様に楽しく、また成果の得られるような事業を企画、実施していきます。	

訓練についての意見	同様の意見
・介助方法について分かりやすく説明してくれた。	
・毎回丁寧な指導を受け、継続することが出来る。	

職員についての意見	同様の意見
・とても親切。	9
・対応が丁寧。	9
・挨拶が良い。	5
・明るい	4
・いつも変わらぬ笑顔に癒される。	3
・いつも手厚いサポートに感謝。	2
・声を掛けてくれて安心感がある。	
・安心感がある。	
・優しい。	
・接し方が良い。	

その他の意見	同様の意見
・全てが満足。	2
・体を動かす場所があり、助かっている。	
・音訳講習会で初めて来館。とても良くしてもらった。	
・好きなサークルを希望の時間に楽しくで出来ている。	
・いつも利用させてもらい感謝。	
・サークルの仲間が親切に関わって下さっている。	
・やりたい事が出来る。	
・様々な点で配慮が行き届いている。	

不満またはやや不満（2～1点）に印をつけた項目について、具体的に思うこと

施設についての意見	同様の意見
・交通の便が悪い。運転が出来なくなると来館が難しくなる。	10
⇒ご不便おかけし申し訳ございません。引き続き、当施設をよろしくお願いいたします。	
・自販機に冷たい飲み物しかない。	
⇒ご不便をおかけして申し訳ございません。商品の入れ替えを検討していきます。	
・コロナ対策で仕方ないが、そろそろ見直して欲しい。（設備や備品の充実）　（体育室）	
⇒ご不便をおかけして申し訳ございません。ご利用いただく皆様の安全が第一の為、引き続きコロナ対策にご協力をお願いいたします。	
・教室の椅子が収納に便利なように積み重ね出来るが、その椅子は疲れるし痛くなる。 壊れそうもない椅子だが、補充・新規購入の際は現在の椅子はご免被りたい。	
⇒ご不便をおかけして申し訳ございません。椅子の買い替え検討を行っていきます。	
・近隣住民だが施設の利用定則が分かりにくい。	
⇒ご意見ありがとうございます。ふれあいの家について近隣の皆様によりご理解いただけるよう、広報に努めていきます。	

・西側の門だけでなく右脇の2か所の門からも出入りさせてもらえると、とても便利。	
⇒防犯の面から、入口は西門のみとさせて頂いております。ご不便おかけしますが引き続き、当施設をよろしくお願いいたします。	

事業についての意見	同様の意見
・知的障害者向けの教室、行事もあるといい。	
⇒今後、検討していきます。	

職員についての意見	同様の意見
・体育室のみの使用で致し方ないが、事務局の人とのコミュニケーションが取りづらい。（体育室）	

施設貸出、予約についての意見	同様の意見
・部屋（体育館を含む）の予約は先着順ではなく抽選を検討して欲しい。	4
⇒部屋の貸出は年間仮予約を行っております。そちらも合わせてご利用ください。また、予約方法について検討を行っております。	
・利用者の障害区分等、その都度記入が細かくて不便。障害者かそうでないか程度で良いのでは？	
⇒一人一人の障がい特性に合わせた支援をする為に細かく把握をしています。ご協力をお願いします。	
・視覚障害者なのに手続き等がわずらわしい。	
⇒ご不便おかけし申し訳ございません。改善するよう努めます。	

ご意見・ご要望	
事業についての意見	**同様の意見**
・障害のある人とない人の交流の行事があるといい。	
⇒交流会やふれあいフェスティバル等、障害の有無関係なくご参加いただけます。その他にも企画をしていきます	
・教室に参加することで自己の健康管理にも役立ち、とても助かっている。	
・図書コーナーの本も市の図書館同様に借りられるとありがたい。	
⇒図書サロンの本はどなたでも借りる事ができます。手続きは1階の事務室にお立ち寄りください。	
・以前の寄せ植え教室は良かった。	
・トイレ休憩の時間を設けて欲しい（STT教室）。	
⇒トイレ休憩の時間を設けるよう、講師の先生と確認し対応していきます。	
・もっと色々な教室があると良い。	
⇒皆様に楽しんでいただけるような教室の検討を行っていきます。	
・午前の講習があったらいいと思う（手話講習会）。	
⇒検討していきます。	
・講習会をずっと続けて欲しい。	

その他の意見	同様の意見
・いつもお世話になり、ありがとう。	11
・清掃が行き届いており、毎回気持ちよく利用させてもらっている。ありがとう。	4
・これからもよろしく。	2
・施設がとても良いので、個人でも利用出来ると良い。	
・施設が古い事だけが残念。（体育室）	
・冬になると便座が冷たいので改善してもらえるとありがたい。（はまのわ）	
・本館玄関の入り口のコンクリートが割れているので滑らかにして欲しい。	
⇒ご不便おかけし申し訳ございません。改善するよう努めます。	
・雨の日に車寄せの屋根が欲しい。	
・インターネットでは手話サークルの事があまり分からず友人を通してこちらに来るようになった。 この施設の事がネット検索でも良く分かる事が出来たらと思う。	
⇒広報活動に努めます。	
・館内が明るく清潔で、いつも気分良く利用させてもらっている。	
・自販機に温かいお茶が欲しい。	
・モップをかけた後、滑って怖い。	
⇒清掃中、後などは皆様に分かりやすいように目印を立てるなどして対応していきます。	
・近くの駅で構わないので有料で送迎バスを出して欲しい。	
・職員の挨拶が分かりやすい。	
・職員も手話を覚えて手話で会話が出来たらいいなと思う。	
・もっと長時間やりたい（STT教室）。	
・土曜日、日曜日に開放してくれてありがたく思っている。	
・市外在住だが快く受け入れてもらえて嬉しい。	
・ヘルパーの立場として利用者の方々が嬉しそうにされているのを見て、自分も嬉しい。	
・コロナなので難しいと思うが教室の皆さんともっと親しくなれると良い。	
・体育室を利用させてもらえることに感謝。	
・コロナで大変なのに障害者作品展に対応してくれて、ありがとう。	
・楽しみながら訓練出来ないだろうか。	
・無料で利用出来るのは嬉しい。	
・手足が自由に動かせるようになりたい。	
・丁寧に接してくれる上、毎回の椅子の設置もやってくれて感謝している（手話講座）。	
・現在、手話講習会に参加中だが、他の講習会等の機会があったらまた是非参加したい。	
・感染対策等、大変だと思うが頑張って。	
・講座の申し込み等ウェブ上で出来る事を周知するのが良いのでは？。	

5　管理経費の縮減

基本的な考え方

療育センターの管理運営実績に基づき、可能な限り経費を縮減し最小限の経費でより効果的・効率的な施設運営を実践し、市民に対し良質なサービスを提供しました。

令和４年度は、ウクライナ情勢に起因する物価高騰や労働人口の減少による各種費用が増加傾向にあり、特に光熱費に関しては費用が増加しました。（療育センター電気料金　前年度比で約500 万円増加、ガス料金 200 万円増加）来年度も引き続き光熱費や人件費の上昇が見込まれており、来年度に向けて清掃設備業務委託について、サービスに影響のない程度に仕様を見直し、経費の削減を図りました。

主な管理経費の縮減（内容、実績）

単位：円

支出科目	内容	令和 4 年度 契約額	令和 5 年度 契約額	差額
業務委託費支出	清掃・設備業務委託契約の仕様を見直し、経費の削減を図りました。	18,018,000	16,830,000	1,188,000

6　自主事業

ふれあいの家利用者の求めに応じて、カラーコピー機による複写サービス及び公衆電話による通話サービスを提供し、料金を徴収しました。

単位：円

自主事業名	徴収した料金
コピー機による複写サービス	20,710
公衆電話による通話サービス	200

7　年度の総括（評価）

ア　療育相談所

令和４年度も、令和３年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、診察室や各相談室、個別指導室において換気や消毒の徹底、利用者へ検温や消毒の協力、窓のない部屋など換気が十分に行えない部屋に使用制限を設けるなど、感染予防対策に努めながら事業を実施しました。

その結果、部屋の利用にあたっては、一日あたりに受け入れられる件数が限られる中で事業を運営してきました。

各職種別の実績は、相談員の業務については、初回問い合わせから初回診察（受理面接含む）が行えるまでの期間は平均８か月となり、令和３年度の平均７か月半と比較し、半月伸びる結果となりました。この背景には、新型コロナウイルス感染症の影響による体調不良など度重なる予約日の変更が要因と思われます。新規患者数（新規相談及び受理面接）はそれぞれ１，００５件（令和３年度１，００８件)、５５４件（令和３年度６２５件）でした。また、意見書発行業務開始に伴い、受理面接とは別枠で来所相談を７月より２１件実施しました。

心理判定員の業務については、令和４年度より２人の職員を新規に採用し障害児通所支援の支給決定に係る意見書発行業務を７月より開始しました。、意見書発行は、相談員が行った来所相談２１件の内１５件実施しました。新規採用職員の教育を継続しながら心理評価を実施してきたため、平均２か月半の待ち時間で実施しました。個別指導については、令和３年度同様に対象を限定しながらであるものの実施することが出来ました。

言語聴覚士の業務は、職員１人の欠員及び休職者２人と常勤職員３人の不在の中、令和４年１２月より週２日勤務の非常勤職員１人を雇用しましたが、年度内は指導期間となり、主な業務は２人体制で実施しました。そのため、令和４年度は平均３か月の待ち時間で実施しました。また、保護者宛てに評価結果についての報告書をお渡しし、言葉とコミュニケーションの発達について理解を深めていただくよう努めました。

作業療法士の業務については、継続的な指導と共に、日常生活の中で必要な動作や体幹の使い方等をより分かり易く保護者と利用者に寄り添った指導、支援を実施してきました。

理学療法士の業務については、対象児が減少傾向にありましたが、日常生活に必要な動作の獲得をすることや、療育へのニードが高い保護者に対して、ニードに応じた頻度で令和３年度同様個別指導を行うことが出来ました。

令和５年度については、更に初診の増加が見込まれますが、再診枠を確保しながら初回相談方法の見直しや初診枠を増やすなど可能な限り待機期間を短縮できるよう、体制を整えていく必要があると考えます。

イ　すぎのこルーム

令和４年度も、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、医療型児童発達支援センターと児童発達支援事業の療育の充実及び保護者支援の充実に努めました。

利用児並びに保護者の安全を第一に日々の療育や行事など、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、保護者ニーズに沿った療育内容（保育内容、行事、保護者勉強会

等）を実施しました。

医療型児童発達支援センターの保護者支援では、保護者勉強会を５回開催しました。令和２年度から継続している「摂食嚥下講習会」は千葉県歯科医師会障害福祉保健委員会の委員を講師に招き、年４回開催しました。講演の他、食事場面での指導など直接講師からアドバイスを頂けたことで保護者からは「摂食について理解が深まった」と好評でした。

また、特別支援学校に進学されたＯＢ体験談の勉強会では、「学校の教育内容や放課後等デイサービスについて、詳しく知ることが出来て良かった」と保護者から評価をいただきました。

療育内容については、専門機関ならではのニーズに沿った支援（保育内容、専門職の指導、個別保育、行事等）の充実を図ってきました。その結果、保護者アンケートの満足度は、前期（事業所評価・公表）９２％、（事業所アンケート）８８％、後期（事業所評価・公表）８９．３％、（事業所アンケート）９３％となりました。

医療型児童発達支援センターの実績では、契約数は２８人。（令和３年度２０人）１日定員１０人に対し、利用児は１日平均５．２人（令和３年度３．１人）でした。

増加要因としては、新規契約児が１３人と多く、低年齢児は特に週２～３日と登園率が高かったことが挙げられます。

また今年度の欠席理由としては、家庭の都合（３８．５％）、体調不良（３２％）、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、兄弟等の幼稚園、保育所の休園や自粛（１３％）、母親や兄弟の体調不良（１０．１％）、通院等（６．４％）の順になっています。

令和５年度の取り組みとしては、引き続き契約人数増を図るため、各関係機関の病院や各区保健福祉センターの相談窓口担当者（相談員・保健師等）と連携を図り、親子通園ならではの療育の充実について周知していきたいと思います。

児童発達支援事業の契約人数は、６３人（令和３年度９０人）、見学者は４１人（令和３年度４３人）でした。

減少要因としては、

① ５歳児グループを１グループ減らしたこと（1グループ１０人）
② ３歳児の契約児が少なかったこと（午前午後とも１グループずつ設定したが、契約児が少なかった）
③ 共働き、核家族化などの社会環境の変化により、預かり型児童発達支援事業へ希望する家庭が多かったことが要因と思われます。

療育内容については、午前グループ対象に、ビーバー号歯科検診を実施しました。また、歯科医師による摂食についての勉強会は２・３歳児グループを対象に２回実施しました。

保護者支援では、３歳児から５歳児の保護者対象に特別支援学校、支援学級に進学されたＯＢ体験談を実施し、参加された保護者からは「学校の様子がわかって良かった」と好評でした。

保護者アンケートの満足度は、前期（事業所評価・公表）９４．６％、（事業所アンケート）９０％、後期（事業所評価・公表）９１％、（事業所アンケート）９２．５％でした。

また、知能の発達はノーマル域にある発達障害児を対象にしている発達グループでの満足度は、前期（事業所評価・公表）８０％、（事業所アンケート）９４％、後期（事業所評価・用公表）８１％、（事業所アンケート）９３％の評価でした。

令和５年度も、保護者ニーズに沿った満足度の高い療育支援に努めていきたいと思います。

ウ　やまびこルーム

令和３年度に続き、令和４年度においても、職員の異動、退職に伴い、職員体制が整わなかったため、①新規契約者の受け入れを制限する②個別指導の頻度は一律、言語聴覚士月２回とする③グループ指導は、３～５歳児は月１回の実施（２歳児のみ月３回実施）とする、などの制限を設けざるを得ない状況でのスタートとなりました。後期になり、非常勤職員が確保され、必要に応じて個別指導の回数を増やしたり、０～１歳児グループ（月３回実施）をスタートさせたり、新たに４人の新規契約者（合計１４人）をとるなど、保護者のニーズに沿った療育の質の向上を図りました。

令和４年度の利用状況は、グループ、個別指導ともに頻度を減らし、契約人数も抑えたことから、延べ利用者数は令和３年度の２，４５４人から１，６３７人に減少しました。１日の利用者数も１０．１人から６．７人へ減少となりました。その中で、療育体制の変更があって利用回数は減っても、出席率は令和３年度の８５．２％から８７．８％と、微増しています。グループ、個別指導の実施頻度の減少と職員の変更のため、保護者の求める療育内容に比べると、不十分になってしまったことは否めず、利用者アンケートの「職員の配置数や専門性は適切だと思いますか」の項目において、令和３年度後期６２％と変わらず６４％という数値に現れる結果となりました。

やまびこルームとして、通って来てくださる利用者のため、療育体制の立て直しを図り、保護者のニーズに応え、療育内容の充実を図っていくことは急務であり、そのために、職員人数の確保と職員の資質向上は重要な課題と認識しています。

令和４年度のやまびこルームの主な取り組みは、以下のとおりです。

① 保護者支援として、日々の指導の中での取り組みの他に、保護者対象の事業として、利用実績者数には反映されませんが、保護者勉強会を土曜日にオンラインで実施し、普段療育に参加できない父親も参加しやすいようにしました。保護者の難聴への理解を深め、先の見通しを持ち、療育へ前向きに取り組む姿勢を育てるには、有効であったと思われます。また、卒園児保護者の体験談を聞くお話会や小学校の難聴学級の担当教員を招いての勉強会、補聴器メーカー、人工内耳メーカーの担当者を招いての勉強会などを、計１１回実施し、延べ１０２人の保護者が参加しました。

② 新型コロナウイルス感染症の感染防止への配慮のため、ルーム全体での行事は行わず、運動会は年齢別グループ活動の中に組み入れました。保護者からの要望である異年齢のお子さん、保護者同士の交流を目的とした異年齢交流グループは、秋祭り、クリスマス会などの季節の行事を含め、計１８回実施し、延べ児童１２２人、保護者１２５人が参加しました。また、保護者同士の交流もねらいとした卒園児と在園児の交流会は、２回（１回は重複障害のお子さん対象）実施し、延べ在園児１０人、卒園児１１人、保護者２１人が参加しました。

③ 関係機関との連携においては、公開療育を利用児の居住する千葉市および県内の各市町の発達支援センター、小児難聴を診断する主な医療機関、県内聾学校、聴覚特別支援学校等、利用児の相談支援事業所、併行利用している児童発達支援事業所などを対象に、オンライン配信にて実施し、２２施設２９人の参加がありました。また、利用児が併行通園

している地域の幼稚園、保育園、児童発達支援事業所などの関係機関と訪問、電話等で延べ１０４回連携を図り、利用児が地域で生活していくための助言を行いました。今後も引き続き連携を図っていきます。

エ　相談支援事業所ぱれっと

相談支援事業所ぱれっとの令和４年度の目標は、相談支援を必要とする新規利用者の受け入れと利用者一人ひとりに適切な支援ができる職員の専門性の向上ときめ細かい対応でした。

取り組みとしては、①専門性の向上に向けオンライン研修など参加可能な研修の受講に努めました。医療的ケア児等支援コーディネーター研修は令和３年度受講できなかった分を今年度２人が受講し資格を取得、また昨年度に続き１人が強度行動障害支援者研修の基礎、実践を１年で受講し新たに支援者の資格を取得しました。②相談支援を必要とする新規利用者の受け入れとして、入り口支援に当たる未就学児を対象とした電話受付を継続し積極的に受け入れを行ないました。また、兄弟姉妹及び基幹相談支援センター等から相談があった困難ケースの受け入れを行ないました。③相談支援事業所間の連携では、基幹相談支援センター主催の各区の意見交換会に出席し、研修参加と情報交換・事例検討等を行いました。④ぱれっとの利用者以外の方や、関係機関からの相談や情報提供にも応じました。⑤各区の基幹相談支援センターと連携を取りながら多問題家族等の困難事例に対応しました。

令和４年度の成果としては、引き続き新規利用者の電話受付を実施したことで、乳幼児の保護者の入り口での相談支援の強化が図れたこと、ぱれっとの未就学児の受け入れ体制が、通所サービス事業所や基幹相談支援センターから認知されたことが挙げられます。また、訪問や担当者会議を通しての事業所間連携の強化や、各区基幹相談支援センターとの困難ケースの協働により、他機関からもぱれっとの役割が認識されることになり、職員の専門性の向上にもつながっています。

課題としては、①令和５年度の新規利用者の受け入れ体制について、②新型コロナウイルス感染症予防で認められていた電話対応から訪問中心の対応への切り替えについて、③異動に伴う相談員間の業務負担の軽減、④異動職員への教育体制の整備が挙げられます。①については令和４年度に続き職員の異動と都合により、新規受け入れのできる職員が限定されるため、月ごとに定員を決め受け入れを行ない、無理のない範囲で実績を残していけるよう努めます。②については今後訪問が中心になった場合の職員の動きについて、電話対応を適宜取り入れながら時間の使い方の見直しを行なっていきます。③については業務負担の偏りを是正しつつ、引き続き一人一人の業務の効率化を進めて行きます。④については新任職員についてはサポート職員を定め、きめ細かい指導で異動による心身の負担の軽減を図るとともにスムーズに業務に就けるようにしていきます。また、全職員がオンライン研修などを活用し、積極的に研修に参加する機会を作り専門性の向上に努めていきます。

オ　いずみの家

令和４年度も受注作業として箱折り、手提げ袋作り、保冷剤の箱詰め、ハンガーの組み立てを柱に行なってきました。今年度は行動制限緩和によりターミナルでのお菓子やギフト製品の需要が高まり、箱折り作業の依頼も増加しました。同様に回復の兆しのなかった保冷剤、

ハンガー作業についても年明けとともに作業の要請があり資材の入荷がみられました。

作業収入は約１，８７２万円（令和３年度約２，０３７万円、令和３年度比約１６５万円減）、材料費や諸費用の必要経費支出については約１，０００万円（令和３年度約１，０９４万円、令和３年度比約９４万円減）、その差を工賃として約８７２万円（令和３年度約９４３万円、令和３年度比約７１万円減）を支給しました。売り上げが減少した大きな理由として例年冬から夏場に大量依頼のある保冷剤作業が余剰在庫のため減少した事、資源循環法の影響で使い捨てハンガーが減産したことによるものです。

就労継続支援Ｂ型事業のご利用者１人あたりの月平均額工賃は２３，９４３円（令和３年度２３，０５０円、令和３年度比８９３円増）でした。就労継続支援Ｂ型施設の令和３年度の全国平均額約１６，５０７円及び千葉県平均額約１４，５７２円は上回りました。収入は減少しましたが月平均工賃額は微増することができました。

新型コロナウイルス感染症影響継続の中、引き続き既存の取引業者と良好な信頼関係を継続していくとともに新規作業開拓にも取り組み就労系施設の最優先課題である工賃向上を図ります。

利用者の高齢化により徐々に糖尿病や高血圧など生活習慣病と診断される方が増えてきています。生活習慣に問題のみられる方にはご家族面談を実施したり、体重推移表を提示して若いうちから健康管理を促す等の取り組みを行いました。また視力の低下や関節症など身体障害がみられた方には個々の利用者にあったプログラムを実施し対応しました。ご利用者の高齢化に伴う今後の支援への取り組みとして今後はハード面の整備や医療・食生活の連携に加えて身体介護や口腔衛生の方法など高齢者サービスのノウハウを取り入れていく必要があります。併せて本来利用者をサポートしていただく側のご家族の高齢化が顕著となってきており満足な支援を得られないケースが増えています。引き続き相談支援事業所やグループホームと連携してご家族を含めた支援が必要です。

就労移行支援事業の課題である就職率に関しては、本人の意識の変化により就労継続支援事業を行き来する方もいましたが、最終的に３人の方の一般企業への就職が決まり、全国の就職率の平均である３５．４％を超えることができました。

就労継続Ｂ型支援事業では、利用定員３４人に対する充足率は、月平均約２９．２人となり、定員の８５％に留まり、当施設の目標である９０％を達成することはできませんでした。日中一時支援事業は、特別支援学校の産業現場実習参加者に活用することにより、学校への広報に繋がり、夏休み等の学校の休暇に合わせて利用する方も多くいました。今後とも様々な手段により事業のＰＲを行っていきます。

また、家族の高齢化に伴う今後の支援として、家庭を離れ地域で生活できるようグループホーム等の福祉サービスの紹介に努めました。随時相談を行うことで、家族の入院を機にグループホームを利用される方や将来を見据えて体験される方が増えました。グループホームから通われている方が３人となり現在も継続して利用されています。グループホームに関しては親亡き後の備えとして重要な福祉サービスと位置付けており、より連携し支援していきます。また、今後とも利用者の加齢や特性に合わせたプログラムを実施し、地域で安心した生活が送れるように社会参加の機会を設け、地域生活の支援を行うとした当施設の基本理念に則って取り組んでいきます。

カ　ふれあいの家

令和４年度は、幅広い利用者に合わせた事業運営と地域交流の充実及び障害者に対する理解を拡げるための社会資源化を課題としてきました。また、利用者の方の安心・安全を考慮し、年間を通して新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を図りながら運営しました。

主催事業では写真撮影会・講評会が天候不良により中止となりましたが、その他の教室、講習会は年度当初の予定通りに実施することができました。

創作系教室・スポーツレクリエーション教室では、通年教室の１１教室だけでなく、短期教室として利用者の方から声が上がったり、好評を得ていた染め物・藍染・ビームライフル・ヨガを開催することができました。短期教室は令和３年度には寄せ植え教室の１教室のみの開催でしたが、令和４年度は前述の４教室に加え、作業療法士による短期教室も実施し、計６種１８回の短期教室を開催し、年度目標の４教室以上を実施することができました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止していたバス旅行を３年ぶりに通常より募集人数を減らした形で実施しました。肢体・聴覚・内部障害者のバス旅行では春・夏ともに募集人数を超える応募(春；２２０％、秋；１１０．４％)があり、好評を得ました。

ボランティア養成講習会は、要約筆記・点字講習会が定員に満たない開催となりましたが、開催した全講習会で出席率が８０％以上(８４～１００％)となり、受講生の意欲の高さが伺えました。

令和２・３年度のふれあいフェスティバルはふれあいの家の利用者の方に限定して開催しましたが、令和４年度は一般の市民の方も参加できる形で開催し、利用者数が令和３年度の８７人から１４０人(＋６０．９％)と増加しました。また、地域交流の機会としてボッチャ交流会も開催し、３年ぶりにふれあいの家の利用者の方と一般の市民の方が交流できる行事を実施することができました。

貸出事業では、令和４年６月１０日からの利用制限の緩和もあり、令和４年度は令和３年度に比べ利用者数が増加しました。(福祉バス；８０１人から１，５３３人(＋９１．４％)、福祉カー；１３７人から３２２人(＋１３５．０％)、体育室；５，１１３人から６，５４９人(＋２８．１％)、その他の施設利用；９，９７０人から１１，７７０人(＋１８．１％)

また、年間の総利用者数は令和３年度の２２，７１３人から２６，０５３人(＋１４．７％)と増加しました。

令和４年度は令和３年度に比べ、利用制限の緩和により、一般の市民の方にも参加してもらえるような地域交流の開催や貸出事業での利用者数の増加があり、ふれあいの家を利用してくれる方を増やすことができました。

しかし、ボランティア養成講習会や理学療法士による介護予防・介護技術勉強会、作業療法士による短期教室、年間教室のアートDEふれあい・組紐・サウンドテーブルテニス（ＳＴＴ）など定員に満たない教室もあり、広報が館内掲示、ホームページ、市政だよりと限られていたことが要因として挙げられます。

今後はより多くの方にふれあいの家の事業を周知できるように既存の広報だけでなく、近隣の自治会・商店や福祉団体・福祉施設等への広報にも力を入れていきたいと思います。また、幅広い利用者の方の多様なニーズに応えられるような様々な短期教室の開催や高評価な短期教室の定期開催化と一般の市民の方も参加できる交流行事を増やし、地域交流の充実と

交流を通した障害に対する理解を拡げることが図れるような企画・運営に努めていきます。

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　指定管理事業計（※発達障害者支援センター除く）

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労継続Bいずみ収入	0	0	0	0	0	0	0	0
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)	0	0	0	0	0	0	0	0
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)	0	0	0	0	0	0	0	0
市区町村受託金収入(公費)	684,602,000	0	0	0	684,602,000	650,574,284	△ 34,027,716	0
その他受託金収入	0	9,597,000	0	0	9,597,000	3,282,286	△ 6,314,714	3,282,286
受取利息配当金収入					0		0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス区分間繰入金収入	7,491,000	0	0	29,559,770	37,050,770	37,050,770	0	0
慰労金収入(県)	0	0	0	0	0		0	
慰労金収入(市)	0	0	0	0	0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0
計	692,093,000	9,597,000	0	29,559,770	731,249,770	690,907,340	△ 40,342,430	3,282,286

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	515,261,000	△ 7,000,000	0	0	508,261,000	482,529,811	25,731,189	0	25,731,189
職員俸給支出	217,386,000	△ 7,000,000	△ 4,244,000	0	206,142,000	199,098,514	7,043,486	0	7,043,486
職員諸手当支出	65,261,000	0	0	0	65,261,000	64,997,805	263,195	0	263,195
職員賞与支出	86,060,000	0	0	0	86,060,000	77,197,967	8,862,033	0	8,862,033
非常勤職員給与支出	69,293,000	0	4,244,000	0	73,537,000	73,243,056	293,944	0	293,944
派遣職員費支出	4,812,000	0	0	0	4,812,000	3,618,184	1,193,816	0	1,193,816
退職給付支出	4,780,000	0	0	0	4,780,000	4,243,500	536,500	0	536,500
法定福利費支出	67,669,000	0	0	0	67,669,000	60,130,785	7,538,215	0	7,538,215
事業費支出	48,911,000	9,597,000	3,764,848	0	62,272,848	55,958,134	6,314,714	0	6,314,714
給食費支出	3,726,000	0	△ 10,562	0	3,715,438	3,715,438	0	0	0
保健衛生費支出	1,975,000	0	△ 160,580	0	1,814,420	1,814,420	0	0	0
教養娯楽費支出	629,000	0	△ 76,660	0	552,340	552,340	0	0	0
保育材料費支出	616,000	0	△ 3,364	0	612,636	612,636	0	0	0
水道光熱費支出	21,280,000	9,597,000	5,393,103	0	36,270,103	29,955,389	6,314,714	0	6,314,714
消耗器具備品費支出	3,591,000	0	△ 69,646	0	3,521,354	3,521,354	0	0	0
保険料支出	1,050,000	0	△ 111,240	0	938,760	938,760	0	0	0
賃借料支出	7,085,000	0	△ 462,856	0	6,622,144	6,622,144	0	0	0
教育指導費支出	5,551,000	0	471,810	0	6,022,810	6,022,810	0	0	0
車輌費支出	1,760,000	0	△ 923,904	0	836,096	836,096	0	0	0
雑支出	1,648,000	0	△ 281,253	0	1,366,747	1,366,747	0	0	0
事務費支出	104,066,000	0	△ 3,666,508	0	100,399,492	99,766,965	632,527	0	632,527
福利厚生費支出	1,689,000	0	0	0	1,689,000	1,056,473	632,527	0	632,527
職員被服費支出	1,532,000	0	△ 351,566	0	1,180,434	1,180,434	0	0	0
旅費交通費支出	883,000	0	△ 306,549	0	576,451	576,451	0	0	0
研修研究費支出	1,037,000	0	△ 421,917	0	615,083	615,083	0	0	0
事務消耗品費支出	1,403,000	0	△ 93,188	0	1,309,812	1,309,812	0	0	0
印刷製本費支出	762,000	0	△ 195,220	0	566,780	566,780	0	0	0
修繕費支出	5,456,000	0	△ 2,705,785	0	2,750,215	2,750,215	0	0	0
通信運搬費支出	3,078,000	0	298,872	0	3,376,872	3,376,872	0	0	0
会議費支出	41,000	0	△ 17,186	0	23,814	23,814	0	0	0
広報費支出	735,000	0	△ 83,261	0	651,739	651,739	0	0	0
業務委託費支出	70,093,000	0	514,986	0	70,607,986	70,607,986	0	0	0
手数料支出	685,000	0	△ 195,196	0	489,804	489,804	0	0	0
租税公課支出	587,000	0	△ 74,200	0	512,800	512,800	0	0	0
保守料支出	12,286,000	0	36,802	0	12,322,802	12,322,802	0	0	0
諸会費支出	594,000	0	△ 73,100	0	520,900	520,900	0	0	0
雑支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費(事務局)支出	3,205,000	0	0	0	3,205,000	3,205,000	0	0	0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販管費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産取得支出	2,543,000	0	△ 95,500	0	2,447,500	2,447,500	0	0	0
車輌運搬具取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具及び備品取得支出	2,543,000	0	△ 95,500	0	2,447,500	2,447,500	0	0	0
ファイナンスリース債務の返済支出	6,389,000	0	△ 2,840	0	6,386,160	6,386,160	0	0	0
積立資産支出	7,491,000	0	0	0	7,491,000	0	7,491,000	0	7,491,000
退職給付引当資産	7,491,000	0	0	0	7,491,000	0	7,491,000	0	7,491,000
工賃平均積立資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拠点区分間繰入金支出	173,000	10,541,000	0	0	10,714,000	10,536,881	177,119	0	177,119
サービス区分間繰入金支出	7,259,000	0	0	29,559,770	36,818,770	36,818,770	0	0	0
慰労金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	692,093,000	13,138,000	0	29,559,770	734,790,770	694,444,221	40,346,549	0	40,346,549

前期末支払資金残高	3,536,881
当期末支払資金残高	0

法人税	0

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	3,536,881
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	3,536,881
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　療育相談所

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	253,675,000				253,675,000	233,707,346	△ 19,967,654	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	7,491,000			11,698,770	19,189,770	19,189,770	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	261,166,000	2,393,000	0	11,698,770 11,335,000	275,257,770	253,819,848	△ 21,437,922	922,732

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	224,704,000	0	0	△ 669,000	224,035,000	211,867,558	12,167,442	0	12,167,442
職員俸給支出	94,560,000		△ 4,244,000	△ 877,000	89,439,000	84,536,356	4,902,644		4,902,644
職員諸手当支出	33,210,000			△ 3,402,000	29,808,000	29,795,364	12,636		12,636
職員賞与支出	37,378,000			△ 951,000	36,427,000	32,560,456	3,866,544		3,866,544
非常勤職員給与支出	28,877,000		4,244,000	5,040,000	38,161,000	38,160,517	483		483
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	1,999,000			△ 178,000	1,821,000	1,687,500	133,500		133,500
法定福利費支出	28,680,000			△ 301,000	28,379,000	25,127,365	3,251,635		3,251,635
事業費支出	11,313,000	2,393,000	569,863	587,770	14,863,633	13,396,691	1,466,942	0	1,466,942
給食費支出					0		0		0
保健衛生費支出	809,000		△ 225		808,775	808,775	0		0
教養娯楽費支出	411,000		△ 4,026		406,974	406,974	0		0
保育材料費支出					0		0		0
水道光熱費支出	5,091,000	2,393,000	921,607	587,770	8,993,377	7,526,435	1,466,942		1,466,942
消耗器具備品費支出	1,459,000				1,459,000	1,459,000	0		0
保険料支出	177,000		△ 38,565		138,435	138,435	0		0
賃借料支出	2,605,000		△ 76,680		2,528,320	2,528,320	0		0
教育指導費支出					0		0		0
車輌費支出	259,000		△ 172,233		86,767	86,767	0		0
雑支出	502,000		△ 60,015		441,985	441,985	0		0
事務費支出	15,607,000	0	△ 535,363	△ 198,000	14,873,637	14,628,425	245,212	0	245,212
福利厚生費支出	593,000				593,000	347,788	245,212		245,212
職員被服費支出	448,000		△ 125,285	△ 6,000	316,715	316,715	0		0
旅費交通費支出	153,000		△ 48,227	△ 50,000	54,773	54,773	0		0
研修研究費支出	352,000		△ 73,017		278,983	278,983	0		0
事務消耗品費支出	470,000		△ 345		469,655	469,655	0		0
印刷製本費支出	316,000		△ 50,000		266,000	266,000	0		0
修繕費支出	1,589,000		△ 248,775	△ 300,000	1,040,225	1,040,225	0		0
通信運搬費支出	461,000		△ 14,300		446,700	446,700	0		0
会議費支出	11,000		△ 1,922		9,078	9,078	0		0
広報費支出	140,000		△ 22,160		117,840	117,840	0		0
業務委託費支出	5,779,000		34,567	243,000	6,056,567	6,056,567	0		0
手数料支出	56,000		△ 1,520	10,000	64,480	64,480	0		0
租税公課支出	200,000		△ 25,400	△ 1,000	173,600	173,600	0		0
保守料支出	3,609,000		41,021	△ 94,000	3,556,021	3,556,021	0		0
諸会費支出	308,000				308,000	308,000	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	1,122,000				1,122,000	1,122,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	1,357,000	0	△ 34,140	0	1,322,860	1,322,860	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	1,357,000		△ 34,140		1,322,860	1,322,860	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	630,000		△ 360		629,640	629,640	0		0
積立資産支出	7,491,000	0	0	0	7,491,000	0	7,491,000	0	7,491,000
退職給付引当資産	7,491,000				7,491,000		7,491,000		7,491,000
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	64,000	555,000			619,000	554,629	64,371		64,371
サービス区分間繰入金支出				11,978,000	11,978,000	11,978,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	261,166,000	2,948,000	0	11,698,770	275,812,770	254,377,803	21,434,967	0	21,434,967

前期末支払資金残高	554,629
当期末支払資金残高	△ 3,326

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	554,629
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	554,629
当期末支払資金残高	△ 3,326
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	△ 3,326

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　医療型児童発達支援センターすぎのこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
経常経費補助金収入					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	90,299,000				90,299,000	89,314,423	△ 984,577	
その他受託金収入		2,011,000			2,011,000	1,320,475	△ 690,525	1,320,475
受取利息配当金収入					0		0	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
施設整備等補助金収入					0		0	
施設整備等寄付金収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				2,479,000	2,479,000	2,479,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	90,299,000	2,011,000	0	2,479,000	94,789,000	93,113,898	△ 1,675,102	1,320,475

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	64,821,000	0	0	441,000	65,262,000	64,406,673	855,327	0	855,327
職員俸給支出	30,762,000			79,000	30,841,000	30,840,159	841		841
職員諸手当支出	8,104,000				8,104,000	8,061,651	42,349		42,349
職員賞与支出	11,975,000				11,975,000	11,406,267	568,733		568,733
非常勤職員給与支出	4,368,000			362,000	4,730,000	4,729,144	856		856
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	858,000				858,000	635,000	223,000		223,000
法定福利費支出	8,754,000				8,754,000	8,734,452	19,548		19,548
事業費支出	6,566,000	2,011,000	348,023	232,000	9,157,023	8,466,498	690,525	0	690,525
給食費支出	674,000		△ 809	18,000	691,191	691,191	0		0
保健衛生費支出	186,000		△ 5,371		180,629	180,629	0		0
教養娯楽費支出	49,000		△ 18,220		30,780	30,780	0		0
保育材料費支出	297,000		△ 535		296,465	296,465	0		0
水道光熱費支出	4,243,000	2,011,000	522,485	186,000	6,962,485	6,271,960	690,525		690,525
消耗器具備品費支出	432,000				432,000	432,000	0		0
保険料支出	113,000		△ 2,210		110,790	110,790	0		0
賃借料支出	286,000		△ 45,120		240,880	240,880	0		0
教育指導費支出					0		0		0
車輌費支出	272,000		△ 96,120		175,880	175,880	0		0
雑支出	14,000		△ 6,077	28,000	35,923	35,923	0		0
事務費支出	17,408,000	0	△ 290,128	△ 703,000	16,414,872	16,306,622	108,250	0	108,250
福利厚生費支出	290,000				290,000	181,750	108,250		108,250
職員被服費支出	265,000		△ 87,168		177,832	177,832	0		0
旅費交通費支出	55,000		△ 29,426		25,574	25,574	0		0
研修研究費支出	200,000		△ 105,206		94,794	94,794	0		0
事務消耗品費支出	132,000		△ 5,594		126,406	126,406	0		0
印刷製本費支出	120,000		△ 29,250		90,750	90,750	0		0
修繕費支出	1,174,000		△ 201,453	△ 664,000	308,547	308,547	0		0
通信運搬費支出	380,000		164,562	△ 84,000	460,562	460,562	0		0
会議費支出	5,000		△ 1,060		3,940	3,940	0		0
広報費支出	110,000		△ 1,690		108,310	108,310	0		0
業務委託費支出	12,348,000		34,089	23,000	12,405,089	12,405,089	0		0
手数料支出	102,000		△ 21,573		80,427	80,427	0		0
租税公課支出	53,000		△ 200	1,000	53,800	53,800	0		0
保守料支出	1,754,000		△ 659	21,000	1,774,341	1,774,341	0		0
諸会費支出	30,000		△ 5,500		24,500	24,500	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	390,000				390,000	390,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	348,000	0	△ 57,700	△ 34,000	256,300	256,300	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	348,000		△ 57,700	△ 34,000	256,300	256,300	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,135,000		△ 195		1,134,805	1,134,805	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	21,000	625,000			646,000	624,822	21,178		21,178
サービス区分間繰入金支出				2,543,000	2,543,000	2,543,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	90,299,000	2,636,000	0	2,479,000	95,414,000	93,738,720	1,675,280	0	1,675,280

前期末支払資金残高	624,822
当期末支払資金残高	0

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	624,822
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	624,822
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　児童発達支援事業すぎのこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	16,785,000				16,785,000	16,650,224	△ 134,776	
その他受託金収入		433,000			433,000	133,900	△ 299,100	133,900
受取利息配当金収入					0		0	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				745,000	745,000	745,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	16,785,000	433,000	0	745,000	17,963,000	17,529,124	△ 433,876	133,900

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	10,889,000	0	0	△ 330,000	10,559,000	10,457,615	101,385	0	101,385
職員俸給支出	3,788,000				3,788,000	3,788,000	0		0
職員諸手当支出	1,190,000			135,000	1,325,000	1,324,558	442		442
職員賞与支出	1,490,000			35,000	1,525,000	1,524,529	471		471
非常勤職員給与支出	2,853,000			△ 500,000	2,353,000	2,314,768	38,232		38,232
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	47,000				47,000	46,500	500		500
法定福利費支出	1,521,000				1,521,000	1,459,260	61,740		61,740
事業費支出	1,482,000	433,000	195,043	117,000	2,227,043	1,927,943	299,100	0	299,100
給食費支出	276,000		△ 4,320	80,000	351,680	351,680	0		0
保健衛生費支出	42,000		△ 3,761		38,239	38,239	0		0
教養娯楽費支出	5,000		△ 1,300		3,700	3,700	0		0
保育材料費支出	55,000		△ 2,438		52,562	52,562	0		0
水道光熱費支出	849,000	433,000	234,479	37,000	1,553,479	1,254,379	299,100		299,100
消耗器具備品費支出	136,000		△ 2,588		133,412	133,412	0		0
保険料支出	13,000		△ 476		12,524	12,524	0		0
賃借料支出	86,000		△ 12,620		73,380	73,380	0		0
教育指導費支出					0		0		0
車輌費支出	20,000		△ 11,933		8,067	8,067	0		0
雑支出					0		0		0
事務費支出	3,293,000	0	△ 192,065	△ 16,000	3,084,935	3,054,544	30,391	0	30,391
福利厚生費支出	49,000				49,000	18,609	30,391		30,391
職員被服費支出	53,000		△ 1,832		51,168	51,168	0		0
旅費交通費支出	5,000		△ 2,754		2,246	2,246	0		0
研修研究費支出	79,000		△ 47,296		31,704	31,704	0		0
事務消耗品費支出	71,000		△ 22		70,978	70,978	0		0
印刷製本費支出	30,000		△ 20,920		9,080	9,080	0		0
修繕費支出	220,000		△ 29,980		190,020	190,020	0		0
通信運搬費支出	192,000		△ 137	△ 18,000	173,863	173,863	0		0
会議費支出					0		0		0
広報費支出	62,000		△ 485		61,515	61,515	0		0
業務委託費支出	1,918,000		6,110	18,000	1,942,110	1,942,110	0		0
手数料支出	185,000		△ 94,147	△ 23,000	67,853	67,853	0		0
租税公課支出					0		0		0
保守料支出	365,000		△ 602	7,000	371,398	371,398	0		0
諸会費支出					0		0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	64,000				64,000	64,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	103,000	0	△ 2,240	0	100,760	100,760	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	103,000		△ 2,240		100,760	100,760	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	384,000		△ 738		383,262	383,262	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	3,000	212,000			215,000	211,444	3,556		3,556
サービス区分間繰入金支出	631,000			974,000	1,605,000	1,605,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	16,785,000	645,000	0	745,000	18,175,000	17,740,568	434,432	0	434,432

前期末支払資金残高	211,444
当期末支払資金残高	0

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	211,444
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	211,444
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　福祉型児童発達支援センターやまびこルーム

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	78,627,000				78,627,000	74,640,403	△ 3,986,597	
その他受託金収入		1,197,000			1,197,000	0	△ 1,197,000	
受取利息配当金収入					0		0	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
施設整備等補助金収入					0		0	
施設整備等寄付金収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				3,257,000	3,257,000	3,257,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	78,627,000	1,197,000	0	3,257,000	83,081,000	77,897,403	△ 5,183,597	0

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	57,711,000	0	0	△ 1,447,000	56,264,000	52,410,048	3,853,952	0	3,853,952
職員俸給支出	24,309,000				24,309,000	22,344,336	1,964,664		1,964,664
職員諸手当支出	5,955,000			1,814,000	7,769,000	7,768,201	799		799
職員賞与支出	9,628,000				9,628,000	8,988,060	639,940		639,940
非常勤職員給与支出	9,715,000			△ 3,350,000	6,365,000	6,364,771	229		229
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	368,000			89,000	457,000	457,000	0		0
法定福利費支出	7,736,000				7,736,000	6,487,680	1,248,320		1,248,320
事業費支出	4,785,000	1,197,000	511,354	84,000	6,577,354	5,377,028	1,200,326	0	1,200,326
給食費支出	11,000		△ 114		10,886	10,886	0		0
保健衛生費支出	168,000		△ 63,687		104,313	104,313	0		0
教養娯楽費支出	60,000		△ 28,060		31,940	31,940	0		0
保育材料費支出	264,000		△ 391		263,609	263,609	0		0
水道光熱費支出	2,546,000	1,197,000	1,108,494	112,000	4,963,494	3,763,168	1,200,326		1,200,326
消耗器具備品費支出	545,000		△ 6,000		539,000	539,000	0		0
保険料支出	92,000		△ 1,448		90,552	90,552	0		0
賃借料支出	489,000		△ 68,378		420,622	420,622	0		0
教育指導費支出					0		0		0
車輌費支出	291,000		△ 213,901		77,099	77,099	0		0
雑支出	319,000		△ 215,161	△ 28,000	75,839	75,839	0		0
事務費支出	14,681,000	0	△ 510,354	△ 390,000	13,780,646	13,668,001	112,645	0	112,645
福利厚生費支出	233,000				233,000	120,355	112,645		112,645
職員被服費支出	147,000		△ 24,033		122,967	122,967	0		0
旅費交通費支出	132,000		△ 63,931		68,069	68,069	0		0
研修研究費支出	191,000		△ 49,084		141,916	141,916	0		0
事務消耗品費支出	270,000		△ 78,397		191,603	191,603	0		0
印刷製本費支出	137,000		△ 93,748		43,252	43,252	0		0
修繕費支出	788,000		△ 663,441		124,559	124,559	0		0
通信運搬費支出	491,000		149,919		640,919	640,919	0		0
会議費支出	4,000		△ 958		3,042	3,042	0		0
広報費支出	169,000		△ 1,420		167,580	167,580	0		0
業務委託費支出	10,343,000		475,721	△ 417,000	10,401,721	10,401,721	0		0
手数料支出	144,000		△ 62,932		81,068	81,068	0		0
租税公課支出	62,000		△ 35,400		26,600	26,600	0		0
保守料支出	1,098,000		△ 650	27,000	1,124,350	1,124,350	0		0
諸会費支出	98,000		△ 62,000		36,000	36,000	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	374,000				374,000	374,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	113,000	0	△ 700	34,000	146,300	146,300	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	113,000		△ 700	34,000	146,300	146,300	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,317,000		△ 300		1,316,700	1,316,700	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	20,000	802,000			822,000	801,580	20,420		20,420
サービス区分間繰入金支出				4,976,000	4,976,000	4,976,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	78,627,000	1,999,000	0	3,257,000	83,883,000	78,695,657	5,187,343	0	5,187,343

前期末支払資金残高	801,580
当期末支払資金残高	3,326

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	801,580
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	801,580
当期末支払資金残高	3,326
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	3,326

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　身体障害者福祉センターふれあいの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	101,018,000				101,018,000	100,687,550	△ 330,450	
その他受託金収入		1,502,000			1,502,000	249,666	△ 1,252,334	249,666
受取利息配当金収入					0		0	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				6,471,000	6,471,000	6,471,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	101,018,000	1,502,000	0	6,471,000	108,991,000	107,408,216	△ 1,582,784	249,666

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	49,819,000	0	0	2,847,000	52,666,000	52,409,998	256,002	0	256,002
職員俸給支出	16,616,000			303,000	16,919,000	16,918,600	400		400
職員諸手当支出	4,963,000			1,282,000	6,245,000	6,244,752	248		248
職員賞与支出	6,164,000			916,000	7,080,000	7,079,073	927		927
非常勤職員給与支出	15,550,000				15,550,000	15,296,479	253,521		253,521
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	193,000			45,000	238,000	237,500	500		500
法定福利費支出	6,333,000			301,000	6,634,000	6,633,594	406		406
事業費支出	12,005,000	1,502,000	1,367,827	△ 355,000	14,519,827	13,267,493	1,252,334	0	1,252,334
給食費支出					0		0		0
保健衛生費支出	108,000		△ 406		107,594	107,594	0		0
教養娯楽費支出	91,000		△ 24,814		66,186	66,186	0		0
保育材料費支出					0		0		0
水道光熱費支出	4,308,000	1,502,000	1,054,837	△ 745,000	6,119,837	4,867,503	1,252,334		1,252,334
消耗器具備品費支出	408,000		△ 6,750		401,250	401,250	0		0
保険料支出	253,000		△ 970		252,030	252,030	0		0
賃借料支出	1,156,000		△ 171,361		984,639	984,639	0		0
教育指導費支出	4,625,000		622,112	390,000	5,637,112	5,637,112	0		0
車輌費支出	243,000		△ 104,821		138,179	138,179	0		0
雑支出	813,000				813,000	813,000	0		0
事務費支出	37,294,000	0	△ 1,367,047	1,382,000	37,308,953	37,260,505	48,448	0	48,448
福利厚生費支出	219,000				219,000	170,552	48,448		48,448
職員被服費支出	233,000		△ 69,953		163,047	163,047	0		0
旅費交通費支出	10,000		△ 22,955	50,000	37,045	37,045	0		0
研修研究費支出	37,000		△ 30,970		6,030	6,030	0		0
事務消耗品費支出	110,000		△ 504		109,496	109,496	0		0
印刷製本費支出	41,000		△ 1,000		40,000	40,000	0		0
修繕費支出	571,000		△ 1,129,133	1,293,000	734,867	734,867	0		0
通信運搬費支出	453,000		△ 861		452,139	452,139	0		0
会議費支出	21,000		△ 13,246		7,754	7,754	0		0
広報費支出	105,000		△ 22,895		82,105	82,105	0		0
業務委託費支出	31,075,000		△ 60,836	15,000	31,029,164	31,029,164	0		0
手数料支出	52,000		△ 1,464	13,000	63,536	63,536	0		0
租税公課支出	208,000		△ 12,300		195,700	195,700	0		0
保守料支出	3,650,000		△ 330	11,000	3,660,670	3,660,670	0		0
諸会費支出	25,000		△ 600		24,400	24,400	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	484,000				484,000	484,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,365,000		△ 780		1,364,220	1,364,220	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	26,000	359,000			385,000	358,161	26,839		26,839
サービス区分間繰入金支出	509,000			2,597,000	3,106,000	3,106,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	101,018,000	1,861,000	0	6,471,000	109,350,000	107,766,377	1,583,623	0	1,583,623

前期末支払資金残高	358,161
当期末支払資金残高	0

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	358,161
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	358,161
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　就労移行支援事業いずみの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	32,225,000				32,225,000	28,799,475	△ 3,425,525	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入	0			1,335,000	1,335,000	1,335,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	32,225,000	346,000	0	1,335,000	33,906,000	30,134,475	△ 3,771,525	0

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	26,194,000	△ 4,400,000	0	△ 1,036,000	20,758,000	17,374,287	3,383,713	0	3,383,713
職員俸給支出	11,571,000	△ 4,400,000			7,171,000	7,057,800	113,200		113,200
職員諸手当支出	3,423,000			△ 372,000	3,051,000	3,022,490	28,510		28,510
職員賞与支出	4,722,000				4,722,000	2,910,617	1,811,383		1,811,383
非常勤職員給与支出	2,656,000			△ 664,000	1,992,000	1,991,996	4		4
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	227,000				227,000	182,000	45,000		45,000
法定福利費支出	3,595,000				3,595,000	2,209,384	1,385,616		1,385,616
事業費支出	1,491,000	346,000	255,661	△ 220,763	1,871,898	1,525,898	346,000	0	346,000
給食費支出	280,000		△ 4,536	△ 109,000	166,464	166,464	0		0
保健衛生費支出	113,000		△ 28,659		84,341	84,341	0		0
教養娯楽費支出					0	0	0		0
保育材料費支出					0		0		0
水道光熱費支出	679,000	346,000	386,266	△ 61,763	1,349,503	1,003,503	346,000		346,000
消耗器具備品費支出	57,000		△ 371		56,629	56,629	0		0
保険料支出	41,000		△ 14,082		26,918	26,918	0		0
賃借料支出	102,000		△ 6,750		95,250	95,250	0		0
教育指導費支出	139,000		△ 31,147	△ 50,000	57,853	57,853	0		0
車輌費支出	80,000		△ 45,060		34,940	34,940	0		0
雑支出					0		0		0
事務費支出	2,482,000	0	△ 255,412	11,000	2,237,588	2,202,776	34,812	0	34,812
福利厚生費支出	86,000				86,000	51,188	34,812		34,812
職員被服費支出	104,000		△ 751	2,000	105,249	105,249	0		0
旅費交通費支出	121,000		△ 81,376		39,624	39,624	0		0
研修研究費支出	46,000		△ 41,880		4,120	4,120	0		0
事務消耗品費支出	26,000		△ 1,969		24,031	24,031	0		0
印刷製本費支出	3,000		△ 70		2,930	2,930	0		0
修繕費支出	175,000		△ 109,885		65,115	65,115	0		0
通信運搬費支出	69,000		△ 77	△ 4,000	64,923	64,923	0		0
会議費支出					0		0		0
広報費支出	21,000		△ 14,727		6,273	6,273	0		0
業務委託費支出	1,354,000		3,237	9,000	1,366,237	1,366,237	0		0
手数料支出	15,000		△ 6,066		8,934	8,934	0		0
租税公課支出	10,000		△ 535		9,465	9,465	0		0
保守料支出	285,000		△ 513	4,000	288,487	288,487	0		0
諸会費支出	20,000		△ 800		19,200	19,200	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	147,000				147,000	147,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	240,000		△ 249		239,751	239,751	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産支出					0		0		0
工賃平均積立資産支出					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	7,000	4,720,000			4,727,000	4,719,165	7,835		7,835
サービス区分間繰入金支出	1,811,000			2,580,763	4,391,763	4,391,763	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	32,225,000	666,000	0	1,335,000	34,226,000	30,453,640	3,772,360	0	3,772,360

前期末支払資金残高	319,165
当期末支払資金残高	0

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	319,165
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	319,165
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　就労継続支援B型事業いずみの家

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	65,406,000				65,406,000	62,362,090	△ 3,043,910	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				3,462,000	3,462,000	3,462,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	65,406,000	1,715,000	0	3,462,000	70,583,000	66,479,603	△ 4,103,397	655,513

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	39,960,000	0	0	776,000	40,736,000	37,732,504	3,003,496	0	3,003,496
職員俸給支出	14,148,000			495,000	14,643,000	14,642,863	137		137
職員諸手当支出	3,778,000			1,125,000	4,903,000	4,902,995	5		5
職員賞与支出	6,175,000				6,175,000	5,351,472	823,528		823,528
非常勤職員給与支出	5,256,000			△ 888,000	4,368,000	4,367,381	619		619
派遣職員費支出	4,812,000				4,812,000	3,618,184	1,193,816		1,193,816
退職給付支出	414,000			44,000	458,000	458,000	0		0
法定福利費支出	5,377,000				5,377,000	4,391,609	985,391		985,391
事業費支出	8,889,000	1,715,000	421,548	△ 102,000	10,923,548	9,864,061	1,059,487	0	1,059,487
給食費支出	2,485,000		△ 783	11,000	2,495,217	2,495,217	0		0
保健衛生費支出	515,000		△ 45,371		469,629	469,629	0		0
教養娯楽費支出	13,000		△ 240		12,760	12,760	0		0
保育材料費支出					0		0		0
水道光熱費支出	3,564,000	1,715,000	892,928	156,000	6,327,928	5,268,441	1,059,487		1,059,487
消耗器具備品費支出	345,000		△ 980	71,000	415,020	415,020	0		0
保険料支出	170,000		△ 20,299		149,701	149,701	0		0
賃借料支出	558,000		△ 30,573		527,427	527,427	0		0
教育指導費支出	787,000		△ 119,155	△ 340,000	327,845	327,845	0		0
車輌費支出	452,000		△ 253,979		198,021	198,021	0		0
雑支出					0		0		0
事務費支出	11,516,000	0	△ 420,610	△ 198,000	10,897,390	10,878,976	18,414	0	18,414
福利厚生費支出	128,000				128,000	109,586	18,414		18,414
職員被服費支出	182,000		△ 2,087	△ 2,000	177,913	177,913	0		0
旅費交通費支出	65,000		△ 40,353		24,647	24,647	0		0
研修研究費支出	47,000		△ 45,562		1,438	1,438	0		0
事務消耗品費支出	145,000		△ 6,055		138,945	138,945	0		0
印刷製本費支出	16,000		△ 232		15,768	15,768	0		0
修繕費支出	939,000		△ 323,118	△ 329,000	286,882	286,882	0		0
通信運搬費支出	383,000		△ 148		382,852	382,852	0		0
会議費支出					0		0		0
広報費支出	115,000		△ 13,453		101,547	101,547	0		0
業務委託費支出	7,276,000		22,098	109,000	7,407,098	7,407,098	0		0
手数料支出	130,000		△ 6,494		123,506	123,506	0		0
租税公課支出	54,000		△ 365		53,635	53,635	0		0
保守料支出	1,502,000		△ 641	24,000	1,525,359	1,525,359	0		0
諸会費支出	113,000		△ 4,200		108,800	108,800	0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	421,000				421,000	421,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	622,000	0	△ 720	0	621,280	621,280	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出	622,000		△ 720		621,280	621,280	0		0
ファイナンスリース債務の返済支出	1,318,000		△ 218		1,317,782	1,317,782	0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	22,000	416,000			438,000	415,483	22,517		22,517
サービス区分間繰入金支出	3,079,000			2,986,000	6,065,000	6,065,000	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	65,406,000	2,131,000	0	3,462,000	70,999,000	66,895,086	4,103,914	0	4,103,914

前期末支払資金残高	415,483
当期末支払資金残高	0

法人税	

62,361,573

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	415,483
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	415,483
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0

令和4年度　収入支出決算報告書

拠点区分名　千葉市療育センター

サービス区分名　相談支援事業所ぱれっと

（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	収入確定額 ②	②－①	未収入額
就労支援事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
就労移行いずみ収入					0		0	
就労継続Bいずみ収入					0		0	
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の医療事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0
補助金事業収入(公費)					0		0	
市区町村受託金収入(公費)	46,567,000				46,567,000	44,412,773	△ 2,154,227	
その他受託金収入					0	0	0	
受取利息配当金収入					0		0	
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0
受入研修費収入					0		0	
雑収入					0		0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産取崩					0		0	
事業区分間繰入金収入					0		0	
拠点区分間繰入金収入					0		0	
サービス区分間繰入金収入				112,000	112,000	112,000	0	
慰労金収入(県)					0		0	
慰労金収入(市)					0		0	
退職給付積立委託料等収入	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付委託料収入					0		0	
退職給付補助金収入					0		0	
計	46,567,000	0	0	112,000	46,679,000	44,524,773	△ 2,154,227	0

（単位:円）　（単位:円）

大区分／中区分	当初予算額	補正予算額	流用増減額	移管増減額	予算現額 ①	支出確定額 ②	差引簿残高 ①－②＝③	④配当減額	残高 ③－④
人件費支出	41,163,000	△ 2,600,000	0	△ 582,000	37,981,000	35,871,128	2,109,872	0	2,109,872
職員俸給支出	21,632,000	△ 2,600,000			19,032,000	18,970,400	61,600		61,600
職員諸手当支出	4,638,000			△ 582,000	4,056,000	3,877,794	178,206		178,206
職員賞与支出	8,528,000				8,528,000	7,377,493	1,150,507		1,150,507
非常勤職員給与支出	18,000				18,000	18,000	0		0
派遣職員費支出					0		0		0
退職給付支出	674,000				674,000	540,000	134,000		134,000
法定福利費支出	5,673,000				5,673,000	5,087,441	585,559		585,559
事業費支出	2,380,000	0	95,529	△ 343,007	2,132,522	2,132,522	0	0	0
給食費支出					0		0		0
保健衛生費支出	34,000		△ 13,100		20,900	20,900	0		0
教養娯楽費支出					0		0		0
保育材料費支出					0		0		0
水道光熱費支出			272,007	△ 272,007	0		0		0
消耗器具備品費支出	209,000		△ 52,957	△ 71,000	85,043	85,043	0		0
保険料支出	191,000		△ 33,190		157,810	157,810	0		0
賃借料支出	1,803,000		△ 51,374		1,751,626	1,751,626	0		0
教育指導費支出					0		0		0
車輌費支出	143,000		△ 25,857		117,143	117,143	0		0
雑支出					0		0		0
事務費支出	1,785,000	0	△ 95,529	112,000	1,801,471	1,767,116	34,355	0	34,355
福利厚生費支出	91,000				91,000	56,645	34,355		34,355
職員被服費支出	100,000		△ 40,457	6,000	65,543	65,543	0		0
旅費交通費支出	342,000		△ 17,527		324,473	324,473	0		0
研修研究費支出	85,000		△ 28,902		56,098	56,098	0		0
事務消耗品費支出	179,000		△ 302		178,698	178,698	0		0
印刷製本費支出	99,000				99,000	99,000	0		0
修繕費支出					0		0		0
通信運搬費支出	649,000		△ 86	106,000	754,914	754,914	0		0
会議費支出					0		0		0
広報費支出	13,000		△ 6,431		6,569	6,569	0		0
業務委託費支出					0		0		0
手数料支出	1,000		△ 1,000		0	0	0		0
租税公課支出					0		0		0
保守料支出	23,000		△ 824		22,176	22,176	0		0
諸会費支出					0		0		0
雑支出					0		0		0
事務費(事務局)支出	203,000				203,000	203,000	0		0
就労支援事業支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業販売原価					0		0		0
就労支援事業販管費支出					0		0		0
固定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車輌運搬具取得支出					0		0		0
器具及び備品取得支出					0		0		0
ファイナンスリース債務の返済支出					0		0		0
積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付引当資産					0		0		0
工賃平均積立資産					0		0		0
事業区分間繰入金支出					0		0		0
拠点区分間繰入金支出	10,000	2,852,000			2,862,000	2,851,597	10,403		10,403
サービス区分間繰入金支出	1,229,000			925,007	2,154,007	2,154,007	0		0
慰労金支出					0		0		0
計	46,567,000	252,000	0	112,000	46,931,000	44,776,370	2,154,630	0	2,154,630

前期末支払資金残高	251,597
当期末支払資金残高	0

法人税	

（上記残高内訳）

前期末支払資金残高	251,597
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	251,597
当期末支払資金残高	0
うち就労支援事業	0
うち経常活動他	0